

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第290集

大鳥 I 遺跡発掘調査報告書

世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査

(財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

おおとり
大鳥 I 遺跡発掘調査報告書

世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査



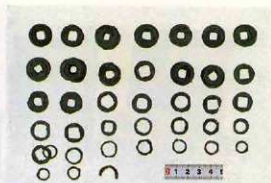
円筒下層式土器



半円状偏平打製石器



R D51 遺物出土状況(北から)



鉄貨



鎌



内耳鉄鍋

序

豊かな自然に恵まれた岩手県には、縄文時代をはじめとする数多くの遺跡や重要な文化財が残されており、これら多くの先人たちの創造してきた文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実も重要な一施策であります。発掘調査により遺跡が消滅することは、まことに惜しいことではありますが、その反面それまで置かれていた先人たちの営みに光明があたるのも事実であります。

このような埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和も今日的な課題であり、財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所による世増ダム建設事業に関連して、平成7年度に発掘調査を行った軽米町の大鳥Ⅰ遺跡の調査結果をまとめたものであります。大鳥Ⅰ遺跡は、軽米町の東側を北流する雪谷川左岸の河岸段丘上に立地しており、調査の結果、縄文時代前期の遺構と遺物、中世・近世の建物跡や墓墳などが発見され、貴重な資料を提供することができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご援助・ご協力を賜りました農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所、岩手県教育委員会、軽米町教育委員会をはじめとする関係者各位に衷心より謝意を表します。

平成11年3月

財団法人 岩手県文化振興事業団

理事長 船越昭治

例 言

1. 本報告書は岩手県九戸郡軽米町大字軽米第17地割字大島163-11ほかに所在する大島I遺跡の発掘調査の結果を収録したものである。
2. 本遺跡の調査は、世増ダム建設事業（八戸平原開拓建設事業関連）に関わる事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会文化課と農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所との協議を経て、財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
3. 本遺跡の調査成果は、先に『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成7年度分）』（岩埋文246集）に発表しているが、本書の内容が優先するものである。
4. 岩手県遺跡台帳に登録される大島I遺跡の遺跡番号と遺跡略号は次のとおりである。
遺跡番号 IF63-2029 遺跡略号 OTI-95。
5. 野外調査の調査面積・期間・担当者は次のとおりである。
調査面積：5,812㎡。
調査期間：平成7年6月16日～11月16日。
調査担当者：阿部勝則・沼田和宏。
6. 室内整理の期間・担当者は次のとおりである。
整理期間：平成7年11月1日～平成8年3月31日、担当者：阿部勝則・沼田和宏。
平成9年4月1日～平成10年3月31日、担当者：阿部勝則。
7. 本報告書の執筆は「I. 調査に至る経過」を高橋與右衛門、その他を阿部勝則が執筆した。
8. 土層の観察と土器の色調観察にあたっては『新版標準土色帖』9版（1989 小山正忠・竹原秀雄）を参考にした。
9. 遺物の鑑定に当たっては次の方々へ依頼した。
石材鑑定：佐藤二郎（縣長内水源工業） 炭化材樹種鑑定：早坂次郎（岩手県木炭協会）
鉄製品の分析・保存処理：新日本製鐵株式会社石試験分析センター
人骨の鑑定：野坂洋一郎（岩手医科大学） 火山灰の分析・鑑定：三辻利一（奈良教育大学）
10. 基準点測量は株式会社ハイマーテックに委託した。
11. 空中写真撮影は東邦航空株式会社に委託した。
12. 写真測量は株式会社シン技術コンサルに委託した。
13. 発掘・整理・執筆にあたっては次の方々へ御協力、御指導をいただいた（順不同・敬称略）。
高橋信雄 佐々木勝 佐藤嘉広 佐々木務（岩手県教育委員会文化課）、三浦謙一 日下和寿（岩手県立博物館）、越田賢一郎（北海道埋蔵文化財センター）、佐々木浩一（八戸市立博物館）、千葉啓蔵（久慈市教育委員会）、佐野忠史（森田村教育委員会）、木村敏次郎（青森県埋蔵文化財調査センター）
農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所、軽米町教育委員会。
14. 本遺跡の調査で得られた一切の資料は岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。
15. 本書で使用した地形図は以下のとおりである。
 - a. 建設省国土地理院発行の5万分の1地形図「一戸」「三戸」、同2万5千分の1地形図「市の沢」。
 - b. 東北農政局八戸平原開拓建設事業所 1000分の1地形図「世増ダム池敷平面図17」。
 - c. 軽米町発行の5000分の1地形図「軽米町全図27-2・3」。

目 次

序
例言

〈 本 文 〉

I. 調査に至る経過	1
II. 遺跡の位置と立地	2
1. 遺跡の位置および地理的環境	2
2. 遺跡の立地および周辺の地形・地質	2
3. 基本土層	3
4. 周辺の遺跡	3
III. 調査・整理の方法	16
1. 野外調査	16
2. 室内整理	17
3. 掲載図版等について	19
IV. 検出遺構	20
1. 竪穴住居跡	20
2. 土 坑	27
3. 陥し穴状遺構	57
4. 土器埋設遺構	57
5. 焼土遺構	57
6. 溝状遺構	60
7. 遺物包含層	64
8. 掘立柱建物跡	70
9. 墓 塚	76
V. 出土遺物	96
1. 縄文土器	96
2. 土師器・須恵器	180
3. 土製品	182
4. 石 器	183
5. 石製品	186
6. 金属製品	231
VI. 考察とまとめ	260
1. 遺跡の性格	260
2. 縄文時代：円筒下層式土器について	262
3. 中・近世：墓塚について	275
4. 総括	277
VII. 分析・鑑定	279
報告書抄録	444

〈 表 〉

第 1 表	周辺の遺跡	6
第 2 表	土器観察表(1)土師器・須恵器	180
第 3 表	土製品観察表	182
第 4 表	土器観察表(2)縄文土器	239
第 5 表	石器・石製品観察表	252
第 6 表	金属製品観察表	259

〈 図 版 〉

第 1 図 岩手県全図	7
第 2 図 遺跡位置図	8
第 3 図 遺跡周辺の地形図	9
第 4 図 遺跡の地形図・調査区位置図	11
第 5 図 地形分類図	12
第 6 図 基本土層模式図	13
第 7 図 周辺の遺跡：大鳥遺跡群	14
第 8 図 周辺の遺跡：世増ダム建設事業関連遺跡	15
第 9 図 大鳥 I 遺跡遺構配置全体図	21
第 10 図 大鳥 I 遺跡遺構配置部分図 A 区(1)・(2)	23
第 11 図 大鳥 I 遺跡遺構配置部分図 C 区(3)	24
第 12 図 RA01 住居跡	25
第 13 図 RA02 住居跡	26
第 14 図 RD01・02・03・04 土坑	42
第 15 図 RD05・06・08・09 土坑	43
第 16 図 RD10・11・12・13 土坑	44
第 17 図 RD14・15・50 土坑	45
第 18 図 RD16・17・18・19 土坑	46
第 19 図 RD20・27 土坑	47
第 20 図 RD28・29・30 土坑	48
第 21 図 RD31・32・33・34 土坑	49
第 22 図 RD35・36・37・38・39・40 土坑	50
第 23 図 RD41・42・43 土坑	51
第 24 図 RD44・45・47・49 土坑	52
第 25 図 RD52・53 土坑	53
第 26 図 RD54 土坑	54
第 27 図 RD55・56・57 土坑	55
第 28 図 RD58・59・60 土坑	56
第 29 図 RD07 陥し穴状遺構、 RZ01 土器埋設遺構	58
第 30 図 RF01・02 焼土遺構	59
第 31 図 RG02・03・04・05 溝状遺構(1)	61
第 32 図 RG02・03・04・05 溝状遺構(2)	62
第 33 図 遺物包含層(1)	66
第 34 図 遺物包含層(2)	67
第 35 図 遺物包含層(3)	68
第 36 図 遺物包含層(4)	69
第 37 図 RB01 掘立柱建物跡(1)	71
第 38 図 RB01 掘立柱建物跡(2)	72
第 39 図 RB02 掘立柱建物跡	73
第 40 図 RB03 掘立柱建物跡(1)	74
第 41 図 RB03 掘立柱建物跡(2)	75
第 42 図 RD21・22・23・25 墓塚	80
第 43 図 RD21・22・25 墓塚	81
第 44 図 RD24・26・46 墓塚	82
第 45 図 RD48・51 墓塚	83
第 46 図 RA01・02、RD06・09・14・15・ 19・30・39・52 出土遺物	84
第 47 図 RD53 出土遺物	85
第 48 図 RD54・55 出土遺物	86
第 49 図 RD56・57・58・60(1) 出土遺物	87
第 50 図 RD60(2)、RZ01 出土遺物	88
第 51 図 RG02 出土遺物	89
第 52 図 RG03(1) 出土遺物	90
第 53 図 RG03(2) 出土遺物	91

第54圖	RG03(3)出土遺物	92	第92圖	土器(35): F7I09(2), J09	134
第55圖	RG05出土遺物	93	第93圖	土器(36): F7F10(1)	135
第56圖	RB01・02, RD21・24・25 40・46・49出土遺物	94	第94圖	土器(37): F7F10(2), G10(1)	136
第57圖	RD51出土遺物	95	第95圖	土器(38): F7G10(2)	137
第58圖	土器(1): RD15・19・53(1)	100	第96圖	土器(39): F7G10(3)	138
第59圖	土器(2): RD53(2)・54(1)	101	第97圖	土器(40): F7G10(4), H10	139
第60圖	土器(3): RD54(2)・55	102	第98圖	土器(41): F7F11, G11(1)	140
第61圖	土器(4): RD56・60(1)	103	第99圖	土器(42): F7G11(2)	141
第62圖	土器(5): RD60(2)	104	第100圖	土器(43): F7G11(3), H11(1)	142
第63圖	土器(6): RD60(3)	105	第101圖	土器(44): F7H11(2)	143
第64圖	土器(7): RD60(4)	106	第102圖	土器(45): F7H11(3), I11	144
第65圖	土器(8): RD60(5), RZ01	107	第103圖	土器(46): F7J11, G12(1)	145
第66圖	土器(9): RG02	108	第104圖	土器(47): F7G12(2), I12, L13, L24(1)	146
第67圖	土器(10): RG03(1)	109	第105圖	土器(48): F7L24(2), F7K, F5区	147
第68圖	土器(11): RG03(2)	110	第106圖	土器(49): RA01・02, RD09・14・ 15・22・30・49・52・53(1)	148
第69圖	土器(12): RG03(3)	111	第107圖	土器(50): RD53(2)・54(1)	149
第70圖	土器(13): RG03(4)	112	第108圖	土器(51): RD54(2)・55	150
第71圖	土器(14): RG03(5)	113	第109圖	土器(52): RD56・57・58・60(1)	151
第72圖	土器(15): RG03(6)	114	第110圖	土器(53): RD60(2), RG02(1)	152
第73圖	土器(16): RG03(7)	115	第111圖	土器(54): RG02(2)・03(1)	153
第74圖	土器(17): RG05(1)	116	第112圖	土器(55): RG03(2)	154
第75圖	土器(18): RG05(2), F7H04(1)	117	第113圖	土器(56): RG03(3)	155
第76圖	土器(19): F7H04(2), H05(1)	118	第114圖	土器(57): RG03(4)・05	156
第77圖	土器(20): F7H05(2), I05, H06(1)	119	第115圖	土器(58): F7H04, H05(1)	157
第78圖	土器(21): F7H06(2)	120	第116圖	土器(59): F7H05(2), I05, G06, H06(1)	158
第79圖	土器(22): F7H06(3), I06	121	第117圖	土器(60): F7H06(2)	159
第80圖	土器(23): F7G07(1)	122	第118圖	土器(61): F7I06, F07, G07(1)	160
第81圖	土器(24): F7G07(2), H07(1)	123	第119圖	土器(62): F7G07(2)	161
第82圖	土器(25): F7H07(2)	124	第120圖	土器(63): F7H07(1)	162
第83圖	土器(26): F7I07	125	第121圖	土器(64): F7H07(2), I07(1)	163
第84圖	土器(27): F7G08, H08, I08(1)	126	第122圖	土器(65): F7I07(2), G08(1)	164
第85圖	土器(28): F7I08(2)	127	第123圖	土器(66): F7G08(2), H08	165
第86圖	土器(29): F7I08(3), J08	128	第124圖	土器(67): F7I08(1)	166
第87圖	土器(30): F7F09	139	第125圖	土器(68): F7I08(2)	167
第88圖	土器(31): F7G09(1)	130	第126圖	土器(69): F7I08(3), J08	168
第89圖	土器(32): F7G09(2)	131	第127圖	土器(70): F7F09, G09, H09(1)	169
第90圖	土器(33): F7G09(3)	132			
第91圖	土器(34): F7H09, I09(1)	133			

第128圖	土器(71): F7H09(2), I09(1).....	170	第164圖	石器(25)	211
第129圖	土器(72): F7I09(2), J09(1)	171	第165圖	石器(26)	212
第130圖	土器(73): F7J09(2)	172	第166圖	石器(27)	213
第131圖	土器(74): F7J09(3)	173	第167圖	石器(28)	214
第132圖	土器(75): F7F10	174	第168圖	石器(29)	215
第133圖	土器(76): F7G10, H10, J10.....	175	第169圖	石器(30)	216
第134圖	土器(77): F7G11(1).....	176	第170圖	石器(31)	217
第135圖	土器(78): F7G11(2), H11, J11, F12, G12(1).....	177	第171圖	石器(32)	218
第136圖	土器(79): F7G12(2), H12, G12~I12(1)	178	第172圖	石器(33)	219
第137圖	土器(80): F7G12~I12(2), L13, F5区、F7区、F8区	179	第173圖	石器(34)	220
第138圖	土師器・須惠器: RA02	181	第174圖	石器(35)	221
第139圖	土製品	182	第175圖	石器(36)	222
第140圖	石器(1)	187	第176圖	石器(37)	223
第141圖	石器(2)	188	第177圖	石器(38)	224
第142圖	石器(3)	189	第178圖	石器(39)	225
第143圖	石器(4)	190	第179圖	石器(40)	226
第144圖	石器(5)	191	第180圖	石器(41)	227
第145圖	石器(6)	192	第181圖	石器(42)	228
第146圖	石器(7)	193	第182圖	石器(43)	229
第147圖	石器(8)	194	第183圖	石製品	230
第148圖	石器(9)	195	第184圖	金屬製品(1)	232
第149圖	石器(10)	196	第185圖	金屬製品(2)	233
第150圖	石器(11)	197	第186圖	金屬製品(3)	234
第151圖	石器(12)	198	第187圖	金屬製品(4)	235
第152圖	石器(13)	199	第188圖	金屬製品(5)	236
第153圖	石器(14)	200	第189圖	金屬製品(6)	237
第154圖	石器(15)	201	第190圖	金屬製品(7)	238
第155圖	石器(16)	202	第191圖	大鳥 I 遺跡縄文時代集落概念図	261
第156圖	石器(17)	203	第192圖	土器集成圖(1)	264
第157圖	石器(18)	204	第193圖	土器集成圖(2)	265
第158圖	石器(19)	205	第194圖	土器集成圖(3)	266
第159圖	石器(20)	206	第195圖	土器集成圖(4)	267
第160圖	石器(21)	207	第196圖	土器集成圖(5)	268
第161圖	石器(22)	208	第197圖	土器集成圖(6)	269
第162圖	石器(23)	209	第198圖	土器集成圖(7)	270
第163圖	石器(24)	210	第199圖	土器集成圖(8)	271
			第200圖	土器集成圖(9)	272
			第201圖	土器集成圖(10)	273
			第202圖	土器集成圖(11)	274

〈 写真図版 〉

写真図版 巻頭カラー、大鳥1遺跡出土遺物	写真図版31 土器(4)……………331
写真図版 巻頭カラー、RD51墓墳	写真図版32 土器(5)……………332
写真図版1 遺跡全景(1)……………301	写真図版33 土器(6)……………333
写真図版2 遺跡全景(2)……………302	写真図版34 土器(7)……………334
写真図版3 基本土層……………303	写真図版35 土器(8)……………335
写真図版4 RA01住居跡……………304	写真図版36 土器(9)……………336
写真図版5 RA02住居跡……………305	写真図版37 土器(10)……………337
写真図版6 RD01・02・03・04土坑……………306	写真図版38 土器(11)……………338
写真図版7 RD05・06・08土坑、 07陥し穴状遺構……………307	写真図版39 土器(12)……………339
写真図版8 RD09・10・11・12・13・14・ 50土坑……………308	写真図版40 土器(13)……………340
写真図版9 RD15・16・17・18土坑……………309	写真図版41 土器(14)……………341
写真図版10 RD19・20・27・28・29土坑……………310	写真図版42 土器(15)……………342
写真図版11 RD30・31・32・33土坑……………311	写真図版43 土器(16)……………343
写真図版12 RD34・35・36・37・38・39 土坑……………312	写真図版44 土器(17)……………344
写真図版13 RD40・41・42・43土坑……………313	写真図版45 土器(18)……………345
写真図版14 RD44・45・47・49土坑……………314	写真図版46 土器(19)……………346
写真図版15 RD52・53・54・55土坑……………315	写真図版47 土器(20)……………347
写真図版16 RD53・56・57・58・59土坑……………316	写真図版48 土器(21)……………348
写真図版17 RD52～60土坑、 RF01・02溝状遺構……………317	写真図版49 土器(22)……………349
写真図版18 RZ01土器埋設遺構、 RG01・02溝状遺構……………318	写真図版50 土器(23)……………350
写真図版19 RG03・04・05溝状遺構……………319	写真図版51 土器(24)……………351
写真図版20 遺物包含層(1)……………320	写真図版52 土器(25)……………352
写真図版21 遺物包含層(2)、遺物出土状況……………321	写真図版53 土器(26)……………353
写真図版22 RB01掘立柱建物跡……………322	写真図版54 土器(27)……………354
写真図版23 RB02掘立柱建物跡……………323	写真図版55 土器(28)……………355
写真図版24 RB03掘立柱建物跡……………324	写真図版56 土器(29)……………356
写真図版25 RD21・22・23・24墓墳……………325	写真図版57 土器(30)……………357
写真図版26 RD24・25・26・46墓墳……………326	写真図版58 土器(31)……………358
写真図版27 RD48・51墓墳……………327	写真図版59 土器(32)……………359
写真図版28 土器(1)……………328	写真図版60 土器(33)……………360
写真図版29 土器(2)……………329	写真図版61 土器(34)……………361
写真図版30 土器(3)……………330	写真図版62 土器(35)……………362
	写真図版63 土器(36)……………363
	写真図版64 土器(37)……………364
	写真図版65 土器(38)……………365
	写真図版66 土器(39)……………366
	写真図版67 土器(40)……………367

写真図版68	土器(41)·····	368	写真図版107	石器(2)·····	407
写真図版69	土器(42)·····	369	写真図版108	石器(3)·····	408
写真図版70	土器(43)·····	370	写真図版109	石器(4)·····	419
写真図版71	土器(44)·····	371	写真図版110	石器(5)·····	410
写真図版72	土器(45)·····	372	写真図版111	石器(6)·····	411
写真図版73	土器(46)·····	373	写真図版112	石器(7)·····	412
写真図版74	土器(47)·····	374	写真図版113	石器(8)·····	413
写真図版75	土器(48)·····	375	写真図版114	石器(9)·····	414
写真図版76	土器(49)·····	376	写真図版115	石器(10)·····	415
写真図版77	土器(50)·····	377	写真図版116	石器(11)·····	416
写真図版78	土器(51)·····	378	写真図版117	石器(12)·····	417
写真図版79	土器(52)·····	379	写真図版118	石器(13)·····	418
写真図版80	土器(53)·····	380	写真図版119	石器(14)·····	419
写真図版81	土器(54)·····	381	写真図版120	石器(15)·····	420
写真図版82	土器(55)·····	382	写真図版121	石器(16)·····	421
写真図版83	土器(56)·····	383	写真図版122	石器(17)·····	422
写真図版84	土器(57)·····	384	写真図版123	石器(18)·····	423
写真図版85	土器(58)·····	385	写真図版124	石器(19)·····	424
写真図版86	土器(59)·····	386	写真図版125	石器(20)·····	425
写真図版87	土器(60)·····	387	写真図版126	石器(21)·····	426
写真図版88	土器(61)·····	388	写真図版127	石器(22)·····	427
写真図版89	土器(62)·····	389	写真図版128	石器(23)·····	428
写真図版90	土器(63)·····	390	写真図版129	石器(24)·····	429
写真図版91	土器(64)·····	391	写真図版130	石器(25)·····	430
写真図版92	土器(65)·····	392	写真図版131	石器(26)·····	431
写真図版93	土器(66)·····	393	写真図版132	石器(27)·····	432
写真図版94	土器(67)·····	394	写真図版133	石器(28)·····	433
写真図版95	土器(68)·····	395	写真図版134	石器(29)·····	434
写真図版96	土器(69)·····	396	写真図版135	石器(30)·····	435
写真図版97	土器(70)·····	397	写真図版136	石器(31)·····	436
写真図版98	土器(71)·····	398	写真図版137	石器(32)·····	437
写真図版99	土器(72)·····	399	写真図版138	石器製品·····	438
写真図版100	土器(73)·····	400	写真図版139	金属製品(1)·····	439
写真図版101	土器(74)·····	401	写真図版140	金属製品(2)·····	440
写真図版102	土器(75)·····	402	写真図版141	金属製品(3)·····	441
写真図版103	土器(76)·····	403	写真図版142	金属製品(4)·····	442
写真図版104	土器(77)·····	404	写真図版143	金属製品(5)·····	443
写真図版105	土師器・須恵器・土製品·····	405			
写真図版106	石器(1)·····	406			

I. 調査に至る経過

大鳥I遺跡は、「八戸平原開拓建設事業」に関連して、農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所と岩手県の委託を受けて緊急発掘調査が実施された。この事業は、豊かな農村社会の建設と地域農業の発展および生産性の高い経営を図ることを目的として昭和51年に事業化されたものである。

この事業に関連する遺跡群は、岩手県と青森県にわたって分布しており、岩手県に所在する遺跡の取扱いについては、八戸平原開拓建設事業所と岩手県教育委員会事務局文化課との間で協議がなされた。調査に至るまでの経過は次のとおりである。

平成7年2月6日付「7八戸第68号」により、八戸平原開拓建設事業所長から東北農政局長にあてて、文化庁長官に事業にともなう水没地の埋蔵文化財発掘について、発掘調査の通知を依頼した。

平成7年2月22日付「7北建第103号(開)」により、東北農政局長から、岩手県教育委員会を經由して文化庁長官に発掘の通知をした。また、岩手県教育委員会では、教育長名で東北農政局長あてに、工事着手前における発掘調査の実施を通知した。

平成7年2月28日付「教文第1053号」により、岩手県教育委員会教育長から八戸平原開拓建設事業所長にあてて、平成7年度の財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの調査事業として、大鳥I遺跡の5,812㎡に対して発掘調査する旨を通知した。

以上の経過を経て平成7年5月31日付で、東北農政局八戸平原開拓建設事業所長、さらに平成7年6月1日付で岩手県知事と財団法人岩手県文化振興事業団理事長との間で、発掘調査について委託契約を締結し、調査は、平成7年6月16日から着手し、平成7年11月16日まで実施した。

報告書作成に係わる室内整理は、現地調査が終了後に、平成7年11月1日～平成8年3月末まで実施したが、大量に出土した遺物の整理が終了できなかったことから、平成9年4月1日～平成10年3月31日まで室内整理を継続して進めた。報告書は、平成10年度に刊行した。

II. 遺跡の位置と立地

1. 遺跡の位置および地理的環境 (第1・2図)

大鳥I遺跡が所在する軽米町は、岩手県の最北端に位置し、東は岩手県種市町と大野村、南は山形村と九戸村、西は二戸市と接し、北は青森県名川町、南郷村、陸上町と接する果境の町である。

面積約242.6km²、人口約1万3千人である。年平均気温は9度前後で、年間降水量は1,000mm未満と少なく、気象は不安定で、干魃の被害を受けやすい環境であることが指摘されている。

軽米町の成立について簡単に触れると、近世以降に九戸街道の宿駅として栄えた街で、昭和30年(1955)に軽米町、小軽米村、晴山村が合併して現在の軽米町が成立した。町名の「軽米」は合併に際して中核となった旧軽米町を継承したものである。

『軽米町誌』によれば、昭和50年の時点で、軽米町内には、大字は10、小字は236が数えられるが、大鳥の地名は、現在、小字名として、大字軽米第17地割内に遺されている。旧大鳥集落は、世増ダム建設に関わって、平成2年に、軽米町の中心街から北側の国道340号線沿いに「新大鳥」として移転している。

大鳥I遺跡は、九戸郡軽米町大字軽米第17地割字大鳥163-1ほかに所在し、八戸自動車道軽米インターチェンジのほぼ北側約3.5km付近に位置する。同地点は、国土地理院発行の5万分の1地形図「三戸」(NK-54-18-16) および2万5千分の1地形図「市野沢」(NK-54-18-16-3)の図幅に含まれ、北緯40度7分17秒、東経141度2分35秒付近に位置する。

2. 遺跡の立地および周辺の地形・地質 (第3・4・5図)

(1) 遺跡の立地および周辺の地形

軽米町は、北上山地の北部の中央に位置しており、町域の北東端に階上山(740m)、久慈平岳(706m)、南端に霧岳(567m)、西端に折爪岳(852m)などの500m~800m級の山々があるほかに特に高い山はなく、全域が200m~400mの準平原的丘陵地帯となっており、面積の約8割が山林である。平地は、河川に沿って細長く発達した沖積地が僅かにみられる程度で、集落や耕地も同所を開けている。

町の西側を南北に流れる瀬月内川と町の東側からほぼ中央を北西に流れる雪谷川は、それぞれ九戸村・山形村から軽米町に入って北流し、狭い沖積地を形成しながら町の北部(大鳥付近)で合流し、新井田川となって八戸方面に北流して、太平洋に注いでいる。

大鳥I遺跡は、軽米町の北部を流れる雪谷川によって開析された河岸段丘上に立地する。標高は、109m~120mを示し、東側を北流する雪谷川に向かって、北東から南西方向に緩く傾斜する盆地状の地形を呈している。遺跡の北側と南側で、2本の沢が西側から雪谷川に向かって注いでおり、沢に狭まれた中央付近に平坦面がある。雪谷川の現河床面との比高差は約10mである。遺跡の現況は畑地・山林である(註1)。

遺跡の範囲は、南北に最大約470m、東西に最大約260mの範囲で、面積約90,000m²を測る。今回の調査区は4箇所に分かれ、等高線に沿うかたちで弧状に1箇所：付替道路路線部分(A区)、雪谷川沿いの段丘縁および斜面にあたる部分3箇所：水没域(C~D区)を調査している。

(2) 周辺の地質

軽米町の地質は、粘板岩・硬砂岩・輝緑凝灰岩・チャートなどから構成される古生層が基盤となり、また西側の折爪岳を境界とする二戸方面は、新世代第三紀層に属し、日本でも最古の地形に属するものとされている。表層は十和田火山を供給源とする火山砕屑物によって覆われている。それらは、古いものから、天狗

岱火山灰層・高館火山灰層・八戸火山灰層（更新世）・二ノ倉火山灰層・南部浮石層・中振浮石層・十和田
b降下火山灰層・十和田a降下火山灰層（完新世）である。本遺跡も、これらの火山砕屑物に覆われている。

3. 基本土層（第6図）

本遺跡は十和田系の火山砕屑物により覆われている。調査時に確認できたものは、八戸火山灰層・南部浮石層・中振浮石層である。また遺構埋土で十和田a降下火山灰が、同様に白頭山火山灰も確認されている。

調査に当たっては、調査区が広範囲であることから各地点において基本土層の確認を行った。地点によっては後世の改変を受けているところがあり、堆積状況に若干の差がみられるが、基盤は灰白色土層（八戸浮石流凝灰岩）であることは共通している。以下に各層の概略を述べる。

- I層 7.5YR2/2 黒色 層厚20～40cm。締まり疎。現表土で耕作土である。
- II層 7.5YR1.7/1 黒色 層厚10～20cm。締まり中。
- III層 2.5Y5/6 黄褐色 層厚30～40cm。締まり疎。中振浮石相当層。C6区より以北で確認された。平安・近世以降の遺構検出面である。中振浮石の包含率により2層に細分される。
- IV層 10YR3/1 黒褐色 層厚20～60cm。締まり中。南部浮石を若干包含する。
- V層 7.5YR5/8 明褐色 層厚20～65cm。締まり中。南部浮石層。F7区を除く、全域で確認された。
- VI層 10YR2/2 黒褐色 層厚0～10cm。締まりやや密。南部浮石直下の八戸火山灰層である。
- VII層 10YR4/6 褐色 層厚30～40cm。締まりやや密。八戸火山灰層である。
- VIII層 10YR7/1 灰白色 層厚30～60cm。締まり密。八戸浮石流凝灰岩の上位。
- IX層 10YR5/2 灰黄色 層厚0～5cm。締まり密。
- X層 10YR6/1 褐灰色 層厚60cm以上。締まり密。八戸浮石流凝灰岩の下位。

遺跡の現況は、畑地・山林であるが、調査区はおもに畑地である。遺構検出面は、縄文時代の遺構はV層、平安・近世以降の遺構はIII層で検出されている。遺物を包含する層はII層である。

以下に各区域の土層堆積の状態を記す。

A区：基本的にはI～VII層まで堆積する。ただし、A区南端は削平を受けており、II～V層、場所に拠ってはVII層まで消失している。

B区：I層まで確認、下位は湧水が激しく、調査ができず、確認できていない。

C区：南北両端では、II～VII・VIII層の上位まで消失している。後世に改変された可能性が高いが、人為的作用、自然作用のいずれに拠るものかは定かでない。調査区中央部分では、II層が認められるが、III層以下VII層まで消失している。

D区：I層とVIII層を確認、中間層は流失か？下位は湧水が激しく、調査ができず、確認できていない。

4. 周辺の遺跡（第7・8図）

平成9年4月の時点で、軽米町では、約450遺跡が確認されている（註2）。町内での考古学的調査は、昭和30年代に鈴木孝志氏によって行われているが、以後しばらく本格的な調査は行われておらず、昭和50年代以降、八戸平原開拓建設事業、東北縦貫自動車道八戸線建設や国道・県道の改良工事などに関連する緊急発掘調査が岩手県埋蔵文化財センターに拠って行われている。また昭和60年から平成3年にかけて岩手県立博物館によって調査が行われた玉川鉄山は、平成4年に県指定史跡になっている。

軽米町で過去に調査が行われた遺跡は25遺跡あるが、その概要については、岩埋文第219集（水吉VI遺跡）、

岩埋文第225集(大日向Ⅱ遺跡)に詳しいので参照していただきたい。また、町内の遺跡の分布・立地については、丘陵地帯が大部分を占める地形のなかで、瀬月内川・雲谷川に沿ったかたちで分布(沖積地に立地)しており、地形的な制約を受けていることが指摘されている(註3)。

ここでは、大鳥Ⅰ遺跡に関わって、(1)大鳥遺跡群、(2)世増ダム建設事業(八戸平原開拓建設事業)に関連する調査遺跡、(3)軽米町内における縄文時代前期の遺跡、のそれぞれについて、大鳥Ⅰ遺跡の周辺の遺跡を概観し、本報告の参考としたい。

(1) 大鳥遺跡群(第7図)

松浦有一郎氏は、『考古学雑誌』76-4で、軽米町出土の香炉形土器2点を優品として資料紹介された。いずれも完形品で、1点は現在、東京国立博物館に所蔵され、もう1点は個人蔵で同博物館に寄託されているものである。このうち後者は、出土状況など詳細は不明ながら、大鳥から出土したものとされている。以来、大鳥遺跡は、晩期の香炉形土器(B~C式)の優品が出土した遺跡として、周知の遺跡である。

大鳥地区内の遺跡は、平成元年の時点ではⅠ~Ⅸ区まで分けられていたが、その後、遺跡名の変更・整理が行われ、平成9年度現在、同地区内で大鳥Ⅰ~Ⅴ遺跡が登録されている(註4)。

今回の調査で、大鳥Ⅰ遺跡からは晩期の遺構・遺物は確認されていない。また調査した所見からも同遺跡の調査区域外に該期の遺構・遺物が存在する可能性は極めて低いものと考えられる。平成8年度に調査された大鳥Ⅱ遺跡では、縄文時代早期~晩期(B・C式含)・弥生時代の遺物が出土しているなかで、晩期の遺物が比較的多く、該期の竪穴状遺構や土坑類もまとまりをもって検出されている(註5)。

以上のことから、大鳥地区内において晩期の遺構・遺物を伴う遺跡は、大鳥Ⅰ遺跡を除く地点(大鳥Ⅱ~Ⅴ)である可能性が高いと思われる。詳細については、今後の分布調査や発掘調査に期待したい(註6)。

(2) 世増ダム建設事業(八戸平原開拓建設事業) 関連の調査遺跡(第8図)

世増ダムの建設区域において岩手県内では、平成2年に軽米町で、17遺跡(大鳥Ⅰ~Ⅴ、水吉Ⅰ~Ⅵ、長倉Ⅳ~Ⅵ、下尾田Ⅱ遺跡)が分布調査で確認されている(註7)。そのうち本調査が行われた遺跡は、水吉Ⅵ遺跡(平成3~5年度)、長倉Ⅳ・Ⅴ遺跡(平成6年度)、大鳥Ⅰ遺跡・長倉Ⅶ遺跡(平成7年度)、大鳥Ⅱ遺跡(平成8年度)の6遺跡である。

青森県側の八戸平原開拓建設事業関連では、南郷村の前平(2)遺跡、外長根(1)・(2)・(3)遺跡(昭和54年度)、階上町の志民(2)遺跡、田ノ上遺跡(昭和54年度)、筋久辺遺跡(平成3年度)、畑内遺跡(平成4年度~)の調査が行われている。畑内遺跡の調査では、縄文時代前期(円筒下層式期)の竪穴住居跡・フラスコ状土坑・墓壇・捨て場などの多くの遺構と大量の遺物が検出されており、貴重な資料が得られている(註8)。

(3) 軽米町内における縄文時代前期の遺跡

軽米町内で過去に当センターで調査された遺跡は24遺跡あるが、既に報告されている22遺跡についてみると、縄文時代前期の遺物が出土している遺跡は15遺跡あり、うち円筒下層式土器が出土している遺跡は7遺跡である。ただし円筒下層式土器の全般に亘って出土した事例は少なく、比較的まとまった資料としては、大日向Ⅱ遺跡、呷屋敷Ⅰb遺跡など数遺跡が挙げられるに留まる。

検出された遺構について、竪穴住居跡についてみると、早期では、赤御堂式の竪穴住居跡が轄口Ⅰ遺跡から、前期では、深野田式並行期の住居跡が呷屋敷Ⅰb遺跡で検出されており、円筒下層式前半期の住居跡は大日向Ⅱ遺跡(1次調査)で3棟、同遺跡(2~5次調査)で前期前半の住居跡5棟、前期の住居跡4棟が検出されている。ただし、今回の大鳥Ⅰ遺跡の調査では、竪穴住居跡は検出されていないため、これらの資料と比較検討することは叶わないので、ここで詳細については触れない。周辺地域における前期円筒下層式

期の遺構の様相の把握は今後の課題としたい。

出土した遺物としては、上記のほか到大日向Ⅱ遺跡(2～5次調査)で、下層a・b式に比定される土器群が包含層からまとまって出土しており、その特徴についても地域的なものとの指摘がなされている(註9)。

今回の調査で、大島Ⅰ遺跡から出土した円筒下層式土器の特徴は、従来から指摘されている円筒下層式土器の各型式が質量ともにまとまっていること、が挙げられる。今後、大島Ⅰ遺跡出土の円筒下層式土器と先行する調査遺跡から出土した円筒下層式土器とを比較検討することにより、一地域(軽米地区)における円筒下層式土器の概観をより明確に把握することができるものと考えられる。

註

- (1) 遺跡は、旧大島集落の範囲そのものである。そのため遺跡の範囲には、畑地・山林のほか宅地跡や墓所も含まれているが、今回の調査区には含まれていない。
- (2) 軽米町教育委員会 1997『軽米町内遺跡分布調査報告書Ⅰ(大字小軽米地区)』。
- (3) (財)岩埋文 1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。
- (4) 岩手県教育委員会 1997『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』。遺跡名が字名を基本として付されることからすれば、今後、新発掘を別にすれば、遺跡名の変更はないものと思われる。
- (5) (財)岩埋文 1998『大島Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第270集。
- (6) 軽米町では、平成8年度から平成12年度までの5年次計画で遺跡の詳細分布調査が行われている。軽米町教育委員会 1997。
- (7) 岩手県教育委員会 1990『岩手県内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』岩手県文化財調査報告第86集。
- (8) 他に世増ダム建設事業に関連して、青森県側では、四ツ投遺跡・砂子遺跡・榎ノ木沢遺跡・水吉遺跡の調査が行われている。
- (9) (財)岩埋文 1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。

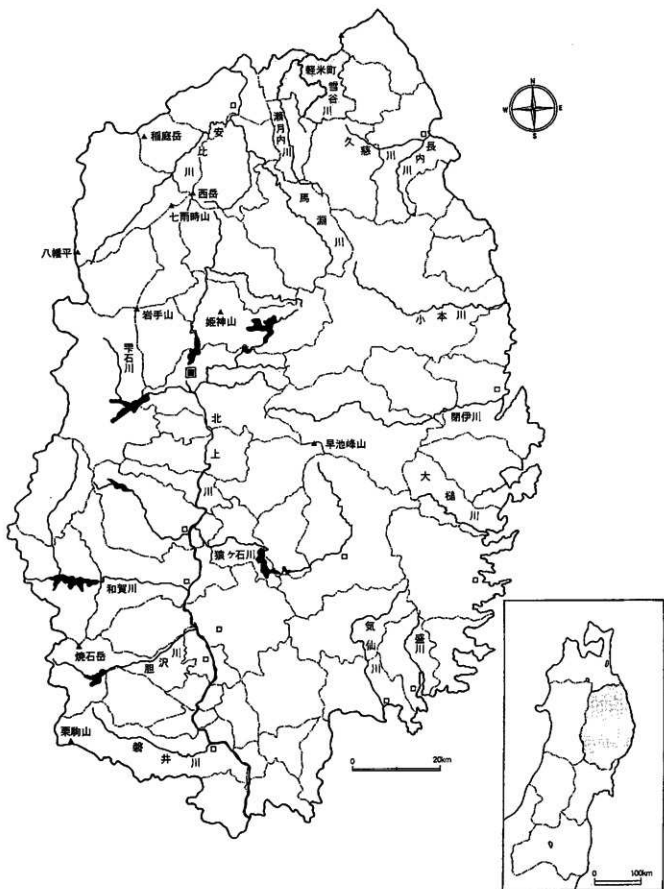
参考文献

- 青森県教育委員会 1980『国営八戸平原開拓建設事業に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』
『前平(1)遺跡、外長根(1)・(4)・(5)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第64集。
- 青森県教育委員会 1981『国営八戸平原開拓建設事業に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』
『志茂(2)遺跡、田ノ上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第65集。
- 青森県教育委員会 1989『青森県遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第131集。
- 青森県教育委員会 1993『筋久辺遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第151集。
- 青森県教育委員会 1994『畑内遺跡Ⅰ』青森県埋蔵文化財調査報告書第161集。
- 青森県教育委員会 1995『畑内遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第178集。
- 青森県教育委員会 1995『青森県遺跡詳細分布調査報告書Ⅶ』青森県埋蔵文化財調査報告書第182集。
- 青森県教育委員会 1996『畑内遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第187集。
- 青森県教育委員会 1996『四ツ投遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第188集。
- 青森県教育委員会 1997『畑内遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第211集。
- 岩手県教育委員会 1990『岩手県内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ』岩手県文化財調査報告第86集。
- 岩手県教育委員会 1997『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覧』。
『角川日本地名大辞典』3 岩手県、1985。
- 軽米町史編纂委員会 1975『軽米町誌』軽米町。
- 軽米町史編纂委員会 1987『軽米町史(上巻)』軽米町。
- 軽米町教育委員会 1997『軽米町内遺跡分布調査報告書Ⅰ(大字小軽米地区)』。
- (財)岩埋文 1983『八里敷Ⅰb遺跡発掘調査報告書』岩埋文第63集。
- (財)岩埋文 1986『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第100集。
- (財)岩埋文 1992『堀口Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第175集。
- (財)岩埋文 1995『水吉Ⅵ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第219集。

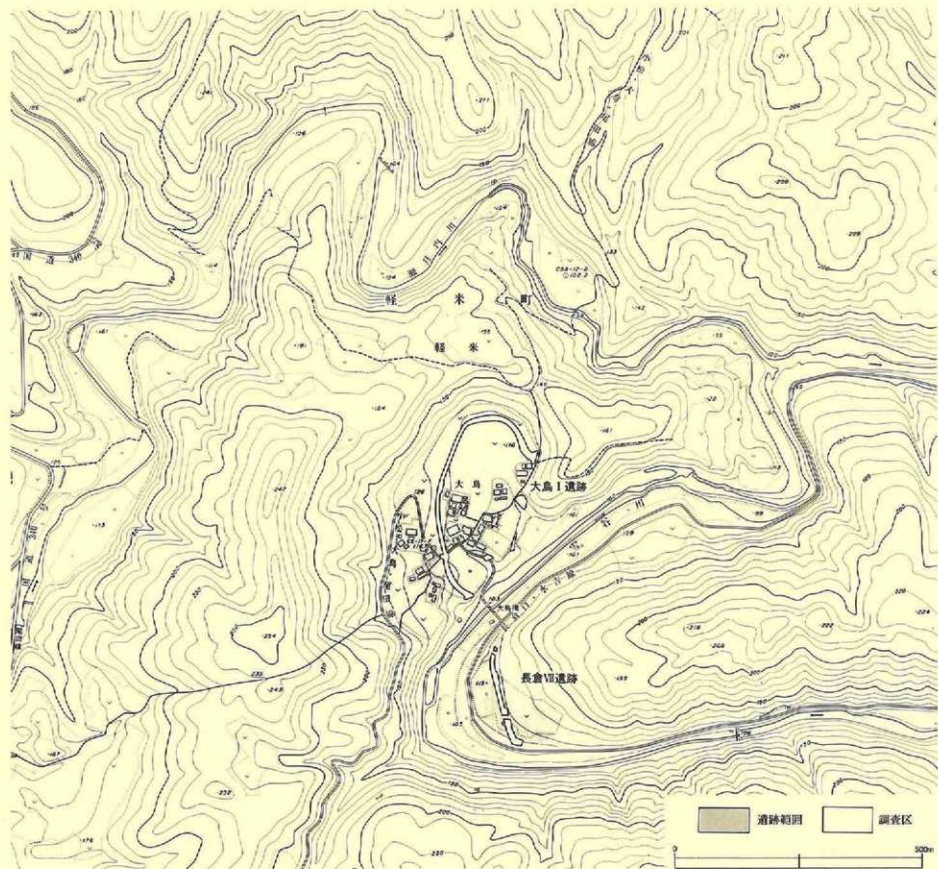
- (財) 岩埋文 1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。
 (財) 岩埋文 1996『長倉Ⅳ遺跡・長倉Ⅴ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第231集。
 (財) 岩埋文 1996『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成7年度分)』岩埋文第246集。
 (財) 岩埋文 1998『大島Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第270集。
 松浦寛一郎 1991『岩手県軽米町出土の香炉形土器二例』『考古学雑誌』76巻4号。

表1 周辺の遺跡：世増ダム建設事業(八戸平原開拓建設事業)関連遺跡

No.	遺跡名	種別	時 代	所 在 地	備 考
1	大島Ⅰ	集落跡	縄文(前期)・古代・中世・近世	軽米町大字軽米字大島	岩埋文290集
2	大島Ⅱ	散布地	縄文(晩期)・弥生	軽米町大字軽米字大島	岩埋文270集
3	大島Ⅲ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字大島	
4	大島Ⅳ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字大島	
5	大島Ⅴ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字大島	
6	水吉Ⅰ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字水吉	
7	水吉Ⅱ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字水吉	
8	水吉Ⅲ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字水吉	
9	水吉Ⅳ	集落跡	縄文・古代	軽米町大字軽米字水吉	岩埋文219集
10	水吉Ⅴ	城跡跡	中世	軽米町大字軽米字水吉	
11	水吉Ⅵ	散布地	弥生	軽米町大字軽米字水吉	
12	長倉Ⅳ	散布地	縄文・弥生	軽米町大字軽米字長倉	岩埋文281集
13	長倉Ⅴ	集落跡	縄文(後・晩期)	軽米町大字軽米字長倉	岩埋文281集
14	長倉Ⅵ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字長倉	
15	長倉Ⅶ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字長倉	岩埋文246集
16	長倉Ⅷ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字長倉	
17	下尾田Ⅱ	散布地	縄文	軽米町大字軽米字下尾田	
18	畑内	集落跡	縄文(前・晩期)・平安	南郷村大字島守字畑内	岩埋文187集他
19	熊久辺	散布地	縄文(前・晩期)・古代	南郷村大字島守字熊久辺	岩埋文161集
20	砂子	散布地	縄文・古代	南郷村大字島守字砂子	
21	糠ノ木	散布地	縄文・古代	南郷村大字島守字糠ノ木	
22	水吉	散布地	縄文	南郷村大字島守字水吉	岩埋文182集
23	四ツ段	集落跡	縄文	南郷村大字島守字四ツ段	岩埋文188集



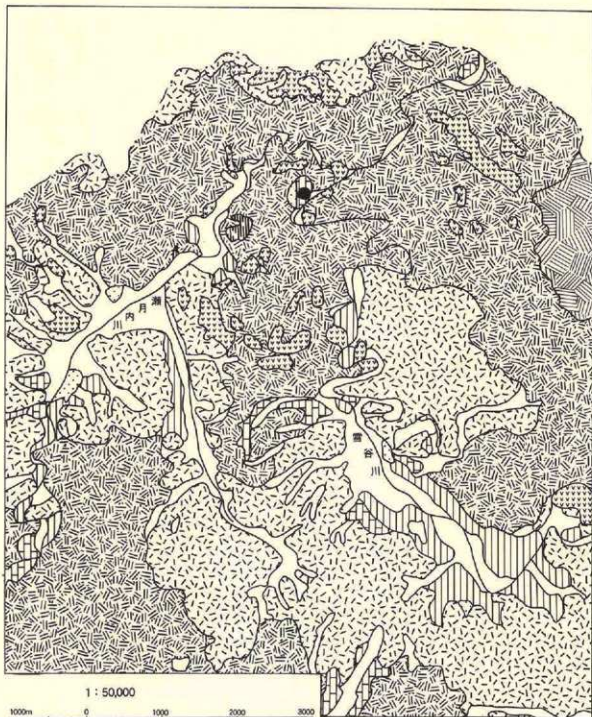
第1圖 岩手県全圖



第3図 遺跡周辺の地形図



第4図 遺跡の地形図・調査区位置図



小起伏山地



丘陵地 I



丘陵地 II



山麓地緩斜面



砂礫段丘 I



砂礫段丘 II



砂礫段丘 III



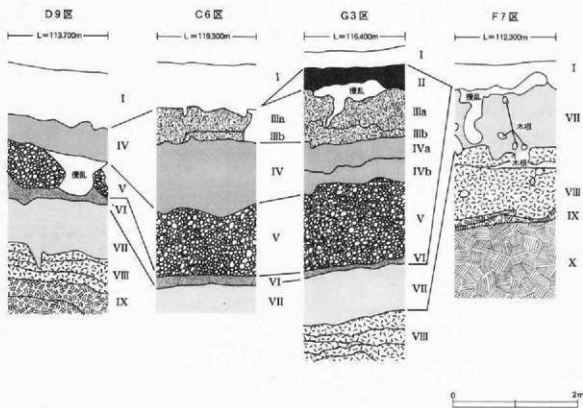
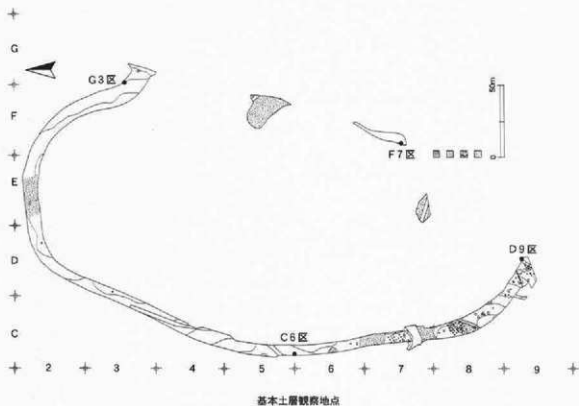
扇状地



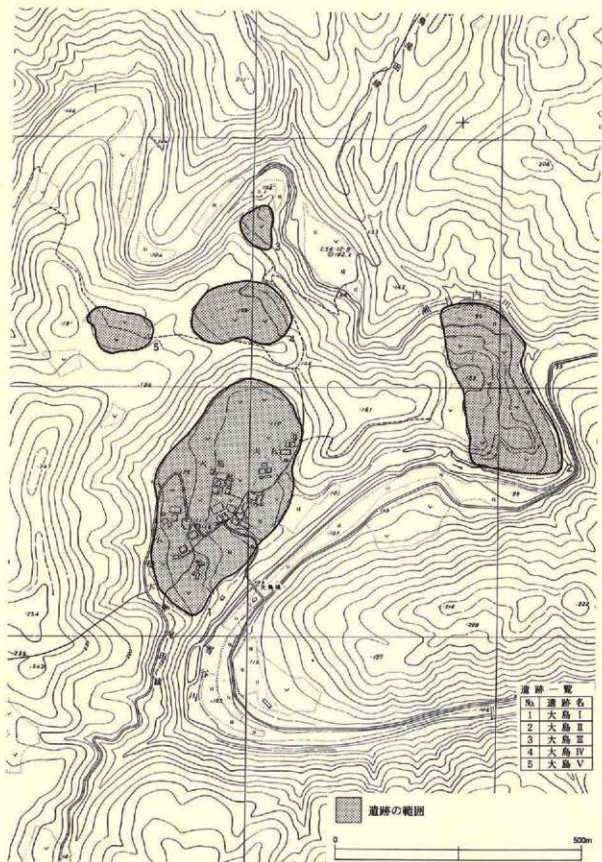
谷底平野

● 大島 I 遺跡

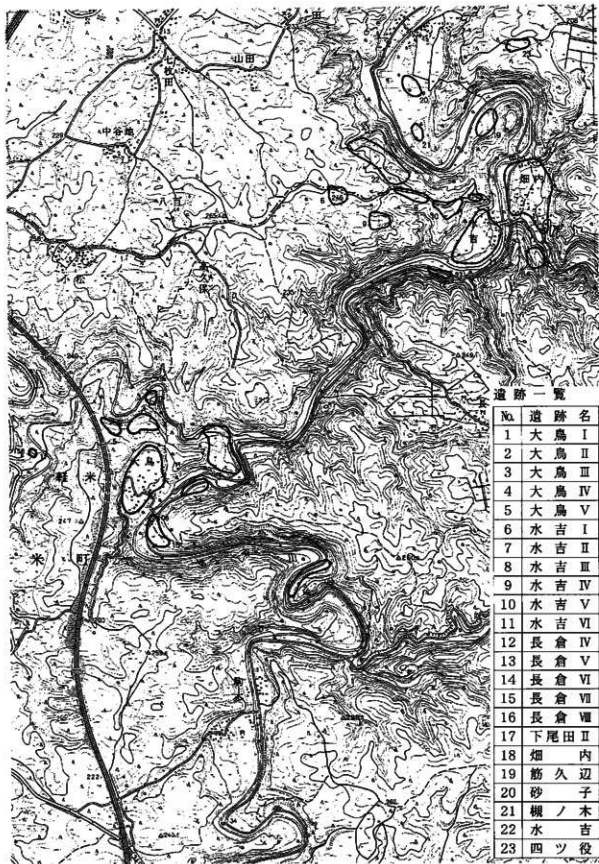
第 5 圖 地形分類圖



第6图 基本土层模式图



第7図 周辺の遺跡：大島遺跡群



遺跡一覧

No.	遺跡名
1	大鳥島 I
2	大鳥島 II
3	大鳥島 III
4	大鳥島 IV
5	大鳥島 V
6	水吉 I
7	水吉 II
8	水吉 III
9	水吉 IV
10	水吉 V
11	水吉 VI
12	長倉 IV
13	長倉 V
14	長倉 VI
15	長倉 VII
16	長倉 VIII
17	下尾田 II
18	畑内
19	筋久辺
20	砂子
21	槻ノ木
22	水吉
23	四ツ役

第8図 周辺の遺跡：世増ダム建設事業関連遺跡

Ⅲ. 調査・整理の方法

1. 野外調査

(1) 調査区の設定と遺構の命名

調査区の地区割りにあたっては、平面直角座標（第X系）を用いて、調査区の座標設定とグリッドの設定を行うことにした。設定した座標の基準点は以下のとおりである。

基準点1：X=+39,910,000m、Y=+53,108,000m、H=116.840m、

基準点2：X=+39,700,000m、Y=+52,930,000m、H=117.546m、

基準点3：X=+39,670,000m、Y=+52,930,000m、H=120.259m、

この3点を基準として実際のグリッド設定を行った。設定に際しては遺跡全体をカバーするように配慮し、遺跡をカバーするグリッドは、原点（X=+40,050,000m、Y=+52,800,000m）を北西隅にして50m四方の大グリッドを組み、その中を2m四方の小グリッドに分割した。大グリッドは西から東へむかって、A・B・C（アルファベット大文字）……、北から南にむかって1・2・3（算用数字）……という区画名を与え、A1・A2区などの大グリッド名を付した。また大グリッドはさらに2m間隔で25等分し、それぞれ西から東にむかってA～Y（アルファベット大文字）、北から南にむかって01～25（算用数字）という区画名を与え、それぞれの組み合わせで、A01・A02グリッドなどの小グリッド名を付した。

区画左上（北西隅）の杭をもって、その区画のグリッドの名称を表わし、遺構の位置や遺物採取においては、大小のグリッド名を組み合わせでA1A01グリッドなどと表わした。

(2) 遺構の名称

検出された遺構の名称は以下の記号を用いて、検出順に命名を行った。時代による別は考慮していない。

RA…竪穴住居跡、RB…掘立柱建物跡、RD…土坑類（墓塚含）、RF…境土遺構、

RG…溝状遺構、RZ…土器埋設遺構、

検出された遺構数は次のとおりである。

竪穴住居跡：RA01～02(2)、掘立柱建物跡：RB01～03(3)、土坑類（墓塚含）：RD01～60(60)、

境土遺構：RF02(2)、溝状遺構：RG01～05(5)、土器埋設遺構：RZ01(1)。

(3) 調査区の面積と名称

遺跡の発掘調査面積は5,812m²である。調査区は付替道路路線部分と水没域3箇所に分かれるため、付替道路路線部分：A区、水没域：北側よりB・C・D区と区域名を仮称した。

(4) 調査の経過

調査は、対岸の長倉Ⅶ遺跡と並行して行われた。当初の調査予定期間は6月～10月の5ヶ月間である。作業員の登録員数は当初32名で、7月に1名欠員があり、9月には2名増員となり、以降33名である。一日平均の稼働人数は28人ほどであった。以下に、大島I遺跡および並行して行われた長倉Ⅶ遺跡の調査経過を簡単に記す。

なお調査区は、調査終了後に全面的埋め戻しを行い、現況に復旧している。

6月1日（木）資材を搬入。長倉Ⅶ遺跡の調査を開始。調査員1名体制（沼田）。

6月13日（火）基準点測量。

6月16日（金）大島I遺跡の調査開始。調査員2名体制（阿部・沼田）となる。

8月11日（水）長倉Ⅶ遺跡の調査終了。

8月24日(木)長倉Ⅶ遺跡の終了確認。

10月6日(金)大島Ⅰ遺跡の部分(付替道路線部分5,000㎡:A区)終了確認。

10月19日(木)大島Ⅰ遺跡の航空写真撮影を行う。

11月14日(火)大島Ⅰ遺跡(水没域812㎡:B・C・D区)の終了確認。

11月16日(木)調査を終了し、撤収。

(5) 掘削と遺構検出・遺構の精査と遺物の取り上げ

当初、2m幅のトレンチを地形に応じて任意の場所に入れ、遺跡の状況把握につとめた。その結果、A区南端はⅦ層(八戸火山灰層)まで削られていること、他の区域では削平はされていないが、表土が厚く、包含する遺物量は極めて少量であることを確認した。実際の作業は、遺物量が少なく、表土の厚いところの掘削は、重機を多用し、表土の薄いところでは人力で行った。

遺構検出は各層位で試みているが、基本的にはA区の南側ではⅤ層(南部浮石層)が遺構の時期差にかかわらず遺構検出面である。他の区域ではⅢ層(中瀬浮石層)で平安時代の遺構や近世以降の遺構が検出されており、Ⅴ層(南部浮石層)で縄文時代の遺構が検出されている。

検出された遺構は、原則として住居跡の場合は4分法、土坑類は2分法で行ったが、必要に応じてその他の方法も併用した。精査の各段階において必要図面の作成や写真撮影を適時行っている。

遺構内出土の遺物は、埋土では分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。その他にも適時写真撮影・図面作成をして取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則として小グリッドごとに出土した層位を記して取り上げ、適時写真撮影・図面作成をしている。

(6) 実測・写真撮影

平面実測は、グリッドに合わせた1mメッシュを基本とした。住居跡・土坑類は平面図・断面図とも1/20の縮尺を基本とした。遺構の埋土が単層である場合は、その状態をField Cardに記し、土層断面図の作成は省略した。レベルは、基準点をもとに絶対高で測った。

人骨が出土した墓塚の一部(RD21・22・25墓塚)は写真測量を行い、図化した。

写真撮影は35mmモノクロームとカラーズライド各1台、モノクローム6×9判1台を使用した。撮影にあたっては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを利用した。実際の撮影は、各種の埋土堆積状況や遺物の出土状況、完備状況、全景などについて行い、調査の終了段階でセスナによる空中写真撮影を行っている。

2. 室内整理

室内整理の期間は、平成7年11月～平成8年3月(5ヶ月間:室内整理員8名)、平成9年4月～平成10年3月(12ヶ月間)である。平成7年度整理においては、遺構図面の点検・合成、遺物の水洗・注記、仕分け・登録、接合作業などを行った。平成9年度整理では、4～10月(7ヶ月間:室内整理員12名)に、土器の接合・復元、実測、拓影、石器の実測、遺構トレース、遺物写真撮影を行い、11～同10年3月(5ヶ月間:室内整理員5名)は、遺物トレースと図版作成を行った。調査員は、全体計画の進行管理、各作業の指示・点検と原稿執筆を行った。

野外調査で得られた遺物、実測図、写真などの各種資料は、室内整理の段階で次のように処理し、整理を行い、報告書作成とともに資料化を図った。

(1) 遺構に関わる記録

各実測図面ごとに分類し、図面は点検のうえ、必要なものについては第二原図を作成し、トレースを行っ

た。撮影されたフィルムは、ネガアルバムに密着写真と一組にして収納した。カラースライドフィルムはスライドファイルに撮影順に収納した。

(2) 遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、細片は別として、遺跡略号・出土地点・層位等を全破片について注記した。その後、出土地点・層位ごとに仕分けを行い、遺構ごと、遺物包含層についてはグリッドごとに接合・復元作業を実施した。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮尺して図化した。炭化物・金属製品・石材の分析は、外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影は、センター内の専門技師2名が撮影を行った。

遺物の整理・報告に当たっての作業・記録作成は以下の方針を進めた。

(3) 遺物の選別・図化の基準

報告書に掲載された遺物は出土した遺物の全てではなく、整理のなかで設定した基準をもとに選別した一部の資料である。ここでは、掲載資料の選別基準を明示することで、掲載資料のもつ意味が相対的に高まるものと考え、以下に資料の選別基準を明示する。また、資料化は、図化・写真がすべてではない。不掲載資料であっても可能なかぎり数的処理を行い、出土資料全体の傾向を把握するためのデータとした。

a. 土器

土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合された土器については、原則として計測値（器高・口径・底径）2点以上計測可能なもの（器形が把握できるもの）を立体土器として登録し、図化を進めた。図化しないものについては、計測値・型式・残存率などを記録するに留めた。

破片資料については、口縁部破片は、原則として、径5cm以上の大きさをもつ破片、頸部および胴部文様の組み合わせが把握できる破片とした。その他の口縁部破片については、該当すると思われる土器の型式名を記録し数的処理を行った。

胴部破片は原則として不掲載としたが、輪積痕・補修孔や特異な文様施文など、実際に際して必要と思われる破片について選別し、図化した。

底部破片については、全破片について、4分の1未満・4分の1以上～2分の1未満・2分の1以上・完形品の基準を設定して残存率の数的処理を行った。そのうち、完形品、破片でも底部圧痕・施文などが認められる破片や、特異な形状をしている破片は、選別し、図化した。

b. 石器

石器については、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、さらに一部資料について図化を行った。図化の基準は、以下に示すように器種によって若干異なる。

剥片石器については、原則として全点図化することにした。礫石器については、器種別に個々の分類の代表的な石器を掲載し、完形品を基本として全点の5割を一応の目安にした。ただし敲磨器B類（特殊磨石・半円状偏平打製石器）については、原則として欠損品については計測・分類のみとし、完形品のなかで各分類の代表となる石器について図化した。以上のように、各器種毎の分類を優先しているため、出土地点が不明瞭なものは別とするほかは、包含層出土の石器においても特に出土地点を考慮した選別は行っていない。

c. 土製品・石製品

土製品・石製品は全点を図化し、掲載した。

d. 金属製品

図化に耐えない鉄釘の一部を割愛した他は、全点を図化し、掲載した。

3. 掲載図版等について

(1) 掲載図版の構成

掲載図版は、遺構図版と遺物図版に分けています。遺構図版は、遺構の種類ごとに掲載した。遺物図版は、土器・土製品・石器・石製品・金属製品など遺物の種類ごとに遺構内・外含めて掲載した。各遺物図版中では、遺構毎、出土地点、層位を基準として掲載することにした。石器については、器種毎に分類したなかで、遺構毎・出土地点・層位を基準として掲載した。遺物を種類毎に分けることにより、遺跡全体の出土遺物の傾向が容易に把握できるよう意図した。一方で、各遺構の出土遺物の傾向を把握し易くするために遺構内の出土遺物については、遺構毎の出土遺物の集成図を遺構図版の後に付して利用の便を図った。

掲載遺物には観察表を付した。観察表の()内数値は残存値である。遺物図版の掲載番号は種類毎に以下のように連番とし、写真番号も図版と同一のものとした。

縄文土器：1～、土師器・須恵器：701～、土製品：801～、石器・石製品：1001～、金属製品：1401～

(2) 掲載図版の縮尺

a. 遺構図版

各遺構の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。住居跡の平・断面図：1/60、土坑の平・断面図：1/40、炉・土器埋設遺構：1/40。

b. 遺物図版

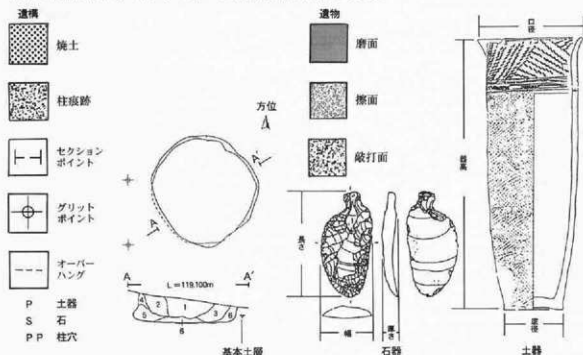
各遺物の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。立体土器：1/4、破片土器：1/3、土製品：1/2、剥片石器：1/2、礫石器：1/3、石製品：1/2、金属製品：1/3、銭貨：1/1。

c. 写真図版

遺構の写真図版は縮尺不定である。遺物の写真図版については、各図に縮尺を付した。

(3) 掲載図版の凡例

図中に使用した記号・スクリーントーンの凡例は次のとおりである。



【凡例】

IV. 検出遺構

検出された遺構について (第9・10・11図)

今回、検出された遺構は、縄文時代の竪穴住居跡1棟・土坑39基・陥し穴状遺構1基・焼土遺構2基・土器埋設遺構1基・溝状遺構5条・遺物包含層1箇所である。時期は前期と後期と考えられる。他に、平安時代の竪穴住居跡1棟・土坑1基・近世の掘立柱建物跡3棟・墓壇9基・土坑7基、時期不明土坑3基がある。

遺構の占地をみると、遺構が検出されたのはA区とC区であり、B・D区は沢跡で遺構は検出されていない。遺構毎の配置をみると、縄文時代の遺構はA区南端(段丘の縁)に集中し、平安時代の遺構は、遺跡のほぼ中央付近に位置し、近世の建物跡や墓壇は、各区域にまとまりをもって点在している。

以下、各遺構毎に概要を述べる。出土遺物については、IV. では、出土状況と出土した遺物の種類のみ記載しており、詳細については、V. 出土遺物で述べている。

1. 竪穴住居跡 (第12・13図、写真図版4・5)

RA01竪穴住居跡

遺構 (第12図、写真図版4)

(位置・検出状況) D9K09～K10グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

(重複関係) 住居北側でRD30土坑と重複し、住居中央付近でRD33土坑・RD26墓壇と重複する。新旧関係は、RD30・33土坑→RA01住居跡→RD26墓壇である。

(規模・平面形) 径4.6m×3.8mで、不整な楕円形を呈する。床面積は11.55㎡である。

(埋土・堆積状況) おもに黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

(壁・床面) 壁はV層を掘り込んでいるが、この付近はV層より上位が削平されており、本来の掘り込み面は不明である。残存する壁高は北壁で35cmで、外傾して立ち上がる。床面はVI層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。本住居はRD33土坑の埋没後に構築されているが、貼床の痕跡は確認できなかった。

(柱穴) 3基検出された。

(炉) 中央やや東寄りに地床が検出した。径48cm×44cmの不整な形状を呈し、焼土の厚さは最大6cmである。

遺物 (第46・106・162図、写真図版69・121)

(出土状況) 埋土から縄文土器・石器が出土している。

(土器) 縄文土器:破片(277)。

(石器) 蔽磨器B類(1220)。

時期 縄文時代前期～中期前葉と思われる。

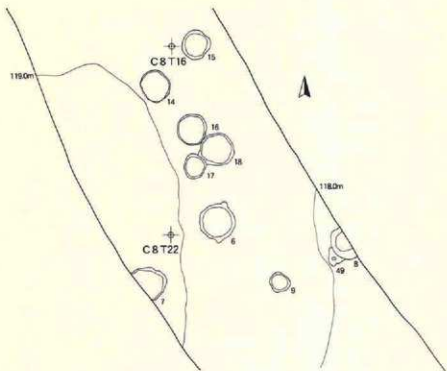
RA02竪穴住居跡

遺構 (第13図、写真図版5)

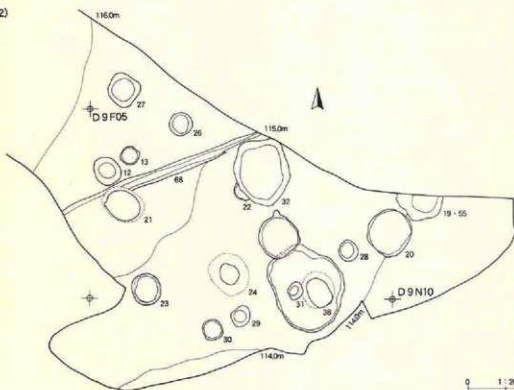
(位置・検出状況) C6G13～G16グリッドに位置する。Ⅲ～Ⅳ層で黒色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかり、検出したのは東側半分である。

(重複関係) なし。

(1)

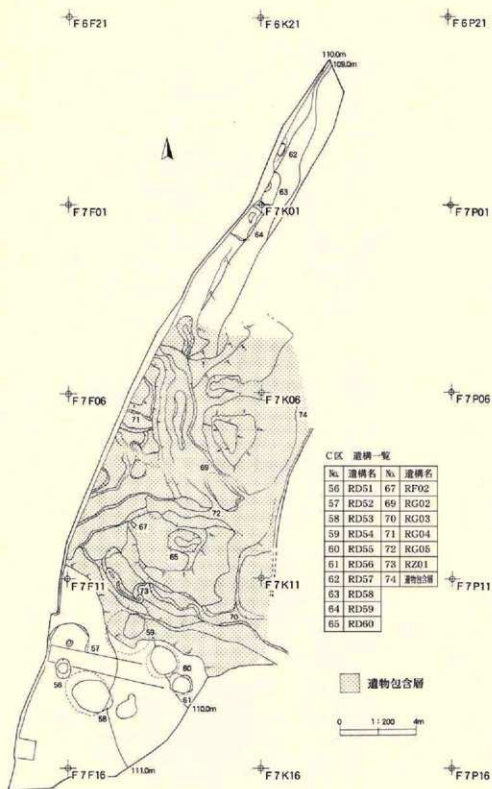


(2)



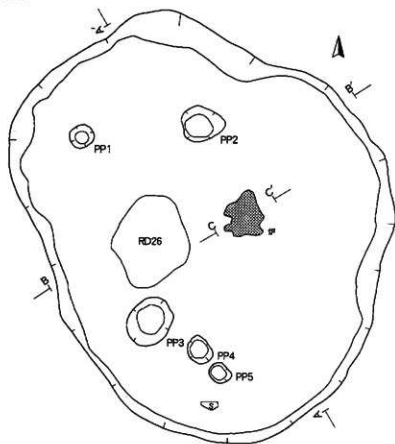
第10図 大鳥I遺跡遺構配置部分図A区(1)・(2)

(3)



第11図 大鳥I遺跡遺構配置部分図C区(3)

RA01



D9M09

D9M10

RA01

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	25×23	17	
PP2	46×38	28	
PP3	55×44	29	
PP4	30×23	24	
PP5	25×20	20	

D9K11

D9L11

D9M11

A L=114.700m



B L=114.600m



C L=114.100m C'

RA01 中 C-C'

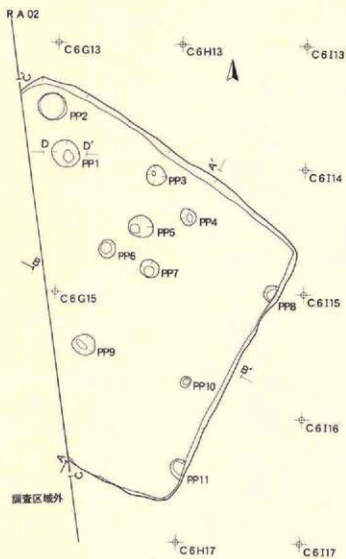
- 断面 色別 土質
- 1 7.5YR5/6 暗褐色 ローム 締まり中。
 - 2 7.5YR8/8 暗褐色 ローム 締まり中。
 - 3 10YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中。
 - 4 10YR4/3 に近い褐色 ローム 締まり中。

RA01 A-A'・B-B'

- 断面 色別 土質
- 1 10YR5/6 暗褐色 ローム 締まり中。
 - 2 7.5YR8/8 暗褐色 ローム 締まり中。
 - 3 7.5YR7/6 暗褐色 シルト 締まり中。表面浮石10%混入。
 - 4 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中。表面浮石10%混入。
 - 5 10YR3/4 黒褐色 シルト 締まり中。
 - 6 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中。表面浮石10%混入 (確認)。
 - 7 10YR4/3 に近い褐色 粘土質シルト 締まり中。表面浮石10%混入。
 - 8 10YR5/8 暗褐色 表面浮石 締まり中。
 - 9 10YR3/3 暗褐色 シルト 締まり中。
 - 10 7.5YR5/6 暗褐色 シルト 締まり中。
 - 11 7.5YR2/3 暗褐色 シルト 締まり中。
 - 12 10YR4/2 暗褐色 粘土質シルト 締まり中。(RD26埋土)

0 1:40 1m

第12図 RA01住居跡



RA02

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	42×40	58	
PP2	52×44	16	
PP3	32×30	51	
PP4	27×24	15	
PP5	40×35	49	
PP6	28×27	16	
PP7	32×28	45	
PP8	27×(20)	28	
PP9	40×35	36	
PP10	18×15	11	
PP11	30×(22)	35	



RA02-PP1 D-D'

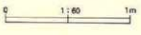
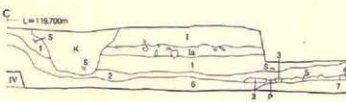
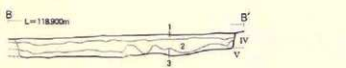
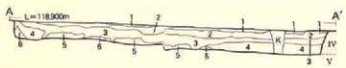
- 層位 色調 土質
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト 締まり強、表面浮石1%混入。
 - 2 10YR2/2 黒褐色と4R黄褐色の混土 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
 - 3 10YR1.7/1 黒色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
 - 4 10YR5/6 黄褐色 表面浮石 締まり中。
 - 5 10YR3/4 暗褐色 シルト 締まり中。
 - 6 10YR4/2 灰黒褐色と4R黄褐色の混土 シルト 締まり中、表面浮石20%混入。
 - 7 10YR2/1 黒色と4YR黄褐色の混土 シルト 締まり中。

RA02 A-A'-B-B'

- 層位 色調 土質
- 1 10YR3/1 黒褐色 火山灰 締まり中、表面浮石1%混入。
 - 2 10YR3/1 黒褐色 シルト 締まり中。
 - 3 10YR2/1 黒色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
 - 4 7.5YR2/1 黒色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
 - 5 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中。
 - 6 7.5YR6/6 暗色 表面浮石 締まり中。

RA02 C-C'

- 層位 色調 土質
- 1 7.5YR2/2 黒土 シルト 締まり中、表面浮石1%・炭化物1%混入。
 - 2 7.5YR1.7/1 黒色 シルト 締まり強、表面浮石1%・火山灰0%・粗面物1%混入。
 - 3 5YR4/4 にごり赤褐色 粘土?
 - 4 10YR4/1 暗褐色 火山灰 締まり強。
 - 5 10YR3/1 黒褐色 シルト 締まり中、火山灰混入。
 - 6 7.5YR2/2 暗褐色 シルト 締まり強、表面浮石10%混入。
 - 7 7.5YR3/1 黒色 シルト 締まり強、表面浮石10%混入。



第13図 RA02住居跡

〈規模・平面形〉5.1m×(4.5)mで、隅丸方形を呈するものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成されるが、一部、攪乱を受けている箇所がある。埋土中（4層）に火山灰が堆積しており、白頭山火山灰であるとの鑑定結果が得られている。

〈壁・床面〉壁高は北壁で40cmほどで、直立ぎみに立ち上がる。床面はV層を掘り込んでつくられており、平坦である。貼床の痕跡は確認されなかった。床面積は(18.22)㎡である。

〈柱穴〉11本検出されているが、配置は不明である。PP1は主柱穴と考えられる。

〈カマド〉検出されていない。焼土ブロックの分布から調査区域外で西カマドの可能性はある。

遺物（第46・106・138・160図、写真図版79・105・120）

〈出土状況〉埋土から縄文土器・土師器・須恵器・石器が出土している。

〈土器〉縄文土器：破片（278・279）、土師器：立体（701・702）；破片（703・704・705・706）、須恵器：破片（707・708）。

〈石器〉敲磨器A類（1212）。

時期 出土した遺物から、平安時代（10世紀ごろ）と思われる。

2. 土坑（第14～28図、写真図版6～17）

R D01土坑

遺構（第14図、写真図版6）

〈位置・検出状況〉C 8 T20～U20グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉新しい柱穴状土坑2基と重複し、切られている。

〈規模・形態〉開口部径188cm×180cm、底部径160cm、深さ46cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土と黒褐色土で構成される。自然堆積である。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D02土坑

遺構（第14図、写真図版6）

〈位置・検出状況〉C 8 S21～S22グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。南西側半分は調査区域外にかかる。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径180cm×(140)cm、底部径(175)cm×120cm、深さ20cmで、平面形は不整な円形を呈するものと推定される。底面はV層を掘り込み、南から北へ傾斜する。壁は底部付近の立ち上がり確認できるのみである。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・黒色土・暗褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D03土坑

遺構 (第14図、写真図版6)

〈位置・検出状況〉C 8 X20~X21グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側半分は調査区域外にかかり、西側半分の検出である。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径170cm×(100)cm、底部径100cm×(44)cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。深さ44cmである。底面はV層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は緩く湾曲する。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D04土坑

遺構 (第14図、写真図版6)

〈位置・検出状況〉C 8 V22~W22グリッドに位置する。V層で黒色土・黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径104cm×98cm、底部径86cm×80cm、深さ30cmである。平面形は不整形円形を呈する。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D05土坑

遺構 (第15図、写真図版7)

〈位置・検出状況〉D 9 A01~B01グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径128cm、底部径110cm×106cm、深さ60cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、やや湾曲する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D06土坑

遺構 (第15図、写真図版7)

〈位置・検出状況〉D 9 A02~A03グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径190cm×184cm、底部径150cm×148cm、深さ55cmである。平面形は円形を呈する。底面はほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第46・162図、写真図版121)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈石器〉砥石器B類(1221)。

〈その他〉炭化材が出土しており、樹種はケヤキであるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から縄文時代と推定されるが、詳細は不明である。

R D08土坑

遺構(第15図、写真図版7)

〈位置・検出状況〉D9 F06～G06グリッドに位置する。VI層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径100cm×96cm、底部径87cm×86cm、深さ8cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、やや凹凸をもつ。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D09土坑

遺構(第15図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉C8 S16～S17グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径164cm×154cm、底部径156cm×140cm、深さ50cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物(第46・106図、写真図版79)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片(280・281)。

時期 出土遺物から縄文時代後期と思われる。

R D10土坑

遺構(第16図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉C8 T15～T16グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径150cm×140cm、底部径120cm、深さ26cmである。平面形は不整な円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D11土坑

遺構 (第16図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉 C 8 T17～T18グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径164cm×158cm、底部径150cm×140cm、深さ26cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲し、副穴を1基もつ。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D12土坑

遺構 (第16図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉 C 8 T18～T19グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。北東側にR D13土坑が隣接する。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径130cm×120cm、底部径108×100cm、深さ42cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦で、副穴を1基もつ。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土・黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 炭化材が出土しており、樹種はケヤキであるとの鑑定結果を得ている。

時期 時期を決定できる遺物はないが、縄文時代後期の可能性がある。

R D13土坑

遺構 (第16図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉 C 8 T18～U18グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。南西側にR D12土坑が隣接する。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径190cm×170cm、底部径150cm、深さ38cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は底部付近の立ち上がりが僅かに確認できるのみである。

〈埋土・堆積状況〉 黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D14土坑

遺構 (第17図、写真図版8)

〈位置・検出状況〉 D 9 N07～O07グリッドに位置する。北側は調査区域外にかかる。

〈重複関係〉 R D14土坑→R D50土坑の関係がある。

〈規模・形態〉 開口部径243cm×(146)cm、底部径210cm×(138)cm、深さ70cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はV層を掘り込んでつくられ、西から東へ傾斜する。壁は外傾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 黒色土・黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第46・106図、写真図版79)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (282)。

時期 出土遺物から縄文時代と推定されるが詳細は不明である。

R D 15土坑

遺構 (第17図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉D 9 M08～N08グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径235cm×230cm、底部径230cm×200cm、深さ74cmである。平面形は不整な円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁際に幅5cm、深さ2cmの周溝が廻り、ほぼ全周する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・暗褐色土・褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第46・58・106・140・150・162図、写真図版79・106・112・121)

〈出土状況〉埋土からの出土である。

〈土器〉縄文土器：立体 (1)、破片 (283・284・285)。

〈石器〉石鏃 (1001)、石筥 (1139)、敲磨器B類 (1222・1223)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D 16土坑

遺構 (第18図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉D 9 G09～G10グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径170cm×154cm、底部径150cm×140cm、深さ90cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲する。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D 17土坑

遺構 (第18図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉D 9 I07～J07グリッドに位置する。Ⅵ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉東側でR D 27土坑と重複し、新旧関係はR D 27土坑→R D 17土坑である。

〈規模・形態〉開口部径121cm×120cm、底部径108cm×107cmほどで、平面形は円形を呈する。深さは22cmである。底部はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに外傾する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D 18土坑

遺構 (第18図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉 D 9 F 07～G 07グリッドに位置する。Ⅶ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 北西端で、新しい柱穴状土坑と、北側でR G 01溝状遺構と重複し、切られている。
〈規模・形態〉 開口部径180cm×150cm、底部径223cm×171cm、深さ58cmである。平面形は楕円形を呈する。底部はⅦ層を掘り込んでつくられ、やや凹凸がある。壁は内湾し、断面形はフラスコ状を呈する。
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・暗褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。
〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D 19土坑

遺構 (第18図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉 D 9 I 09グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 なし。
〈規模・形態〉 開口部径140cm×124cm、底部径230cm×190cm、深さ90cmである。平面形は楕円形を呈する。底部はⅤ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾し、断面形はフラスコ状を呈する。
〈埋土・堆積状況〉 おもに黄褐色土・暗褐色土で、上位と下位に黒色土が入る。人為堆積である。

遺物 (第46・58図、写真図版28)

〈出土状況〉 胴部下半の土器が、埋土上位、土坑の中央付近から正立で出土している。
〈土器〉 縄文土器：立体 (2)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。墓塚の可能性もある。

R D 20土坑

遺構 (第19図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉 D 9 C 02グリッドに位置する。Ⅴ層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 なし。
〈規模・形態〉 開口部径210cm×150cm、底部径135cm×120cm、深さ59cmである。平面形は不整形を呈する。底部はⅤ層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒色土・黒褐色土で構成される。人為堆積と思われる。
〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D 27土坑

遺構 (第19図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉 D 9 J 06～J 07グリッドに位置する。Ⅴ層で黄褐色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 R D 17土坑と重複し、新旧関係は、R D 27土坑→R D 17土坑である。また、新しい柱穴状土坑が埋土を切ってつくられていた。底部にのみ痕跡を遺している。
〈規模・形態〉 開口部径351cm×287cm、底部径283cm×222cm、深さ104cmである。平面形は不整な楕円形

を呈する。底面はIV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黄褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D28土坑

遺構 (第20図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉C 8 N04～N05グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径180cm×155cm、底部径160cm×132cm、深さ56cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はVII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・暗褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と思われる。

R D29土坑

遺構 (第20図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉C 8 N02～N03グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径123cm×90cm、底部径95cm×68cm、深さ24cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられており、西から東に緩く傾斜する。

〈埋土・堆積状況〉黒色土の単層である。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D30土坑

遺構 (第20図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉D 9 J08～K08グリッドに位置する。V～VI層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉RA01住居跡と重複する。新旧関係はR D30土坑→RA01住居跡である。北端で新しい柱穴状土坑に切られている。

〈規模・形態〉開口部径210cm、底部は径210cm×196cm、深さ106cmである。平面形は円形を呈する。底面はVII層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第46・106・154・162図、写真図版79・116・121)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (287)。

〈石器〉敵磨器A類 (1164)・敵磨器B類 (1224・1225)。

時期 出土遺物と遺構の重複関係から縄文時代前期と推定される。

R D31土坑

遺構 (第21図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉 C 6 I 23～J 23グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径140cm×130cm、底部径110cm×90cm、深さ62cm。平面形は不整な円形を呈する。
底面はVI層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D32土坑

遺構 (第21図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉 C 6 I 21～J 21グリッドに位置する。IV層で黒色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径140cm×118cm、底部径125cm×100cm、深さ32cmである。平面形は円形を呈する。
底面はV層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒色土・黒褐色土で構成される。埋土2層に灰白色の火山灰が入り、十和田a降下火山灰であるとの鑑定結果を得ている。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、平安時代と推定される。

R D33土坑

遺構 (第21図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉 D 9 K 09～L 09グリッドに位置する。VII層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 R A 01住居跡と重複する。新旧関係はR D 33土坑→R A 01住居跡である。

〈規模・形態〉 開口部径160cm×110cm、底部径192cm×175cm、深さ80cmである。平面形は円形を呈する。
底面はVII層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黄褐色土・褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、遺構の重複関係から縄文時代前期と推定される。

R D34土坑

遺構 (第21図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉 C 7 L 15～M 15グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径147cm×120cm、底部は径82cm×58cm、深さ64cmである。平面形は不整な円形を呈する。
底面はVII層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

(出土遺物) なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

R D35土坑

遺構 (第22図、写真図版12)

(位置・検出状況) C7 J16~K17グリッドに位置する。Ⅶ層でぶい黄褐色土の広がりとして検出された。
(重複関係) なし。

(規模・形態) 開口部径91cm×82cm、底部径79cm×67cm、深さ30cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

(埋土・堆積状況) ぶい黄褐色土・褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

(出土遺物) なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

R D36土坑

遺構 (第22図、写真図版12)

(位置・検出状況) C7 K17グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

(重複関係) なし。

(規模・形態) 開口部径140cm×103cm、底部径115cm×81cm、深さ50cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、傾斜する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

(埋土・堆積状況) 黒色土・褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

(出土遺物) なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

R D37土坑

遺構 (第22図、写真図版12)

(位置・検出状況) C7 K16~K17グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

(重複関係) なし。

(規模・形態) 開口部径136cm×112cm、底部径100cm×80cm、深さ15cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は底部付近の立ち上がりが僅かに確認できる。

(埋土・堆積状況) おもに黒色土で構成される。人為堆積と思われる。

(出土遺物) なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

R D38土坑

遺構 (第22図、写真図版12)

(位置・検出状況) C7 K15グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかる。

(重複関係) R D40土坑と重複する。新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉開口部径172cm×(100)cm、底部径164cm×(90)cm、深さ44cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ゆるく湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、近世以降と推定される。

R D 39土坑

遺構 (第22図、写真図版12)

〈位置・検出状況〉C 7 J 12グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径124cm×(54)cm、底部径110cm×(47)cm、深さ20cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

遺物 (第46・140図、写真図版106)

〈石器〉石鏃 (1002)。

時期 縄文時代の遺物が出土しているが、遺構の状況から近世以降と思われる。

R D 40土坑

遺構 (第22図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉C 7 K 15グリッドに位置する。Ⅴ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R D 38土坑と重複する。新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉開口部径122cm×(92)cm、底部径120cm×(86)cm、深さ21cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、西から東へ傾斜する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

遺物 (第56・186図、写真図版140)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈金属製品〉鉄釘 (1406・1407・1408)。

〈その他〉炭化材が出土しており、樹種はナラであるとの鑑定結果を得ている。

時期 近世以降と思われる。墓塚の可能性もある。

R D 41土坑

遺構 (第23図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉C 8 O 07グリッドに位置する。Ⅴ層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R B 01掘立柱建物跡-PP3・6と重複し、切られる。R D 43との新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉開口部径200cm×(200)cm、底部は径90cm×(90)cm、深さ90cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、東から西へ傾斜する。壁は外傾する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・にぶい褐色土で構成される。人為堆積と思われる。

〈出土物〉なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D42土坑

遺構 (第23図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉 C 8 N09～O11グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 R B01-PP12・PP13と重複する。新旧関係はR D42土坑→R B01建物跡-PP12・PP13である。
〈規模・形態〉 開口部径370cm×300cm、底部は径325cm×242cm、深さ66cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、西から東に傾斜する。壁は外傾する。
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・黒色土・明黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。
〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D43土坑

遺構 (第23図、写真図版13)

〈位置・検出状況〉 C 8 N07～O07グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 R B01掘立柱建物跡-PP3・6と重複し、切られる。R D41との新旧関係は不明である。
〈規模・形態〉 開口部径230cm×(130)cm、底部は径170cm×(80)cm、深さ66cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾する。
〈埋土・堆積状況〉 おもに褐色土・明褐色土で構成される。人為堆積と思われる。
〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

R D44土坑

遺構 (第24図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉 C 8 X21グリッドに位置する。V層で黒色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 R D03土坑と重複する。新旧関係は、R D44土坑→R D03土坑である。
〈規模・形態〉 開口部径70cm×(60)cm、底部は径18cm、深さ30cmである。平面形は不整形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、緩く傾斜する。壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒色土で構成される。自然堆積と思われる。
〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明である。

R D45土坑

遺構 (第24図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉 C 8 M15グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複関係〉 なし。
〈規模・形態〉 開口部径120cm×98cm、底部は径70cm×34cm、深さ40cmである。平面形は不整形な楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土の単層である。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明である。

R D47土坑

遺構（第24図、写真図版14）

〈位置・検出状況〉 C 6 F08グリッドに位置する。V層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径92cm×84cm、底部は径62cm×36cm、深さ34cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、湾曲する。壁は外傾して立ち上る。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土の単層である。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明である。

R D49土坑

遺構（第24図、写真図版14）

〈位置・検出状況〉 E 2 H06～107グリッドに位置する。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径176cm×144cm、底部は径192cm×162cm、深さ96cmである。平面形は楕円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上る。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒色土・黒褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物（第56・106・160図、写真図版79・120）

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：破片（288）。

〈石器〉 敲磨器A類（1210）。

時期 縄文時代の遺物が出土しているが、詳細は不明で、近世以降の可能性もある。

R D50土坑

遺構（第17図、写真図版8）

〈位置・検出状況〉 D 9 N07～O07グリッドに位置する。北側半分は調査区域外にかかり、南側半分の検出である。R D14土坑の精査の後、断面・平面の観察から重複遺構として認識したものである。

〈重複関係〉 R D14土坑→R D50土坑の関係がある。

〈規模・形態〉 開口部径160cm、底部径130cm×100cm、深さ92cmである。平面形は円形を呈するものと推定され、底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾し、断面形はフラスコ状である。

〈埋土・堆積状況〉 黒色土・黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉 なし。

時期 重複関係と出土遺物から、縄文時代と推定される。

R D52土坑

遺構 (第25図、写真図版15・17)

〈位置・検出状況〉 F7E12～F12グリッドに位置する。Ⅶ層で暗褐色土の広がりとして検出された。南側は、拭掘溝により掘られている。

〈重複関係〉 南側でR D51墓壇と重複し、新旧関係はR D52土坑→R D51墓壇である。

〈規模・形態〉 開口部径190cm×116cm、底部径190cm×(112)cm、深さ86cmである。平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土・褐色土・にぶい灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第46・106図、写真図版79)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：破片 (289・290)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と推定される。

R D53土坑

遺構 (第25図、写真図版15・16・17)

〈位置・検出状況〉 F7F13～F14グリッドに位置する。Ⅶ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径216cm×174cm、底部径240cm×210cm、深さ106cmで、平面形は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾して立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土・黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第47・58・59・106・107・142・147・157・163図、写真図版28・29・79・80・107・110・118・122)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：立体 (3～10)、破片 (291～300)。

〈石器〉 石匙 (1043)、不定形石器 (1100・1101・1102)、敵磨器A類 (1185)、敵磨器B類 (1226・1227・1228・1229・1230・1231)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D54土坑

遺構 (第26図、写真図版15・17)

〈位置・検出状況〉 F7G12グリッドに位置する。Ⅶ層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 開口部径184cm×110cm、底部径230cm×216cm、深さ174cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦であるが、中央付近に径42cm×32cmの副穴をもち、周囲に幅約10cm、深さ2cmほどの溝状の施設を3方向に伴う。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第48・59・60・107・108・147・164図、写真図版29・30・80・110・122・123)

〔出土状況〕埋土から出土している。

〔土器〕縄文土器：立体（11～18）、破片（301～312）。

〔石器〕不定形石器（1103）、敵磨器B類（1232・1233・1234）。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D55土坑

遺構（第27図、写真図版15・17）

〔位置・検出状況〕F7H12～H13グリッドに位置する。Ⅷ層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側にR D56土坑が隣接する。

〔重複関係〕なし。

〔規模・形態〕開口部径164cm×130cm、底部は径170cm×160cm、深さ94cm。平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〔埋土・堆積状況〕おもに黒褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物（第48・60・108・140・142・147・164図、写真図版30・80・81・106・107・110・123）

〔出土状況〕埋土から出土している。

〔土器〕縄文土器：立体（19・20）、破片（313～321）。

〔石器〕石鏃（1003）、石匙（1044）、不定形石器（1104）・敵磨器B類（1235・1236）。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D56土坑

遺構（第27図、写真図版16・17）

〔位置・検出状況〕F7H13～I13グリッドに位置する。Ⅷ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側にR D55土坑が隣接する。

〔重複関係〕なし。

〔規模・形態〕開口部径116cm×100cm、底部は径98cm×96cm、深さ38cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は内湾しながら立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕おもに黒褐色土・暗褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物（第49・61・109図、写真図版31・81）

〔出土状況〕埋土から出土している。

〔土器〕縄文土器：立体（21）、破片（322～325）。

時期 出土遺物から縄文時代前期と推定される。

R D57土坑

遺構（第27図、写真図版16・17）

〔位置・検出状況〕F6K24グリッドに位置する。Ⅷ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかり、東側の大部分は削平を受けている。

〔重複関係〕なし。

〈規模・形態〉開口部径72cm×(28)cm、底部は径138cm×(24)cm、深さ118cmで、平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、平坦である。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土・灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第49・109図、写真図版81)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (326・327)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D58土坑

遺構 (第28図、写真図版16・17)

〈位置・検出状況〉F 6 K25グリッドに位置する。Ⅷ層で黒色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかり、東側の大部分は削平を受けている。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径80cm、底部は径180cm×(60)cm、深さ103cmで、平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、中央付近に径55×19cm、深さ8cmの副穴を伴う。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黄褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第49・109図、写真図版81)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (328・329)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D59土坑

遺構 (第28図、写真図版16・17)

〈位置・検出状況〉F 7 J01グリッドに位置する。Ⅷ層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側半分は調査区域外にかかり、東側の大部分は削平を受けている。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径170cm、底部は径187cm×(62)cm、深さ98cmで、平面形は円形を呈するものと推定される。底面はⅧ層を掘り込んでつくられ、中央付近が僅かに窪む。壁は内湾しながら立ち上がり、断面形はフラスコ状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土・にぶい黄褐色土・灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

〈出土遺物〉なし。

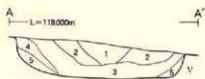
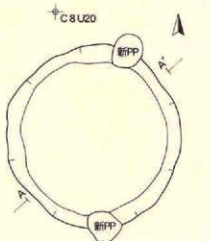
時期 出土遺物はないが、縄文時代前期と推定される。

R D60土坑

遺構 (第28図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉F 7 H09グリッドに位置する。Ⅷ層で黒色土の広がりとして検出された。

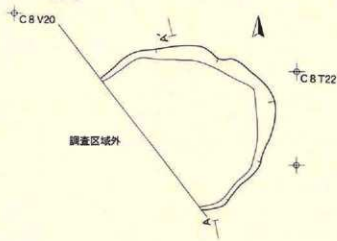
RD 01



RD01 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 灰褐色 シルト	粘まり中、表面浮石10%混入。
2	10YR2/1 灰色 シルト	粘まり中、表面浮石1%混入。
3	7.5YR3.7/1 灰色 シルト	粘まり中、表面浮石5%混入。
4	7.5YR2/2 灰褐色 シルト	粘まり中、表面浮石30%混入。
5	7.5YR4.4 褐色 凝灰浮石	粘まり中 40%混入。

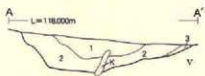
RD 02



RD02 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/1 灰褐色 シルト	粘まり中、表面浮石10%混入。
2	10YR2/1 灰色 シルト	粘まり中、表面浮石1%混入。
3	7.5YR2/2 灰褐色 シルト	粘まり中、表面浮石10%混入。
4	7.5YR3/3 暗褐色 シルト	粘まり中、表面浮石50%混入。

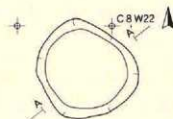
RD 03



RD03 A-A'

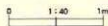
層位	色調	土性
1	10YR2/1 灰色 シルト	粘まり中、表面浮石1%混入。
2	7.5YR3/1 灰褐色 シルト	粘まり中、表面浮石10%混入。
3	10YR2/3 暗褐色 シルト	粘まり中。

RD 04



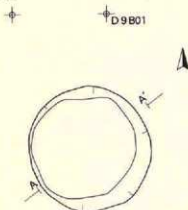
RD04 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/1 灰褐色 シルト	粘まり中、表面浮石10%混入。
2	7.5YR3/1 灰褐色 シルト	粘まり中、表面浮石10%混入。
3	7.5YR4/4 褐色 シルト	表面浮石 粘まり中、黄色土混入 (約5%)。

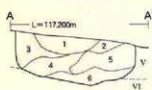


第14図 RD01・02・03・04土坑

RD 05



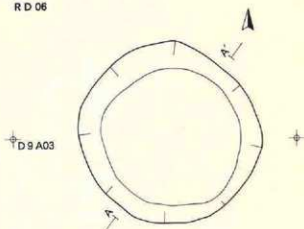
D9B01



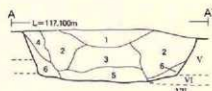
RD05 A-A'

層位	色調	土質
1	TJYR2/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
2	TJYR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石5%混入。
3	10YR2/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石5%混入。
4	10YR1.7/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石11%混入。
5	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石20%混入。
6	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。

RD 06



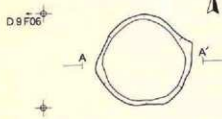
D9A03



RD06 A-A'

層位	色調	土質
1	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
2	10YR1.7/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
3	10YR2/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
4	TJYR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
5	TJYR2/3	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石5%混入。
6	TJYR1/4	灰色 表面浮石 締まり中 (階上土)。

RD 08



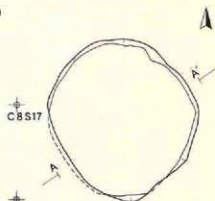
D9F06



RD08 A-A'

層位	色調	土質
1	TJYR2/1	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。

RD 09

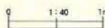


C8S17



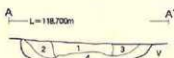
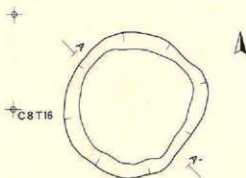
RD09 A-A'

層位	色調	土質
1	10YR1.7/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
2	10YR2/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
3	10YR2/1	灰色 シルト 締まり中、中継土層+混入。
4	TJYR2/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
5	TJYR1/1	灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
6	TJYR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。



第15図 RD05・06・08・09土坑

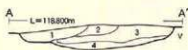
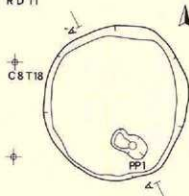
RD 10



RD10 A-A'

- 層位 色調 土質
 1 7.5YR2/1 黒色 シルト 締まり中
 2 2.5YR3/3 緑オリーブ褐色 シルト 締まり中、中粒火山灰付混入
 3 2.5YR4/3 オリーブ褐色 シルト 締まり中、中粒火山灰付混入
 4 7.5YR1.7/1 黒色 シルト 締まり中

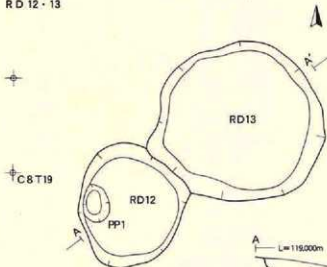
RD 11



RD11 A-A'

- 層位 色調 土質
 1 10YR2/1 灰色 シルト 締まり中、表面浮石15%混入
 2 7.5YR2/1 黒色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入
 3 10YR1.7/1 灰色 シルト 締まり中、表面浮石15%混入
 4 7.5YR2/1 黒色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入

RD 12・13

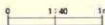


RD11

PPNo	径(cm)	深さ(cm)	備考
PP1	25×23	28	

RD12

PPNo	径(cm)	深さ(cm)	備考
PP1	41×39	15	



RD12 A-A'

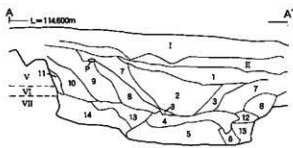
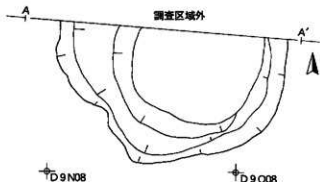
- 層位 色調 土質
 1 7.5YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中、表面浮石20%混入
 2 10YR2/1 灰色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入
 3 7.5YR1.7/1 黒色 シルト 締まり中、表面浮石13%混入

RD13 A-A'

- 層位 色調 土質
 1 7.5YR1.7/1 黒褐色 シルト 締まり中、表面浮石15%混入
 2 7.5YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中、表面浮石20%混入
 3 7.5YR1.7/1 黒色 シルト 締まり中、表面浮石11%混入

第16図 RD10・11・12・13土坑

RD 14 · 50

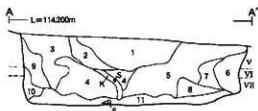
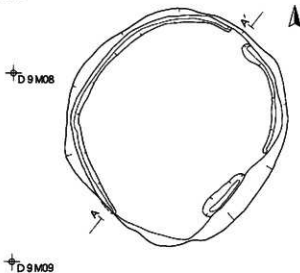


RD14 · 50 A-A'

層位	色調	土性
1	7.5YR2/1	黄褐色 シルト 粘り中、焼燻礫石1%混入。
2	7.5YR2/1	黄褐色 シルト 粘り中、焼燻礫石20%混入。
3	10YR2/2	黄褐色 シルト 粘り中。
4	10YR2/2	黄褐色 シルト 粘り中。
5	7.5YR4/6	黄褐色 焼燻礫石 粘り中 (腐葉土)。
6	10YR4/6	黄褐色 焼燻礫石 粘り中、炭屑色土混入。
7	10YR2/2	黄褐色 シルト 粘り中。
8	10YR2/1	黄褐色 シルト 粘り中。
9	10YR2/3	黄褐色 シルト 粘り中。
10	7.5YR2/2	黄褐色 シルト 粘り中。
11	7.5YR4/6	黄褐色 粘土質シルト 粘り中。
12	10YR5/6	黄褐色 焼燻礫石 粘り中 (腐葉土)。
13	10YR4/3	明黄褐色 コーム、粘り中 (焼燻礫石混入)。
14	10YR4/6	黄褐色 コーム、粘り中 (焼燻礫石混入)。

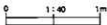
層位1~5層: RD14 層位7~14: RD50

RD 15



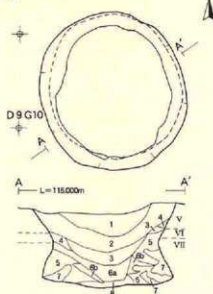
RD15 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/1	黄褐色 シルト 粘り中、焼燻礫石1%混入。
2	2.5YR2/2	黄褐色 シルト 粘り中、焼燻礫石2%混入。
3	2.5YR2/2	暗オリーブ褐色 シルト、粘り中、焼燻礫石1%混入。
4	2.5YR4/3	オリーブ褐色 コーム、粘り中、焼燻礫石1%混入。
5	10YR2/3	黄褐色 シルト 粘り中、炭屑色土混入。
6	7.5YR4/6	黄褐色 焼燻礫石 粘り中 (腐葉土)。
7	10YR2/2	黄褐色 シルト 粘り中。
8	7.5YR2/1	黄褐色 シルト 粘り中。
9	10YR5/6	黄褐色 焼燻礫石 粘り中 (腐葉土)。
10	10YR4/3	にじみ黄褐色 焼燻礫石 粘り中 (腐葉土)。
11	10YR2/2	黄褐色 シルト 粘り中。



第17図 RD14 · 15 · 50土坑

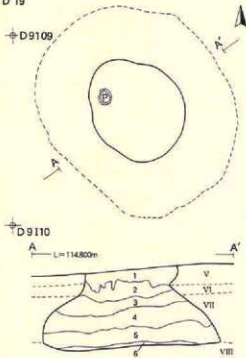
RD 16



RD16 A-A'

層位	色調	土質
1	7.2YR2/1 黒色	シルト 緑まり中、南面浮石1%混入。
2	10YR2/2 黄褐色	シルト 緑まり中、南面浮石10%混入。
3	10YR2/1 黒色	シルト 緑まり中、南面浮石10%混入。
4	7.5YR5/8 黄褐色	南面浮石 緑まり中 (緑まり土)。
5	10YR5/6 黄褐色	南面浮石 緑まり中 (緑まり土)。
6a	10YR1.2/1 黒色	シルト 緑まり中、南面浮石1%混入。
6b	10YR1.7/1 黒色	シルト 緑まり中。
7	10YR4/3 じぶら黄褐色	南面浮石 緑まり中 (緑まり土)。
8	5YR3/1 黄褐色	シルト 緑まり中。

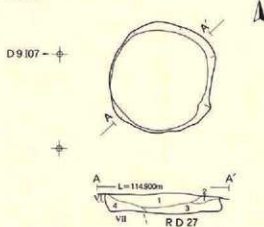
RD 19



RD19 A-A'

層位	色調	土質
1	10YR2/1 黒色	シルト 緑まり中、南面浮石1%混入。
2	10YR5/6 黄褐色	ローム 緑まり中、南面浮石1%混入。
3	10YR4/6 黄褐色	ローム 緑まり中。
4	10YR2/4 黄褐色	粘土質シルト 緑まり中、南面浮石1%混入。
5	10YR2/2 黄褐色	シルト 緑まり中、南面浮石1%混入。
6	10YR1.2/1 黒色	シルト 緑まり中、南面浮石混入。

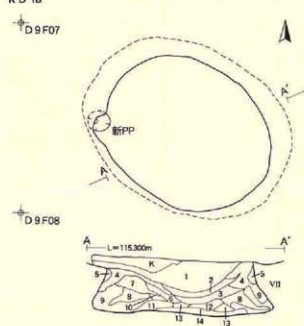
RD 17



RD17 A-A'

層位	色調	土質
1	10YR2/1 黒色	シルト 緑まり中、南面浮石20%混入。
2	10YR2/4 黄褐色	ローム 緑まり中、南面浮石1%混入、砂礫混入。
3	10YR2/3 黄褐色	シルト 緑まり中、南面浮石10%混入。
4	10YR4/3 じぶら黄褐色	ローム 緑まり中、南面浮石1%混入、砂礫混入。

RD 18



D9F08

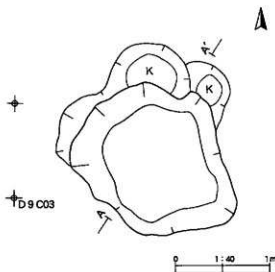
RD18 A-A'

層位	色調	土質
1	10YR3/1 黄褐色	シルト 緑まり中。
2	10YR1.7/1 黒色	シルト 緑まり中。
3	7.5YR2/2 黄褐色	シルト 緑まり中。
4	10YR5/6 黄褐色	南面浮石 緑まり中 (緑まり土)。
5	10YR4/6 黄褐色	ローム 緑まり中。
6	7.5YR3/1 黄褐色	シルト 緑まり中。
7	7.5YR3/2 黄褐色	シルト 緑まり中。
8	10YR3/2 黄褐色	シルト 緑まり中。
9	10YR4/3 じぶら黄褐色	ローム 緑まり中。
10	10YR3/4 黄褐色	南面浮石 緑まり中 (緑まり土)。
11	7.5YR4/4 黄褐色	南面浮石 緑まり中 (緑まり土)。
12	10YR3/3 黄褐色	ローム 緑まり中。
13	10YR2/2 黄褐色	シルト 緑まり中。
14	7.5YR1.7/1 黒色	シルト 緑まり中。

0 1:40 1m

第18図 RD16・17・18・19土坑

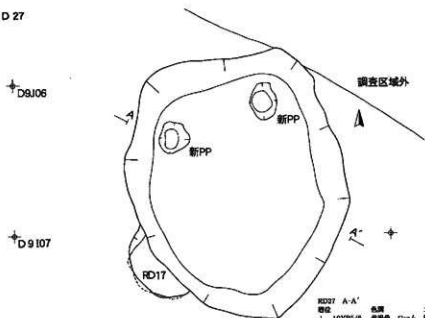
RD 20



RD20 A-A'

標高	色相	土質
1	10YR2/2	灰色 シルト 雑草り中。
2	7.5YR5/6	暗褐色 腐敗浮石 雑草り中。
3	7.5YR1.5/1	灰色 シルト 雑草り中。褐色土塊入。
4	10YR2/3	灰褐色 シルト 雑草り中。
5	7.5YR3/1	灰褐色 シルト 雑草り中。
6	7.5YR5/8	暗褐色 腐敗浮石 雑草り中。
7	7.5YR2/1	灰褐色 シルト 雑草り中。
8	10YR3/1	灰褐色 シルト 雑草り中。
9	7.5YR2/8	暗褐色 腐敗浮石 雑草り中。
10	10YR2/2	灰褐色 シルト 雑草り中。
11	10YR4/4	褐色 ローム 雑草り中。
12	10YR3/1	灰褐色 ローム 雑草り中。

RD 27

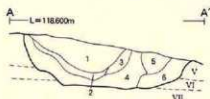
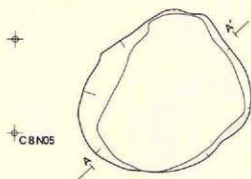


RD27 A-A'

標高	色相	土質
1	10YR5/6	灰褐色 ローム 雑草り中。
2	10YR3/8	暗褐色 腐敗浮石 雑草り中。
3	10YR4/6	褐色 シルト 雑草り中。
4	2.5YR6/2	灰褐色 腐敗浮石 雑草り中。
5	7.5YR4/4	褐色 シルト 雑草り中。
6	7.5YR4/9	褐色 シルト 雑草り中。
7	10YR4/5	灰褐色 シルト ローム 雑草り中。
8a	10YR4/6	褐色 腐敗浮石 雑草り中。
8b	10YR5/4	にぶい黄褐色 腐敗浮石 雑草り中。
8c	2.5YR5/4	灰褐色 腐敗浮石 雑草り中。
9	10YR2/2	灰褐色 シルト 雑草り中。
10	2.5YR4/2	暗褐色 ローム 雑草り中。
11	2.5YR4/3	オリーブ褐色 ローム 雑草り中。
12	10YR4/5	灰褐色 ローム 雑草り中。
13	7.5YR5/6	暗褐色 シルト 雑草り中。
14	2.5YR4/4	オリーブ褐色 砂質 雑草り中。
15	2.5YR4/2	オリーブ褐色 2.5YR2/1 灰褐色 シルト 雑草り中。
16	10YR2/3	灰色 シルト 雑草り中。
17	7.5YR4/3	褐色 シルト 雑草り中。
18a	10YR4/6	褐色 ローム 雑草り中。
18b	10YR5/8	暗褐色 ローム 雑草り中。
19	2.5YR5/3	黄褐色 砂質 雑草り中。
20	10YR5/2	にぶい黄褐色 ローム 雑草り中。
21	2.5YR4/3	オリーブ褐色 2.5YR2/1 灰褐色 シルト 雑草り中。
22a	10YR3/3	にぶい黄褐色 ローム 雑草り中。
22b	10YR5/4	にぶい黄褐色 ローム 雑草り中。
22c	7.5YR4/4	褐色 シルト 雑草り中。

第19図 RD20・27土坑

RD 28

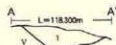
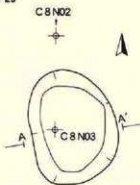


RD28 A-A'

層位

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|-----------------|---------------------|
| 1 | 10YR3/1 灰褐色 | シルト 締まり中、表面浮石10%混入。 |
| 2 | 10YR2/3 黄褐色 | シルト 締まり中、表面浮石10%混入。 |
| 3 | 7.5YR2/3 暗緑褐色 | シルト 締まり中。 |
| 4 | 7.5YR4/6 褐色 | 表面浮石 締まり中(砂漠土)。 |
| 5 | 10YR2/3 暗褐色 | 表面浮石 締まり中(砂漠土)。 |
| 6 | 10YR4/3 紅土(黄褐色) | ローム 締まり中。 |

RD 29



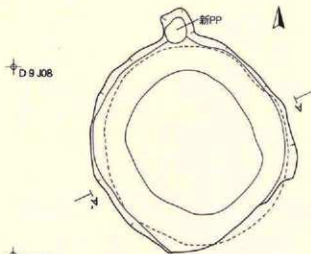
RD29 A-A'

層位

色調 土質

- | | | |
|---|---------------|--------------------|
| 1 | 7.5YR1.7/1 黒色 | シルト 締まり中、表面浮石1%混入。 |
|---|---------------|--------------------|

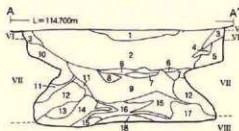
RD 30



D 9 J08

D 9 J09

0 1:40 1m



RD30 A-A'

層位

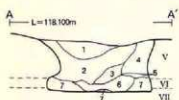
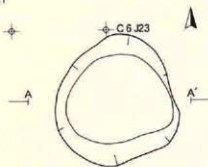
色調

土質

- | | | |
|----|-----------------|---------------------|
| 1 | 10YR3/2 灰褐色 | シルト 締まり中、表面浮石10%混入。 |
| 2 | 10YR2/2 灰褐色 | シルト 締まり中、表面浮石10%混入。 |
| 3 | 7.5YR3/1 黄褐色 | シルト 締まり中、表面浮石10%混入。 |
| 4 | 10YR5/8 黄褐色 | 表面浮石 締まり中(砂漠土)。 |
| 5 | 7.5YR4/6 褐色 | ローム 締まり中、表面浮石50%混入。 |
| 6 | 2.5YR4/6 オリーブ褐色 | ローム 締まり中、表面浮石1%混入。 |
| 7 | 10YR3/3 暗褐色 | ローム 締まり中、表面浮石1%混入。 |
| 8 | 10YR2/1 黒色 | シルト 締まり中、表面浮石50%混入。 |
| 9 | 7.5YR1.7/1 黒色 | シルト 締まり中、表面浮石20%混入。 |
| 10 | 10YR5/6 黄褐色 | 表面浮石 締まり中(砂漠土)。 |
| 11 | 10YR6/8 暗褐色 | 表面浮石 締まり中(砂漠土)。 |
| 12 | 10YR5/8 黄褐色 | ローム 締まり中、表面浮石1%混入。 |
| 13 | 10YR3/6 暗黄褐色 | 表面浮石 締まり中(砂漠土)。 |
| 14 | 10YR5/8 黄褐色 | ローム 締まり中、表面浮石1%混入。 |
| 15 | 7.5YR5/8 暗褐色 | 表面浮石 締まり中(砂漠土)。 |
| 16 | 7.5YR2/1 黒色 | シルト 締まり中、表面浮石10%混入。 |
| 17 | 10YR5/6 黄褐色 | ローム 締まり中、表面浮石1%混入。 |
| 18 | 10YR2/1 黒色 | シルト 締まり中。 |

第20図 RD28・29・30土坑

RD 31



RD31 A-A'

層位

色調

土性

1 10YR2/3

2 10YR3/2

3 10YR4/3

4 10YR2/8

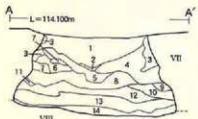
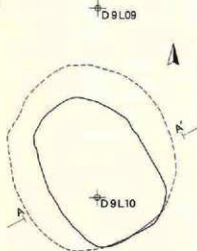
5 10YR3/4

6 10YR4/4

7 10YR3/2

- 土性
 1 灰褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石10%混入。
 2 灰褐色-10YR3/3 暗褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石10%混入。
 3 10YR4/3 灰褐色 シルト質 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 4 暗褐色 高鉄浮石 締まり中 (崩壊土)。
 5 暗褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 6 褐色 ローム 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 7 10YR3/2 暗褐色-10YR3/3 暗褐色 ローム 締まり中。

RD 33



RD33 A-A'

層位

色調

土性

1 10YR2/3

2 10YR3/8

3 10YR3/6

4 10YR3/1

5 10YR2/2

6 10YR3/6

7 10YR2/8

8 10YR3/7

9 10YR3/8

10 7.5YR2/1

11 7.5YR2/2

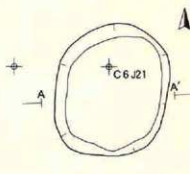
12 7.5YR3/1

13 10YR4/4

14 10YR3/2

- 土性
 1 灰褐色-10YR2/3 黄褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石10%混入。
 2 暗褐色 高鉄浮石 締まり中 (崩壊土)。
 3 灰褐色 ローム 締まり中。
 4 灰褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 5 暗褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石10%混入。
 6 暗褐色 ローム 締まり中、灰褐色土混入。
 7 暗褐色 高鉄浮石 締まり中 (崩壊土)。
 8 灰褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 9 暗褐色 高鉄浮石 締まり中 (崩壊土)。
 10 7.5YR2/1 灰褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 11 7.5YR2/2 暗褐色 シルト 締まり中。
 12 7.5YR3/1 暗褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 13 10YR4/4 褐色 ローム 締まり中。
 14 10YR3/2 暗褐色-10YR3/3 暗褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石1%混入。

RD 32



RD32 A-A'

層位

色調

土性

1 7.5YR1.7/1

2 10YR1.7/1

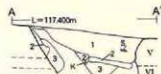
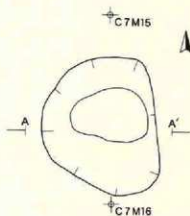
3 7.5YR2/3

4 10YR2/2

5 10YR3/8

- 土性
 1 灰褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石20%混入。
 2 灰白色 火山灰 締まり中。
 3 灰褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石1%混入。
 4 暗褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石10%混入。
 5 10YR3/8 暗褐色 高鉄浮石 締まり中 (崩壊土)。

RD 34



RD34 A-A'

層位

色調

土性

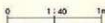
1 10YR2/2

2 10YR2/2

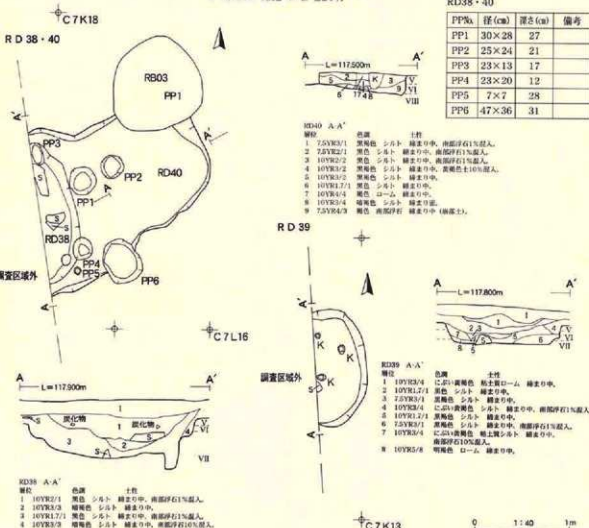
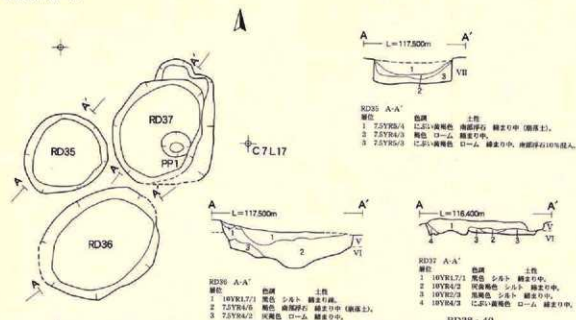
3 10YR3/6

4 10YR3/4

- 土性
 1 灰褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石10%混入、灰化層1%混入。
 2 暗褐色 シルト 締まり中、高鉄浮石10%混入。
 3 暗褐色 高鉄浮石 締まり中 (崩壊土)。
 4 暗褐色 粘土質シルト 締まり中。

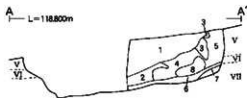
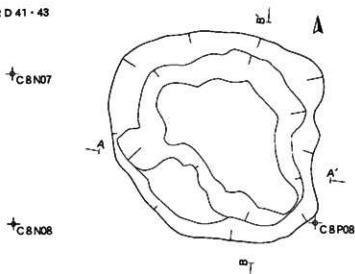


第21圖 RD31・32・33・34土坑



第22回 RD35・36・37・38・39・40土坑

RD 41・43



RD41・43 A-A'

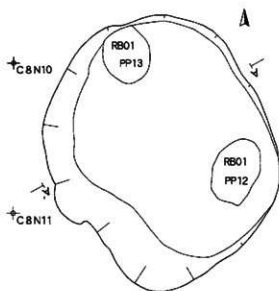
- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|----------|--------------------------------------|
| 1 | 7.5YR3/1 | 黄褐色 シルト 締まり中、腐植層石1%混入。 |
| 2 | 7.5YR4/3 | 褐色 凝結砂石 締まり中 (微塵土)。 |
| 3 | 7.5YR3/2 | 黄褐色 シルト 締まり中、腐植層石10%混入。 |
| 4 | 7.5YR5/6 | 暗褐色 腐植層石 締まり中 (微塵土)。 |
| 5 | 7.5YR5/8 | 暗褐色 凝結砂石 締まり中 (微塵土)。 |
| 6 | 7.5YR6/6 | 暗色 ローム 締まり中。 |
| 7 | 7.5YR5/4 | にがい褐色 ローム 締まり中や中。 |
| 8 | 7.5YR5/3 | にがい褐色~7.5YR4/3 褐色 ローム 締まり中、腐植層石1%混入。 |



RD41・43 B-B'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|----------|------------------------------|
| 1 | 7.5YR4/3 | 褐色 粘土質シルト 締まり中、腐植層石10%混入。 |
| 2 | 7.5YR6/6 | 暗色 凝結砂石 締まり中 (微塵土)。 |
| 3 | 10YR4/2 | にがい黄褐色 粘土ローム 締まり中、腐植層石10%混入。 |
| 4 | 10YR5/1 | 黄褐色 シルト 締まり中。 |
| 5 | 7.5YR4/4 | 暗色 凝結砂石 締まり中 (微塵土)。 |
| 6 | 7.5YR5/6 | 暗褐色 締まり中や中。 |
| 7 | 7.5YR7/6 | 暗褐色 ローム 締まり中。 |

RD 42



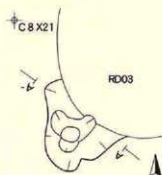
RD42 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|------------|----------------------------------|
| 1 | 7.5YR3/1 | 黄褐色 シルト 締まり中、腐植層石1%混入、中粒6.5mm程度。 |
| 2 | 7.5YR1.7/1 | 褐色 シルト 締まり中、腐植層石10%混入。 |
| 3 | 10YR3/1 | 黄褐色 シルト 締まり中、腐植層石10%混入。 |
| 4 | 10YR6/6 | 暗褐色 シルト 締まり中、腐植層石10%混入。 |
| 5 | 10YR5/6 | 暗褐色 凝結砂石 締まり中 (微塵土)。 |
| 6 | 10YR4/4 | 暗色 凝結砂石 締まり中。 |
| 7 | 10YR1.7/1 | 黄褐色 シルト 締まり中。 |
| 8 | 10YR6/6 | 暗褐色 凝結砂石 締まり中 (微塵土)。 |
| 9 | 7.5YR6/4 | にがい黄褐色 腐植層石 締まり中 (微塵土)、黒色土混入。 |
| 10 | 10YR6/6 | 暗褐色 凝結砂石 締まり中 (微塵土)。 |

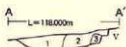
0 1:50 1m

第23図 RD41・42・43土坑

RD 44



C 8 X 22

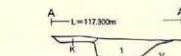


RD 44 A-A'

層位

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|--------------|---------------------|
| 1 | 10YR1.7/1 灰色 | シルト 粘まり強、南面浮石10%混入。 |
| 2 | 10YR2/1 灰色 | シルト 粘まり強、南面浮石10%混入。 |
| 3 | 7.5YR6/6 明褐色 | シルト 粘まり中、南面浮石10%混入。 |

RD 45

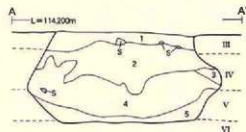
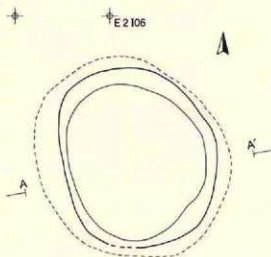


RD 45 A-A'

層位

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|--------------|---------------------|
| 1 | 7.5YR3/1 深褐色 | シルト 粘まり強、南面浮石10%混入。 |

RD 49

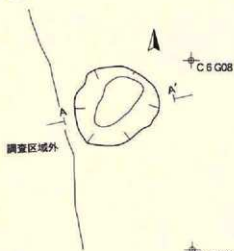


RD 49 A-A'

層位

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------------|---------------------|
| 1 | 10YR2/1 灰褐色 | シルト 粘まり強、南面浮石混入。 |
| 2 | 10YR1.7/1 暗褐色 | シルト 粘まり中。 |
| 3 | 10YR2/2 灰褐色 | シルト 粘まり強、南面浮石10%混入。 |
| 4 | 10YR2/2 灰色 | シルト 粘まり強、南面浮石10%混入。 |
| 5 | 10YR3/1 灰褐色 | シルト 粘まり強、南面浮石10%混入。 |

RD 47



RD 47 A-A'

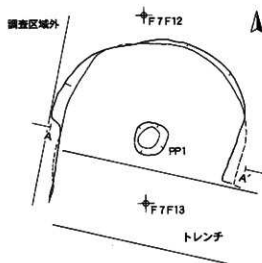
層位

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|-------------|---------------------|
| 1 | 10YR3/1 深褐色 | シルト 粘まり強、南面浮石10%混入。 |

0 1:40 1m

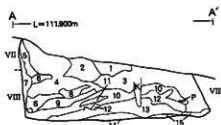
第24図 RD44・45・47・49土坑

RD52



RD52

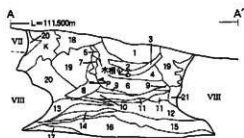
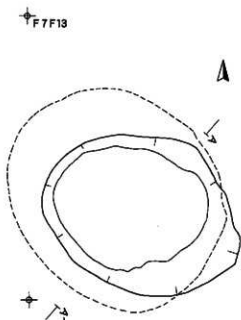
PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	35×33	14	



RD52 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|---------|------------------------------|
| 1 | 10YR3/3 | 暗褐色 シルト 締まり中、角礫砂石1%・炭化物1%混入。 |
| 2 | 10YR2/4 | 暗褐色 シルト 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 3 | 10YR4/2 | 灰黄褐色 ローム 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 4 | 10YR4/6 | 褐色 ローム 締まり中。 |
| 5 | 10YR5/4 | こぶい黄褐色 ローム 締まり中。 |
| 6 | 10YR5/4 | こぶい黄褐色 砂質 締まり中。 |
| 7 | 10YR5/3 | こぶい黄褐色 ローム 締まり中。 |
| 8 | 10YR4/4 | 褐色 ローム 締まり中。 |
| 9 | 10YR2/4 | 暗褐色 ローム 締まり中。 |
| 10 | 10YR2/2 | 灰黄褐色 砂質 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 11 | 10YR5/2 | 灰黄褐色 ローム 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 12 | 10YR6/3 | 褐色 ローム 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 13 | 10YR5/4 | こぶい黄褐色 ローム 締まり中。 |
| 14 | 10YR3/1 | 茶褐色 シルト 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 15 | 10YR4/2 | 灰黄褐色 シルト 締まり中。 |

RD53



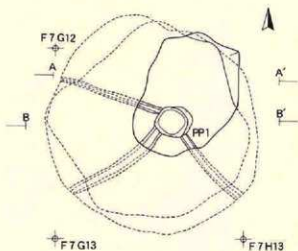
RD53 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|----------|-----------------------------------|
| 1 | 10YR3/3 | 暗褐色 シルト 締まり中、角礫砂石1%・炭化物1%混入。 |
| 2 | 7.5YR2/3 | 暗褐色 シルト 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 3 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり中、炭化物1%・炭化物1%混入。 |
| 4 | 10YR2/4 | 暗褐色 シルト 締まり中、角礫砂石10%・炭化物10%混入。 |
| 5 | 10YR5/4 | こぶい黄褐色 ローム 締まり中、角礫砂石10%・炭化物10%混入。 |
| 6 | 10YR4/2 | こぶい黄褐色 ローム 締まり中。 |
| 7 | 10YR5/4 | こぶい黄褐色 砂質 締まり中。 |
| 8 | 10YR2/2 | こぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 9 | 7.5YR4/4 | 褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 10 | 10YR2/3 | 黄褐色 締まり中、炭化物20%混入。 |
| 11 | 10YR5/6 | 黄褐色 ローム 締まり中。 |
| 12 | 10YR2/3 | 黄褐色 締まり中、炭化物20%混入。 |
| 13 | 10YR5/2 | こぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 14 | 10YR5/2 | こぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 15 | 10YR4/3 | こぶい黄褐色 ローム 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 16 | 10YR5/2 | 黄褐色 砂質シルト 締まり中、角礫砂石1%混入。 |
| 17 | 10YR5/2 | 灰黄褐色 砂質 締まり中。 |
| 18 | 10YR5/3 | こぶい黄褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 19 | 10YR5/6 | 黄褐色 ローム 締まり中。 |
| 20 | 10YR5/6 | 黄褐色 ローム 締まり中。 |
| 21 | 10YR5/2 | 灰黄褐色 砂質 締まり中。 |

0 1:40 1m

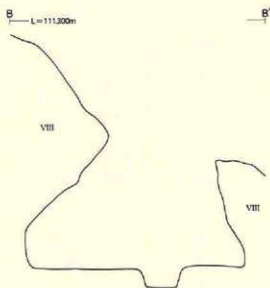
第25図 RD52・53土坑

RD 54



RD54

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	42×32	22	



RD54 A-A'

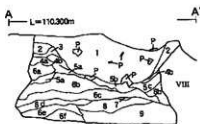
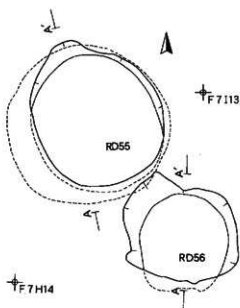
層位

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|------------|--------|---------------------------|
| 1 10Y78/4 | にじみ黄褐色 | ローム 締まり中、南面浮石1%混入。 |
| 2 10Y32/2 | 黒褐色 | シルト 締まり中、南面浮石1%・炭化物10%混入。 |
| 3 10Y35/4 | にじみ黄褐色 | ローム 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 4 10Y32/3 | 黒褐色 | ローム 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 5 10Y35/4 | にじみ黄褐色 | ローム 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 6 10Y36/3 | にじみ黄褐色 | 砂質 締まり中。 |
| 7 10Y32/2 | 黒褐色 | シルト 締まり中、南面浮石1%・炭化物1%混入。 |
| 8 10Y36/3 | にじみ黄褐色 | 砂質 締まり中。 |
| 9 10Y32/2 | 黒褐色 | シルト 締まり中、南面浮石1%・炭化物1%混入。 |
| 10 10Y36/3 | にじみ黄褐色 | 砂質 締まり中。 |
| 11 10Y35/1 | 黒褐色 | 粘土質シルト 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 12 10Y36/3 | にじみ黄褐色 | 砂質 締まり中。 |

0 1:40 1m

第26図 RD54土坑

RD 55・56

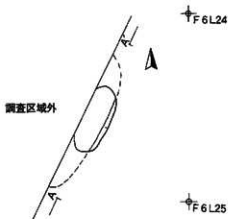


- RD55 A-A'
- | 層位 | 色層 | 土質 |
|----|---------|--|
| 1 | 10YR2/2 | 灰褐色 シルト 跡残り中、黄砂層石1%混入。 |
| 2 | 10YR7/3 | にぶい黄褐色 シルト 跡残り中、黄砂層石1%混入。 |
| 3 | 10YR5/3 | 暗褐色 シルト 跡残り中、灰化層1%混入。 |
| 4 | 10YR2/2 | にぶい黄褐色 シルト 跡残り中、黄砂層石1%混入。黒褐色土混入。 |
| 5 | 10YR4/2 | 灰黄褐色 跡残り中、黄砂層石1%混入。 |
| 6 | 10YR7/2 | にぶい黄褐色 砂質 跡残り中、黄砂層石1%混入。暗褐色土が層内に入り、s-に織り入。 |
| 7 | 10YR5/2 | にぶい黄褐色 砂質 跡残り中。 |
| 8 | 10YR6/2 | 灰黄褐色 砂質 跡残り中。 |
| 9 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 砂質 跡残り中、灰化層1%混入。 |

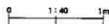


- RD56 A-A'
- | 層位 | 色層 | 土質 |
|----|---------|------------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 灰褐色 シルト 跡残り中、黄砂層石1%混入。 |
| 2 | 10YR3/1 | 暗褐色 シルト 跡残り中、灰化層5%混入。 |
| 3 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 砂質 跡残り中。 |

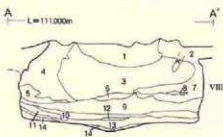
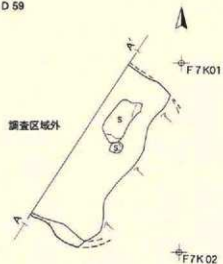
RD 57



- RD57 A-A'
- | 層位 | 色層 | 土質 |
|----|---------|-----------------------------------|
| 1 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色-10YR3/4 暗褐色 シルト 跡残り中。 |
| 2 | 10YR2/4 | 暗褐色 シルト 跡残り中。 |
| 3 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 砂質 跡残り中+中位。 |
| 4 | 10YR5/2 | 暗褐色 シルト 跡残り中+中位。 |
| 5 | 10YR2/2 | 灰黄褐色 シルト 跡残り中。 |
| 6 | 10YR3/4 | 暗褐色 シルト 跡残り中、黄砂層石3%・にぶい黄褐色ブロック混入。 |
| 7 | 10YR5/2 | 暗褐色 砂質 跡残り中+中位。 |
| 8 | 10YR4/2 | 灰黄褐色 シルト 跡残り中。 |



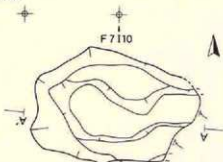
RD 59



RD59 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|-------------|---------|------------------|
| 1 10YR6/4 | 褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 2 10YR5/5 | 黄褐色 シルト | 締まり中。 |
| 3 10YR3/4 | 暗褐色 シルト | 締まり中。 |
| 4 10YR4/4 | 褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 5 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中不中。 |
| 6 10YR5/6 | 黄褐色 コーム | 締まり中不中。 |
| 7 10YR6/4 | にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中不中。 |
| 8 10YR5/2 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト 締まり中不中。 |
| 9 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト 締まり中不中。 |
| 10 10YR7/4 | にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中。 |
| 11 10YR5/2 | 灰黄褐色 | 砂質 締まり中。 |
| 12 10YR5/6 | 黄褐色 | 砂質 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 13 2.5YR6/4 | にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中。 |
| 14 2.5YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質 締まり中。 |

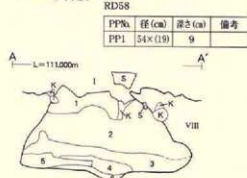
RD 60



RD60 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|------------|---------|--------------------------|
| 1 10YR2/1 | 灰色 シルト | 締まり中、炭屑浮石1%混入。 |
| 2 10YR2/2 | 黄褐色 シルト | 締まり中不中、炭屑浮石3%混入。 |
| 3 10YR2/2 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%、炭化物1%混入。 |
| 4 10YR2/3 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 5 10YR2/3 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%、炭化物1%混入。 |
| 6 10YR2/3 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 7 2.5Y4/2 | 緑灰黄色 | シルト 締まり中。 |
| 8 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 粘土質シルト 締まり中。 |
| 9 10YR3/2 | 黄褐色 | 粘土質シルト 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 10 10YR3/1 | 黄褐色 | シルト 締まり中、炭化物1%、炭屑浮石3%混入。 |
| 11 2.5Y4/2 | 緑灰黄色 | シルト 締まり中不中、炭化物1%混入。 |
| 12 2.5Y6/2 | 灰黄色 | 砂質 締まり中。 |
| 13 2.5Y4/2 | 緑灰黄色 | シルト 締まり中不中。 |
| 14 2.5Y6/2 | 灰黄色 | 砂質 締まり中。 |
| 15 10YR4/2 | 灰黄褐色 | シルト 締まり中不中。 |
| 16 10YR2/2 | 黄褐色 | シルト 締まり中不中。 |

RD 58



PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	54×(19)	9	

RD58 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|-----------|--------|----------------------------|
| 1 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 粘土質シルト 締まり中不中。 |
| 2 10YR3/3 | 黄褐色 | シルト 締まり中不中。 |
| 3 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | ローム 締まり中不中。 |
| 4 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | シルト 締まり中不中、炭屑浮石3%混入。 |
| 5 10YR7/4 | 褐色 | 砂質 締まり中。 |
| 6 2.5Y4/2 | 褐色 | 砂質シルト 締まり中、炭屑浮石3%、炭化物1%混入。 |



RD60 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|------------|---------|--------------------------|
| 1 10YR2/1 | 灰色 シルト | 締まり中、炭屑浮石1%混入。 |
| 2 10YR2/2 | 黄褐色 シルト | 締まり中不中、炭屑浮石3%混入。 |
| 3 10YR2/2 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%、炭化物1%混入。 |
| 4 10YR2/3 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 5 10YR2/3 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%、炭化物1%混入。 |
| 6 10YR2/3 | 黄褐色 シルト | 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 7 2.5Y4/2 | 緑灰黄色 | シルト 締まり中。 |
| 8 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 粘土質シルト 締まり中。 |
| 9 10YR3/2 | 黄褐色 | 粘土質シルト 締まり中、炭屑浮石3%混入。 |
| 10 10YR3/1 | 黄褐色 | シルト 締まり中、炭化物1%、炭屑浮石3%混入。 |
| 11 2.5Y4/2 | 緑灰黄色 | シルト 締まり中不中、炭化物1%混入。 |
| 12 2.5Y6/2 | 灰黄色 | 砂質 締まり中。 |
| 13 2.5Y4/2 | 緑灰黄色 | シルト 締まり中不中。 |
| 14 2.5Y6/2 | 灰黄色 | 砂質 締まり中。 |
| 15 10YR4/2 | 灰黄褐色 | シルト 締まり中不中。 |
| 16 10YR2/2 | 黄褐色 | シルト 締まり中不中。 |

第28図 RD58・59・60土坑

(重複関係) なし。

(規模・形態) 開口部径170cm×120cm、底部は径137cm×50cm、深さ110cmである。平面形は楕円形を呈するものと推定される。底面はⅣ層を掘り込んでつくられ、凹凸がある。壁は外傾しながら立ち上がる。

(埋土・堆積状況) おもに黒色土・黒褐色土・灰黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

遺物 (第49・50・61～65・109・110・142・157・160・164・165図、写真図版31～35・81・82・113・118・120・123)

(出土状況) 埋土から出土している。

(土器) 縄文土器：立体 (22～44)、破片 (330～342)。

(石器) 石匙 (1045)、敲磨器A類 (1186)、敲磨器B類 (1213・1237・1238・1239)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

3. 陥し穴状遺構 (第29図、写真図版7)

R D07陥し穴状遺構

遺構 (第29図、写真図版7)

(位置・検出状況) D9F06グリッドに位置する。Ⅵ層で黒色土の広がりとして検出された。

(重複関係) なし。

(規模・形態) 開口部径135cm×110cm、底部径90cm×84cm、深さ82cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅣ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。底面に5本の副穴を伴う。逆茂木の痕跡と思われる。

(埋土・堆積状況) 黒色土・黒褐色土・黄褐色土で構成される。自然堆積と思われる。

(出土遺物) なし。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

4. 土器埋設遺構 (第29図、写真図版18)

R Z01土器埋設遺構

遺構 (第29図、写真図版18)

(位置・検出状況) F7G11グリッドに位置する。包含層の精査中に検出された。

(重複関係) なし。

(規模・形態) 掘り方の規模は、径50cm×38cmの楕円形を呈する。

(埋土・堆積状況) 掘り方の埋土は黒褐色土とにぶい黄褐色土である。

遺物 (第50・65図、写真図版35)

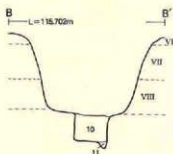
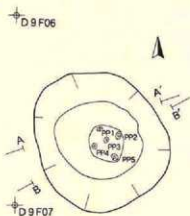
(出土状況) 底部付近の土器が正立の状態で見捨てられていた。

(土器) 縄文土器：立体 (45)。

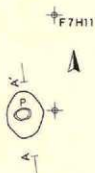
時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

5. 焼土遺構 (第30図、写真図版17)

RD 07

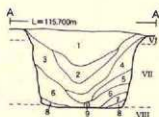


RZ 01



RZ01 A-A'

- 層位 色調 土性
 1 10YR4/3 濃い黄褐色 ローム 結まり中、黄砂含有1%混入。
 2 10YR2/2 黄褐色 シルト、結まり中、黄砂含有1%・褐色土1%混入。

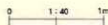


RD07 A-A'・B-B'

- 層位 色調 土性
 1 7.5YR2/1 灰褐色 シルト 結まり中、黄砂含有10%混入。
 2 7.5YR5/6 暗黄褐色 角礫砂石 結まり中。
 3 7.5YR3/1 黄褐色 シルト 結まり中、黄砂含有混入。
 4 7.5YR3/8 暗褐色 角礫砂石 結まり中 (粘厚土)。
 5 10YR3/1 黄褐色 シルト 結まり中。
 6 10YR5/8 暗褐色 角礫砂石 結まり中 (粘厚土)。
 7 10YR4/6 褐色 ローム 結まり中 (粘厚土)。
 8 10YR4/3 濃い黄褐色 結まり中。
 9 10YR6/6 暗黄褐色 ローム 結まり中。
 10 10YR6/0 暗黄褐色 ローム 結まり中。
 11 10YR3/3 濃い黄褐色 ローム 結まり中。

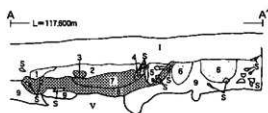
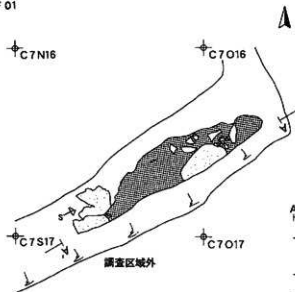
RD07

PPNo.	径 (cm)	深さ (cm)	備考
PP1	7×4	14	
PP2	11×6	20	
PP3	7×6	11	
PP4	7×6	12	
PP5	9×7	26	



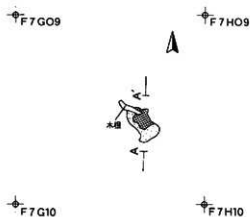
第29回 RD07陥し穴状遺構、RZ01土器埋設遺構

RF 01

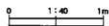


- RF01 A-A'
- | 層位 | 色調 | 性状 |
|----|----------|---------------------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 黒褐色 シルト 締まり強、粘土粒10%混入。 |
| 2 | 10YR5/4 | にがい黄褐色 シルト 締まり中、粘土粒10%・炭化粒1%混入。 |
| 3 | 5YR4/6 | 赤褐色 粘土 締まり中。 |
| 4 | 5YR4/3 | にがい赤褐色 粘土 締まり中。 |
| 5 | 5YR3/1 | 黒褐色 シルト 締まり中、粘土粒10%混入。 |
| 6 | 7.5YR2/1 | 黒褐色 シルト 締まり強、粘土粒混入10%・小礫混入。 |
| 7 | 7.5YR6/6 | 褐色 粘土 締まり中。 |
| 8 | 2.5YR4/6 | 赤褐色 粘土 締まり中。 |
| 9 | 7.5YR3/1 | 黒褐色 シルト 締まり中。 |

RF 02



- RF02 A-A'
- | 層位 | 色調 | 性状 |
|----|----------|-----------------------------|
| 1 | 7.5YR4/4 | 褐色 粘土 締まり中。 |
| 2 | 10YR4/3 | にがい赤褐色 シルト 締まり中、ゴロ石1%混入。 |
| 3 | 10YR2/3 | 黒褐色 シルト 締まり中、炭化粒1%・炭化粒1%混入。 |



第30図 RF01・02焼土遺構

R F01焼土遺構

遺構 (第30図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉C7N16～O16グリッドに位置する。南側は調査区域外にかかる。V層で赤褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉検出した範囲は、径230cm×(45)cmほどの広がりをもち、不整な楕円形を呈するものと推定される。焼土の厚さは最大35cmで赤褐色を呈する。

〈出土遺物〉炭化材が出土しており、樹種はナラであるとの鑑定結果を得ている。

時期 時期を決定できる出土遺物はないが、近世以降の可能性が高い。北側に隣接するR B03掘立柱建物跡に伴う可能性もある。

R F02焼土遺構

遺構 (第30図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉F7G09グリッドに位置する。包含層の精査中にII～VII層で検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉径40cm×25cmの不整な広がりである。焼土の厚さは最大3cmで褐色を呈する。

〈出土遺物〉なし。

時期 時期の詳細は不明だが、縄文時代と推定される。

6. 溝状遺構 (第31・32図、写真図版18・19)

C区で4条検出した。いずれも自然作用により形成された雨裂溝(註1)と考えられるが、埋土に大量の遺物が含まれていたことから、他の遺構と同様に登録・精査を行った。A区南端で検出されたR G01溝状遺構は、ビニールなどの出土遺物から、現代のものと考えられるため、個別の記載を省略する。

R G02溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版18・19)

〈位置・検出状況〉F7H04～J09グリッドに位置する。VIII層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R G04・R G05溝状遺構と重複しているが新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉全長11m、上幅250cm～150cm、下幅170cm～20cm、深さ160～125cmである。底面はX層を翻り込んでつくられており、北西～南東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形はV字状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土・褐色土・にぶい黄褐色土で構成される。

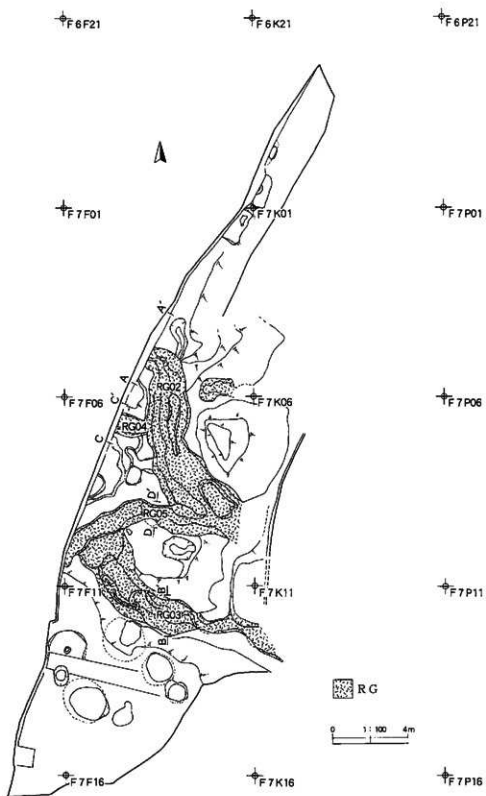
遺物 (第47・66・110・111・140・142・147・153・154・157・165・183図、写真図版36・37・82・83・106・107・110・115・116・118・123・124・138)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈土器〉縄文土器：立体(46～51)、破片(343～352)。

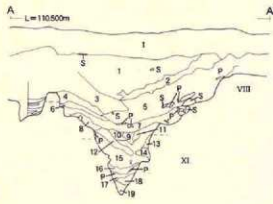
〈石器〉石鏃(1004)、石匙(1046)、不定形石器(1105)、磨製石斧(1151・1152)、敲磨器A類(1165・1188)、敲磨器B類(1240・1241・1242・1243)、石剣(1350)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。



第31圖 RC02・03・04・05溝状遺構(1)

RG 02



説明 A-A'

順位	色調	土質
1	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
2	10YR5/3	黄褐色 10YR6/3 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
3	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
4	10YR3/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
5	10YR5/4	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
6	10YR4/4	黄褐色 10Y4 20Y5 砂質 締まり中。
7	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
8	10YR5/1	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
9	10YR5/2	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
10	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
11	10YR3/2	黄褐色 砂質 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
12	10YR5/2	黄褐色 砂質 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
13	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
14	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中。
15	10YR5/2	黄褐色 砂質 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
16	10YR5/2	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
17	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
18	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
19	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。

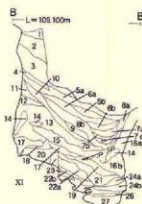
RG 04



説明 C-C'

順位	色調	土質
1	10YR4/4	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層10%、炭化物1%混入。
2	10YR5/3	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 粘土質シルト 締まり中、腐泥層10%、炭化物1%混入。
3	10YR2/4	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
4	10YR5/6	黄褐色 ローム 締まり中、腐泥層10%、炭化物1%、炭化物1%混入。
5	10YR2/3	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
6	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
7	10YR2/3	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
8	10YR4/2	黄褐色 砂質、腐泥層1%、炭化物1%、炭化物1%混入。
9	10YR4/6	黄褐色 ローム 締まり中、腐泥層1%混入。
11	10YR5/6	黄褐色 ローム 締まり中。

RG 03



説明 B-B'

順位	色調	土質
1	10YR2/2	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中。
2	10YR5/3	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
3	10YR5/4	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
4	10YR3/2	黄褐色 砂質 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
5a	10YR5/4	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
5b	10YR5/6	黄褐色 砂質 締まり中。
6a	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
6b	10YR5/1	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
7a	10YR5/6	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
7b	10YR5/7	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
7c	10YR5/6	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
8a	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
8b	10YR5/4	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
9	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
10	10YR5/2	黄褐色 砂質 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
11	10YR5/2	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
12	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
13	10YR5/2	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
14	10YR5/1	黄褐色 砂質 締まり中。
15	10YR5/3	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中。
16a	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中。
16b	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中。
17	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%、炭化物1%混入。
18	10YR5/1	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
19	10YR5/4	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
20	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%、炭化物1%混入。
21	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%、炭化物1%混入。
22a	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
22b	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
23	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
24a	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
24b	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
25	10YR2/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
26	10YR5/1	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
27	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。

RG 05



説明 D-D'

順位	色調	土質
1	10YR3/3	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%混入。
2	10YR2/3	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%、炭化物1%混入。
3	10YR3/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%、炭化物1%、炭化物1%混入。
4	10YR4/3	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
5	10YR2/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
6	10YR5/2	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
8	10YR3/3	黄褐色 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
9	10YR4/2	黄褐色 砂質 シルト 締まり中、腐泥層1%混入。
10	10YR5/2	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
11	10YR5/3	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
12	10YR4/3	10Y5 腐泥層1% 20Y5 腐泥層1% 砂質 締まり中、腐泥層1%混入。
13	10YR2/2	黄褐色 砂質 締まり中。
14	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中。
15	10YR2/2	黄褐色 砂質 締まり中。
16	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中。
17	10YR5/2	黄褐色 砂質 締まり中。

第32図 RG02・03・04・05溝状遺構(2)

R G03溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉 F 7 G11～J 12グリッドに位置する。X層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 なし。

〈規模・形態〉 全長7m、上幅180cm～100cm、下幅70cm～35cm、深さ250cm～200cmである。底面はX層を掘り込んでつくられており、西～東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形は箱形を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 にぶい黄褐色・褐灰色土が主体の上位と、黒褐色・褐灰色土が主体の下位に大別される。

遺物 (第52～54・67～73・111～114・140・142・146・147・153・157・166図、写真図版37～43・83～85・106・107・110・115・118・124)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：立体 (52～90)、破片 (353～384)。

〈石器〉 石鏃 (1005)、石匙 (1047・1048・1049・1050・1051)、両極石器 (1088)、不定形石器 (1106)、磨製石斧 (1153)、敲磨器A類 (1187)、敲磨器B類 (1244・1245)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R G04溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉 F 7 G06～H06グリッドに位置する。VII層で褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 R G02溝状遺構と重複するが、新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉 全長1.8m、上幅110cm～60cm、下幅90cm～40cm、深さ100cm～80cmである。底面はVII層を掘り込んでつくられており、西～東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形はW字状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 にぶい黄褐色土・黄褐色土・褐色土を主体とする。

〈出土遺物〉 なし。

時期 出土遺物はないが、縄文時代前期と推定される。

R G05溝状遺構

遺構 (第31・32図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉 F 7 H08～I 09グリッドに位置する。VII層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉 F 7 J 09グリッドで、R G05と重複しているが新旧関係は不明である。

〈規模・形態〉 全長4.0m、上幅150cm～75cm、下幅110cm～30cm、深さ200cm～180cmである。底面はX層を掘り込んでつくられており、西～東方向に底面の傾斜角をもつ。断面形は袋状を呈する。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土を主体とする上位と、にぶい黄褐色土を主体とする下位に大別される。

遺物 (第55・74・75・114・147・166・183図、写真図版44・45・85・110・124・125・138)

〈出土状況〉 埋土から出土している。

〈土器〉 縄文土器：立体 (91～96)、破片 (385～391)。

〈石器〉 不定形石器 (1107)、敲磨器B類 (1246・1247・1248・1249)、石製品 (1351)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

註

(1) 『地形学辞典』二宮書店 1981には、「扇状 Gully 軟弱な表層から強固な土層のもとづく表面面の侵食によって形成された小谷」とある。

7. 遺物包含層 (第33～36図、写真図版20・21)

遺構 (第33～36図、写真図版20・21)

〈位置・検出状況〉F7区に位置する。F7区は、東側から西側に向かって斜面になっていた。調査区の西側は平坦面であり、東側には雪谷川が北流している。雪谷川左岸に形成された段丘縁の東斜面に当たる部分である。範囲は、F7H04グリッド～F7J12グリッドに亘り、黒色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉調査範囲に制約されるが、南北約18m 東西9m、面積は約150㎡である。包含層の厚さは最大で150cmほどある。

〈埋土〉おもに黒色土・暗褐色土・灰白色土・黒色土の4層 (Ⅱa～d層) に大別された。各地点で堆積状態は若干異なり、場所によっては、Ⅱe・Ⅱfまで分層して取り上げている。この違いは、廃棄の単位を示すものと考えられるが、調査時に単位を面的に把握することができなかった。そのため調査は、土層観察用のベルトを地形に沿うかたちで設定し、土層観察を行いながら、掘り下げる方法をとっている。

遺物 (第75～105・115～137・140～150、151～183図、写真図版44～73・106～138)

〈出土状況〉包含層中から、土器が大コンテナ (42×32×30cm) で150箱、石器294点が出土している。

遺物の出土状況については、時期による土器の片寄りや特殊遺物の片寄りなど、特にまとまった廃棄の単位を把握することはできなかったが、量的な観点では、溝状遺構と重複する地点の出土量が多い傾向がある。精査時に包含層と溝状遺構を厳密に区別しえたか否かの精査の精度問題もあるが、同地点は溝状遺構の埋没後も周囲より落ち込んでいた可能性があり、遺物が集積し易い状況であったことが推測される。出土した土器の観点では、新しい土器が北側にまとまって出土し、古い時期の土器が南側で多く出土している傾向がある。例えば、F7H04～I06グリッドのⅡc～Ⅱd層出土遺物 (No.97～125)、F7G11グリッド付近のⅡd層 (6層) 出土遺物 (No.233～244)、F7G12～I12グリッドのⅡd層出土遺物 (No.647～666) の事例である。個々の土器については、個体として把握できる状態で棄てられたものが多く原形を保った状態のものもあった。この包含層が何回かに亘る廃棄・流れ込みなどの積み重ねによる結果、形成されたものであることが推測できる。整理を行い、図化し掲載した資料は、以下のとおりである。各グリッド毎の出土遺物は、表に示した。

〈土器〉立体178点、破片276点。縄文時代早期・前期・中期の土器がある。

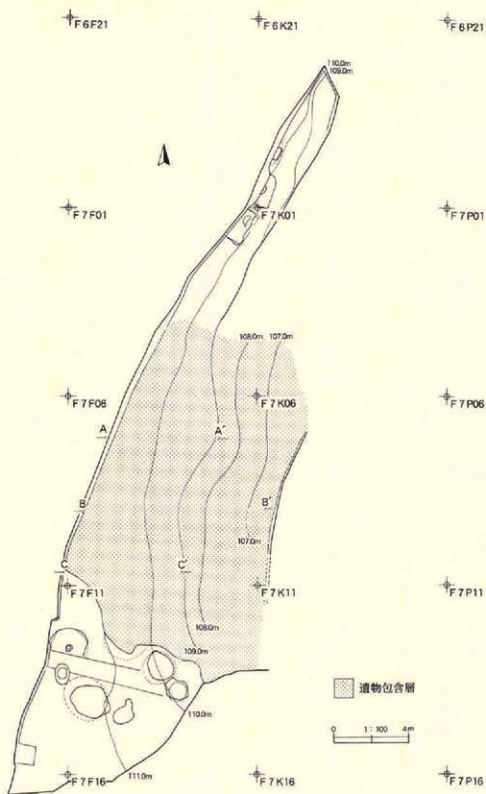
〈石器〉剥片石器118点・石鏃27点・尖頭器4点・石鏃5点・石匙36点・両極石器11点・不定形石器31点・石篋4点・打製石斧3点・磨製石斧10点・礮石器159点・蔽磨器A類51点・擦石・蔽打石19点・凹石19・凹石兼蔽打石6点・凹石兼擦石7点 (半円状偏平打製石器の転用3点含)、蔽磨器B類104点・特殊磨石12点・半円状偏平打製石器92点、石鏃3点、台石1点。

〈その他〉円盤状土製品10点・石棒3点・石剣1点、石製品1点。

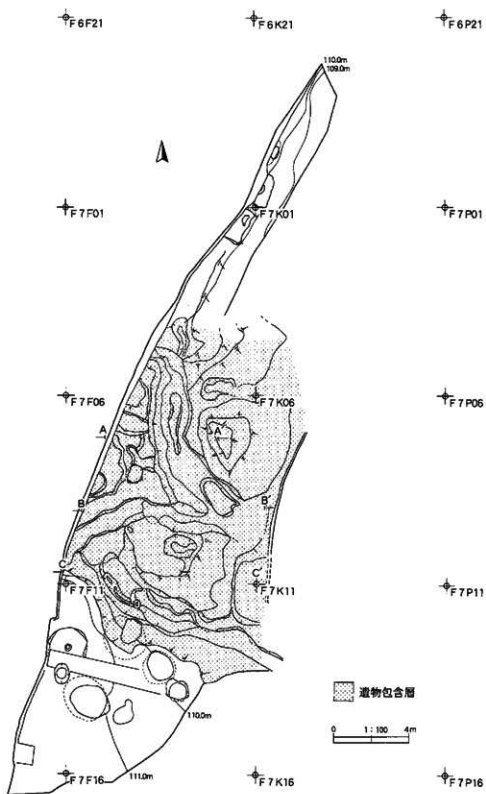
時期 出土遺物から縄文時代前期と推定される。

グリッド別出土遺物一覧 (掲載No.)

グリッド	土 層		石 器	尖頭器	石 鏃	石 瓦	陶 器	石 器	石 瓦	石 斧	説 書 種			石 器	台 石	石 製 品
	立 体	破 片									A a	A b	A c			
F7H03													1329			
F7H04	97	392														
F7G05					1038											
F7H05	98~106	393~407				1089	1109					1166	1250・1251・1264 1265・1330			
F7 I 05	109~112	408~410								1145		1167 1168	1287			
F7G06		411・412											1214			
F7H06	113~123	413~429				1052 1053	1110					1168 1169	1275・1276 1288~1290・1331	1344		
F7 I 06	124・125	430~437								1146		1170	1216 1217			
F7F07		438・439														
F7G07	126~130	440~453				1073 1074						1171	1298・1308			
F7H07	131~140	454~470	1024			1075	1090 1120				1154 1155	1172	1192 1193 1291・1299・1332	1345		
F7 I 07	141~145	471~485										1173	1191 1300 1218 1219			
F7F08																
F7G08	148	488~496	1026					1138			1158	1174	1279・1280・1301 1309・1333			1346
F7H08	147~150	496~503					1092	1123 1124 1131					1292			
F7 I 08	151~163	504~531	1008		1039	1054 1055 1076 1077					1157 1159	1175 1179	1194 1197 1253~1256・1266 1267・1281~1283 1310~1312・1334	1343		1354
F7 J 08	164・165	532~541					1091					1180	1211			
F7F09	166~172	542・543	1027					1133	1147				1201	1296・1335		
F7G09	173~188	544~552	1009				1093	1113 1125 1126	1143			1181 1184	1278・1284・1313 1336・1337			1347
F7H09	189・194	553~562	1017			1056							1277・1285			
F7 I 09	190~193 195~198	563~577	1018 1025 1028	1036		1057		1134			1156		1286・1307			
F7 J 09	199~202	578~599	1010 1019			1058 1059		1128					1198 1200 1209			1349
F7F10	203~212	600~607	1011 1020 1023	1037		1061 1062	1094	1135 1137 1142	1141	1160		1263	1203 1268・1270・1283 1302・1314・1338			
F7G10	213~231	608~612	1012 1021			1063		1114 1115				1182	1205 1257・1269・1294 1304・1317・1339 1340			
F7H10	232 248~251					1050 1078 1079	1096						1316・1318~1321			
F7 I 10		613~615					1095									
F7 J 10		616・617					1064						1271			
F7F11		233														
F7G11	234~247	618~634	1022 1029		1040	1080 1081		1127 1130					1258・1259・1272 1295・1322・1323			
F7H11	252~260	635~641			1041	1065 1066 1081	1097 1098	1117 1121 1129 1136			1161	1183	1202 1273・1315・1324 1341			
F7 I 11		261					1067									
F7 J 11	262~263	642														
F7F12		643														
F7G12	264~269	644~645 647~666	1035			1088 1082 1084 1085	1099	1118				1204	1260・1261			1348
F7H12		646														
F7 I 12	270							1119					1274・1325~1327			

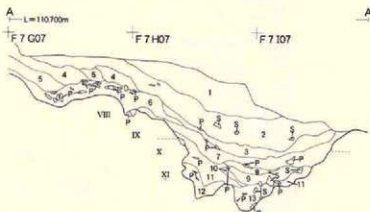


第33圖 遺物包含層(1)



第34圖 遺物包含層(2)

F7G07~107ライン



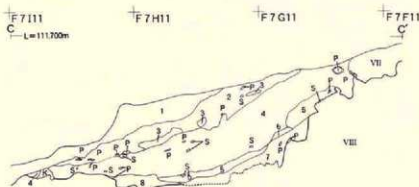
- 遺物包含層 F7G07~107ライン A-A'
- | 層位 | 色相 | 土質 |
|------------|------------|-------------------------|
| 1 10YR2/1 | 灰色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%混入(目触) |
| 2 10YR3/1 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭化物10%混入(目触) |
| 3 10YR3/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石1%・炭化物1%混入(目触) |
| 4 10YR2/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%混入(目触) |
| 5 10YR4/3 | にぶい黄褐色 ローム | 締まり中 |
| 6 10YR2/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%混入(目触) |
| 7 10YR3/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%混入(目触) |
| 8 10YR2/2 | 暗褐色 シルト | 締まり中 |
| 9 10YR3/4 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭化物1%混入 |
| 10 10YR4/2 | 灰褐色 砂質シルト | 締まり中 |
| 11 10YR4/3 | にぶい黄褐色 ローム | 締まり中、炭酸浮石1%・炭化物1%混入 |
| 12 10YR5/4 | にぶい黄褐色 ローム | 締まり中 |
| 13 10YR5/2 | 灰褐色 砂質 | 締まり中 |
- ※1~1層位 包含層、8~13層位 RG02

F7F09~J09ライン



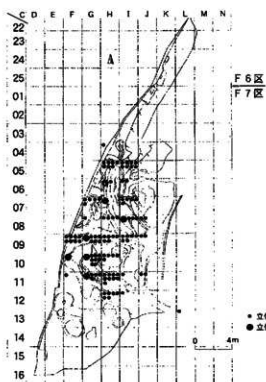
- 遺物包含層 F7F09~J09ライン B-B'
- | 層位 | 色相 | 土質 |
|------------|---------------|-------------------------|
| 1 10YR2/1 | 灰色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%混入(目触) |
| 2 10YR2/2 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭化物1%混入(目触) |
| 3 10YR2/2 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石1%・炭化物1%混入(目触) |
| 4 10YR3/4 | にぶい黄褐色 粘土質シルト | 締まり中、炭酸浮石20%混入(目触) |
| 5 10YR4/6 | 褐色 粘土質シルト | 締まり中、炭酸浮石10%・暗褐色土混入 |
| 6 10YR5/2 | 灰褐色 砂質 | 締まり中 |
| 7 10YR3/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石1%・炭化物1%混入(目触) |
| 8 10YR4/6 | 褐色 粘土質シルト | 締まり中、炭酸浮石10%・暗褐色土混入 |
| 9 10YR5/2 | 灰褐色 砂質 | 締まり中 |
| 10 10YR2/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石1%・炭化物1%混入 |
| 11 10YR7/1 | 灰白色 砂質 | 締まり中 |
| 12 10YR3/2 | 暗褐色 砂質 | 締まり中 |
| 13 10YR4/9 | にぶい黄褐色 シルト | 締まり中 |
| 14 10YR5/3 | 灰褐色 砂質 | 締まり中、褐色土ブロック10%混入 |
| 15 10YR5/2 | 灰褐色 砂質 | 締まり中、土層片・炭化物混入 |
- ※1~10層位 包含層、11~13層位 RG02

F7F11~H11ライン

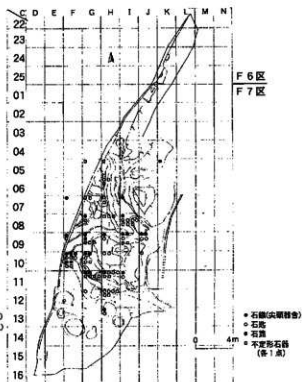


- 遺物包含層 F7F11~H11ライン C-C'
- | 層位 | 色相 | 土質 |
|-----------|------------|--------------------------|
| 1 10YR3/1 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石1%混入(目触) |
| 2 10YR3/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%・炭化物1%混入(目触) |
| 3 10YR4/4 | 褐色 砂質シルト | 締まり中、炭酸浮石1%混入(目触) |
| 4 10YR2/1 | 灰色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%・炭化物1%混入(目触) |
| 5 10YR2/3 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石10%・炭化物1%混入(目触) |
| 6 10YR4/3 | にぶい黄褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石1%混入 |
| 7 10YR2/2 | 暗褐色 シルト | 締まり中、炭酸浮石1%・炭化物1%混入 |
| 8 10YR5/2 | 灰褐色 砂質 | 締まり中、炭酸浮石1%・炭化物1%混入 |

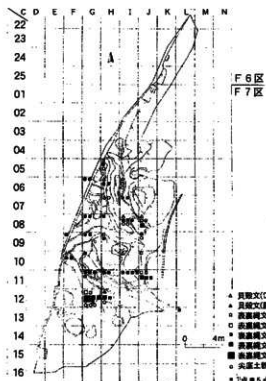
第35図 遺物包含層(3)



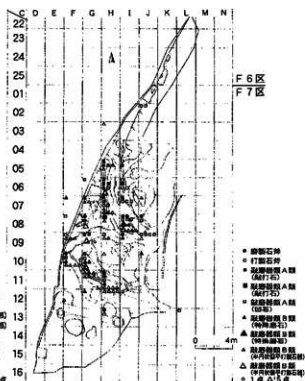
グリッド別土器出土数 (前期)



グリッド別石器出土数 (1)



グリッド別土器出土数 (早期)



グリッド別石器出土数 (2)

8. 掘立柱建物跡 (第37~41図、写真図版22~23)

建物跡として登録した遺構は3棟である。これらは検出および精査時に柱配置が確認できたものである。時期は、近世以降と考えられる。建物の規模・柱間寸法の距離は、両端柱穴の柱底中心点、柱底が不明なものについては掘り方底部中央をもって計測した。個々の柱穴の径・深さは表に記した。計測値の単位はcm、1尺は30.3cmとして計算した。

R B01建物跡

遺構 (第37・38図、写真図版22)

〈位置・検出状況〉C 8 M06~C 8 P12グリッドに位置する。検出面はV層である。南側は沢跡の埋没後でⅡ層面である。北西側が調査区域外にかかる。

〈重複関係〉RD42土坑→R B01建物跡-PP12・PP13とRD41・43土坑→R B01建物跡-PP3・6がある。

〈平面形式・規模〉掘立柱建物跡である。3×4間以上で2面庇の建物跡と思われる。桁行840cm、梁間570cmである。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-45°-Eである。

〈柱間寸法〉柱の掘り方は径65~135cmの円形を呈し、深さ88~27cmと差があるが、底面のレベル(柱の設置面)の高低差は、20cmほどである。6尺3寸(約190cm)を基準としている。

〈付属施設〉なし。

〈建物の性格〉不明。

遺物 (第56・140・186・187図、写真図版106・140・141)

〈出土状況〉埋土から出土している。

〈石器〉石鏃(1006)。

〈金属製品〉鉄釘(1403)、銭貨:寛永通寶(新寛永)1枚(1420)。

時期 出土遺物から近世と考えられる。

R B02建物跡

遺構 (第39図、写真図版23)

〈位置・検出状況〉D 8 B25~D 9 D03グリッドに位置する。検出面はV層である。

〈重複関係〉RD06土坑→R B02掘立柱建物跡-PP3がある。

〈平面形式・規模〉掘立柱建物跡、2×2間以上で、桁行4.2m以上、梁間4.75m。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-20°-Eである。

〈柱間寸法〉掘り方の規模は径68~72cmの円形を呈し、深さは35~70cmと差があるが、柱穴底面のレベル(柱の設置面)はほぼ同じである。柱間の寸法は、7尺3寸(220cm)を基準としている。

〈付属施設〉なし。

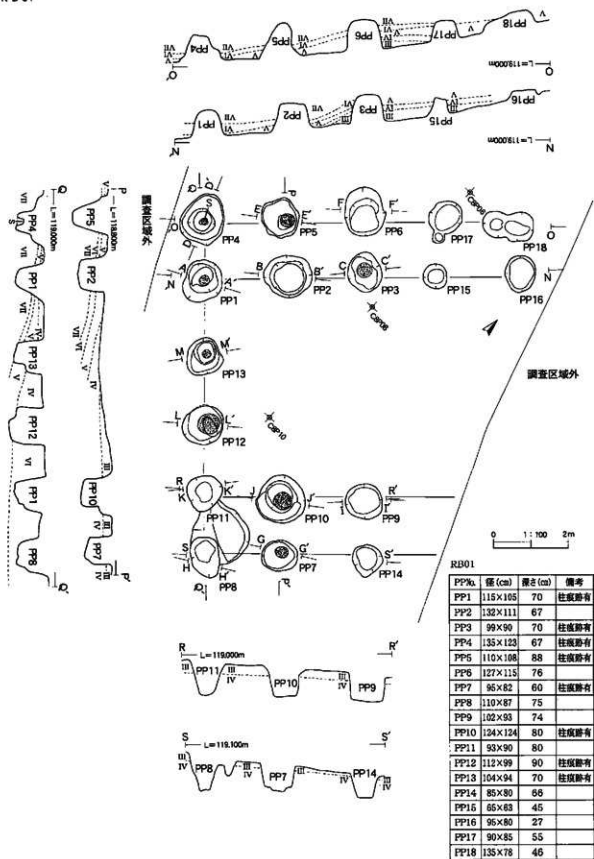
〈建物の性格〉不明。

遺物 (第56・187図、写真図版141)

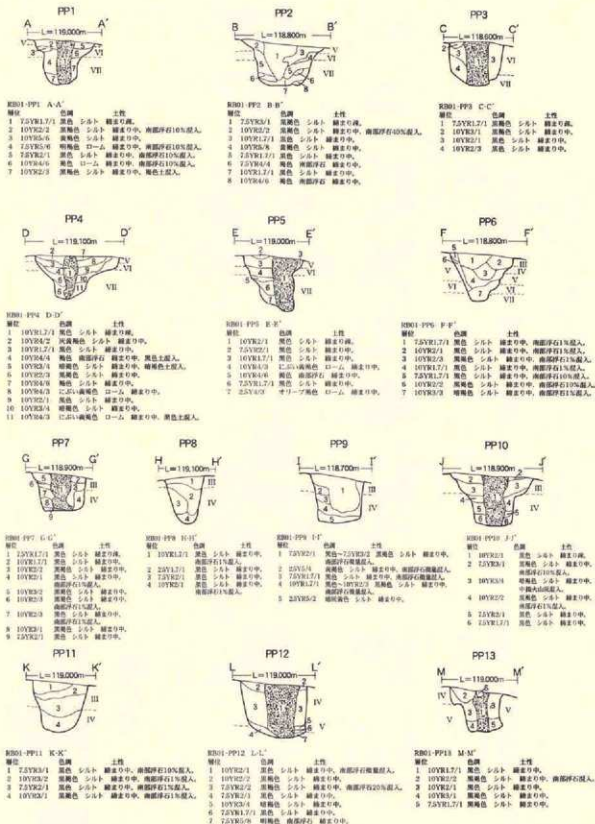
〈出土状況〉埋土から出土している。

〈金属製品〉銭貨:寛永通寶(新寛永)1枚(1421)。

時期 出土遺物から近世と考えられる。

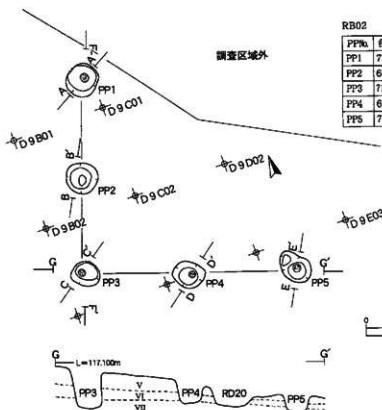
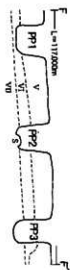


第37圖 RB01掘立柱建物跡(1)



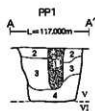
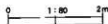
第38図 RB01掘立柱建物跡(2)

R B 02



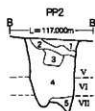
RB02

PPNo.	径 (cm)	深 (cm)	備考
PP1	72×62	64	柱礎跡有
PP2	68×68	70	
PP3	71×(60)	76	柱礎跡有
PP4	69×59	35	柱礎跡有
PP5	79×57	44	柱礎跡有



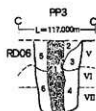
RB02-PP1 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|----------|---------------------------------|
| 1 | 10YR3/2 | 暗褐色 シルト 締まり強。 |
| 2 | 10YR2/2 | 褐色 シルト 締まり中。 |
| 3 | 10YR2/2 | 褐色 シルト 締まり中。
焼酎石10%混入。 |
| 4 | 7.5YR2/1 | 黒色 シルト 締まり中。焼酎土混入。
焼酎石50%混入。 |



RB02-PP2 B-B'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|---------|----------------------------|
| 1 | 10YR3/1 | 黒褐色 シルト 締まり中。
焼酎石10%混入。 |
| 2 | 10YR3/2 | 褐色 シルト 締まり中。
焼酎石10%混入。 |
| 3 | 10YR1/1 | 黒色 シルト 締まり強。 |
| 4 | 10YR1/1 | 黒色 シルト 締まり中。
焼酎石40%混入。 |
| 5 | 10YR2/2 | 褐色 シルト 締まり中。 |



RB02-PP3 C-C'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|-----------|---|
| 1 | 10YR1/2/1 | 褐色 シルト 締まり強。 |
| 2 | 10YR2/2 | 褐色 シルト 締まり中。焼酎石10%混入。 |
| 3 | 10YR3/4 | 暗褐色 シルト 締まり中。 |
| 4 | 10YR4/3 | 紅褐色 シルト ローム 締まり中。黒色土混入。
焼酎石 シルト 焼酎石中。焼酎石30%混入。 |
| 6 | 10YR2/2 | 褐色 シルト 締まり中。 |
| 7 | 7.5YR2/1 | 黒褐色 シルト 締まり中。焼酎石1%混入。 |



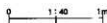
RB02-PP4 D-D'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|---------|----------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり強。 |
| 2 | 10YR2/1 | 褐色 シルト 締まり中。焼酎石1%混入。 |
| 3 | 10YR3/2 | 暗褐色 焼酎石混 締まり中。 |

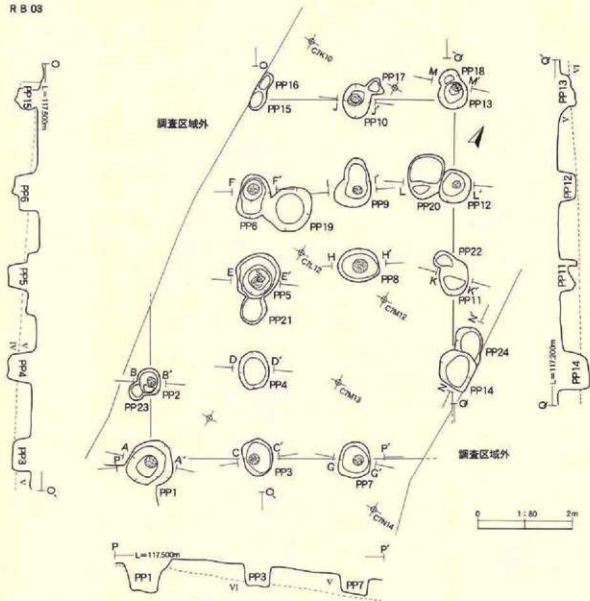


RB02-PP5 E-E'

- | 層位 | 色調 | 土質 |
|----|---------|------------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり強。 |
| 2 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり中。焼酎石10%混入。 |
| 3 | 10YR2/1 | 暗褐色 シルト 締まり中。焼酎石30%混入。 |
| 4 | 10YR1/1 | 褐色 シルト 締まり中。焼酎石土混入。 |
| 5 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり中。 |
| 6 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり中。 |



第39回 RB02掘立柱建物跡



- RB03-PP1 A-A'
- | 階 | 色澤 | 土質 |
|----|------------------------------|----|
| 1 | 10YR2/2 深褐色 少土 粘土中層, 硬質石灰土層。 | |
| 2 | 10YR2/1 褐色 少土 粘土中層, 褐色土層。 | |
| 3 | 10YR1/1 褐色 少土 粘土中層。 | |
| 4 | 2.5YR4/1 褐色 少土 粘土中層, 硬質石灰土層。 | |
| 5 | 10YR7/6 暗褐色 硬質石灰土 粘土中層。 | |
| 6 | 10YR2/3 暗褐色 硬質石灰土 粘土中層。 | |
| 7 | 10YR2/2 深褐色 少土 粘土中層。 | |
| 8 | 10YR2/3 暗褐色 硬質石灰土 粘土中層。 | |
| 9 | 2.5YR2/2 深褐色 少土 粘土中層。 | |
| 10 | 10YR5/3 灰色 硬質石灰土 粘土中層。 | |



- RB03-PP2 B-B'
- | 階 | 色澤 | 土質 |
|---|---------------------------------|----|
| 1 | 2.5YR2/3 深褐色 少土 粘土中層, 硬質石灰土層。 | |
| 2 | 10YR4/3 褐色 少土 粘土中層, 硬質石灰土層。 | |
| 3 | 10YR2/3 暗褐色 硬質石灰土 粘土中層, 硬質石灰土層。 | |

RB03

PPNo.	径 (cm)	高さ (cm)	備考
PP1	100×90	69	柱痕跡有
PP2	77×66	58	柱痕跡有
PP3	73×67	46	柱痕跡有
PP4	77×73	52	
PP5	100×91	62	柱痕跡有
PP6	94×65	45	柱痕跡有
PP7	82×75	32	柱痕跡有
PP8	89×68	38	柱痕跡有
PP9	102×70	58	柱痕跡有
PP10	71×61	50	柱痕跡有
PP11	75×63	22	柱痕跡有
PP12	73×70	32	柱痕跡有
PP13	67×61	30	柱痕跡有

PPNo.	径 (cm)	高さ (cm)	備考
PP14	93×70	49	
PP15	50×(30)	45	
PP16	45×(20)	31	
PP17	30×(35)	10	
PP18	45×(25)	23	
PP19	100×90	29	
PP20	95×70	11	
PP21	60×(55)	27	
PP22	30×(35)	22	
PP23	35×(30)	23	
PP24	70×55	24	

第40図 RB03掘立柱建物跡(1)



R803-PP3 C-C'

層位	色調	土性
1	2.5YR3/1	黒褐色 シルト 締まり強、表面浮石1%混入。
2	2.5YR2/1	黒褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
3	10YR3/6	暗褐色 凝灰砂 締まり中。
4	2.5YR3/3	暗褐色 シルト 締まり中。
5	10YR12/1	暗褐色 シルト 締まり中。
6	2.5YR5/6	暗褐色 凝灰砂 締まり中。
7	2.5YR11/1	暗褐色 シルト 締まり中。
8	2.5YR5/6	暗褐色 凝灰砂 締まり中。
9	10YR2/1	暗褐色 シルト 締まり中。
10	2.5YR4/3	暗褐色 凝灰砂 締まり中。



R803-PP4 D-D'

層位	色調	土性
1	2.5YR2/1	黒褐色 シルト 締まり強、表面浮石10%混入。
2	2.5YR4/4	暗褐色 ローム 締まり中、表面浮石1%混入。
3	2.5YR2/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
4	2.5YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中。
5	2.5YR2/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
6	10YR2/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
7	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石20%混入。
8	2.5YR4/4	暗褐色 ローム 締まり中。
9	2.5YR4/6	暗褐色 ローム 締まり中。
10	2.5YR11/1	暗褐色 シルト 締まり中。
11	2.5YR4/3	暗褐色 ローム 締まり中。



R803-PP5 E-E'

層位	色調	土性
1	2.5YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石5%混入。
2	2.5YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
3	2.5YR2/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
4	2.5YR3/6	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
5	2.5YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
6	2.5YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
7	10YR11/1	暗褐色 シルト 締まり中。



R803-PP6 F-F'

層位	色調	土性
1	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり強、表面浮石1%混入。
2	2.5YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、暗褐色土1%混入。
3	2.5YR4/2	暗褐色 シルト 締まり中。
4	2.5YR5/4	2.5YR5/4 2.5YR5/4 ローム 締まり中。
5	2.5YR4/1	暗褐色 シルト 締まり中、暗褐色土混入。
6	2.5YR5/3	2.5YR5/3 2.5YR5/3 ローム 締まり中、表面浮石1%混入。



R803-PP7 G-G'

層位	色調	土性
1	2.5YR3/1	暗褐色 シルト 締まり強、表面浮石1%混入。
2	10YR2/2	暗褐色 シルト 締まり中、暗褐色土混入。
3	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
4	10YR2/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
5	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
6	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石30%混入。



R803-PP8 H-H'

層位	色調	土性
1	10YR3/2	暗褐色 粘土質シルト 締まり強、炭化物1%混入。
2	10YR3/4	2.5YR3/4 2.5YR3/4 凝灰砂 締まり中。
3	10YR3/3	2.5YR3/3 2.5YR3/3 ローム 締まり中。



R803-PP9 I-I'

層位	色調	土性
1	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり強、炭化物1%混入。
2	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり強、表面浮石1%混入。
3	10YR4/3	2.5YR4/3 2.5YR4/3 凝灰砂 締まり中。
4	10YR11/1	暗褐色 2.5YR3/3 暗褐色 シルト 締まり中。
5	2.5YR4/3	暗褐色 凝灰砂 締まり中。
6	2.5YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中。
7	10YR4/4	暗褐色 ローム 締まり中。



R803-PP10 J-J'

層位	色調	土性
1	2.5YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中。
2	2.5YR2/1	暗褐色 シルト 締まり中。
3	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中。
4	2.5YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石20%混入。
5	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中。



R803-PP11 K-K'

層位	色調	土性
1	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中。
2	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中。
3	10YR2/1	暗褐色 シルト 締まり中。



R803-PP12-20 L-L'

層位	色調	土性
1	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり強、表面浮石1%混入。
2	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中。
3	10YR3/3	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
4	10YR3/3	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石20%混入。



R803-PP13 M-M'

層位	色調	土性
1	10YR2/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
2	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
3	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
4	10YR2/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。



R803-PP14-24 N-N'

層位	色調	土性
1	2.5YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石1%混入。
2	10YR3/1	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
3	10YR4/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。
4	10YR3/2	暗褐色 シルト 締まり中、表面浮石10%混入。



R B03建物跡

遺構 (第40・41図、写真図版24)

〈位置・検出状況〉C7L09～C7K14グリッドに位置し、両端が調査区域外にかかる。検出面はV層である。

〈重複関係〉2回以上の建て替えの可能性がある。

〈平面形式・規模〉圍立柱建物跡である。検出した範囲で、3間×4間で、桁行800cm、梁間660cm。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-30°-Eである。

〈柱間寸法〉掘り方の規模は径130～80cmの円形を呈する。深さは69～11cmと差があるが、柱穴底面のレベル(柱の設置面)の高低差は20cmほどである。柱間の寸法は、7尺3寸(220cm)を基準としている。

〈付属施設〉なし。

〈建物の性格〉不明である。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はないが、規模・形状や埋土の状況から近世以降の可能性が高い。

9. 墓塚 (第42～45図、写真図版25～27)

墓塚は9基検出された。うち人骨が出土した墓塚は6基ある。他に人骨は出土していないが副葬品が出土した墓塚は1基あり、出土遺物はないが、規模・形状・埋土から墓塚と判断したものが2基ある。このうち時期が近世以降と思われる墓塚は8基あり、分布は調査区南端に6基がまとまり、A区北側に2基がそれぞれ単独で検出されている。C区で単独で検出されたRD51墓塚は、内耳鉄鍋が伏せられた状態で埋葬された墓塚で、時期は中世以前の可能性が高い。

RD21墓塚

遺構 (第42・43図、写真図版25)

〈位置・検出状況〉D9H05グリッドに位置する。V層で黒褐色土と褐色土の混土の広がりとして検出された。北西2.1mにはRD22墓塚が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径120cm、底部径100cm×90cm、深さ32cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土の混土である。人為堆積である。

遺物 (第56・183・186図、写真図版138・140)

〈出土状況〉人骨・石製品・鉄釘が出土している。人骨は墓塚の底面直上から検出され、頭位を北側にして膝を折り曲げた状態で検出された。

〈石器〉石製品2点(1352・1353)。

〈金属製品〉鉄釘(1404)。

〈その他〉人骨。性別は女性で、推定年齢40～45歳であるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から、近世の墓塚と考えられる。

RD22墓塚

遺構 (第42・43図、写真図版25)

〈位置・検出状況〉D9F04～G04グリッドに位置する。V層で黒色土と暗褐色土の混土の広がりとして検出された。南東2.1mにはRD21墓壇が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径155cm、底部径118cm×114cm、深さ75cmである。平面形は開口部は隅丸方形を呈し、底部は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・暗褐色土・にぶい黄褐色土からなる混土である。人為堆積である。

遺物 (第56・106・187図、写真図版79・141)

〈出土状況〉人骨・銭貨・繊維質の遺物が出土している。人骨は、墓壇の底面直上から、頭を北側にして膝を折り曲げた状態で検出された。墓壇の底面西側から繊維質の遺物が敷かれた状態で出土しており、古銭が人骨の腰骨の西側付近から出土している。

〈土器〉縄文土器：破片 (286)。

〈金属製品〉銭貨：寛永通寶 (古寛永) 5枚 (1422)。

〈その他〉人骨、繊維質の遺物。人骨は性別男性、推定年齢50歳であるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から近世の墓壇と考えられる。

RD23墓壇

遺構 (第42図、写真図版25)

〈位置・検出状況〉D9L03グリッドに位置する。V層で暗褐色土と黒褐色土の広がりとして検出された。西側2.6mには、RD26墓壇が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径104cm×102cm、底部径78cm×74cm、深さ100cmである。平面形は円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲する。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉暗褐色土・にぶい黄褐色土・黒褐色土の混土からなる。人為堆積である。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はないが、規模・形状・埋土から墓壇の可能性が高く、時期は近世と思われる。

RD24墓壇

遺構 (第38図、写真図版25・26)

〈位置・検出状況〉D9I10～J10グリッドに位置する。V層で黒褐色土と褐色土の混土の広がりとして検出された。西側60cmにRD25墓壇が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径110cm×96cm、底部径68cm、深さ84cmである。平面形は不整な楕円形を呈する。底面はⅦ層を掘り込んでつくられ、緩く湾曲する。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・暗褐色土・褐色土の混土からなる。人為堆積である。

遺物 (第56・187図、写真図版141)

〈出土状況〉底面から銭貨が出土している。銭の下位に繊維状の編み物片がみられた。

〈金属製品〉銭貨：元豊通寶1枚 (1423)・寛永通寶 (新寛永) 7枚 (1424・1425・1426)。

〈その他〉なし。

時期 出土遺物から近世以降の墓塚と考えられる。

R D 25墓塚

遺構 (第42・43図、写真図版26)

〈位置・検出状況〉D 9 I 10～I 11グリッドに位置する。V層で黒褐色土と明黄褐色土の混土の広がりとして検出された。東側60cmにR D 24墓塚が位置する。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径106cm×96cm、底部径86cm、深さ25cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・暗褐色土・褐色土の混土からなる。人為堆積である。

遺物 (第56・186・187・188図、写真図版140・141)

〈出土状況〉底面から寛永通寶・人骨が出土している。人骨は、頭を北側にして膝を折り曲げた状態である。

〈金属製品〉鉄釘 (1405)。銭貨：寛永通寶 (古寛永・新寛永) 4枚 (1427・1428・1429・1430)。

〈その他〉人骨。性別女性、推定年齢55歳位であるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から、近世の墓塚と考えられる。

R D 26墓塚

遺構 (第44図、写真図版26)

〈位置・検出状況〉D 9 K 09グリッドに位置する。VI層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複関係〉R A 01住居跡と重複する。新旧関係はR A 01住居跡→R D 26墓塚である。

〈規模・形態〉開口部径84cm×80cm、底部径60cm×42cm、深さ42cmである。平面形は不整な方形を呈する。底部はVII層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土・暗褐色土の混土からなる。人為堆積である。

〈出土遺物〉なし。

時期 出土遺物はないが、規模・形状・埋土の状態から近世の墓塚と思われる。

R D 46墓塚

遺構 (第44図、写真図版26)

〈位置・検出状況〉D 3 B 11グリッドに位置する。III層で黒褐色土とにぶい黄褐色の混土の広がりとして検出された。墓塚の西側に径66cm×52cmの粘板岩質の板状の礎が置かれていた。墓石と思われる。

〈重複関係〉なし。

〈規模・形態〉開口部径128cm、底部径88cm×76cm、深さ125cmである。平面形は円形を呈する。底面はVI層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土・堆積状況〉黒色土・黒褐色土・にぶい黄褐色土の混土からなる。人為堆積である。

遺物 (第56・186図、写真図版140)

〈出土状況〉埋土下位、底面中央付近から人骨、人骨の下位から棺の一部と思われる木質部破片が出土している。頭骨は墓塚のほぼ中央から出土しているが、人骨の埋葬の状態は不明である。

(金属製品) 鉄釘 (1409~1419)。

(その他) 人骨・漆の皮膜。人骨は性別女性、推定年齢40~50歳であるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から近世の墓塚と考えられる。

RD48墓塚

遺構 (第45図、写真図版27)

(位置・検出状況) D2 T10グリッドに位置する。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出された。

(重複関係) なし。

(規模・形態) 開口部径114cm×106cm、底部径90cm×70cm、深さ58cmである。平面形は円形を呈する。底面はV層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は外傾して立ち上がる。

(埋土・堆積状況) 黒色土・黒褐色土の混土からなる。人為堆積である。

遺物

(出土状況) 埋土下位から人骨が出土している。人骨は、頭を北側にして、膝を折り曲げた状態で出土した。

(その他) 人骨。性別女性、推定年齢30歳代であるとの鑑定結果を得ている。

時期 時期を決定できる遺物はないが、人骨が出土していることから、近世の墓塚と考えられる。

RD51墓塚

遺構 (第45図、写真図版27)

(位置・検出状況) F7 E13グリッドに位置する。Ⅶ層で褐色土の広がりとして検出された。北側は鉢掘溝により掘り下げている。

(重複関係) 北側でRD52土坑と重複する。新旧関係はRD52土坑→RD51墓塚である。

(規模・形態) 開口部径120cm×80cm、底部径65cm×49cm、深さ115cmである。平面形は小判形を呈する。底面はⅩ層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。壁は直立ぎみに立ち上がる。

(埋土・堆積状況) 褐色土・灰黄褐色土・にぶい黄褐色土の混土からなる。人為堆積である。

遺物 (第57・184・185・188~190図、写真図版139・141・142・143)

(出土状況) 人骨は墓塚の底面上で北側に頭骨、その南側に脚骨が南北方向に向いた状態で出土している。遺存状態は不良であった。頭を北にして膝を折り曲げた状態で埋葬されたものと考えられる。

内耳鉄鍋は1点出土しており、墓塚の北側から頭骨に接して伏せられた状態で出土している。鉄鍋の内部は空洞であった。

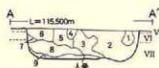
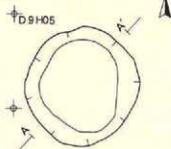
副葬品としては、他に鉄製の鎌1、椀と推定される漆器1 (皮膜のみ)、緋銭1が埋土下位から底面の間で出土している。鉄製鎌は、刃部を上にした状態で、墓塚の南側から出土している。墓塚の中央付近から漆の皮膜が出土している。木質部は遺っていない。出土した時点で、椀と推定される形状を造っていたが、復元は叶わなかった。緋銭は、漆製品の北側に接して出土しており、出土時点では、緋の状態であったものの取り上げる時に剥離している。

(金属製品) 内耳鉄鍋1点 (1401)、鉄製鎌1点 (1402)、銭貨: 緋銭1 (洪武通寶・無文銭93枚) (1431~1468)。

(その他) 人骨・漆の皮膜。人骨の性別・年齢・死因は不明であるとの鑑定結果を得ている。

時期 出土遺物から、中世後期~近世初頭の墓塚と思われる。

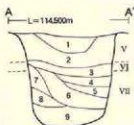
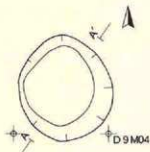
RD 21



RD21 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|------------|------------------|
| 1 | 10YR2/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 2 | 10YR2/3 | にじみ黄褐色 ローム 締まり硬。 |
| 3 | 10YR2/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 4 | 10YR4/3 | にじみ黄褐色 ローム 締まり硬。 |
| 5 | 10YR4/6 | 褐色 ローム 締まり硬。 |
| 6 | 10YR4/4 | 褐色 ローム 締まり硬。 |
| 7 | 7.5YR1.7/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 8 | 10YR3/4 | 褐色 ローム 締まり硬。 |
| 9 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり硬。 |

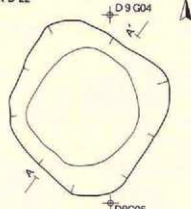
RD 23



RD23 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|----------|--------------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり硬。 |
| 2 | 7.5YR2/2 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 3 | 7.5YR2/1 | にじみ黄褐色 ローム 締まり硬。 |
| 4 | 10YR3/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 5 | 10YR2/2 | にじみ黄褐色 ローム 締まり硬。 |
| 6 | 10YR2/2 | にじみ黄褐色 粘土質シルト 締まり硬。 |
| 7 | 7.5YR2/2 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 8 | 7.5YR2/1 | 灰褐色 粘土質シルト 締まり硬。 灰褐色土混入。 |
| 9 | 10YR2/2 | 暗褐色 粘土質シルト 締まり硬。 |

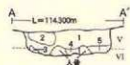
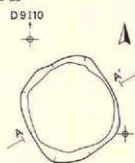
RD 22



RD22 A-A'

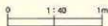
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|------------|--------------------------|
| 1 | 10YR2/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 灰褐色砂石1%混入。 |
| 2 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり硬。 灰褐色砂石1%混入。 |
| 3 | 10YR2/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 灰褐色砂石1%混入。 |
| 4 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり硬。 |
| 5 | 7.5YR1.7/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 6 | 10YR3/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 7 | 10YR3/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 8 | 10YR4/7 | にじみ黄褐色 ローム 締まり硬。 |
| 9 | 10YR2/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 10 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり硬。 |
| 11 | 10YR4/4 | 褐色 粘土質シルト 締まり硬。 |
| 12 | 10YR2/2 | 暗褐色 シルト 締まり硬。 |
| 13 | 10YR4/4 | 褐色 ローム 締まり硬。 |
| 14 | 10YR2/4 | 暗褐色 シルト 締まり硬。 灰褐色土混入。 |
| 15 | 7.5YR2/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |

RD 25

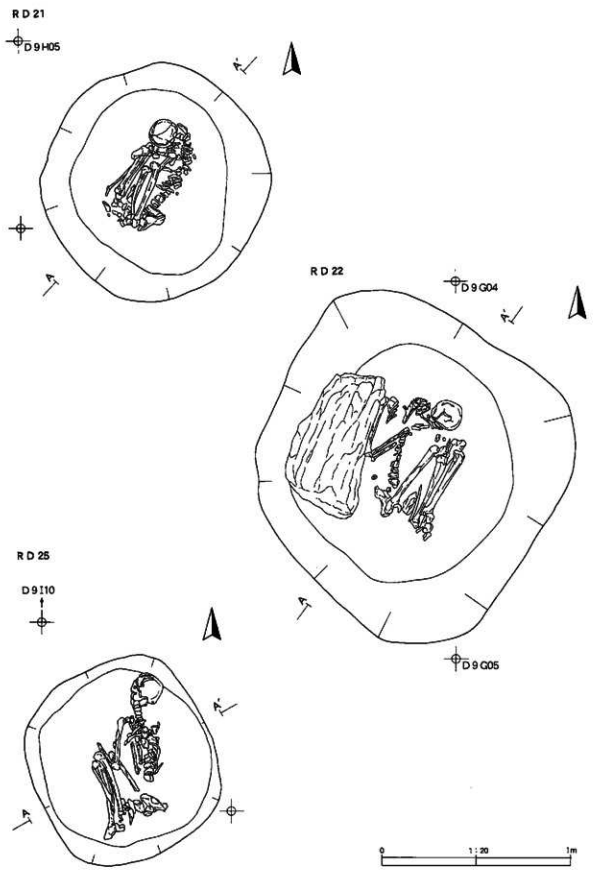


RD25 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|----------|------------------------|
| 1 | 10YR3/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 2 | 7.5YR2/8 | 明黄褐色 灰褐色砂 締まり硬。 |
| 3 | 7.5YR4/4 | 褐色 ローム 締まり硬。 |
| 4 | 10YR3/1 | 灰褐色 シルト 締まり硬。 |
| 5 | 10YR3/4 | 暗褐色 ローム 締まり硬。 灰褐色砂石混入。 |

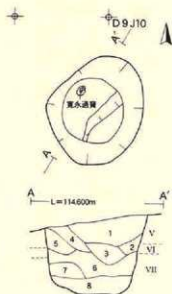


第42図 RD21・22・23・25基壇



第43圖 RD21・22・25墓塚

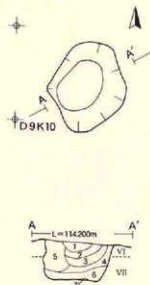
RD 24



RD24 A-A'

層位	色調	土質
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり硬。
2	10YR4/6 褐色	南洲浮石 粘まり硬。
3	2.5YR2/6 暗褐色	粘土質シルト 粘まり硬。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 粘まり硬。
5	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト 粘まり硬。
6	2.5YR2/8 黒褐色	粘土質シルト 粘まり硬。
7	10YR4/3 比較的暗褐色	南洲浮石 粘まり硬。
8	2.5YR4/6 褐色	シルト 粘まり硬。

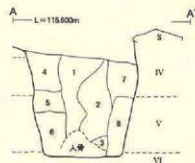
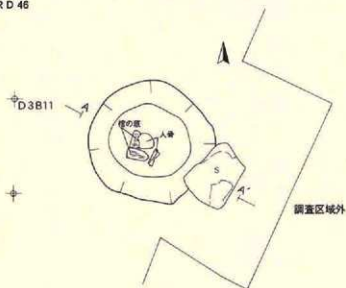
RD 26



RD26 A-A'

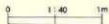
層位	色調	土質
1	10YR2/1 黒褐色	シルト 粘まり硬。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり硬。南洲浮石50%混入。
3	10YR3/1 黒褐色	シルト 粘まり硬。南洲浮石1%混入。
4	10YR3/1 黒褐色	シルト 粘まり硬。
5	10YR3/4 黒褐色	シルト 粘まり硬。
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり硬。
7	10YR2/4 黒褐色	シルト 粘まり硬。

RD 46



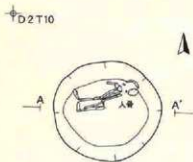
RD46 A-A'

層位	色調	土質
1	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり中。南洲浮石10%混入。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり中。南洲浮石20%混入。
3	2.5YR2/1 黒色	シルト 粘まり硬。
4	10YR2/2 黒色	シルト 粘まり硬。南洲浮石5%混入。
5	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり中。南洲浮石25%混入。
6	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり中。南洲浮石25%混入。
7	10YR7/4 比較的暗褐色	南洲浮石 粘まり中。
8	10YR2/2 黒褐色	シルト 粘まり中。南洲浮石25%混入。



第44図 RD24・26・46基壇

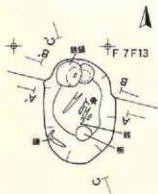
RD 48



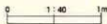
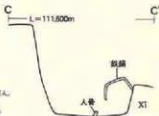
RD48 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR1.7/1 黒色 シルト 粘土中、炭屑浮石1%混入。
 2 10YR3/1 黒褐色 シルト 粘土中。
 3 10YR2/2 黒褐色 シルト 粘土中、炭屑浮石1%混入。
 4 10YR3/1 黒色 シルト 粘土中、炭屑浮石1%混入。

D2T11

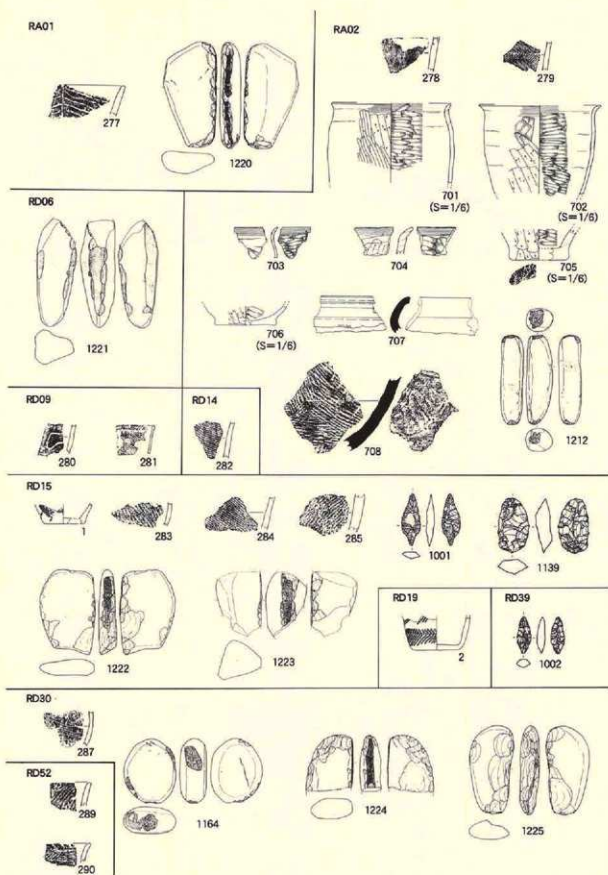
RD 51



RD51 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR4/6 黄 色 シルト 粘土中、炭屑浮石1%混入。
 2 10YR3/4 紅褐色 砂質 粘土中、炭屑浮石20%混入。
 3 7.5YR3/4 暗褐色 ローム 粘土中。
 4 10YR3/2 灰褐色 シルト 粘土中、炭屑浮石5%混入。
 5 7.5YR6/4 紅褐色 砂質 粘土中。
 6 10YR4/3 紅褐色 砂質ローム 粘土中。
 7 10YR4/2 灰褐色 砂質ローム 粘土中。
 8 10YR5/4 紅褐色 砂質 粘土中。
 9 7.5YR2/4 紅褐色 シルト 粘土中。
 10 7.5YR7/2 暗褐色 砂質 粘土中。
 11 10YR7/2 紅褐色 砂質 粘土中。
 12 7.5YR6/3 紅褐色 シルト 粘土中。
 13 7.5YR6/4 紅褐色 シルト 粘土中。

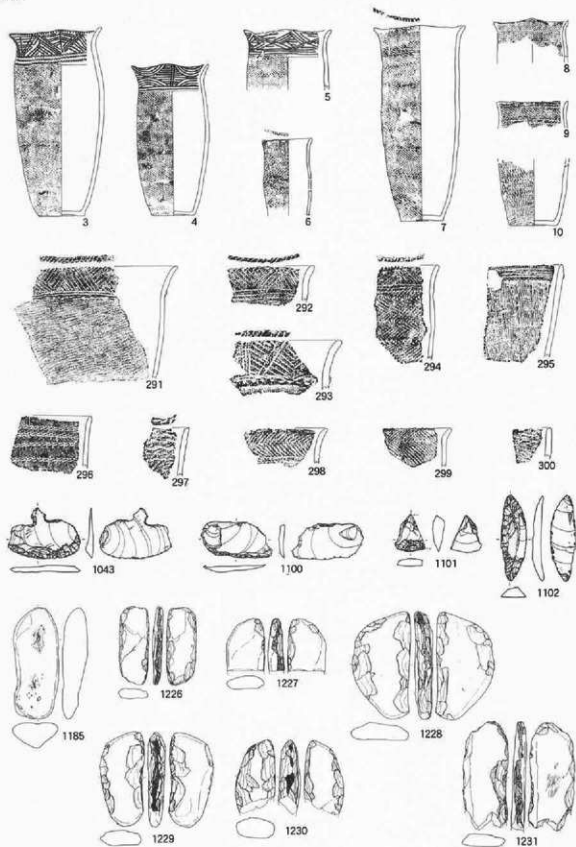


第45回 RD48・51墓坑



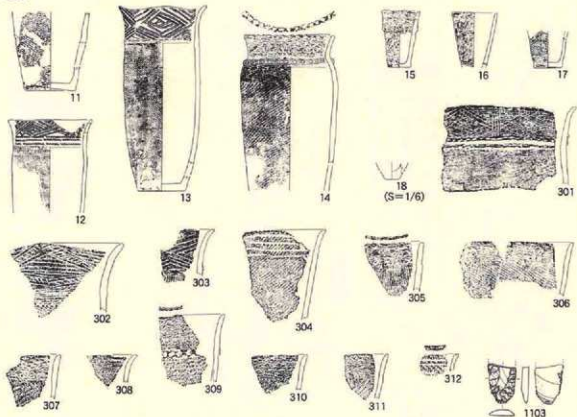
第46圖 RA01・02、RD06・09・14・15・19・30・39・52出土遺物
 (土器立体1/8・破片1/6・剥片1/3・矽1/6)

RD53

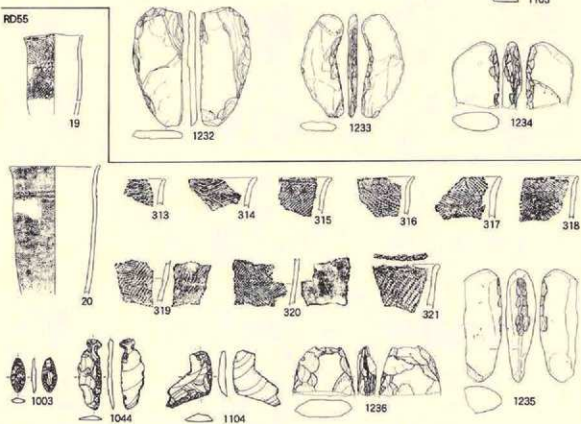


第47圖 RD53出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6)

RD54

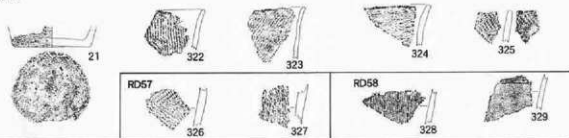


RD55

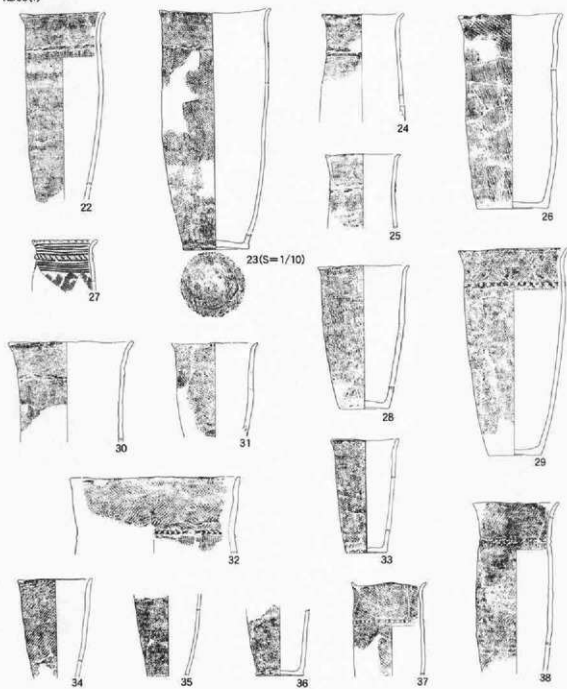


第48圖 RD54・55出土遺物（土器立体1/8・破片1/6、石器測片1/3・礫1/6）

RD56

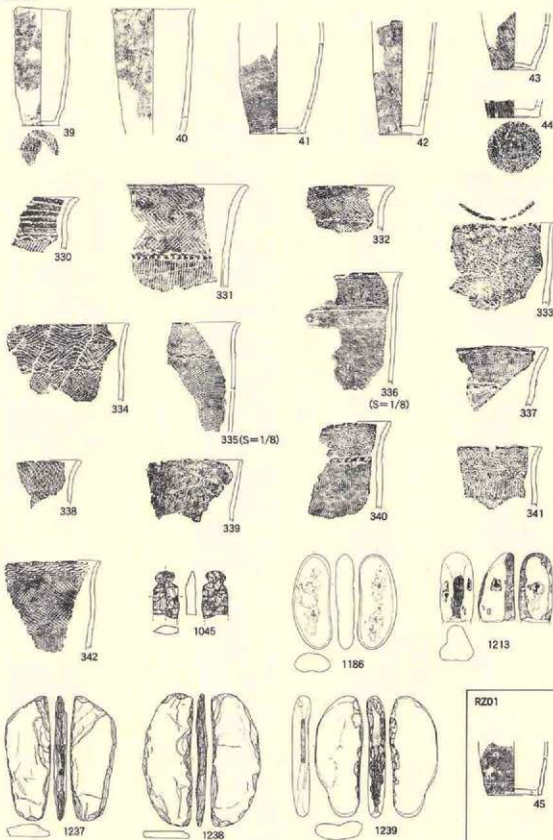


RD60(1)



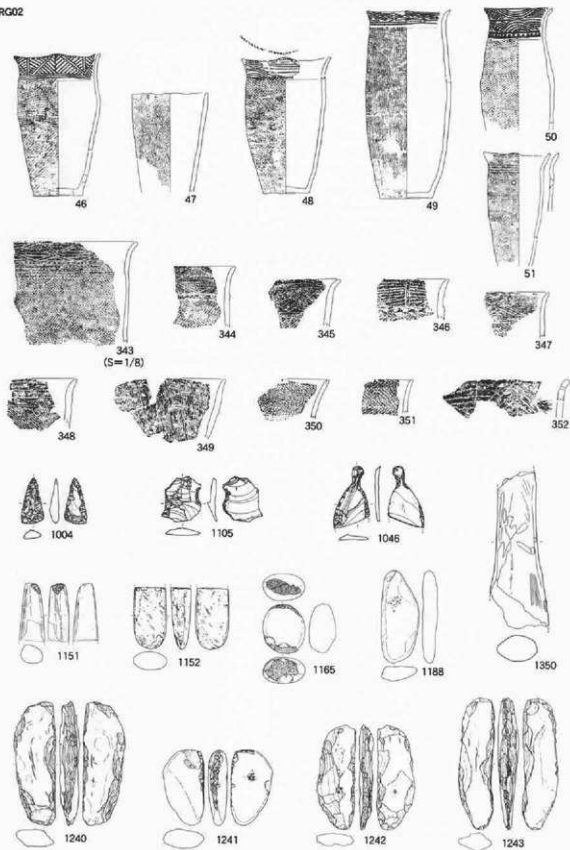
第49圖 RD56・57・58・60(1) 出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6)

RD60(2)



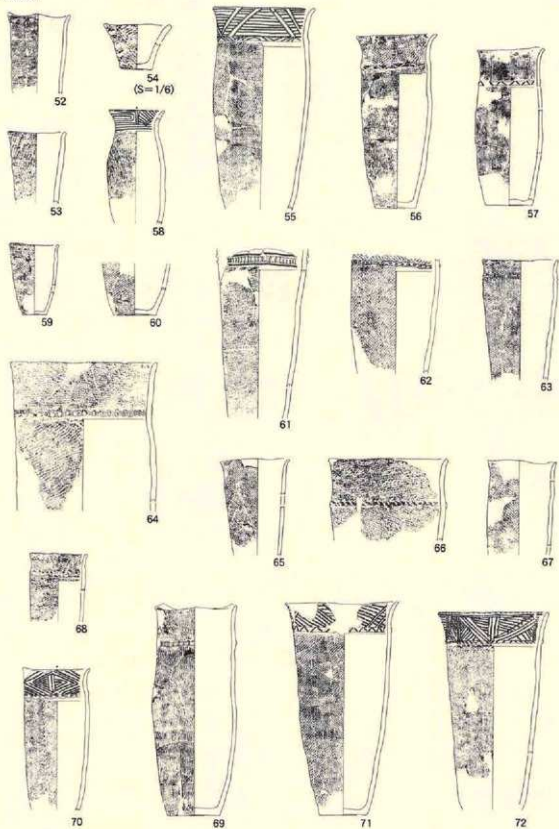
第50圖 RD60 (2)、RZ01出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6、石器割片1/3・礫1/6)

RG02



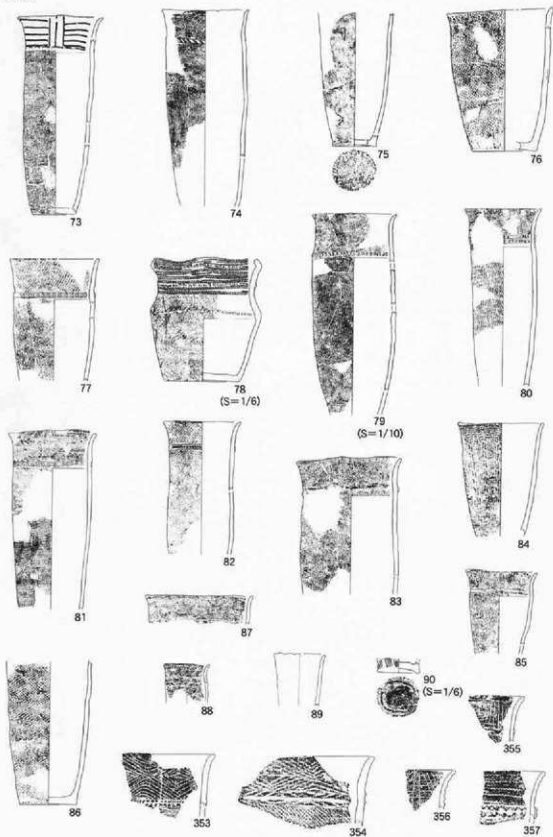
第51圖 RG02出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6、石器剥片1/3・礫1/6・石製品1/3)

RG03(1)



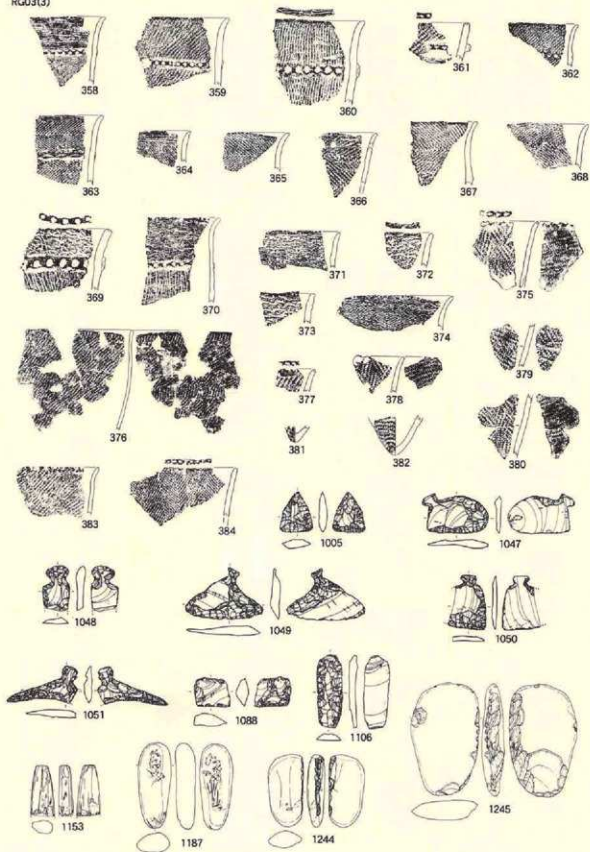
第52圖 RG03 (1) 出土遺物 (土器立体1/8)

RG03(2)

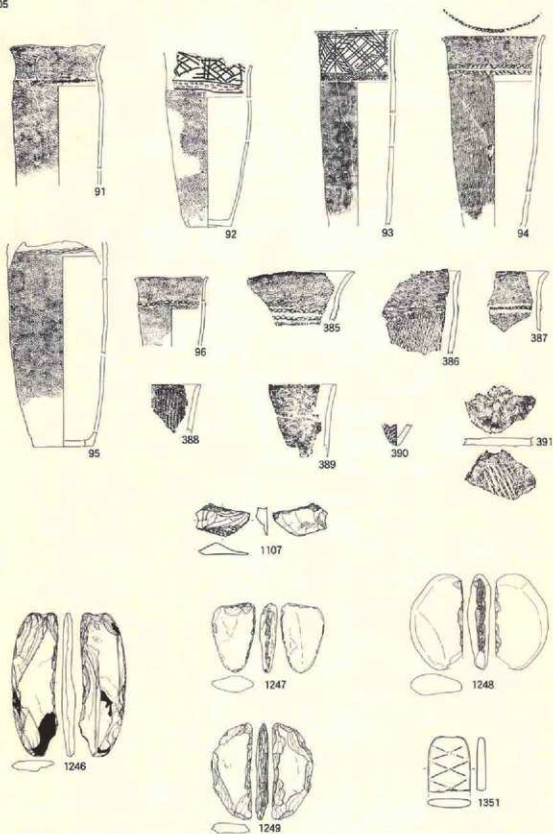


第53圖 RG03 (2) 出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6)

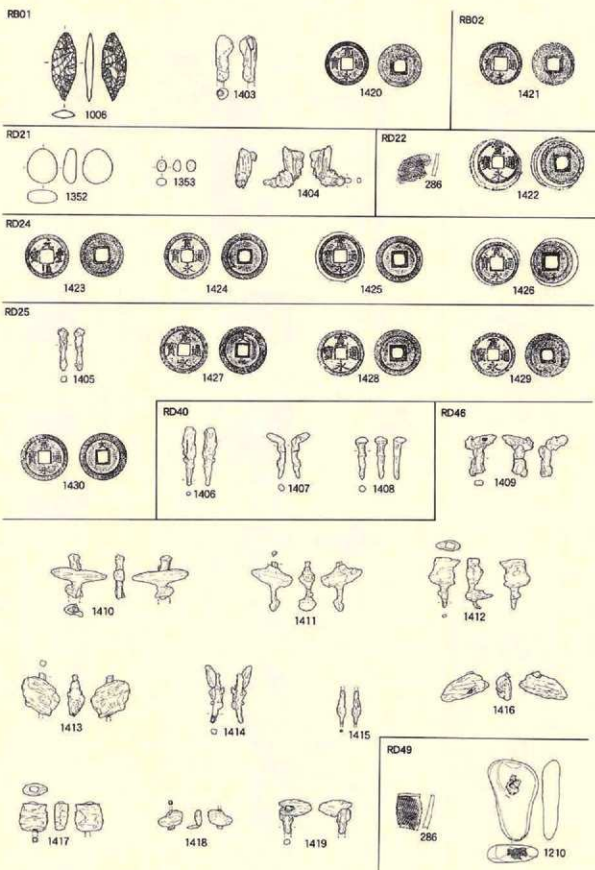
RG03(3)



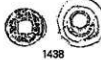
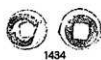
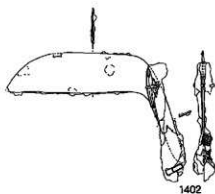
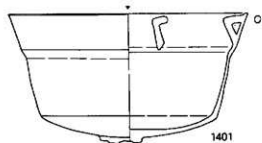
第54回 RG03(3) 出土遺物 (土器破片1/6、石器剥片1/3・鏢1/6)



第55圖 RG05出土遺物 (土器立体1/8・破片1/6・石器剥片1/3・礫1/6・石製品1/3)



第56図 RB01・02、RD21・24・25・40・46・49出土遺物
 (金属製品：銭貨1/2・釘1/4、土器破片1/6、石器標1/6・石製品1/3)



第57圖 RD51出土遺物（金屬製品：銅・鐵1/4・錢貨1/2）

V. 出土遺物

大鳥I遺跡から出土した遺物は、縄文土器が大コンテナ（42×32×30cm）150箱・土師器・須恵器が小コンテナ（42×32×20cm）1箱・土製品11点・石器696点・石製品10点・金属製品70点である。

1. 縄文土器（第58～137図、写真図版28～104：1～677）

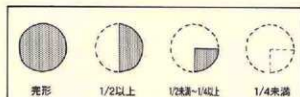
はじめに、掲載基準と観察項目を記載し、次に出土土器全体の概要と遺構の種類ごと（掲載順）に主だった出土土器の概要を述べる。個々の土器の特徴については、観察表を参照されたい。

（1）掲載基準について

一部、Ⅲ、2の、室内整理の記載と重複するが、以下に出土遺物の掲載基準を記す。接合を行った結果、口径・器高・底径の計測値のうち、2箇所以上実数で把握可能なものを立体土器として登録・図化し、掲載した。接合資料でも上記の基準を満たさなかったものについては、観察項目を記録するに留めた。

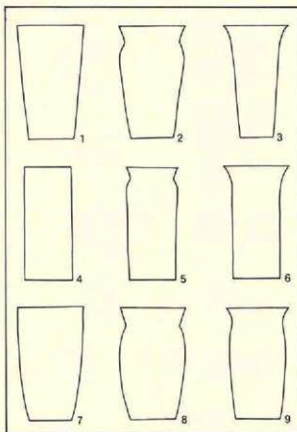
破片資料は、すべて実見し、以下の基準で選別した。掲載資料は、原則として口縁部破片とし、径5cm×5cm以上で、口縁部・胴部の文様が両方とも把握が可能なものとした。胴部破片については、文様・成形痕・特異な文様が施されているものに限定した。底部破片は、残存状況について以下に示した基準を設けて統計処理を行い、掲載遺物については、底部圧痕や器形が特異なものに限定した。これらの基準を設定した理由のひとつは、出土土器の大部分が前期の円筒下層式土器であることによる。そのため該期以外の土器（早期・中期・後期）については、上記の基準を満たさないものでも、必要に際して図化して掲載している。

（2）観察項目：以下の項目について、観察を行った。

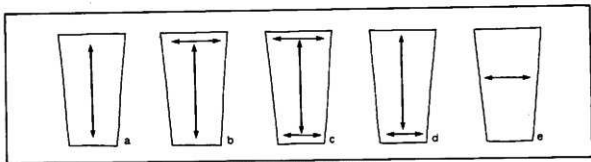


土器底部の残存状況の模式図

- 計測値（器高・口径・底径）※立体土器のみ。
- 器形：口縁部と胴部に留意して、以下のような基準をもうけた。
 - 口縁部：直立ぎみに立ち上がる。
屈曲して外反する。
外反する。
 - 胴部：やや反って直線的に立ち上がる。
直立ぎみに立ち上がる。
曲線的に立ち上がる（丸みがある）。
 - 底部：平底・上底
- 文様：各部位の縄文原体と施文方法。
- 色調：土色順に照合する。
- 胎土：繊維・礫などの混入の有無。
- 内面調整：調整（ミガキ・ナデ）の有無と方向。

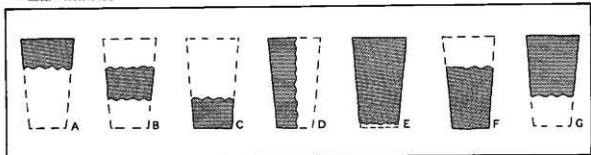


土器の器形の模式図



土器内面の調整方向の模式図

●土器の残存状況



土器の残存状況の模式図

- 時期：次の時期を便宜的に以下のように分類し、さらに土器型式に対応するよるに細分した。

早期：Ⅰ群、前期：Ⅱ群、中期：Ⅲ群、後期：Ⅳ群。

- その他：成形の痕跡（輪積痕）、使用の痕跡（補修孔・煮炊の痕跡）など。

(3) 出土遺物について

総量：大コンテナ（T40：42×32×30cm）で150箱出土している。掲載した遺物は、立体土器276点、破片資料401点である。また本来の個体数を類推する手掛かりとして、底部破片の残存状況について統計処理を行った。その結果、完形：96、1/2以上：179、1/2～1/4：97、1/4未満：980で、不掲載資料で1/2以上残存する底部資料は275点ある。掲載資料で底部を有する資料は49点で、併せると、個体数は最低324個体はあったものと推定される。

出土状況：150箱中149箱が、F7区（土坑・溝状遺構・包含層）からの出土であり、調査区域5,812㎡のなかにおいて著しい片寄りがある。個々の土器の出土状況については、原型を保って出土した例は稀であるものの、個体単位で出土している例が多い。個々の土器の残存状況をみると、胴部下半～底部のみの事例Cが36例、胴部下半を欠く事例Gが72例と多く、底部のみを欠く事例Eは13例ある。

接合状況：接合が叶わなかった資料については、調査精度の問題もあり、一概にいうことはできないが、多くは出土した地点もしくは隣接地点（グリッド）で接合は完了している。地点が離れて接合した例には、No.20（RD55とF7G10）とNo.276（F7区とF5区）がある。

壁穴住居跡出土の土器（第46・106図、写真図版77～79：272～279）

RA01住居跡：227は、中期初頭、RA02住居跡：278・279は、前期末葉の土器片である。

土坑出土の土器（第58～65・106～110図、写真図版28～35・79～82：1～44・280～342）

大別、縄文時代前期と後期の土器片が出土している。RD09土坑280・281、RD14土坑：282は、後期の土器片。RD15土坑：1・284・285は、前期の土器片である。RD19土坑：2は、底部で時期は前期である。RD22墓墳：286は、後期の土器片。RD30土坑：287、RD49土坑：288は、後期の土器片である。

RD52土坑：289・290は、前期の土器片である。RD53土坑：3～10・291～300は、前期の土器である。3～9は、地文に結束第1種RL・LRによる横位の羽状縄文が施されており、3・4・5の口縁部には、原体側面の圧痕による幾何学状の文様が施され、7・8・9は、頸部に原体の側面圧痕による横位の区画が施されている。3は、口唇部にも口縁部と同様の2段RLとLR原体の側面圧痕が施されている。

RD54土坑：11～18・301～312は、前期の土器である。11は、器壁の剥落が著しい。13は、頸部に太い隆帯を貼り付け、その上に圧痕を加えており、口唇部にも同様に圧痕を加えている。15・16・17は小型の土器である。18は底部破片で、無文のミニチュア土器のようである。胎土は良く、色調が灰色で260と酷似する。

RD55土坑：19・20・313・325は、早期・前期の土器である。19・20は、地文に結束第1種RL・LRによる羽状縄文が横位に施文され、19は頸部に圧痕、20は、細い隆帯を貼付けたのち、圧痕を施している。319は、表裏縄文で、輪積痕がある。320は、外面に羽状縄文、内面に原体の側面圧痕がみられる。RD56土坑：21・322～325は、前期・早期の土器片である。21は、底部片で、圧痕？がある。325は、表裏縄文で、破片上位の欠損部は輪積み部分から欠損したようである。RD57土坑：326・327、RD58土坑：328・329、RD60土坑：22～43・330～342は前期の土器である。22は、頸部に細い隆帯を貼り付け、横位の刻みを施している。また隆帯の下位に長さ1cmほどの縦位の刻みが9本入っている箇所がある。23は、底部に燃系文を施す。24・25は、頸部に隆帯を貼り付けた後に縄文を施文している。29の口縁部文様帯は、結束第1種RL・LRによる羽状縄文を横位に施文した後、原体側面圧痕により幾何学状の文様を施文している。30は、単輪条体第1類を縦回転した燃系文が施文され、口唇部には横回転による燃系文が施文されている。

土器埋設遺構出土の土器 (第65図、写真図版35：45)

RZ01埋設土器：45は、土器の胴部下半で、羽状縄文が横位に施文される前期の土器である。

溝状遺構出土の土器 (第66～75・110～114図、写真図版36～45・82～85：46～96、343～391)

前期の遺物が主体で、早期の土器が少量ある。RG02溝状遺構：46～51・343～352は、前期の土器である。51は、口縁部の下に径0.8cmの孔が穿たれている。外側からの穿孔である。349は、沈線により縦・横・斜に施文された土器。352は、絡条体圧痕文で、1対の補修孔がある。ふたつの孔の間は2.4cm、孔径は0.3cmである。RG03溝状遺構：52～90・353～384は、前期・早期の土器である。58の口縁部文様帯は4単位であるが、1箇所だけ他と文様構成が異なっている。61は、頸部に貼り付けられた隆帯に沿って2段LR原体の側面圧痕が施されている。68の口縁部は、斜縄文施文の後に原体側面の圧痕による文様が施されている。69の口縁部は、3単位の波状口縁である。72の口縁部文様は、原体の側面圧痕により3単位の菱形文様が施文されているが、うち一つが菱形内部を縦位の3本線で仕切り、他のふたつの菱形内部はX字状の文様である。79は、口縁部文様帯の羽状縄文は、他の土器のように規則的でなく、捻れるように施文されている。残存部に径0.5cmの補修孔がひとつあり、欠損部より1.5cm横、口唇部より4cm下位で、口唇部から入る亀裂(9.5cm)のはば中央付近の位置にある。86は、内面の底部付近に煤状の付着物がある。90は、巾をもった縁をもつ上げ底の土器である。366は、径0.5cmの補修孔をもつ。375～380は表裏縄文で、375と377、379と380はそれぞれ同一個体であり、381・382は尖底土器である。これらの土器の色調は、にぶ

い橙色を呈し、器厚は0.6~0.7cmと薄いが、焼成はよく、胎土は良好である。

R G05清状遺構：91~96・385~391は、前期の土器である。93の口縁部文様帯は5単位か。頸部には、口縁部と類似の文様構成で、6本単位の刻みが斜位に交互に入り、上下に刺突列を施している。

包含層出土の土器（第75~105・115~137図、写真図版45~77・85~104：97~274・392~666）

前期の土器が主体で、早期・中期の土器が少量ある。102は、ミニチュア土器の底部片である。108は、緩い4波状を呈する。112は、口唇部にも、口縁部と同じ1段R原体の圧痕が施されている。116は、口縁下4.5cmに位置に一对の補修孔をもつ。亀裂を挟んでふたつの孔の間は3cmあり、孔径は0.6cmである。119は、口縁部下に横位構円の貫通孔をもっている。126は、胴部上半のみの残存であるが、口径50cmと推定される。復元された土器では最大のものである。127は、土器底部の縁に縦位の刻目をもつ。131は、胴部に結第1種RL・LR原体による羽状縄文が横位に施文されているが、胴部下半になると、施文方向が捻れてくる。また、胴部下位に指紋と思われる痕跡がある。147は、胴部の縄文→頸部沈線→口縁部の原体側面痕の順に施文されている。167は、4単位の波状口縁で、頂部に圧痕が施され、底部の縁には刻目が施されている。168は、口唇下1.5cmの位置に、径0.3cmの一对の補修孔がある。ふたつの補修孔の間は2.2cmある。175には孔径0.4cmの補修孔がひとつある。182の口縁部の文様帯は3単位である。199は、底部内面の中央に貼り瘤状の出っ張りを有している。203の口縁部の文様は、原体側面の圧痕によるが、原体の末端を処理した結節部の圧痕がみられる。206の底部の縁には縦位の刻目が入る。209・210・211は、ミニチュア土器の底部片である。219は、内面・外面に部分的ではあるが、土器の成形時の輪積痕が遺る。粘土紐の巾は3cm前後か。226の土器の上面縁は構円形である。230の頸部は、隆帯貼り付け後、単軸絡条体第1類の圧痕が施されている。胴部文様の捻糸文を施文した原体と同一原体と思われる。胴部下位には斜縄文が施されている。施文順は、捻糸文→斜縄文である。240は、胴部に帯引状の細い沈線が縦走する。245は、口縁部に断面V字状の太い沈線が引き継がれている。口縁部と胴部の間は、隆帯で区画し、胴部は、単軸絡条体第1類の縦回転による捻糸文が施されている。247は、口縁下1.5cmの位置に一对の補修孔をもつ。ふたつの孔の間は2.9cm、孔径0.2cmである。249の底部には、胴部と同じ捻糸文が施文されている。251は、口唇下2.3cmに一对の補修孔をもつ。ふたつの孔の間は3cm、孔径0.4cmである。256の口縁部文様帯は、原体の側面圧痕によるが、縁の区画は7つ、文様は4単位である。257は、胎土に石英を多く含んでいる。260は4波状口縁の無文のミニチュアで、胎土・色調は18と酷似する（註3）。

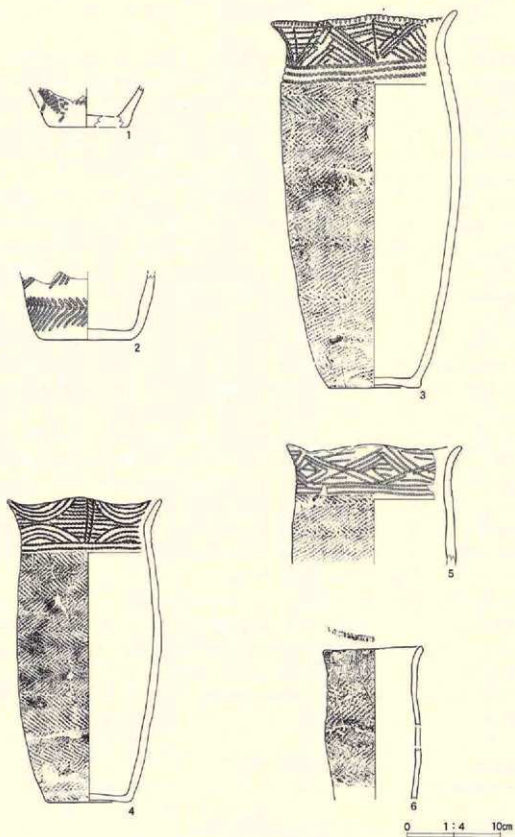
400~405は、前期の末葉の土器片で口縁部に区画としての隆帯が貼り付けられ、口縁部は強く屈曲する。454・455は、中期後葉の土器片である。515は、輪積の箇所で剥落した土器片で、内外面に輪積痕がみられる。528は、土器の内面の仕切りの可能性がある土器片である（註1）。530は、胴部と頸部に隆帯を貼り付け、その上に刺突を施している。胴部に隆帯が貼り付けられる土器はこの1点のみである。397と同一個体か。617は、口縁部破片で、口縁下1.5cmに孔径0.9cmの補修孔をもつ。623は、底部破片で、199と同様に内面に貼り瘤状の出っ張りを有する（註2）。

遺構外出土の土器（第105図、写真図版78：275・276）

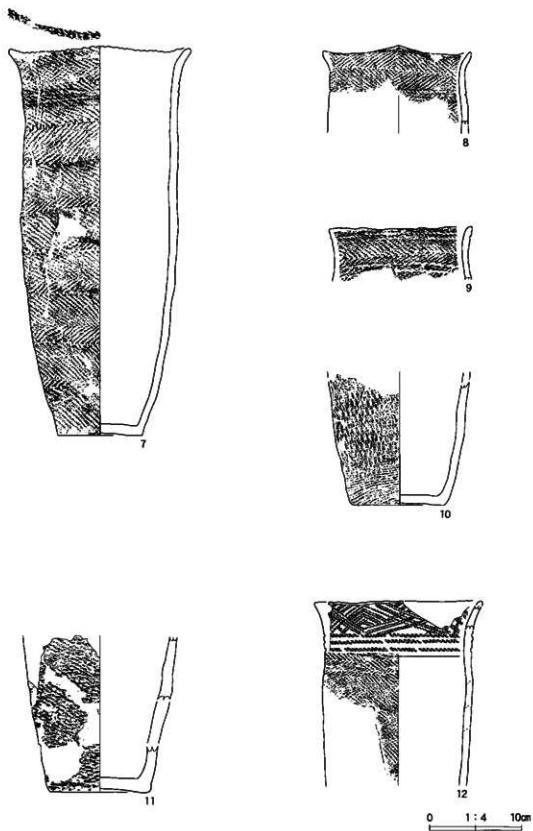
275・276は、前期の土器である。

註

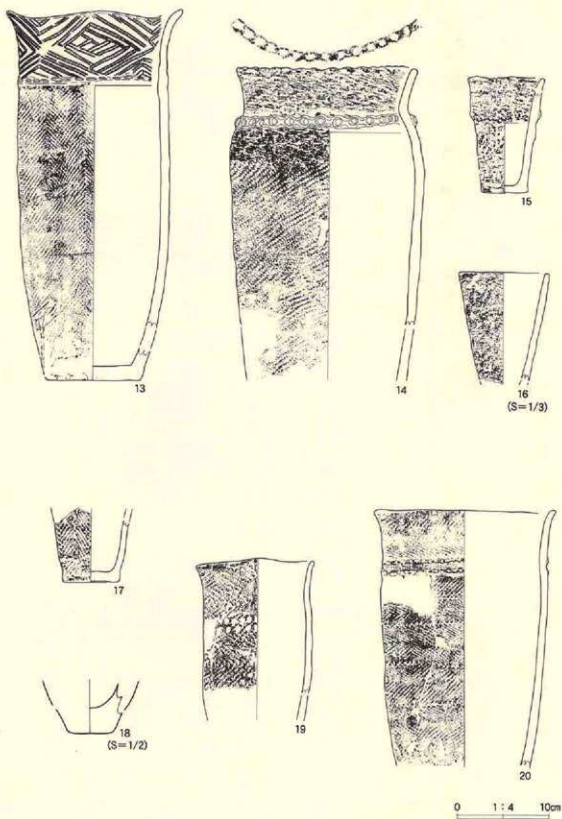
- (1) 尾上山(3)遺跡（青森県埋蔵文化財調査報告書第135集：1991）に類例がある。
- (2) はりま遺跡（秋田県文化財調査報告書第192集：1990）に類例がある。
- (3) 横留(2)遺跡（青森県埋蔵文化財調査報告書第59集）に類例がある。



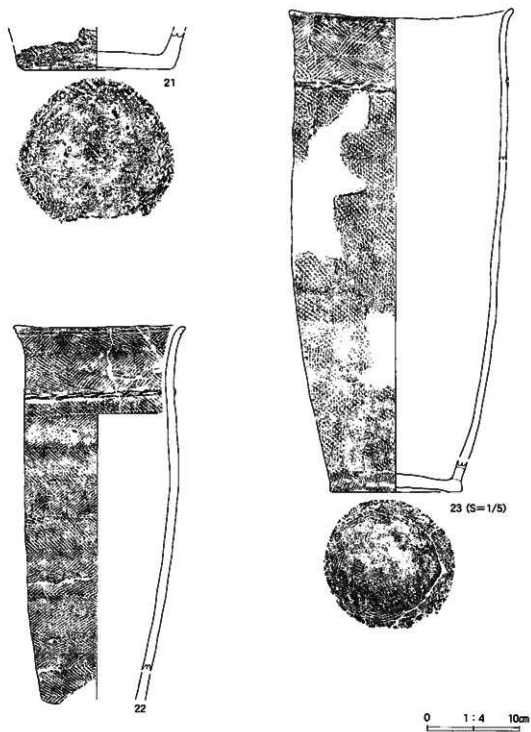
第58圖 土器(1) : RD15・19・53(1)



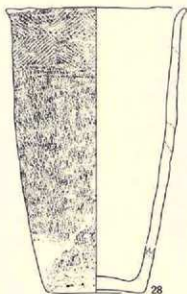
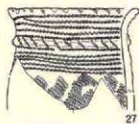
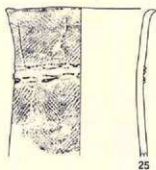
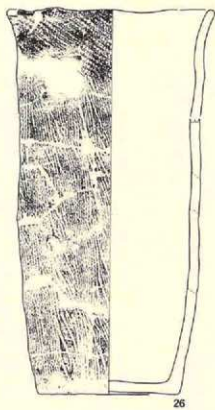
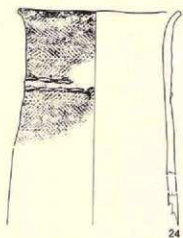
第59圖 土器(2) : RD53(2)・54(1)



第60圖 土器(3) : RD54(2)・55

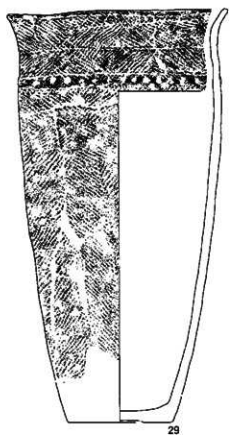


第61圖 土器(4) : RD56・60(1)

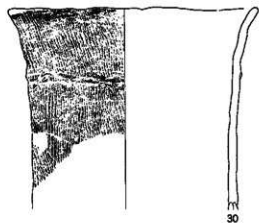


0 1:4 10cm

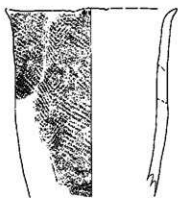
第62圖 土器(5) : RD60(2)



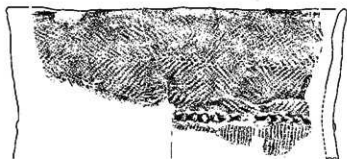
29



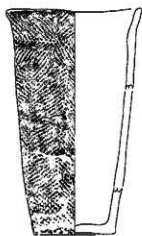
30



31



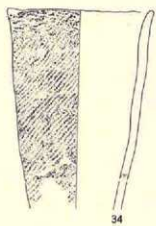
32



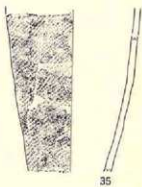
33

0 1 : 4 10cm

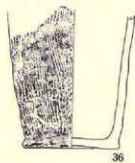
第63圖 土器(6) : RD60(3)



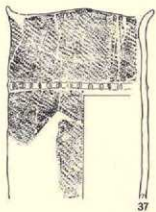
34



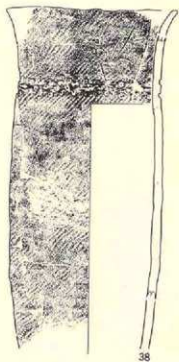
35



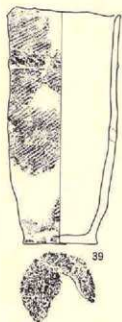
36



37



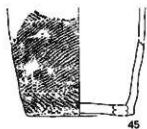
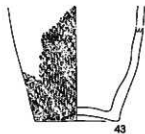
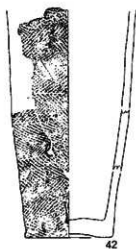
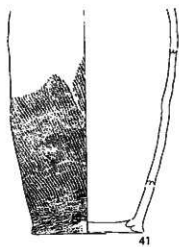
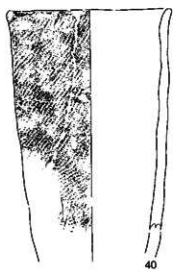
38



39

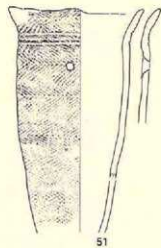
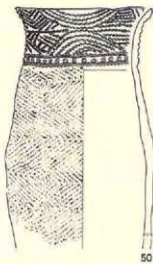
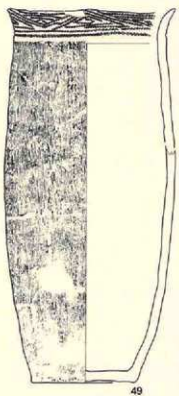
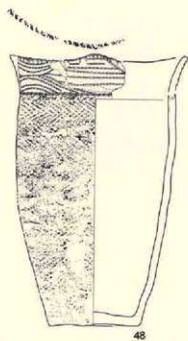
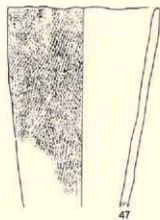
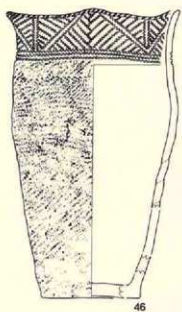
0 1:4 10cm

第64圖 土器(7) : RD60(4)



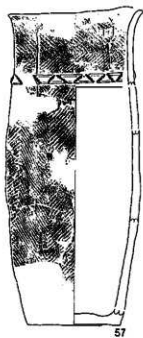
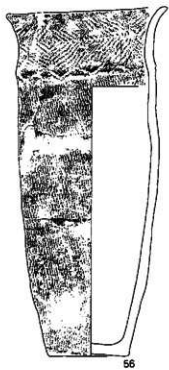
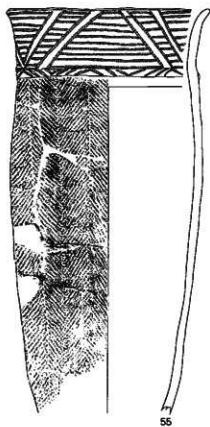
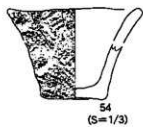
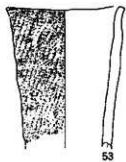
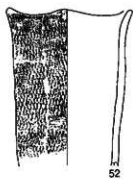
0 1 : 4 10cm

第65圖 土器(8) : RD60(5)、RZ01



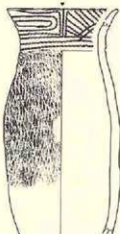
0 1:4 10cm

第66圖 土器(9): RG02



0 1 : 4 10cm

第67圖 土器(10) : RG03(1)



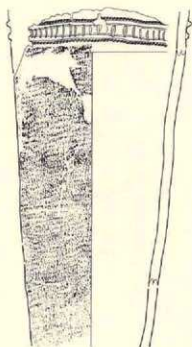
58



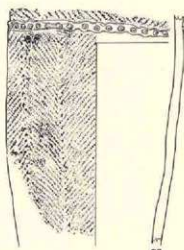
59



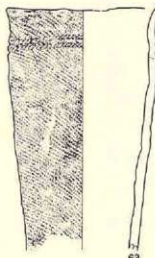
60



61



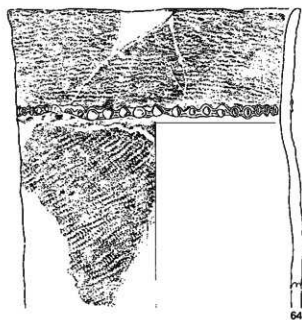
62



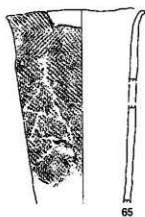
63

0 1:4 10cm

第68圖 土器(11):RG03(2)



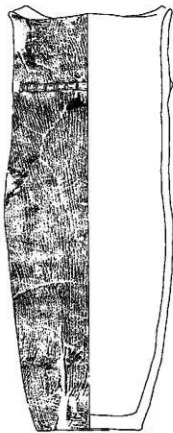
64



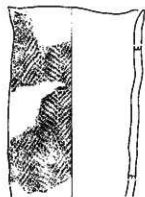
65



66



69



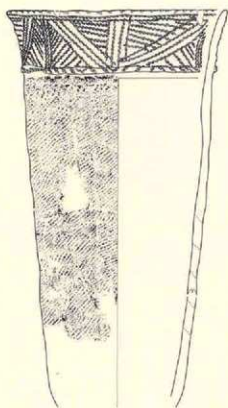
67



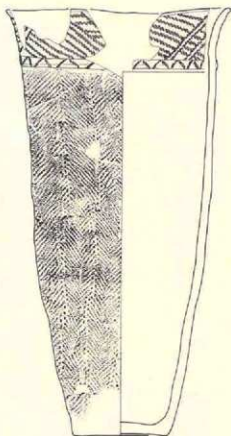
68

0 1:4 10cm

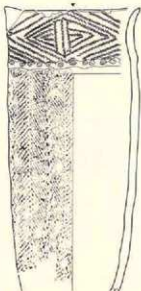
第69圖 土器(12): RG03(3)



70



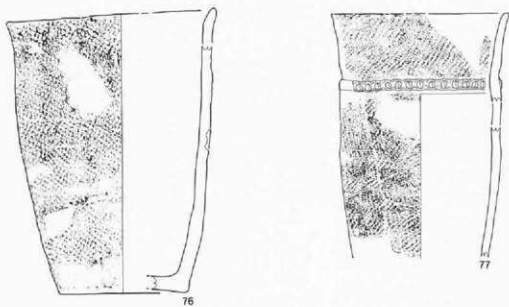
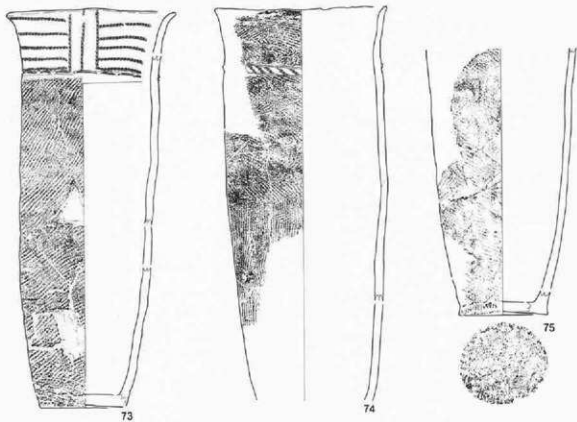
71



72

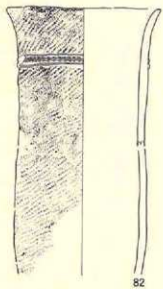
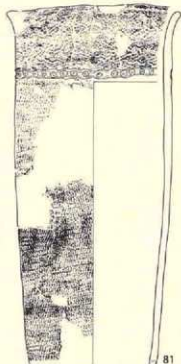
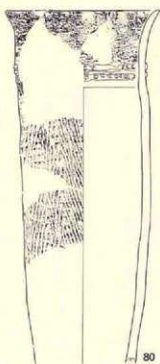
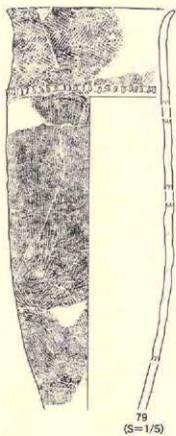
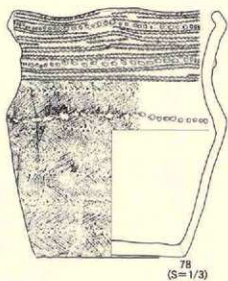
0 1:4 10cm

第70圖 土器(13): RG03(4)



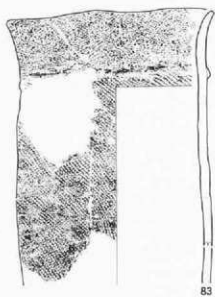
0 1:4 10cm

第71圖 土器(14):RG03(5)



0 1:4 10cm

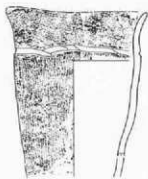
第72圖 土器(15): RG03(6)



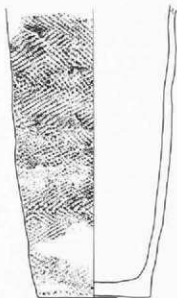
83



84



85



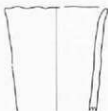
86



87



88



89

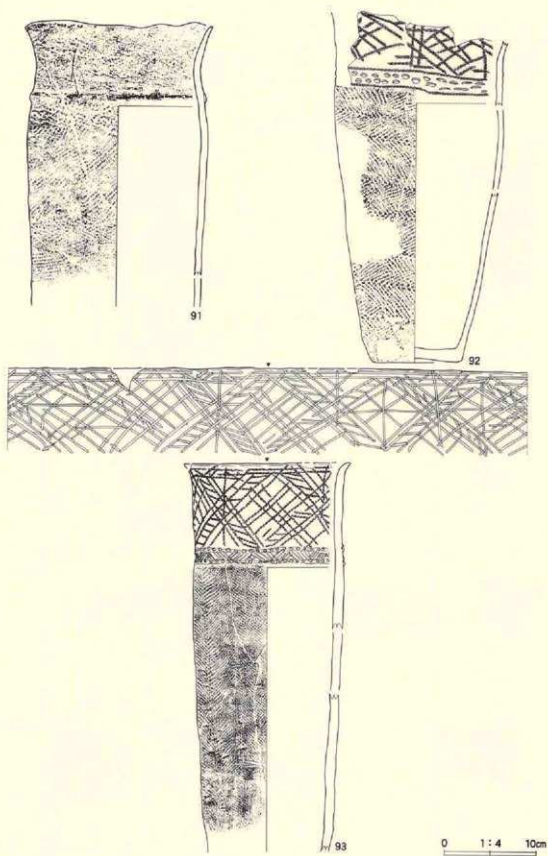


90 (S=1/3)

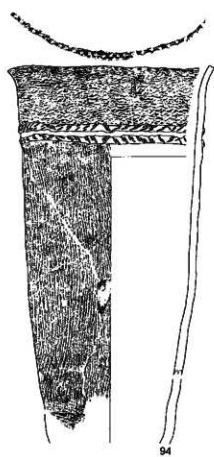


0 1:4 10cm

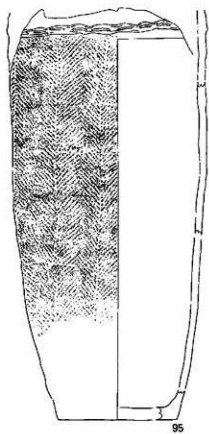
第73圖 土器(16): RG03(7)



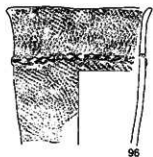
第74圖 土器(17): RG05(1)



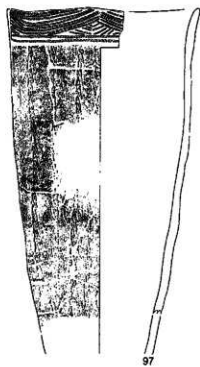
94



95



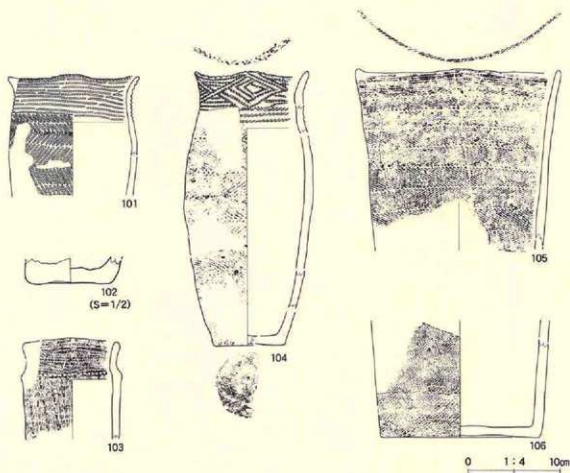
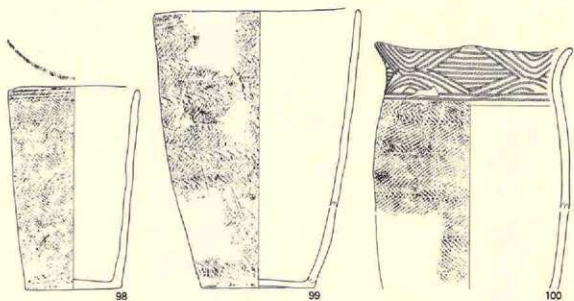
96



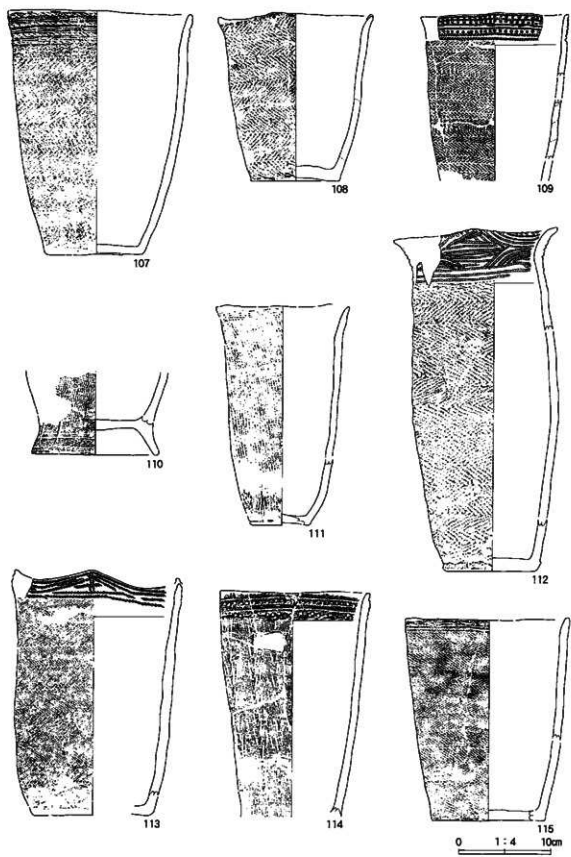
97

0 1:4 10cm

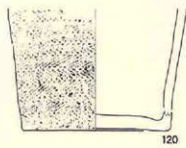
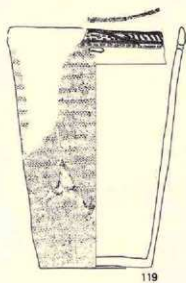
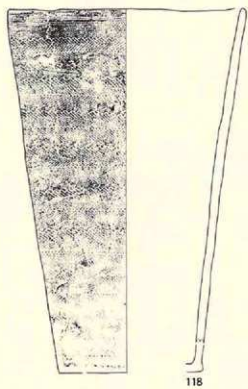
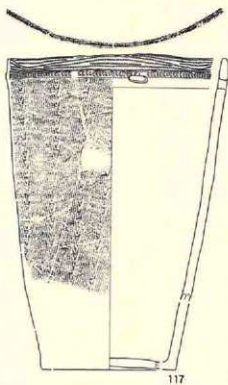
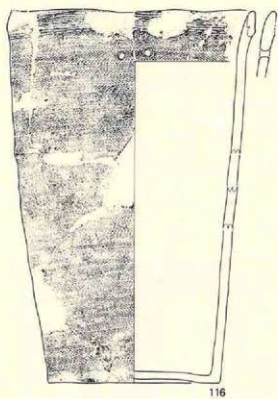
第75圖 土器(18) : RG05(2)、F7H04(1)



第76図 土器(19) : F7H04(2)・H05(1)

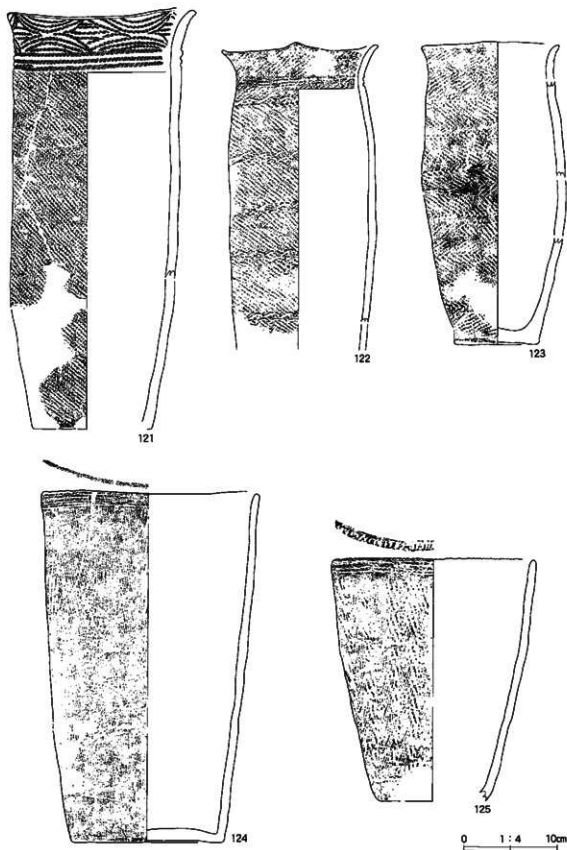


第77圖 土器(20): F7H05(2), I05, H06(1)

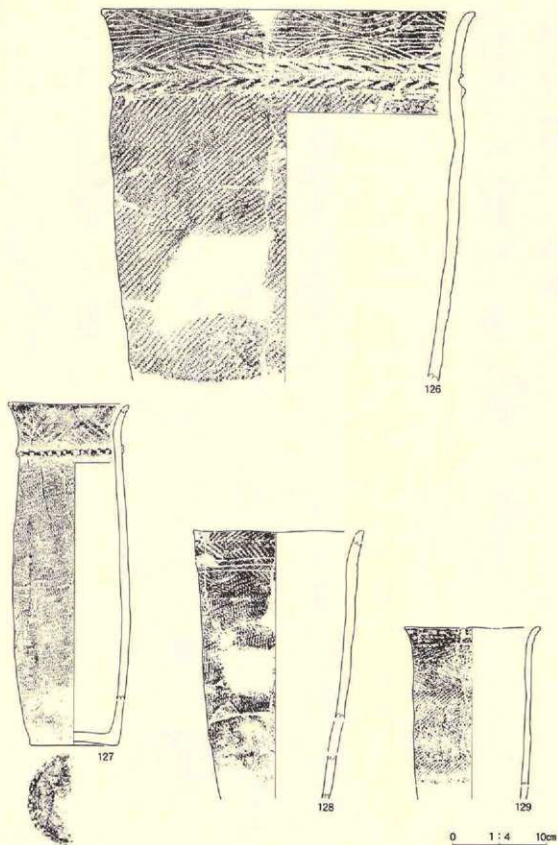


120
0 1:4 10cm

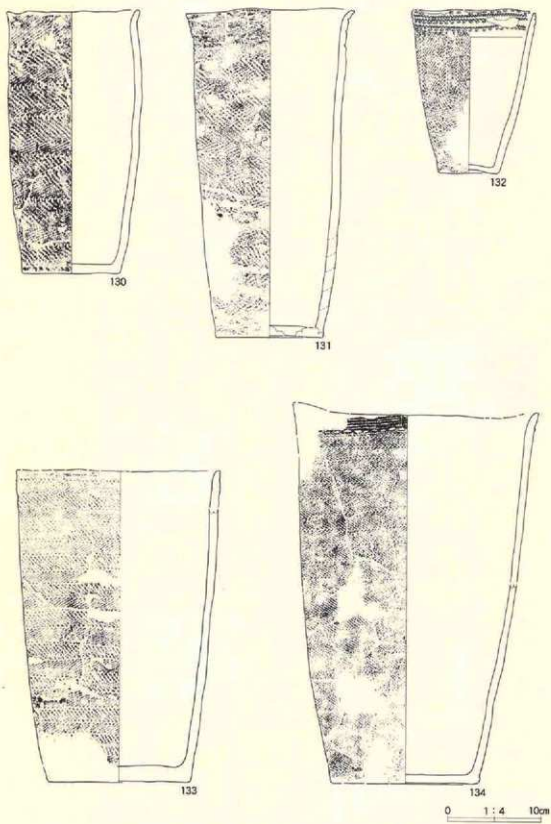
第78圖 土器(21): F7H06(2)



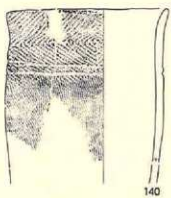
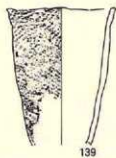
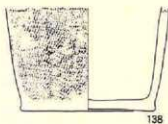
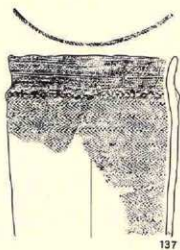
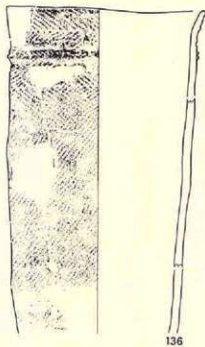
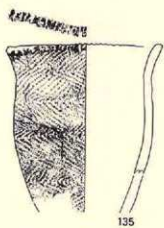
第79圖 土器(22): F7H06(3), I06



第80圖 土器(23) : F7G07(1)



第81圖 土器(24)：F7G07(2)、H07(1)



0 1 : 4 10cm

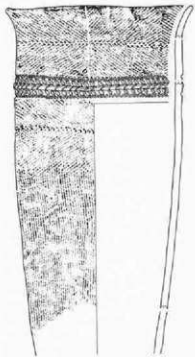
第82圖 土器(25) : F7H07(2)



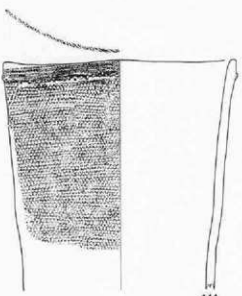
141



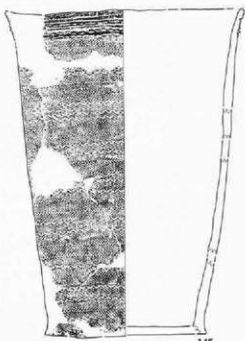
142



143



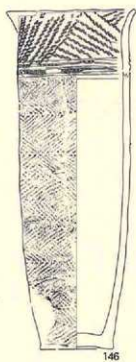
144



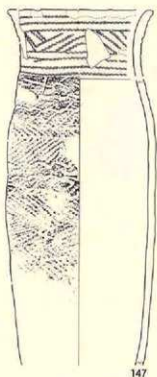
145

0 1 : 4 10cm

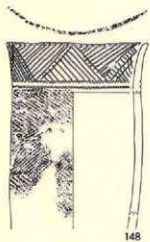
第83圖 土器(26) : F7107



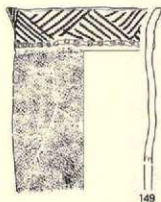
146



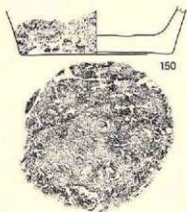
147



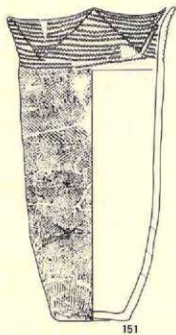
148



149



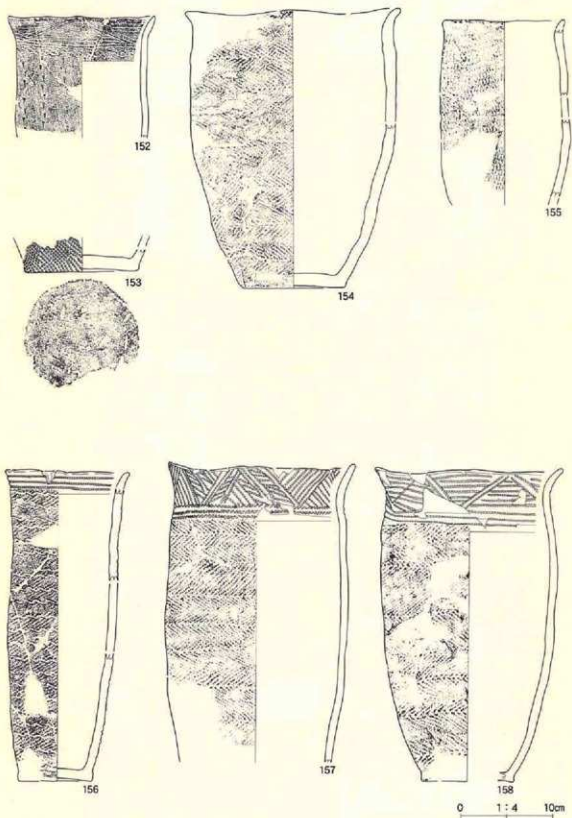
150



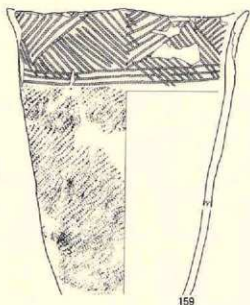
151

0 1:4 10cm

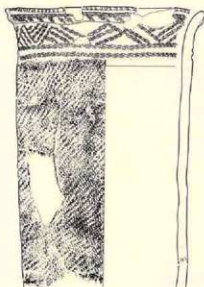
第84圖 土器(27): F7G08、H08、I0B(1)



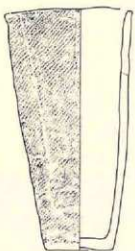
第85圖 土器(28) : F7I08(2)



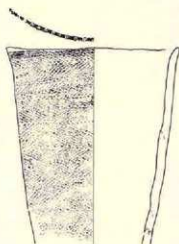
159



160



161



162



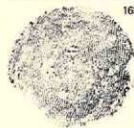
163



164

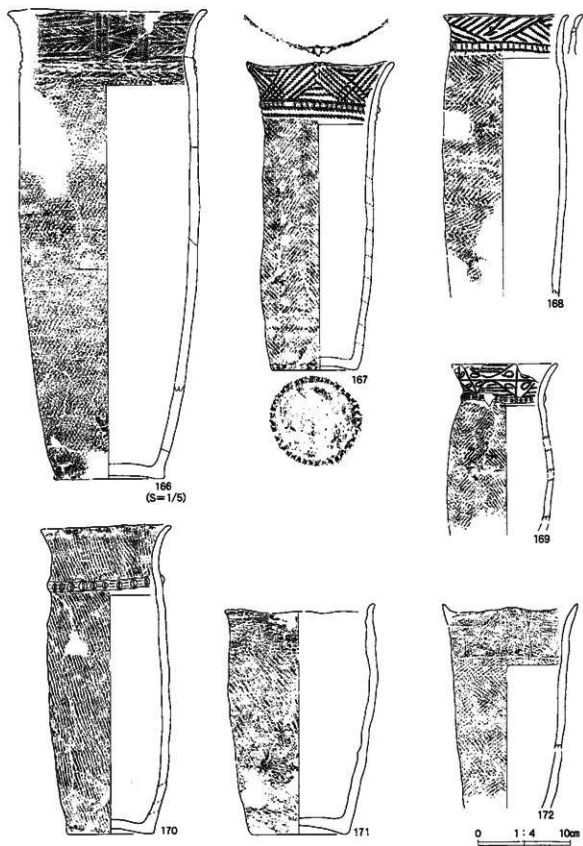


165

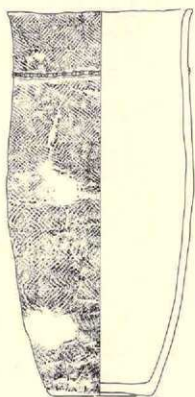


0 1 : 4 10cm

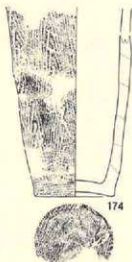
第86圖 土器(29) : F7108(3) 、 J08



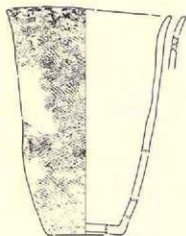
第87圖 土器(30): F7F09



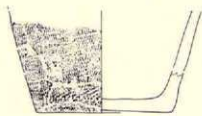
173
(S=1/5)



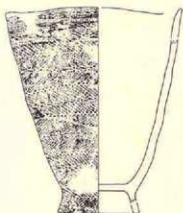
174



175



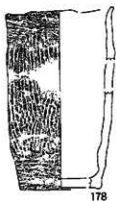
176



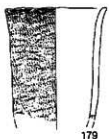
177

0 1:4 10cm

第88圖 土器(31) : F7G09(1)



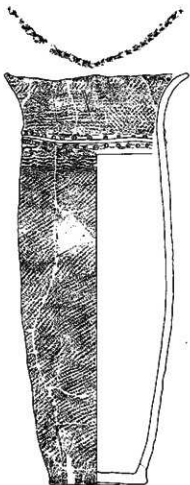
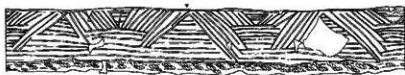
178



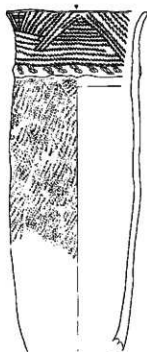
179



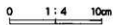
180



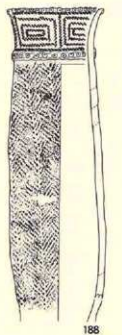
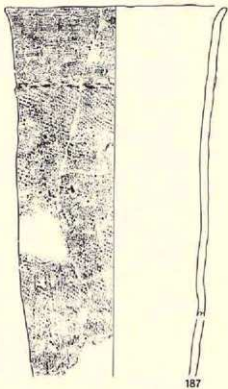
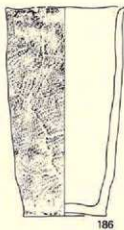
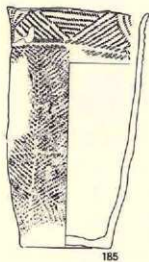
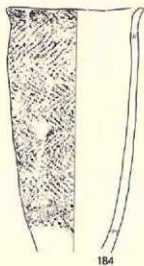
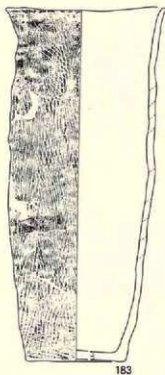
181



182

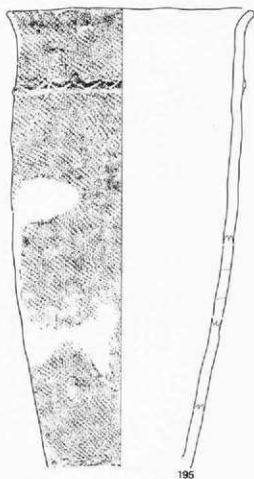
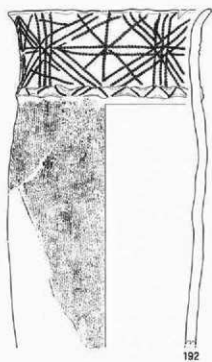
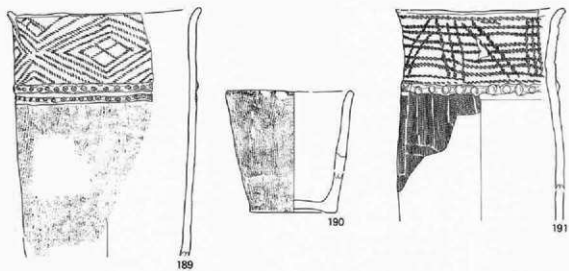


第89圖 土器(32) : F7G09(2)



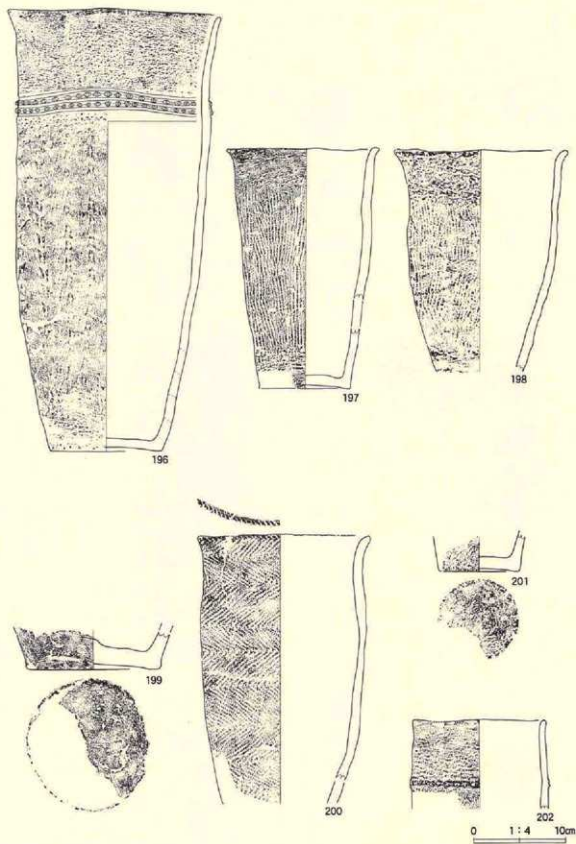
0 1:4 10cm

第90圖 土器(33): F7G09(3)

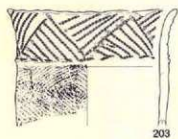


0 1 : 4 10cm

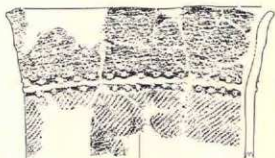
第91圖 土器(34) : F7H09、I09(1)



第92圖 土器(35): F7I09(2)、J09



203



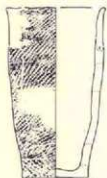
204



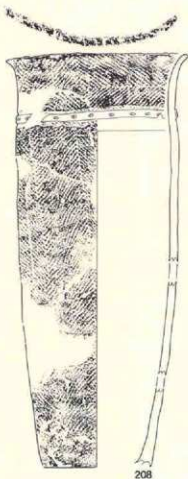
205



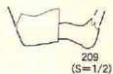
206



207



208



209
(S=1/2)



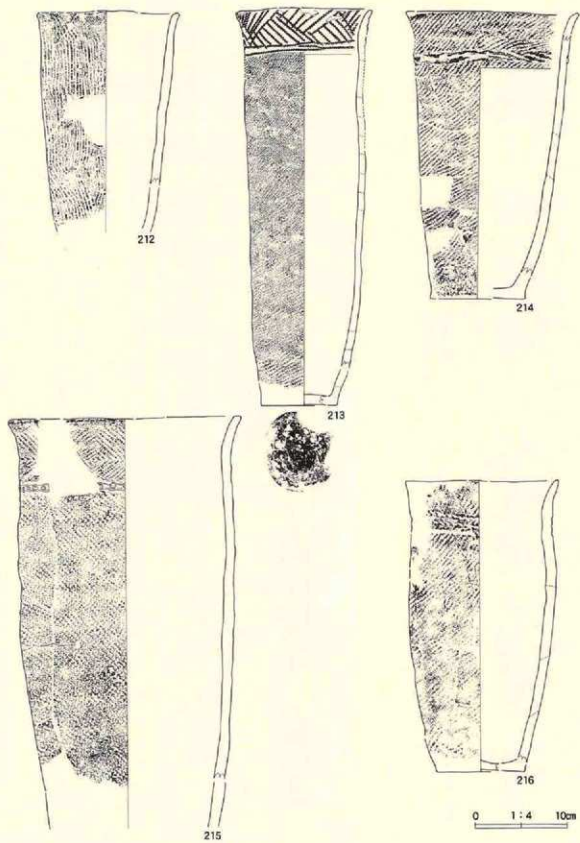
210
(S=1/2)



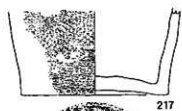
211
(S=1/2)

0 1 : 4 10cm

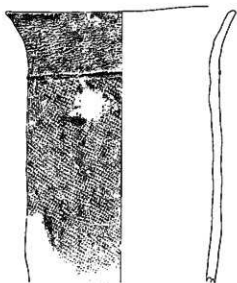
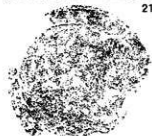
第93圖 土器(36) : F7F10(1)



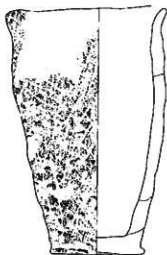
第94図 土器(37)：F7F10(2)、G10(1)



217



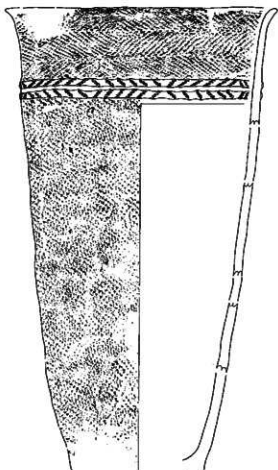
218



219



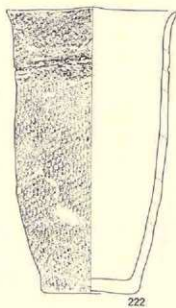
220



221

0 1:4 10cm

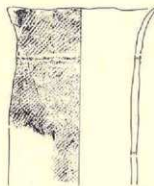
第96圖 土器(38): F7G10(2)



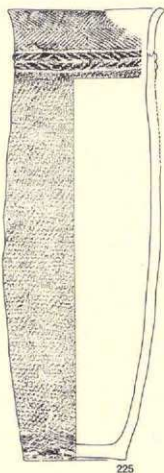
222



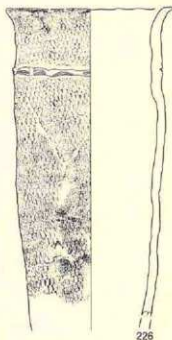
223



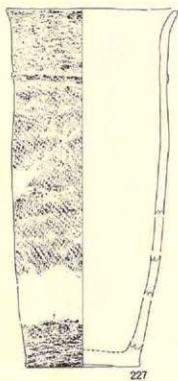
224



225



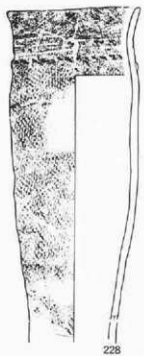
226



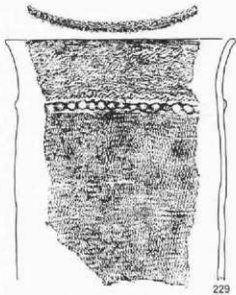
227

0 1 : 4 10cm

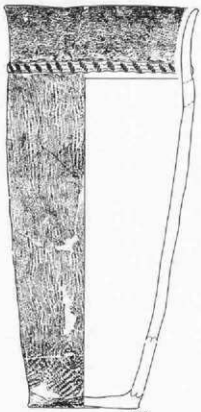
第96圖 土器(39) : F7G10(3)



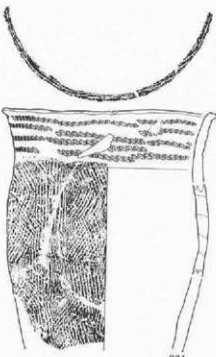
228



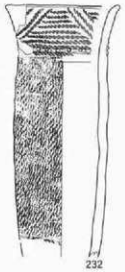
229



230



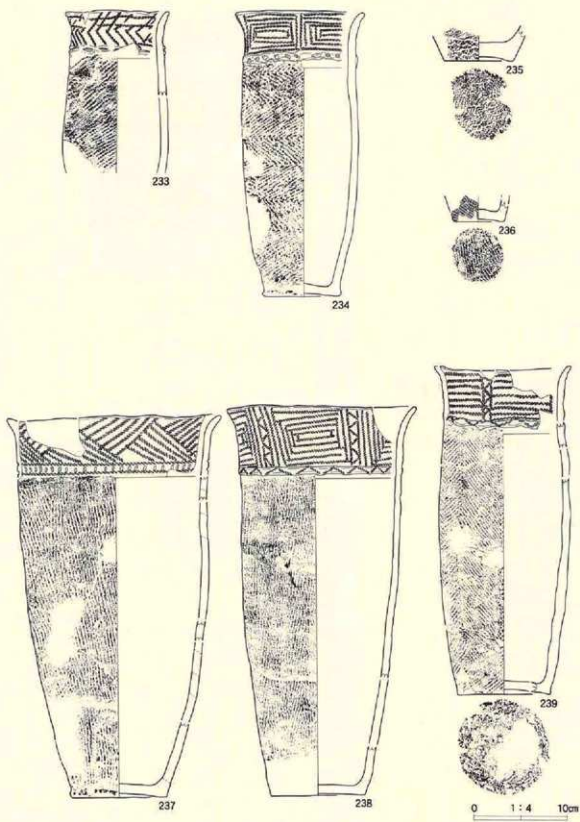
231



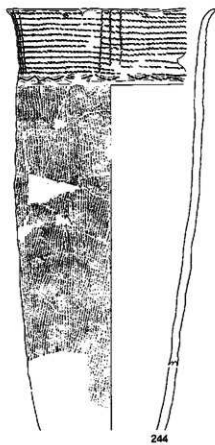
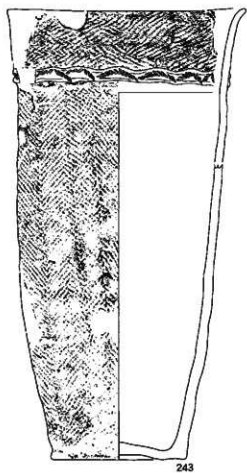
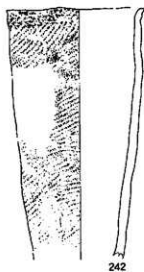
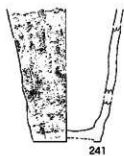
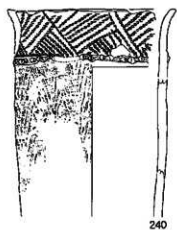
232

0 1:4 10cm

第97圖 土器(40): F7G10(4)・H10

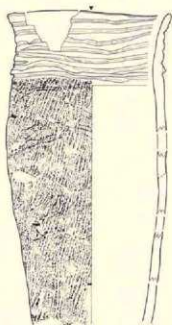


第98圖 土器(41): F7F11、G11(1)

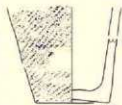


0 1:4 10cm

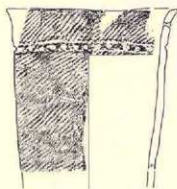
第99圖 土器(42): F7G11(2)



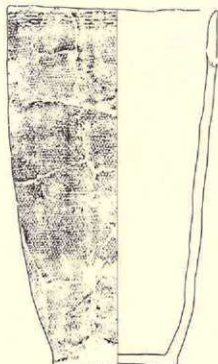
245



246



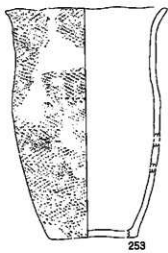
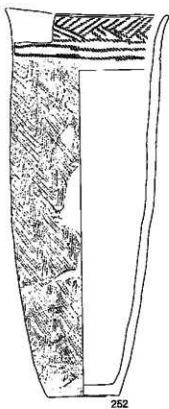
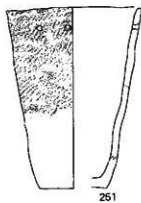
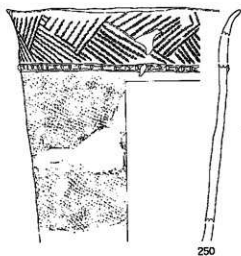
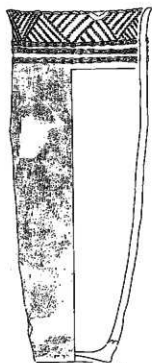
247



248

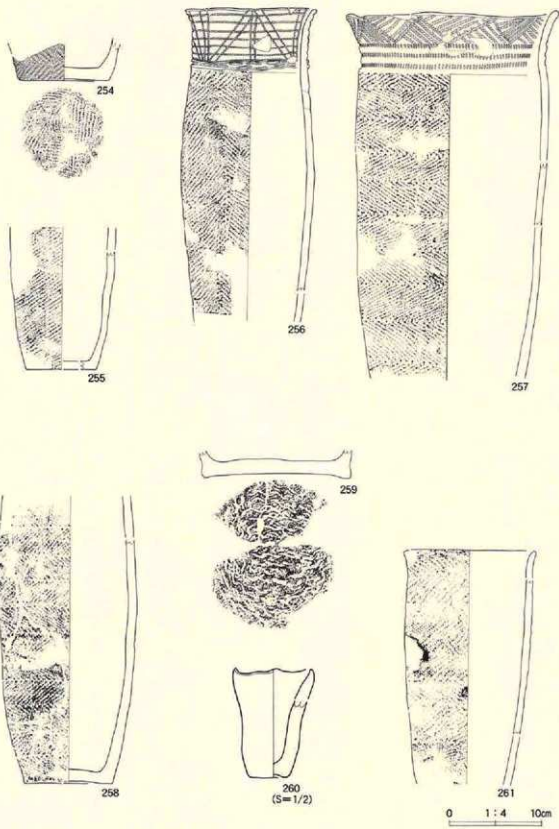
0 1 : 4 10cm

第100圖 土器(43) : F7G11(3) , H11(1)

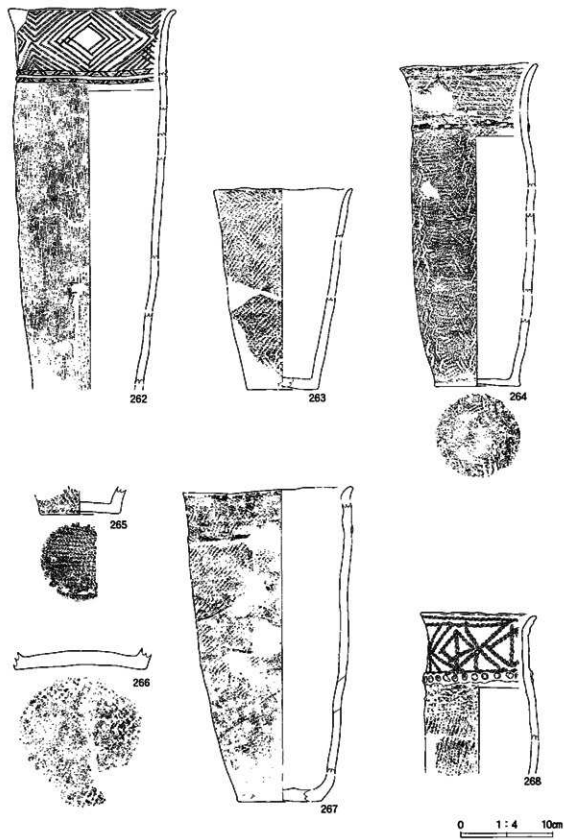


0 1:4 10cm

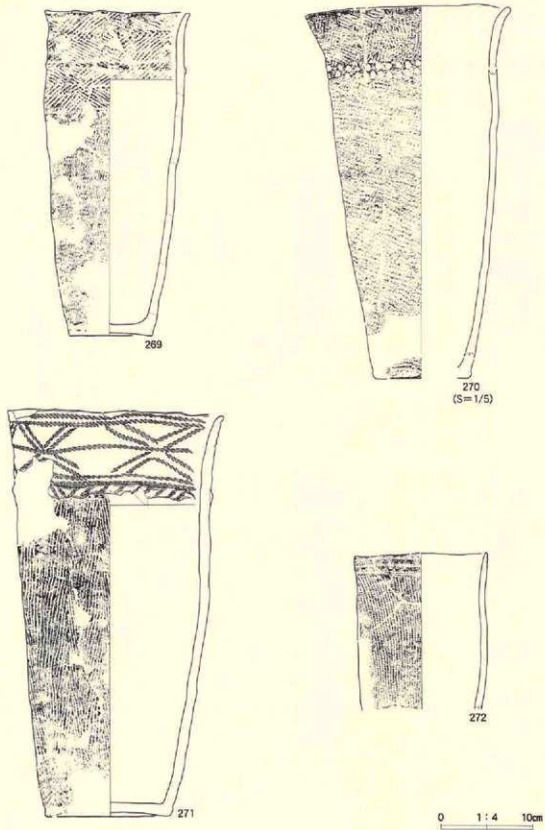
第101圖 土器(44): F7H11(2)



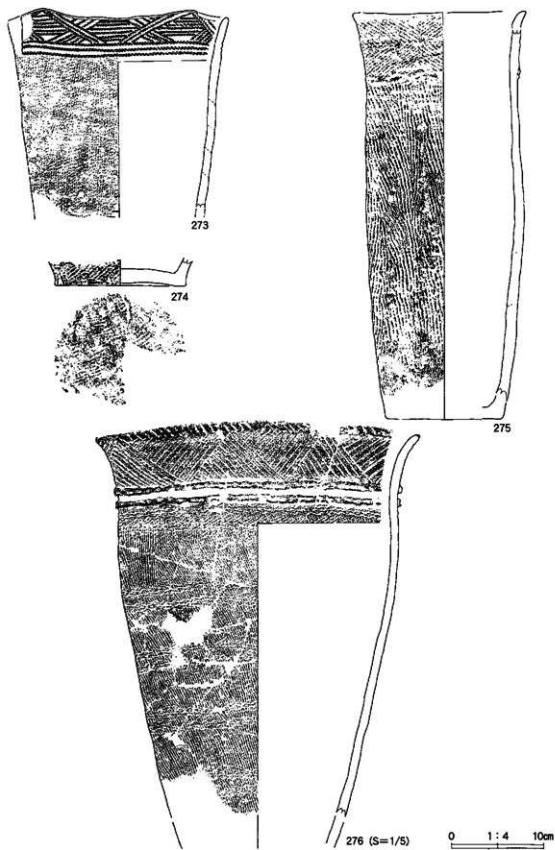
第102圖 土器(45) : F7H11(3) , I11



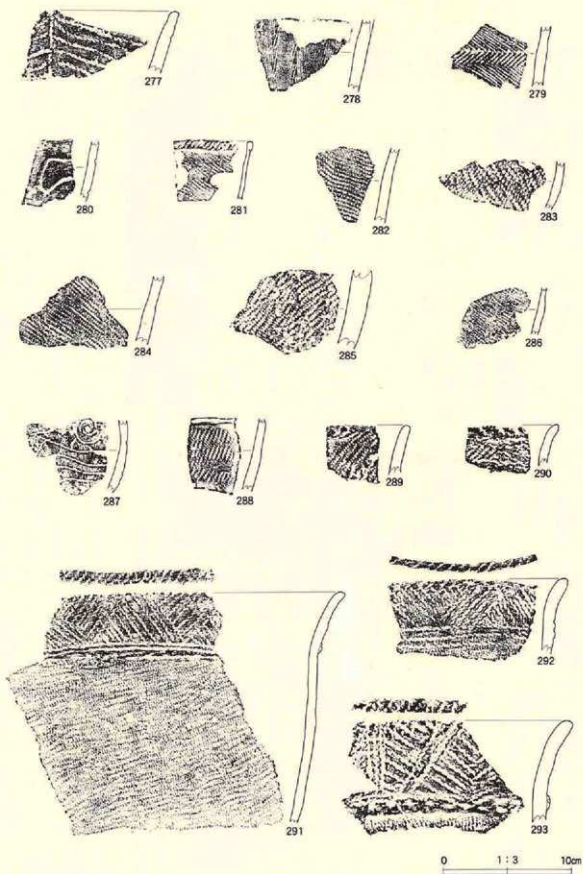
第103圖 土器(46): F7J11、G12(1)



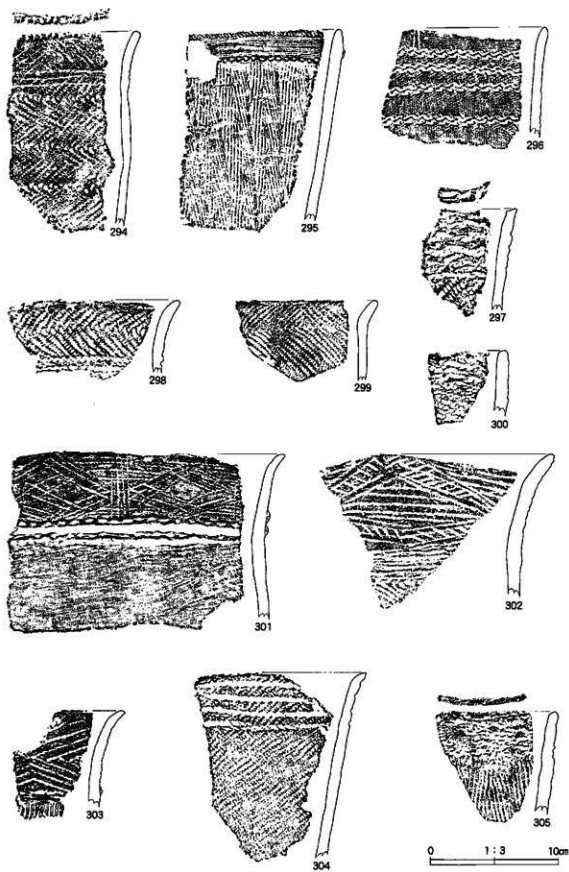
第104回 土器(47) : F7G12(2)、I12、L13、L24(1)



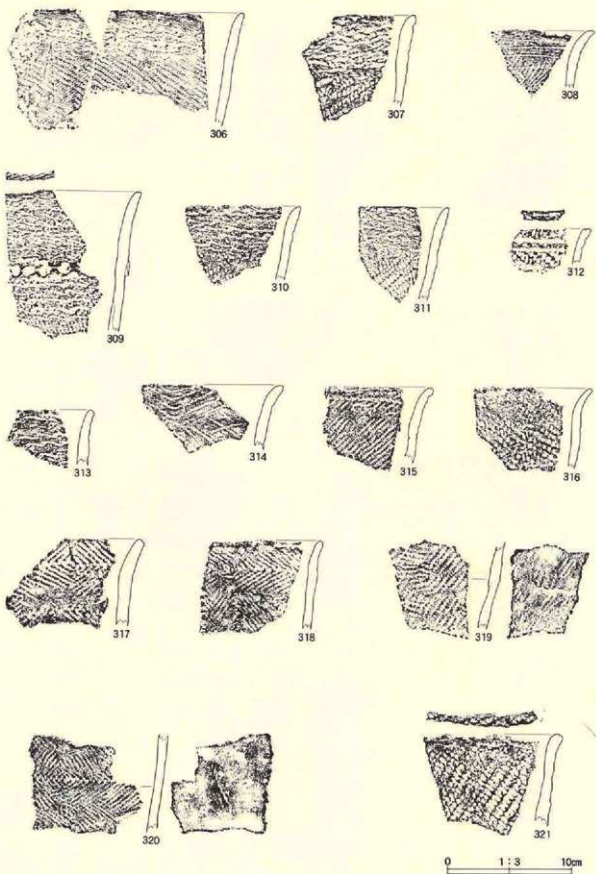
第105图 土器(48): F7L24(2)、F7区、F5区



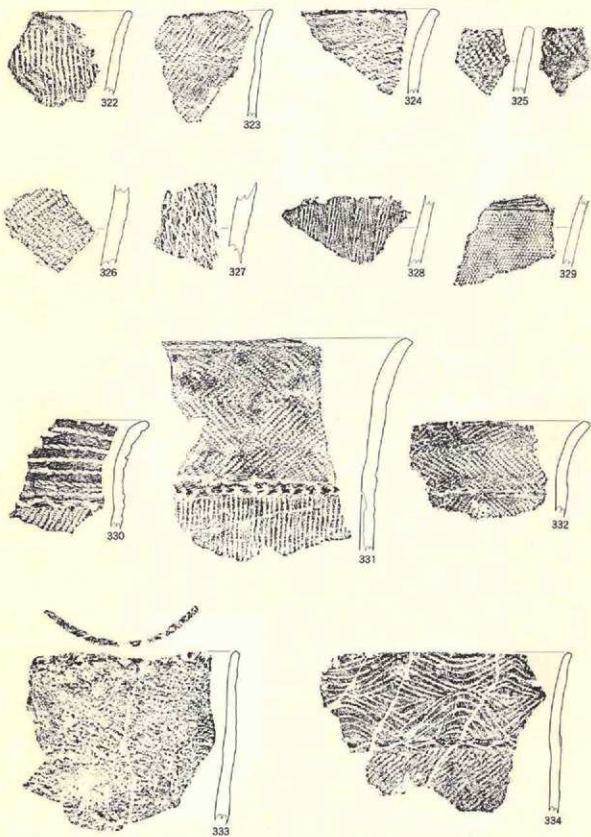
第106圖 土器(49): RA01・02, RD09・14・15・22・30・49・52・53(1)



第107圖 土器(50) : RD53(2)・54(1)

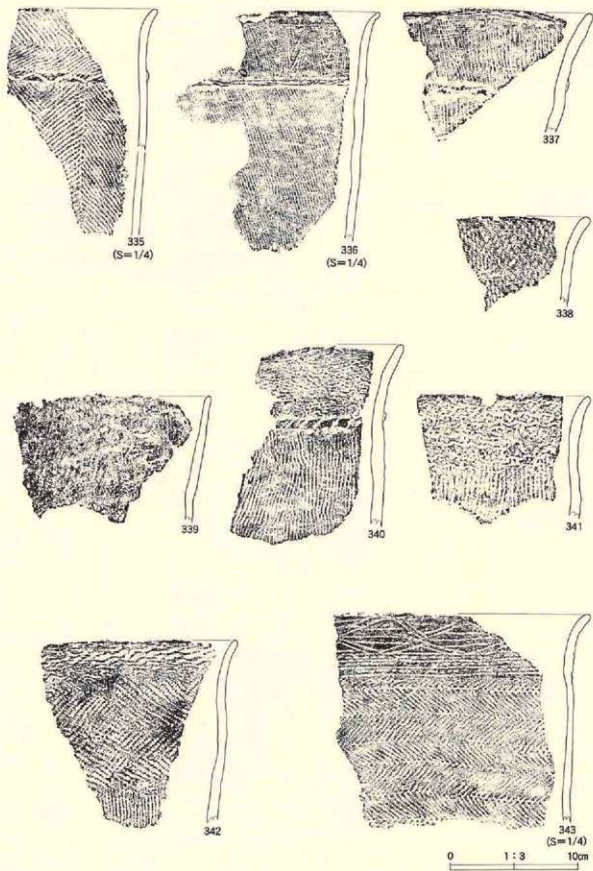


第108圖 土器(51): RD54(2)・55

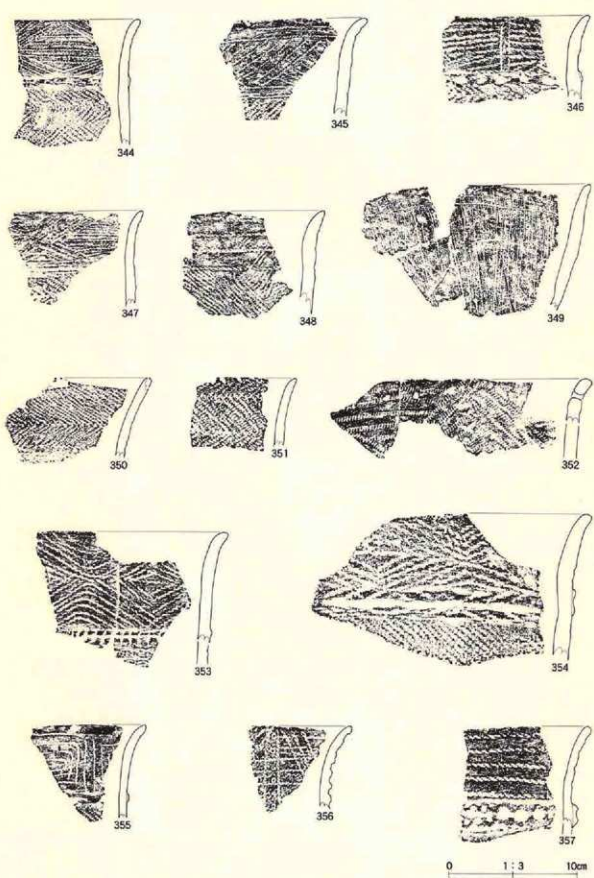


0 1:3 10cm

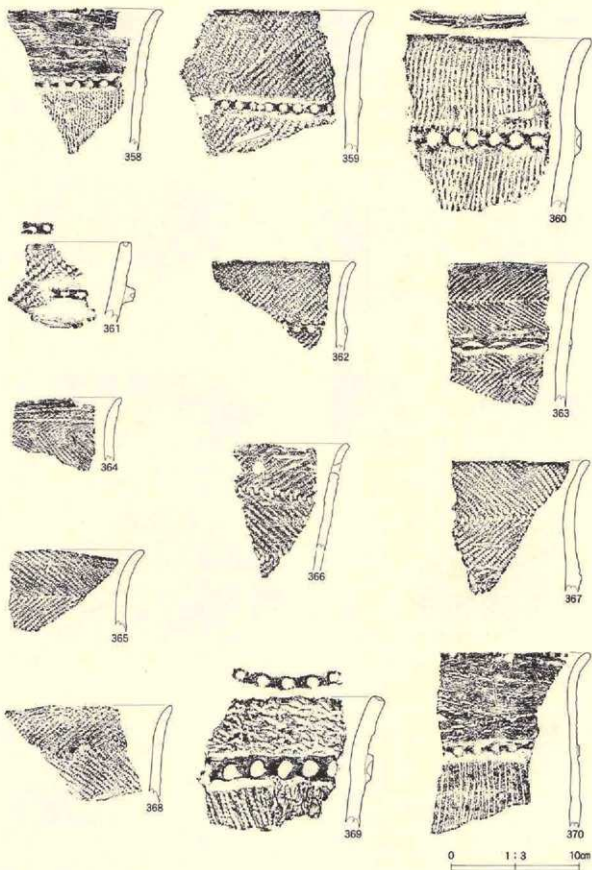
第109圖 土體(52) : RD56・57・58・60(1)



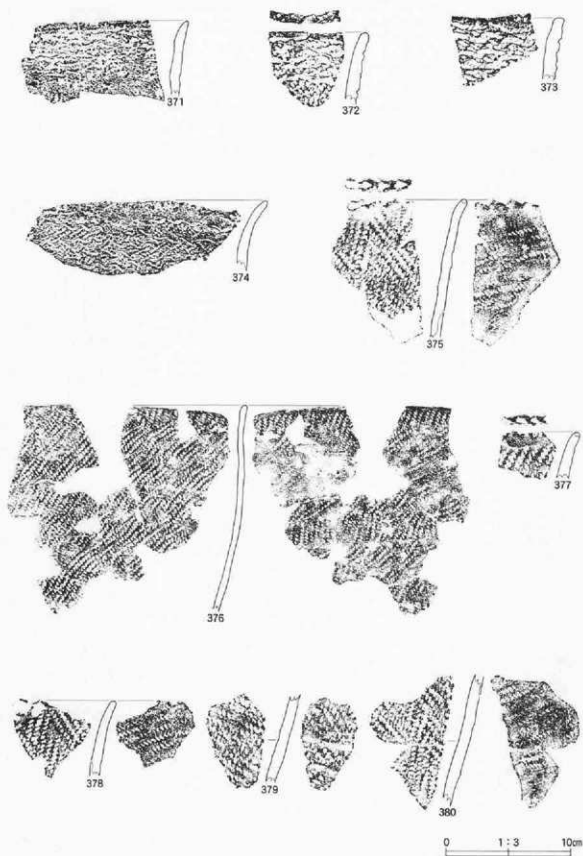
第110回 土器(53) : RD60(2), RG02(1)



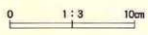
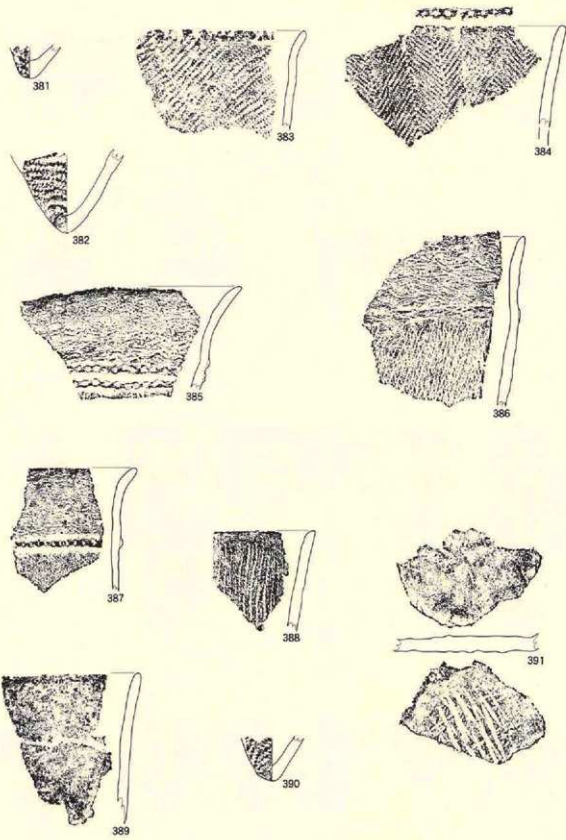
第111圖 土器(54) : RG02(2)・03(1)



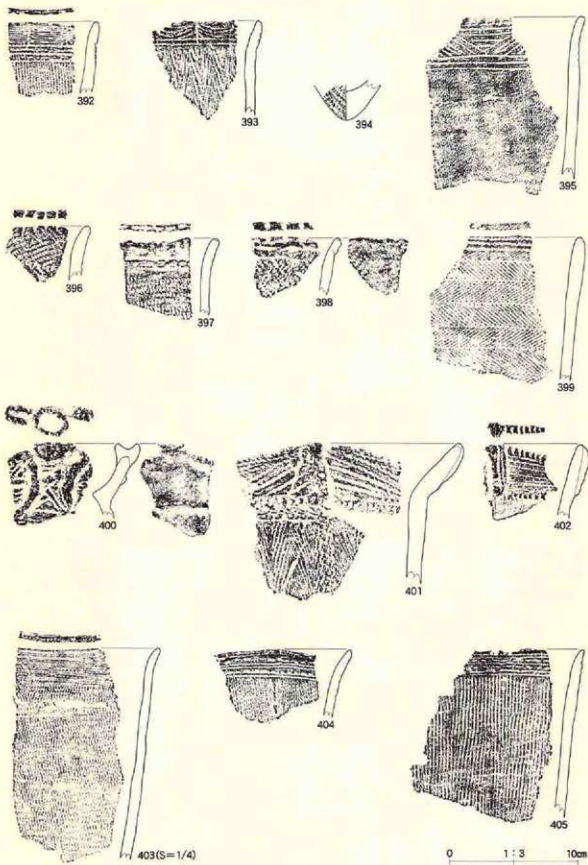
第112图 土器(55): RG03(2)



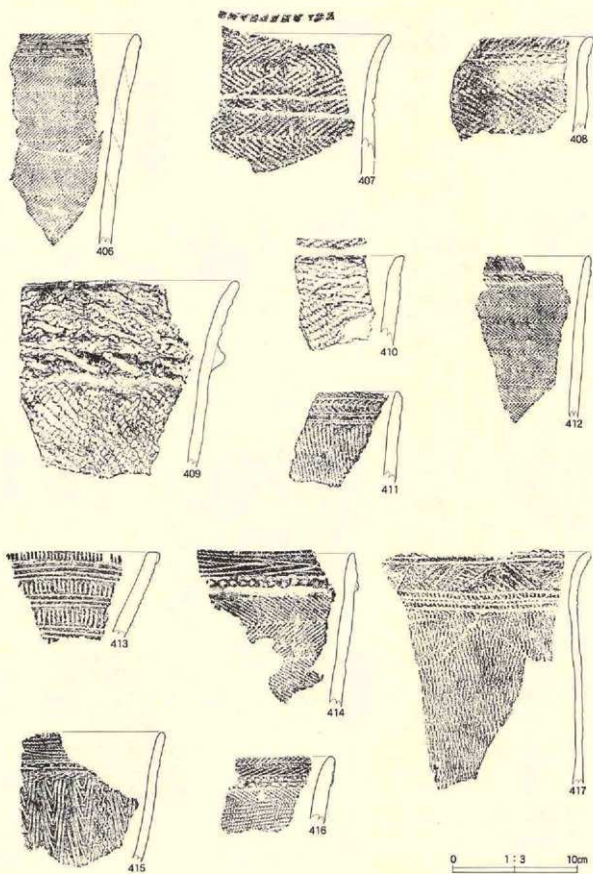
第113圖 土器(56): RG03(3)



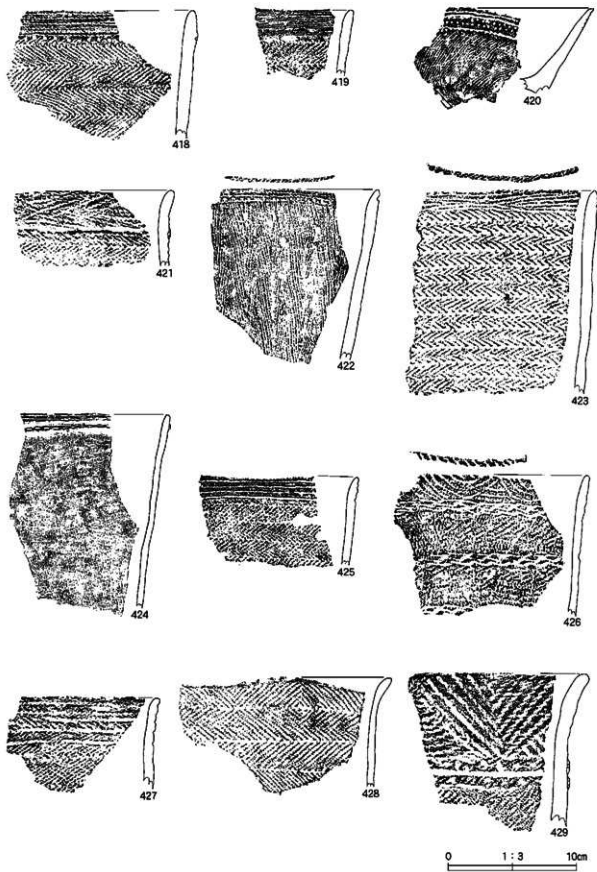
第114回 土器(57): RG03(4)・05



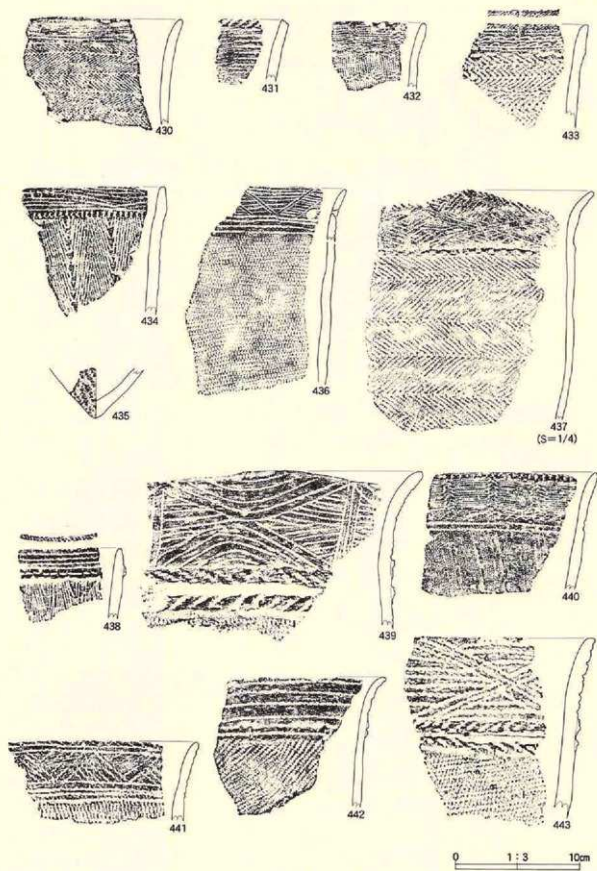
第115圖 土器(58): F7H04, H05(1)



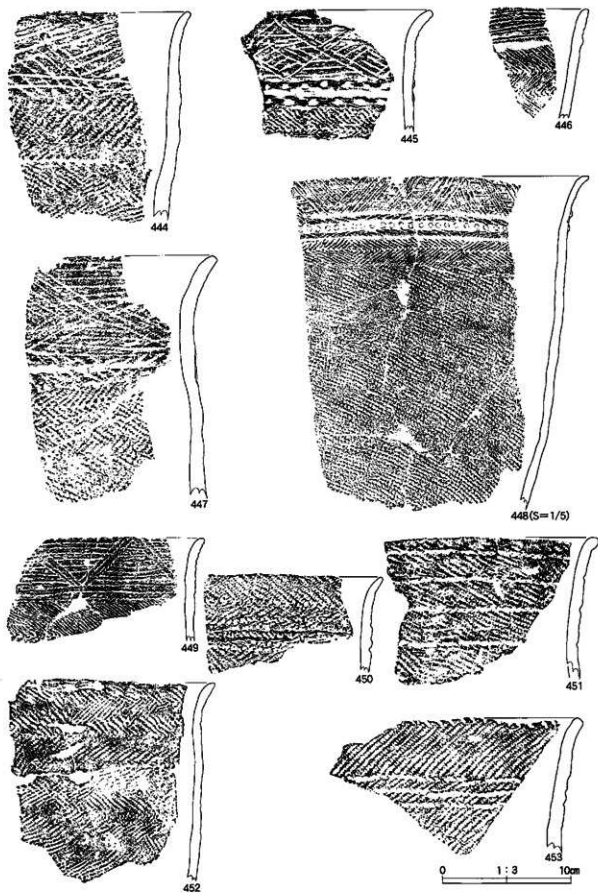
第116圖 土器(59): F7H05(2), I05, G06, H06(1)



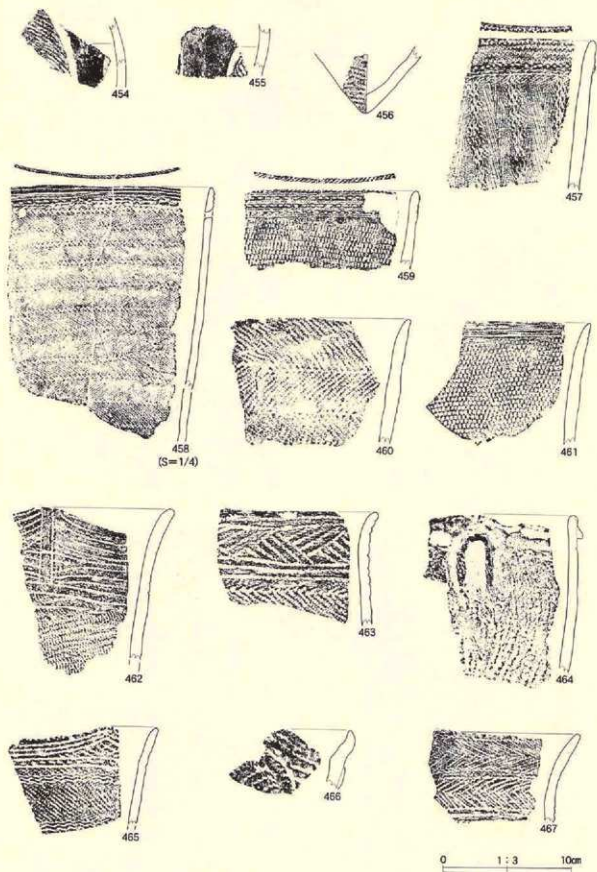
第117圖 土器(60): F7H06(2)



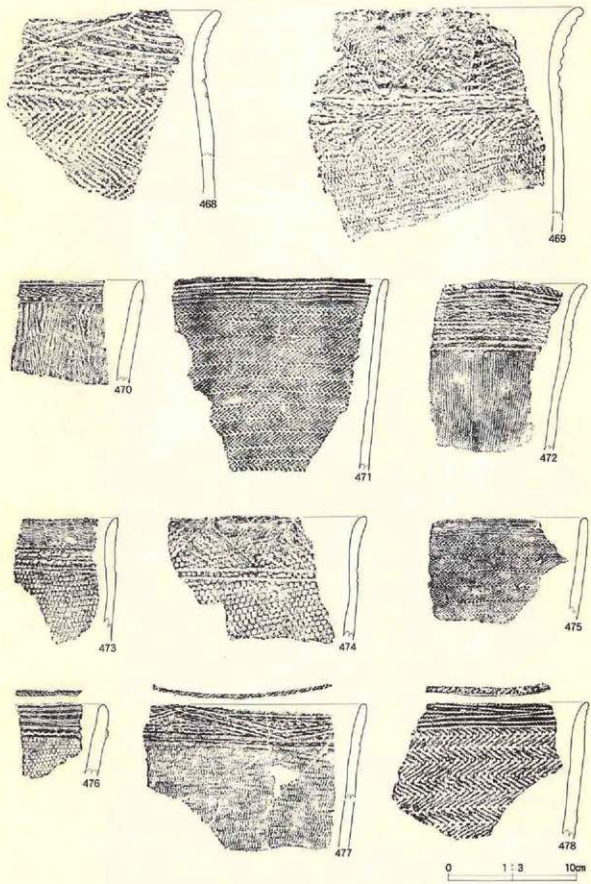
第118圖 土器(61): F7106, F07, G07(1)



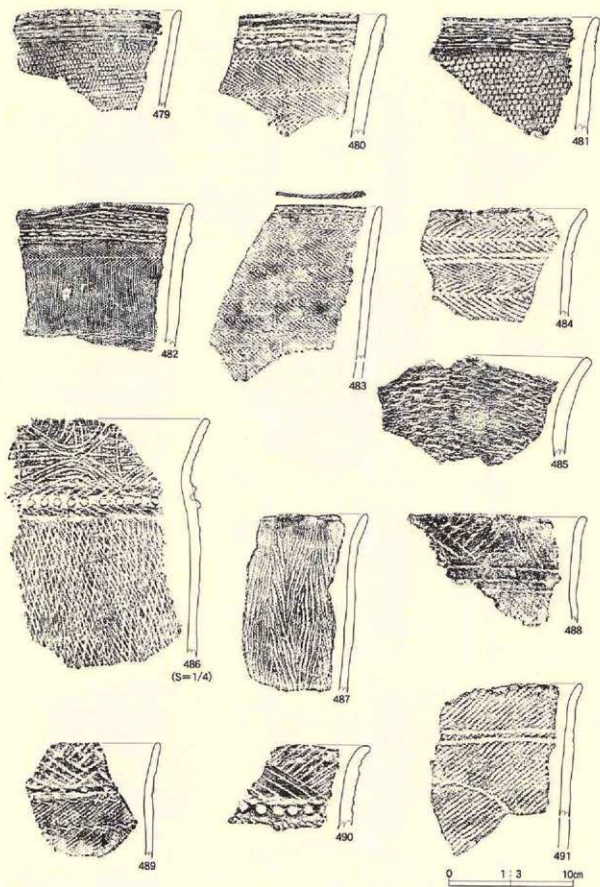
第119圖 土器(62) : F7G07(2)



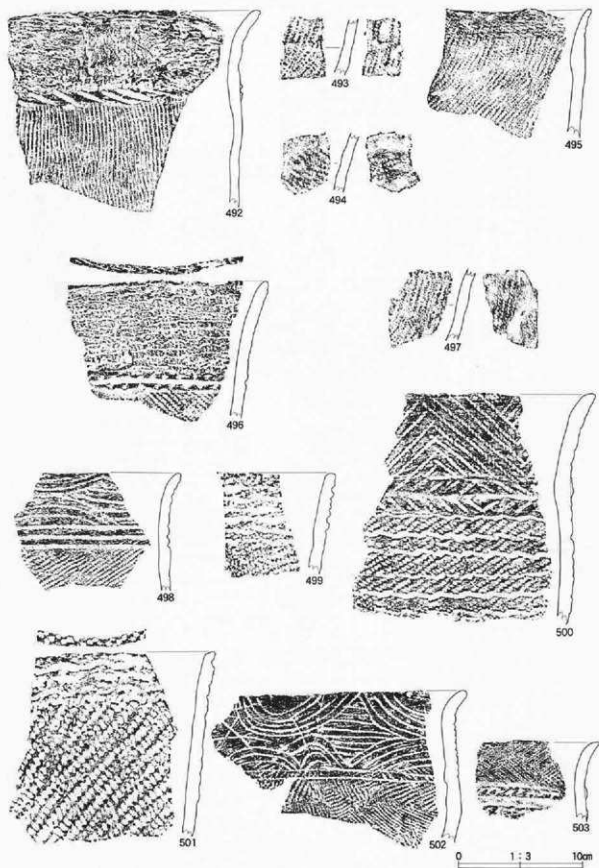
第120圖 土器(63): F7H07(1)



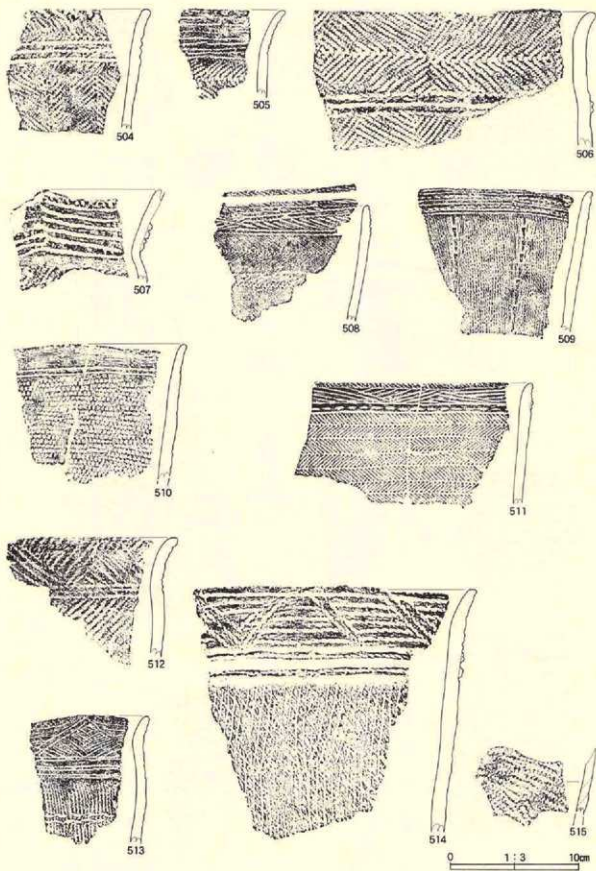
第121圖 土器(64) : F7H07(2), I07(1)



第122圖 土器(65) : F7107(2), G08(1)



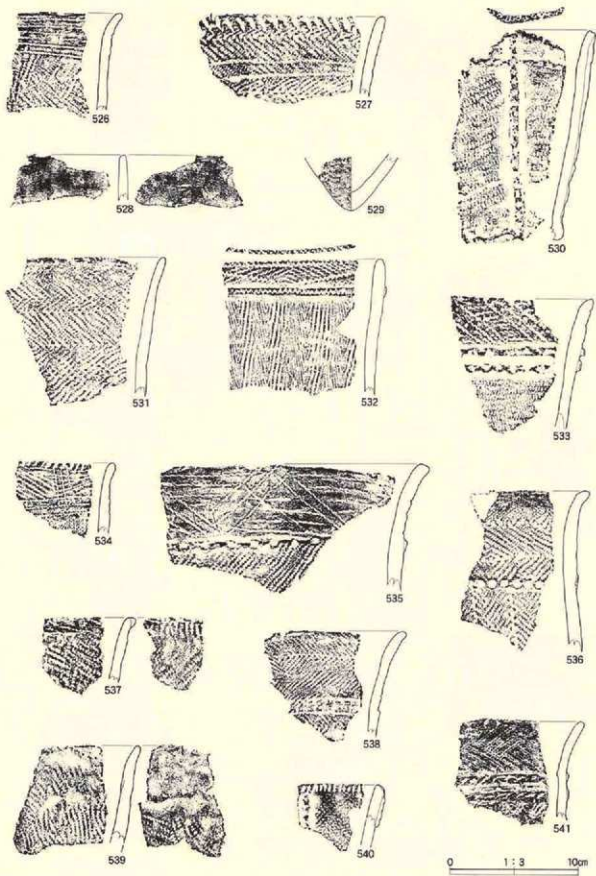
第123圖 土器(66): F7G08(2)、H08



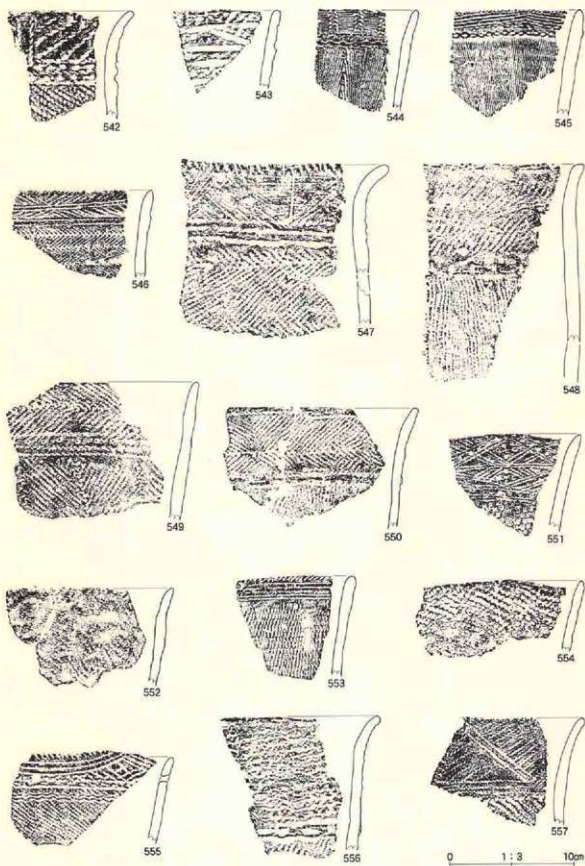
第124圖 土器(67): F7I08(1)



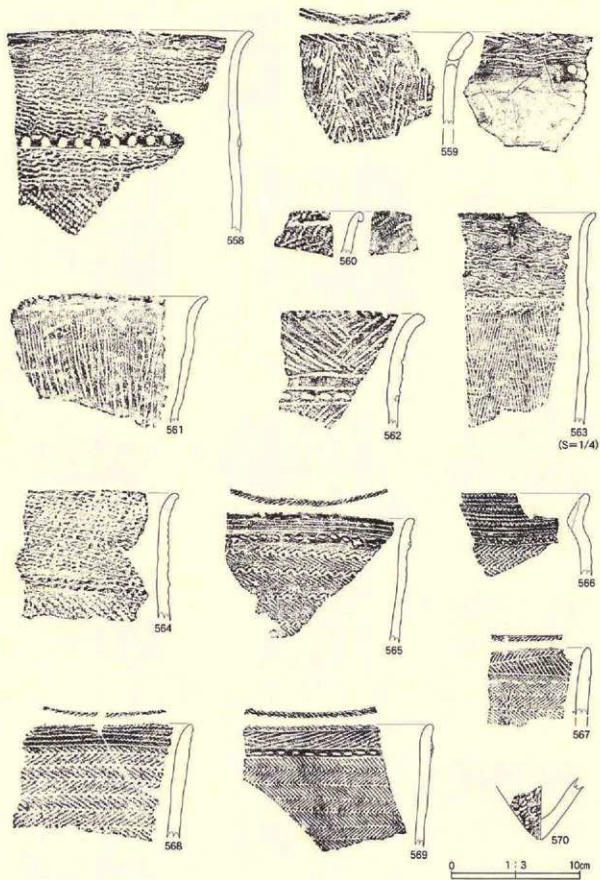
第125圖 土器(68): F7I08(2)



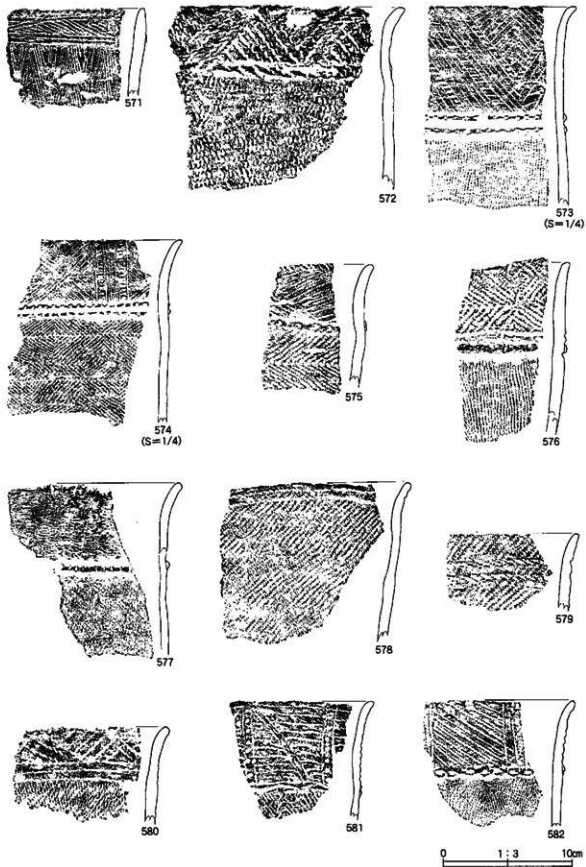
第126圖 土器(69): F7108(3)、J08



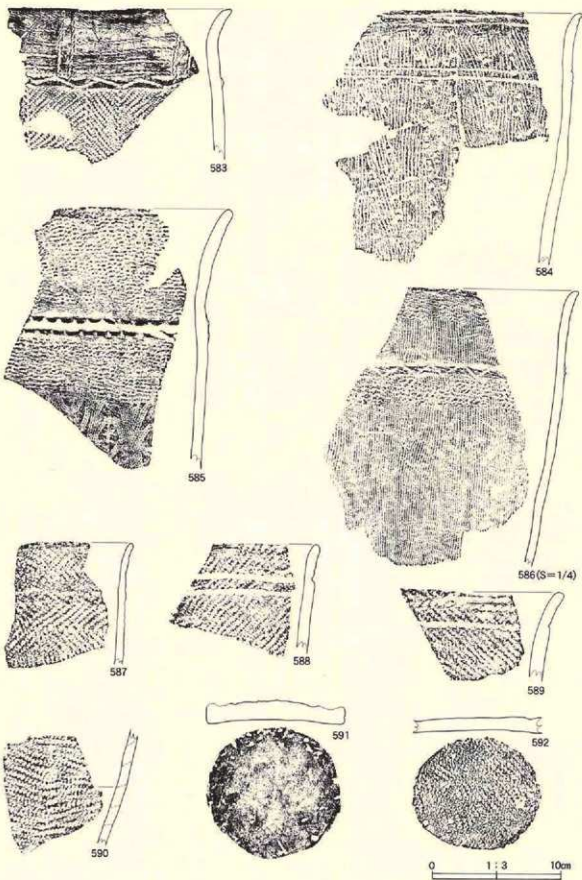
第127圖 土器(70): F7F09、G09、H09(1)



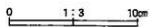
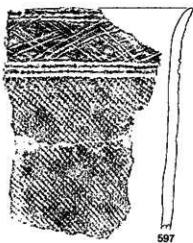
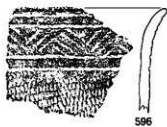
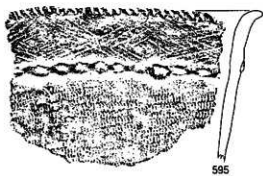
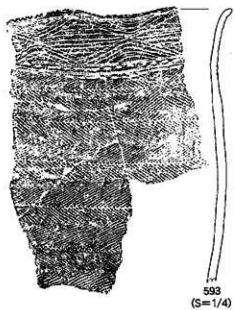
第128圖 土器(71): F7H09(2), I09(1)



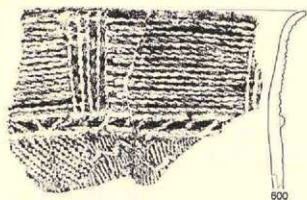
第129圖 土器(72) : F7109(2)、J09(1)



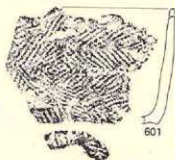
第130圖 土器(73): F7J09(2)



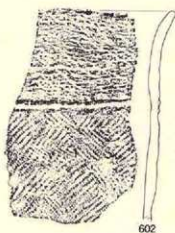
第131圖 土器(74) : F7J09(3)



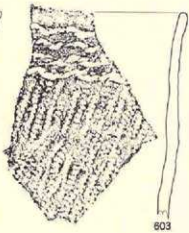
600



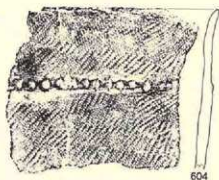
601



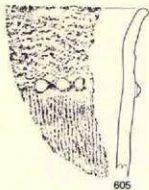
602



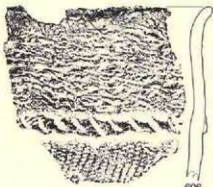
603



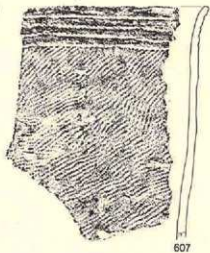
604



605



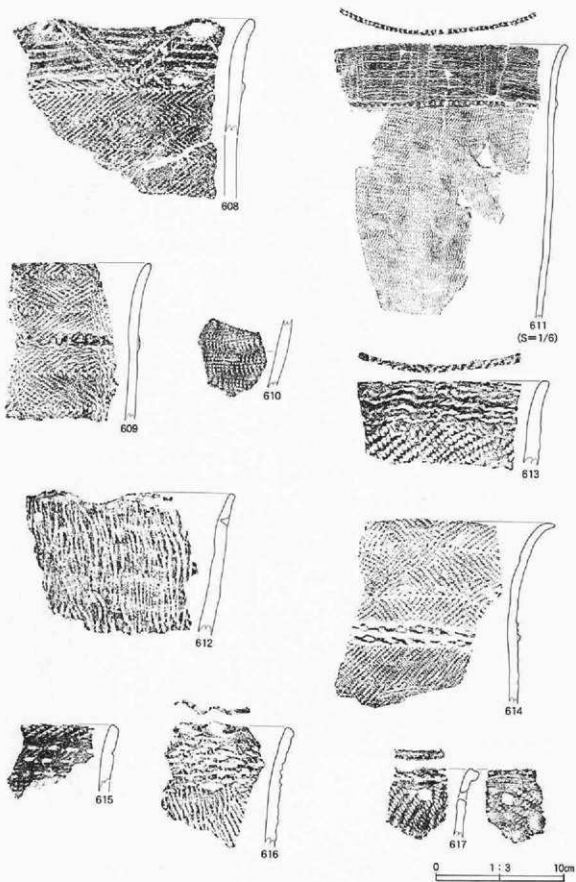
606



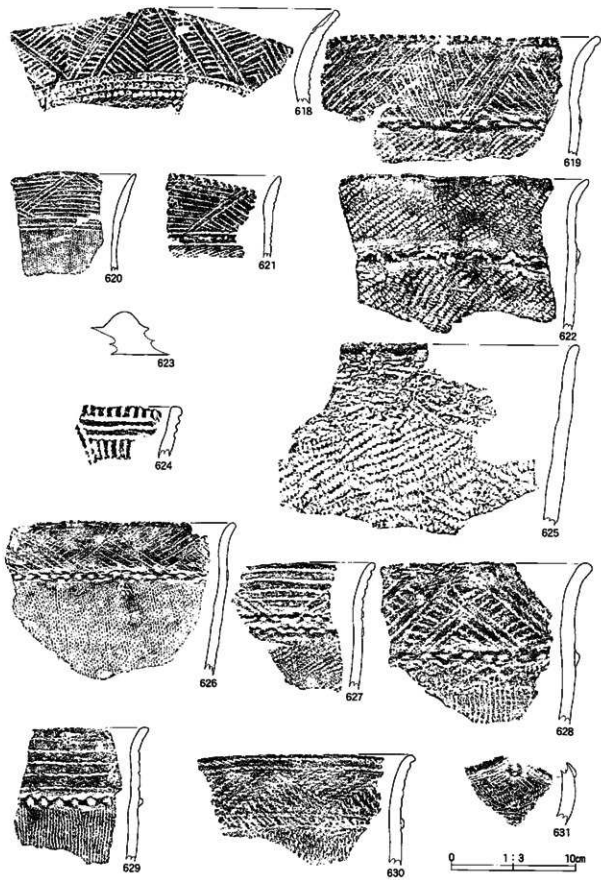
607

0 1 : 3 10cm

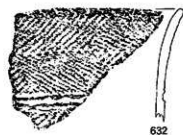
第132圖 土器(75) : F7F10



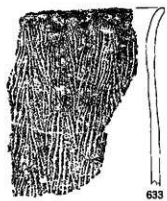
第133圖 土器(76): F7F10、I10、J10



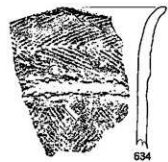
第134圖 土器(77): F7G11(1)



632



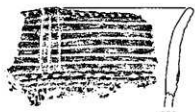
633



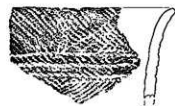
634



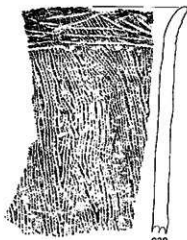
635



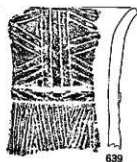
636



637



638



639



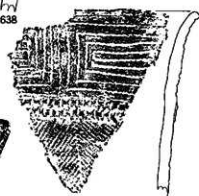
640



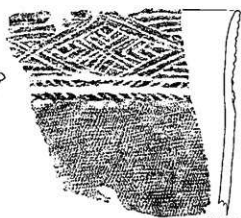
641



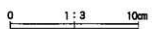
642



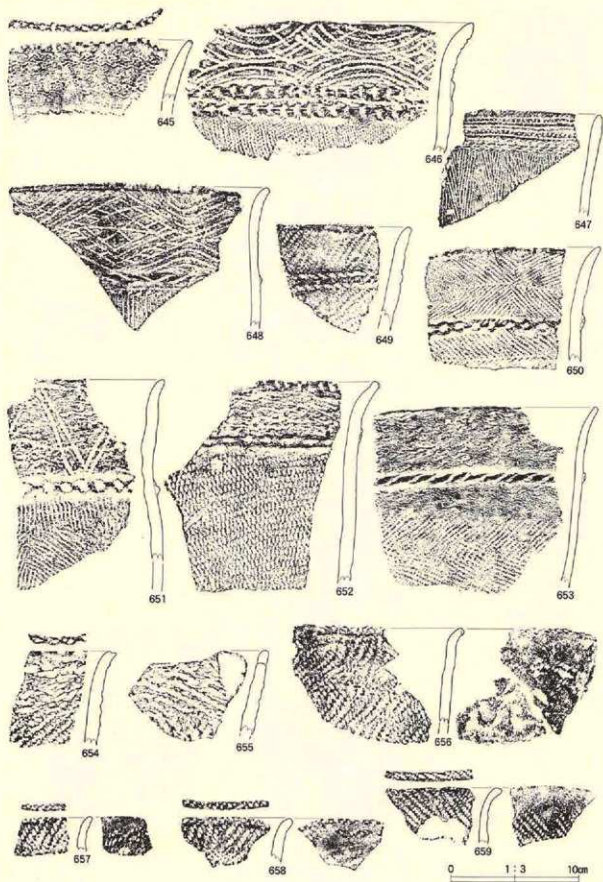
643



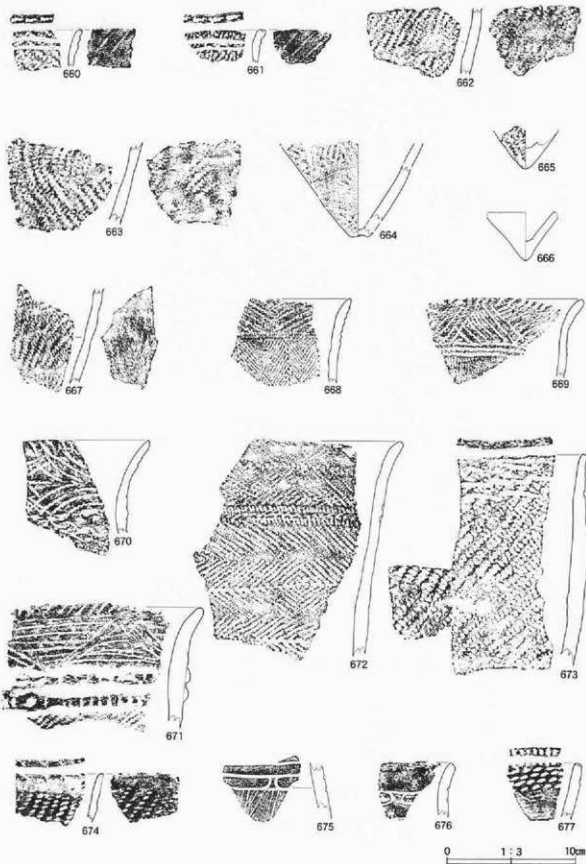
644(S=1/4)



第135圖 土器(78): F7G11(2), H11, J11, F12, G12(1)



第136圖 土器(79): F7G12(2), H12, G12~I12(1)



第137图 土器(80): F7G12~I12(2), L13, F5区、F7区、F8区

2. 土師器・須恵器 (第138図、写真図版105:701~708)

土師器・須恵器は、RA02竪穴住居跡から出土している。同一個体と考えられるものや、胴部破片などを除く、土師器片6点、須恵器片2点、計8点を掲載した。器種は甕で、坏と思われる破片は無かった。

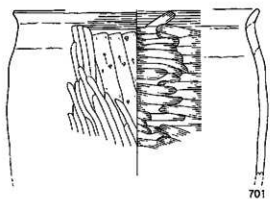
701・702の甕は、口縁部が小さく外反する。707は、須恵器の口縁部破片で、内面に自然釉がかかっている。708は、焼成が甘く、胎土が橙色を呈している。

時期は、平安時代(10世紀後半)と推定される。

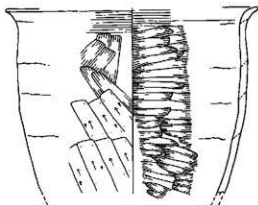
表2 土器観察表(1):土師器・須恵器

図版 No.	No.	種類	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			外 面	内 面	色 調	備 考
						器高	口径	底径				
138	701	土師器	RA02	埋土	甕	(13.0)	(19.0)	-	ヨコナデ→ハラケズリ→ハラミガキ	ヨコナデ→ハラナデ	暗褐色	
138	702	土師器	RA02	埋土	甕	(14.5)	(19.5)	-	ヨコナデ・ハラナデ→ケズリ	ヨコナデ→ハラナデ	にぶい黄褐色	
138	703	土師器	RA02	埋土	甕	(5.0)	(4.6)	-	ヨコナデ・ハラナデ	ヨコナデ→ハラナデ	にぶい褐色	輪縁痕
138	704	土師器	RA02	埋土	甕	(4.7)	(6.2)	-	ヨコナデ→ケズリ	ヨコナデ→ハラナデ	にぶい褐色	
138	705	土師器	RA02	埋土	甕	(5.0)	-	(2.6)	ハラケズリ	ハラナデ	にぶい黄褐色	底部木重痕
138	706	土師器	RA02	埋土	甕	(3.0)	-	(4.3)	ハラケズリ	ハラナデ	灰黄色	
138	707	須恵器	RA02	埋土	甕	(5.0)	(6.2)	-	タタキ→ロクロ		灰色	内面自然釉
138	708	須恵器	RA02	埋土上位	甕	(11.9)	-	-	タタキ	ナデ?	灰色	

※同一器の製法(圖)を示す。



701



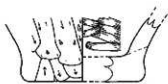
702



703



704



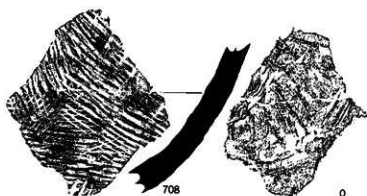
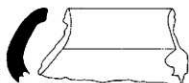
705



706



707



708

0 1:3 10cm

第138圖 土師器・須惠器：RA02

3. 土製品 (第139図、写真図版105:801~811)

土器片を円盤状に再加工した土製品で、11点出土している。完形品2点、欠損品9点である。出土地点に特に片寄りは見られない。いずれも胴部片を利用しており、周縁の加工は、摩滅して不明瞭なものもあるが、いずれも打ち欠いただけのもので、周縁を研磨しているものはない。穿孔されたものもない。

大きさは、最小2.2×2.2cm、最大5.3×4.8cm。平均すると、径5cm前後のものが多く、重量は、最小3.4g、最大23.4gである。施された文様(縄文)から、縄文時代前期の土器片を再加工したものと考えられる。

表3 土製品観察表

図版No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)		重量(g)	欠損状況		備考
					径: ×	厚さ		完整	一部	
139	801	F5区	様土	土製円盤	4.2×(2.7)	0.9	12.1		○	
139	802	F6C24	I層	土製円盤	5.3×4.8	0.7	23.4	○		
139	803	F7109	I層	土製円盤	5.1×(3.2)	0.9	15.3		○	
139	804	F7G08	II b層	土製円盤	3.8×(2.6)	0.9	9.3		○	
139	805	F7107	I層	土製円盤	5.4×(3.3)	1.2	20.1		○	
139	806	F7108	II b層	土製円盤	5.0×(3.5)	1.1	18.6		○	
139	807	F7111	II c層	土製円盤	5.1×(3.6)	0.9	18.2	○		表面縄文
139	808	F7K	I層	土製円盤	5.3×(3.6)	0.8	13.9		○	
139	809	F7K	I層	土製円盤	5.5×(3.4)	0.9	17.7		○	
139	810	F7K	I層	土製円盤	3.8×(2.4)	0.7	6.8		○	
139	811	F7K	I層	土製円盤	2.2×2.2	0.7	3.4	○		



第139図 土製品

4. 石器 (第140~182図、写真図版106~137:1001~1345)

石器として登録した資料は696点である。そのうち345点を掲載した。内訳は、石鏃35点・尖頭器2点・石錐5点・石匙45点・両極石器12点・不定形石器39点・石篋6点・打製石斧6点・磨製石斧13点・敲磨器類178点(揀石・敲打石・凹石・特殊磨石・半円状偏平打製石器)・石錘3点・台石1点である。個々の石器の計測値と石材については観察表を参照されたい。

石鏃 (第140~141図、写真図版106:1001~1035)

矢の先に装着して用いたと考えられる石器である。形態的な特徴として、尖頭部と、巾広の基部を有し、左右対象であること、断面形は、凸レンズ状もしくは偏平である。長さは、1.8cm~6.3cm、巾は、1.0cm~1.9cm、重量は、0.6g~4.4gである。40点出土しており、35点を図示した。基部の形態から分類が可能で、凹基無茎鏃10点・平基鏃9点・尖基鏃6点・凸基有茎鏃1点・不明3点の種類がある。1005は、尖頭器状の石器とすべきかもしれない。凹基無茎鏃・平基鏃・尖基鏃が多い。各形態と時間差の有無については不明である。欠損部位は尖頭部が多い。石材は、チャート質粘板岩(10)・チャート(6)・粘板岩(15)・チャート質凝灰岩(4)が使用されている。

尖頭器 (第141図、写真図版106:1036・1037)

尖頭部を持ち、刺突具として使用されたと考えられるもので、石鏃より大型のもので石槍状のものである。2点出土しており、2点を掲載した。石材は、チャート質粘板岩(1)・粘板岩(1)が使用されている。

石錐 (第142図、写真図版107:1038~1042)

穿孔具として使われた可能性の高いものである。剥片の素材を残し、一端に加工を施し、錐部を作っている。錐部の断面形は、菱形や四角形である。5点出土しており、すべて図示した。石材は、凝灰質泥岩(2)・粘板岩(2)・チャート質粘板岩(1)が使用されている。

石匙 (第142~145図、写真図版107~109:1043~1087)

両側ないし片側より挟りを入れて作った握み部と刃部をもつ石器である。45点出土しており、すべて図示した。握み部と刃部の位置関係から、握み部が刃部と並行に作り出されている縦型と、握み部が刃部に直交するように作りだされている横型に形態分類が可能である。内訳は、縦型24点、横型20点、不明1点である。1051は、切る用途より突き刺す用途が考えられるものである。欠損部位は、縦型・横型とも刃部の先端が多く、横型より縦型の石匙に欠損部が多い。刃部加工は、片面(表側)に施されるものが多く、1側縁、両側縁あるいは両縁に施される例がある。石材は、チャート質粘板岩(21)・粘板岩(12)・チャート(7)・チャート質凝灰岩(3)・凝灰質泥岩(2)が使用されている。

両極石器 (第146図、写真図版110:1088~1099)

対向する2側縁に相対する剥離をもつ石器で、両極打法によりつくられたものである。15点出土しており、12点を掲載した。形状は、方形または台形状を呈し、大きさは、2.4~4.0cm、重さは、3.0~14.2g前後のものが多い。石材は、チャート質粘板岩(4)・粘板岩(4)・チャート(3)・赤褐色凝灰岩(1)が使用されている。

不定形石器 (第147~149図、写真図版110~112:1100~1138)

定形化していない不定形な石器で、機能からすれば、削る撞くの用途が考えられる刃部を有する削器である。73点出土しており、39点を図示した。刃部の形成される状況から次の形態分類が可能である。1側縁ないし2側縁に直線的な刃部を有するもの。側縁に凸状の刃部を有するもの。側縁に凹状の刃部を有するもの(削器)。端部に凸状で急斜度の刃部を形成しているもの(撞器)。

石材は、チャート質粘板岩(21)・粘板岩(11)・チャート(6)・凝灰質泥岩(1)が使用されている。

石筥 (第150図、写真図版112:1139~1144)

平面形は、ばち形・短冊形で、一端に刃部を作り出しているものである。6点出土しており、すべて掲載した。両面加工で、断面形は凸レンズ状である。打製石斧とは規模で分類し、長さ10cm未満のものを石筥とした。石材は、細粒凝灰岩(1)・チャート(1)・チャート質粘板岩(2)・凝灰質泥岩(1)・粘板岩(1)である。

打製石斧 (第151・152図、写真図版113・114:1145~1150)

打ち欠きにより石斧の形状に整えたものである。6点出土しており、すべて図示した。すべて完形品で、顕著な欠損はみられない。平面形は、ばち形を呈するものが多く、断面形は、凸レンズ状や偏平である。

1149・1150は、接合資料である。素材を大きく剥離した後に、それぞれ石斧の形状に整形されたようである。それぞれの出土地点は、C8P11グリッド内である。

石材は、粘板岩(5)・凝灰質粘板岩(1)である。

磨製石斧 (第153図、写真図版115:1151~1163)

研磨により石斧の形状に整えたものである。破片を含め24点出土しており、13点図示した。完形品は2点のみで、基部のみ、刃部のみなどの欠損品が多い。1155は、すり切り磨製石斧である。

石材は、細粒緑色凝灰岩(6)・緑色凝灰岩(2)・花崗閃緑岩(2)・粘板岩(1)・凝灰質硬砂岩(1)・安山岩(1)である。

敲磨器類 (第154~181図、写真図版116~137:1164~1341)

自然礫のままの形状を素材として利用し、その一部に、擦る・敲くなどの用途から、擦面・敲打痕・凹みなどの使用痕を有する石器である。使用痕は、単独のものより複合しているものが多いことから、「敲磨器類」として一括し、以下、細分して報告する。

本遺跡で出土した敲磨器類は、形態・使用痕から、大きく2つに大別が可能である。

A類:円形基調あるいは棒状を基調とした礫を素材とし、平坦面や側面を使用した石器である。従来、「擦石」「敲打石」「凹石」と呼ばれてきたものが含まれる。

B類:断面が三角形あるいは、偏平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。従来、「特殊磨石」、「半円状偏平打製石器」と呼ばれてきたものが含まれる。

敲磨器A類a:擦石

円形基調の自然礫の一部や全部に擦痕を有する礫である。18点出土しており、2点を掲載した。敲打石や凹石との複合石器であることが多い(1174・1208)。

敲磨器A類b：敲打石（第154～156図、写真図版116・117：1164～1184）

円形基調の自然礫の一部や全部に敲打痕を有する礫である。32点出土しており、21点を掲載した。円形基調の礫の周縁に敲打痕を有するものと、礫の一端または両端に敲打痕を有するものがある。礫の端部に敲打に伴う剥離が観察されるものもここに含めた（1184）。石材は、凝灰質硬砂岩(6)・粘板岩(2)・デイサイト(3)・チャート(4)・変質安山岩(1)・花崗閃緑岩(1)・安山岩(3)・凝灰質粘板岩(1)である。

敲磨器A類c：凹石（第157～161図、写真図版118～121：1185～1219）

円形基調や棒状の自然礫の片面や両面あるいは複数面に敲打による凹を有する石器である。52点出土しており、35点を掲載した。凹の形状には、円錐状で単独のもの、溝状で連なるもの、敲打が浅く凹に至らないものがある。使用される礫の形状には、円形基調のものと棒状のものがある。

端部に敲打痕を有する（兼敲石）ものや半円状偏平打製石器（敲磨器B類）と複合するもの5点ある。

石材は、凝灰質硬砂岩(23)・粘板岩(4)・凝灰質粘板岩(1)・輝石安山岩(1)・緑色凝灰質硬砂岩(1)・赤褐色凝灰岩(3)・アルコース硬砂岩(1)・砂質粘板岩(1)である。

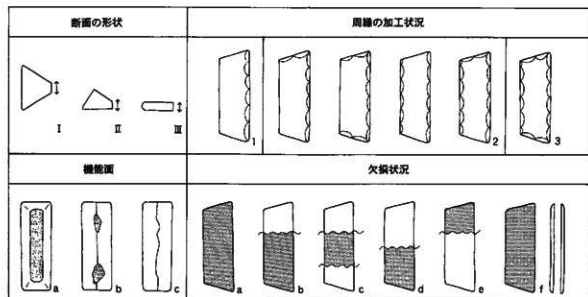
敲磨器B類（第162～181図、写真図版121～137：1220～1341）

断面が三角形あるいは偏平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。388点出土しており、122点を図示した。断面形状・機能面・礫の周縁の加工状況で分類が可能である。

礫の断面形状：I. 三角形あるいは方形。II. 一方に膨らみがある。III. 偏平。

機能面：a. 一定巾の擦面をもつ。b. 不規則な擦面をもつ。c. 擦面を持たず、両面からの打ち欠きにより稜線（刃部）をもつ。

礫の周縁の加工状況：1. 素材をその使用し、加工無し。2. 一部に加工あり。3. 全体に加工を施す。
欠損状況：a. 完形品。b. 一端を欠損する。c. 両端を欠損する。d. 半分を欠損する。e. 一端のみ残存する。f. 縦方向に半分に割れ、片側を欠損する。



敲磨器B類の分類模式図

上記の分類では、断面形Ⅱ・Ⅲ類、機能面b・c類の占める割合が高く、また素材となる礫の形状と加工状況との間には、以下のような特徴的な組み合わせがみられる。

I類(46点)：機能面は、一定の巾をもつ擦面をもち、素材にはほとんど加工を施されない(I a類)。

Ⅱ類(144点)：機能面は、不規則な擦り面と剥離による稜線(刃部?)を併せもつ(Ⅱ b類)。

Ⅲ類(160点)：機能面は、不規則な擦り面と剥離による稜線(刃部?)を併せもつ(Ⅲ b類)か、稜線のもの(Ⅲ c類)が多い。素材も加工されたものが多い。

擦り面の巾は、最大2.45cm(1221)、最小0.3cm(1226)で、平均1.1cmほどである。重量分布は、最大1055.6g(1250)、最小86.0g(1299)で、平均500gである。残存状況については、出土した388点のうち、184点(48%)が欠損品である。欠損状況には、大きく4つのタイプがあるが、ほぼ中央付近で欠損(半欠)するもの(d:76例)と、一端を欠損するもの(b:31例、e:43例)が多い。接合資料は7点である(1279・1283・1298・1303・1323・1331・1337)。石材は、凝灰質硬砂岩(68)・凝灰質粘板岩(12)・粘板岩(19)・砂質粘板岩(8)・緑色凝灰質粘板岩(1)・緑色凝灰岩(3)・赤褐色凝灰質粘板岩(1)・アルコース硬砂岩(3)・花崗閃緑岩(2)・安山岩(1)・輝石安山岩(2)・デイサイト(1)・白雲母片岩(1)である。

石鏟(第182図、写真図版137:1342~1344)

扁平な礫の長軸あるいは短軸の方向の両端に、打ち欠きにより挟りを入れた石器である。6点出土しており、3点を図示した。1342は、礫の長軸方向の両端に、1343・1344は、礫の短軸方向の両端に挟りを入れている。石材は、凝灰質硬砂岩(2)・粘板岩(1)である。

台石(第182図、写真図版138:1345)

扁平な自然礫の平坦な面に敲打痕を有する石器である。1345は、明瞭な加工痕をもたないが、平坦な両面に浅い敲打痕が確認できる。石材は、凝灰質硬砂岩である。

5. 石製品(第183図、写真図版138:1346~1354)

石棒(第183図、写真図版138:1346~1348)

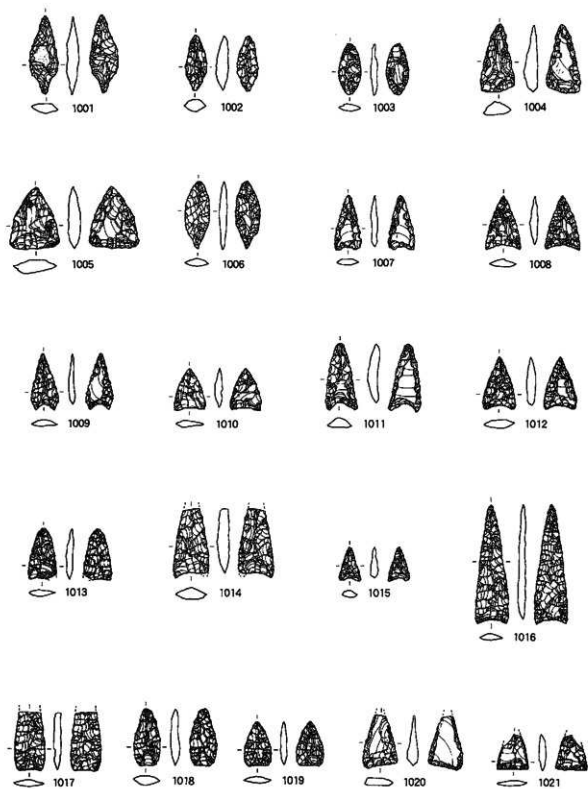
棒状の石器で、加工の有無は明瞭でない。4点出土しており、3点を図示した。1346~1348は、断面形が方形や多角形の角柱状の礫を用いたもので、形状からここに含めた。石材は、凝灰質粘板岩(3)である。

石刀・石剣類(第183図、写真図版138:1349~1350)

形状は細長く、断面形は扁平で刀や剣状の形を有する石製品である。出土した2点を図化した。いずれも擦痕が明瞭であるが、欠損品であり詳細は不明である。石材は、粘板岩(1)・緑色凝灰岩(1)である。

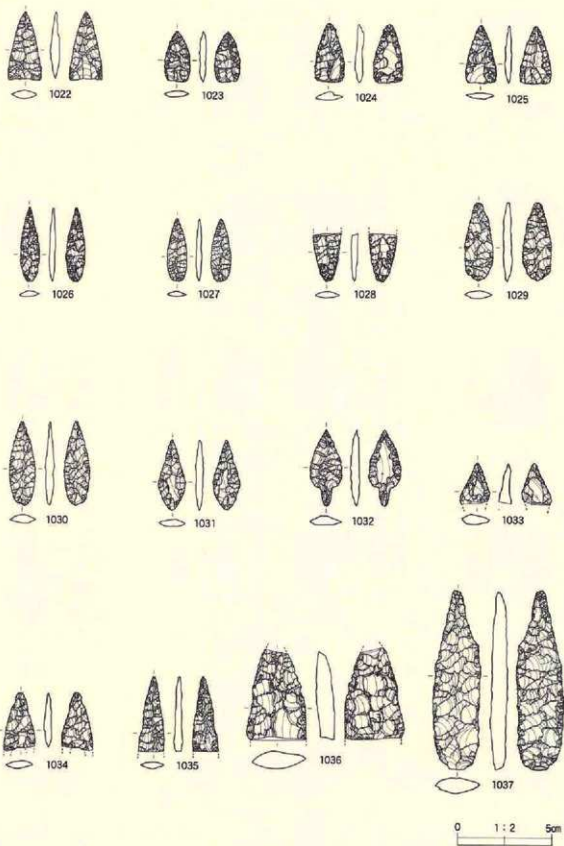
石製品(第183図、写真図版138:1351~1354)

1351は、扁平な石に編み目状に線刻された石製品で、色調は、黄褐色を呈する。1354は、穿孔された石製品と思われるが、欠損品であり、詳細は不明である。所属時期はいずれも、縄文時代前期と考えられる。石材は、チャート質凝灰岩(2)である。1352・1353は、球状を呈する石である。RD21墓壕からの出土で、副葬品(お守り?)であろうか。石材は、チャート(2)である。

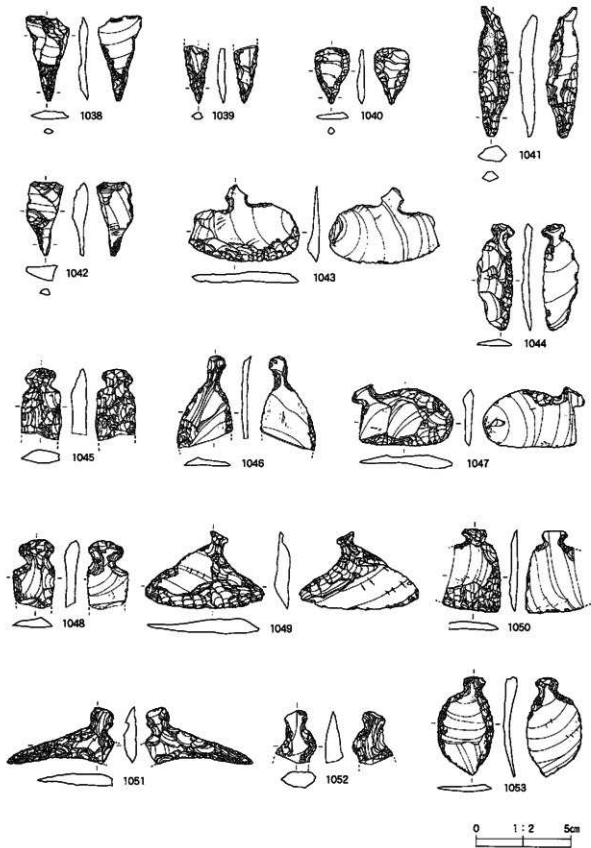


0 1:2 5cm

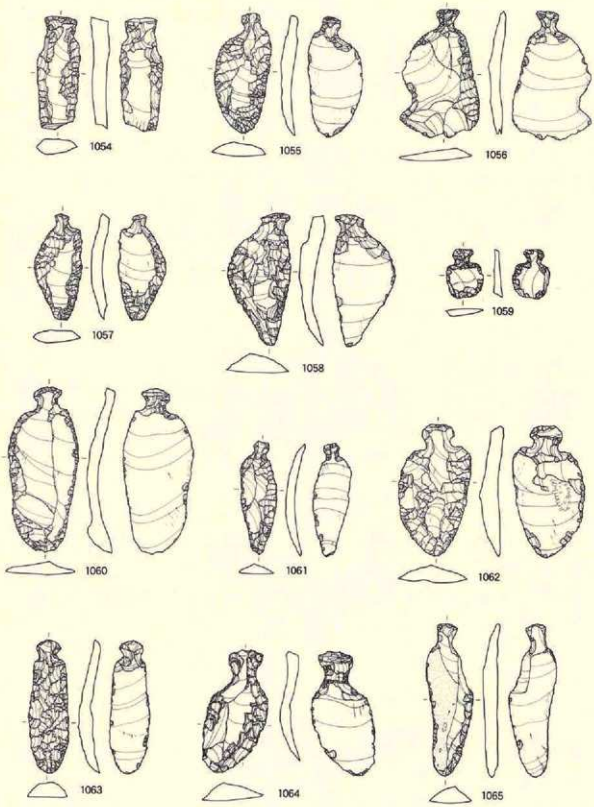
第140圖 石鏃(1)



第141圖 石器(2)

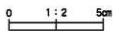
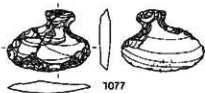
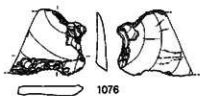
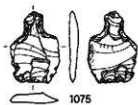
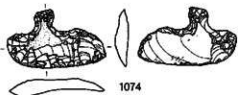
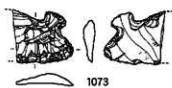
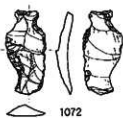
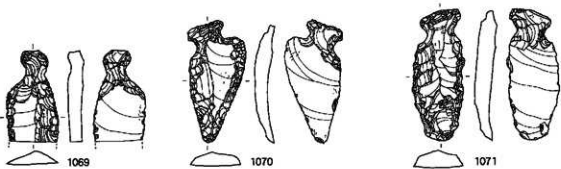
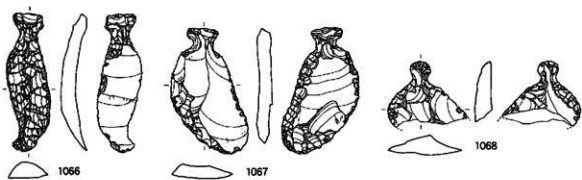


第142圖 石器(3)

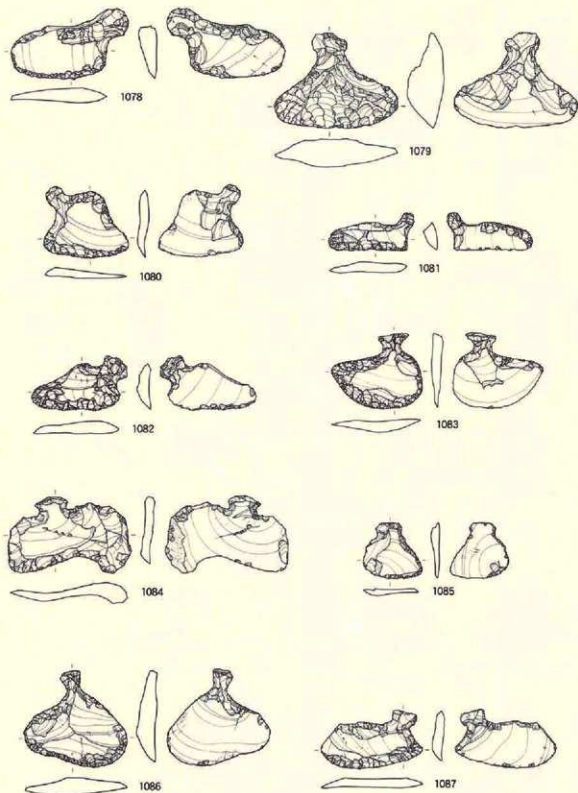


0 1:2 5cm

第143圖 石器(4)

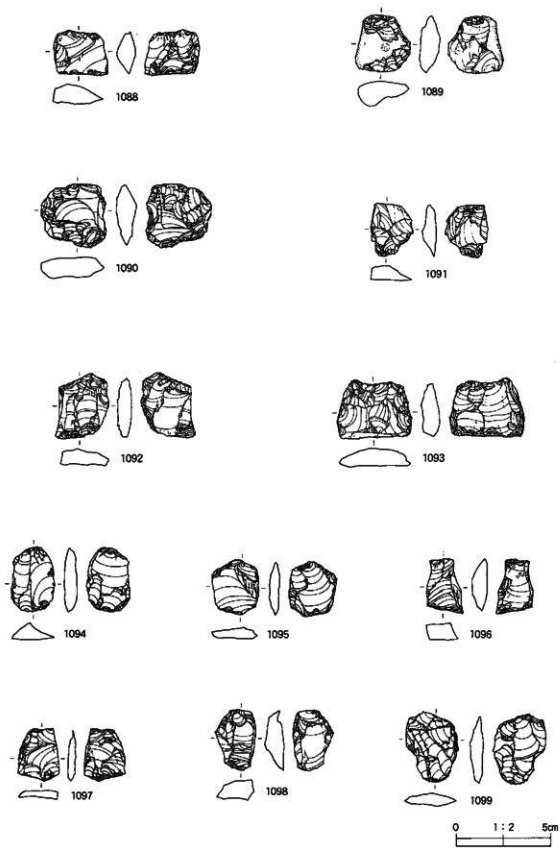


第144圖 石器(5)

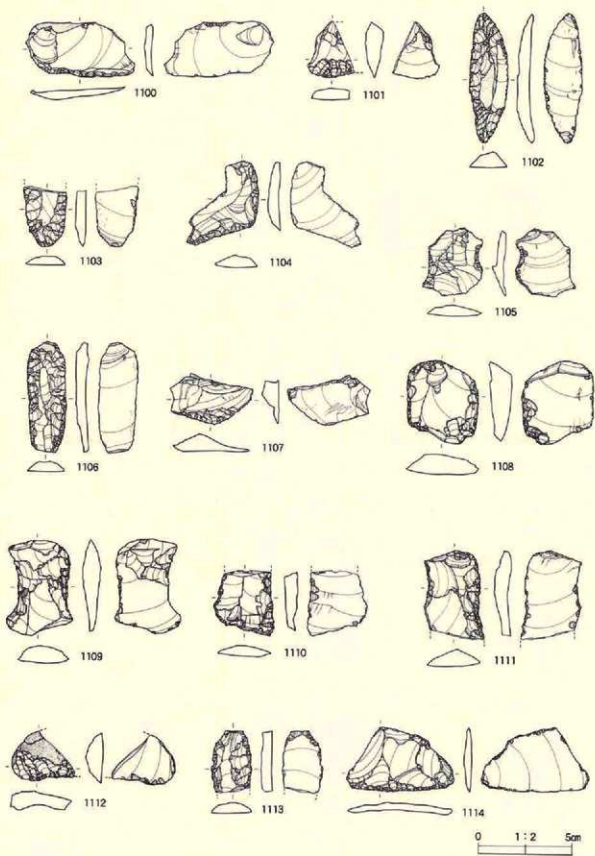


0 1:2 5cm

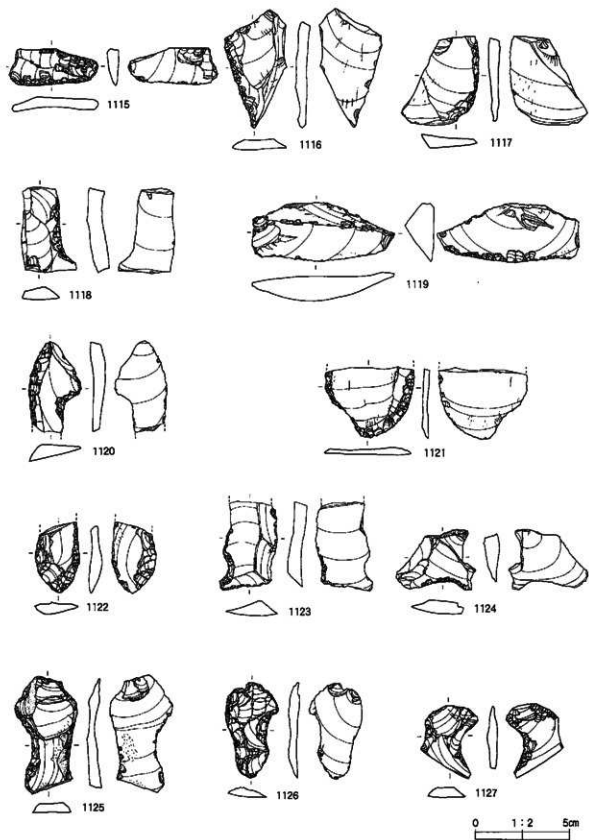
第145圖 石器(6)



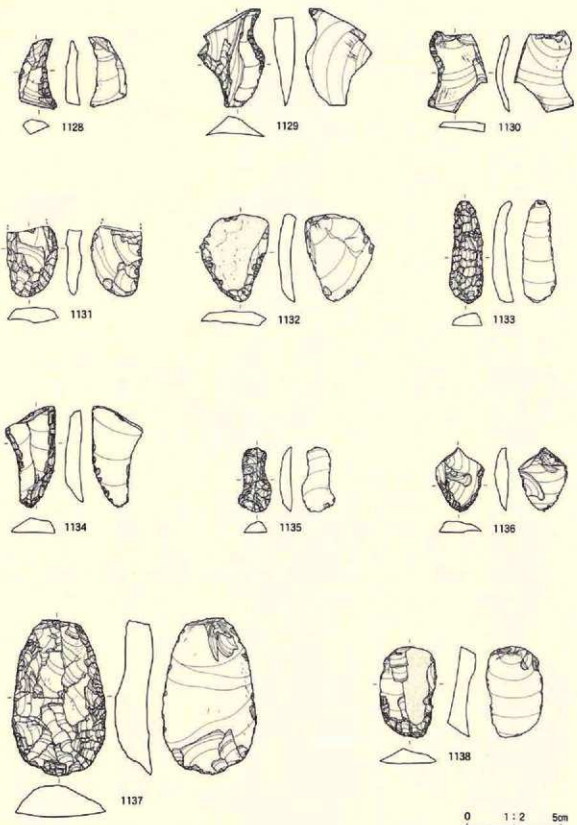
第146圖 石器(7)



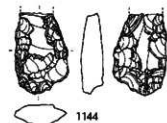
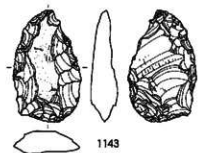
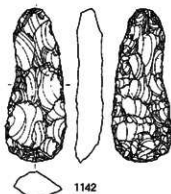
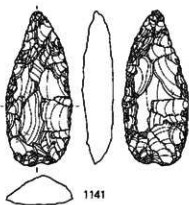
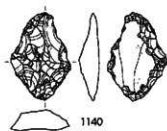
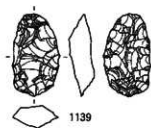
第147圖 石器(8)



第148圖 石器(9)

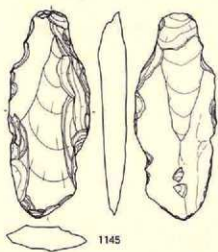


第149圖 石體(10)

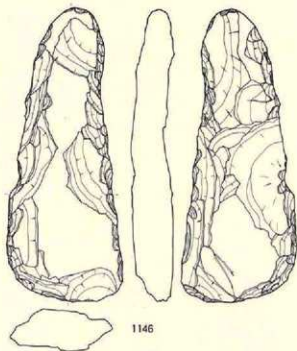


0 1:2 5cm

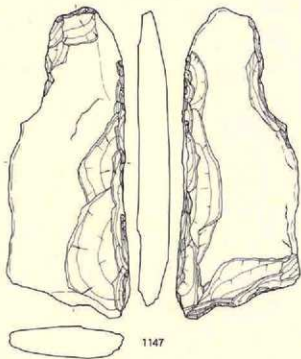
第150圖 石器(11)



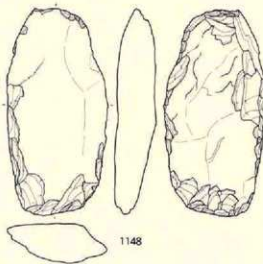
1145



1146



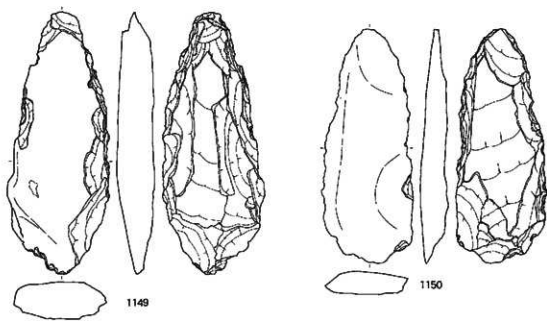
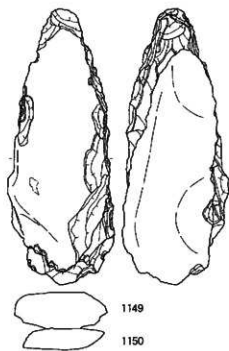
1147



1148

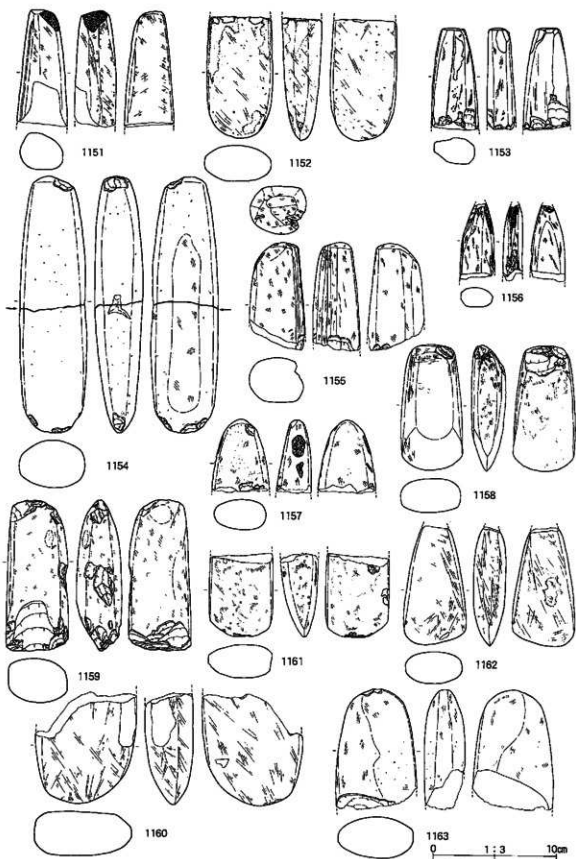
0 1:3 10cm

第151圖 石器(12)

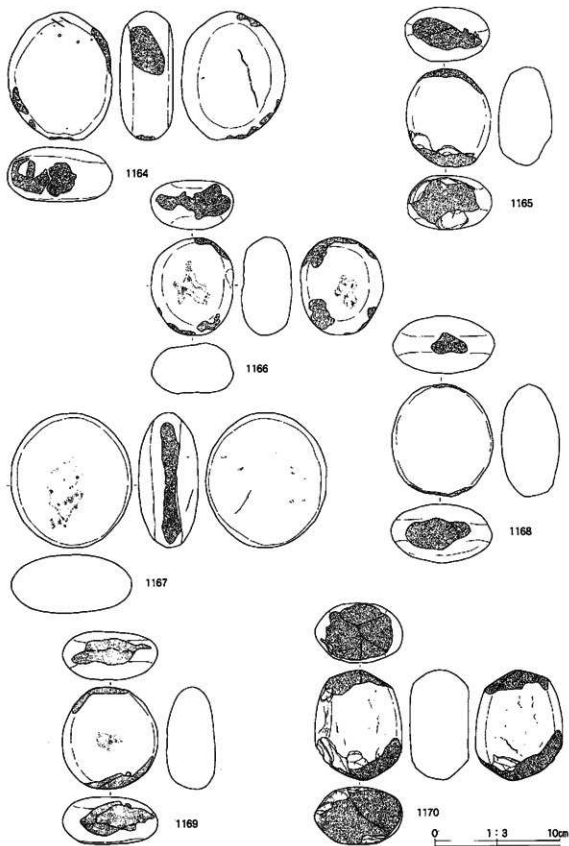


0 1:3 10cm

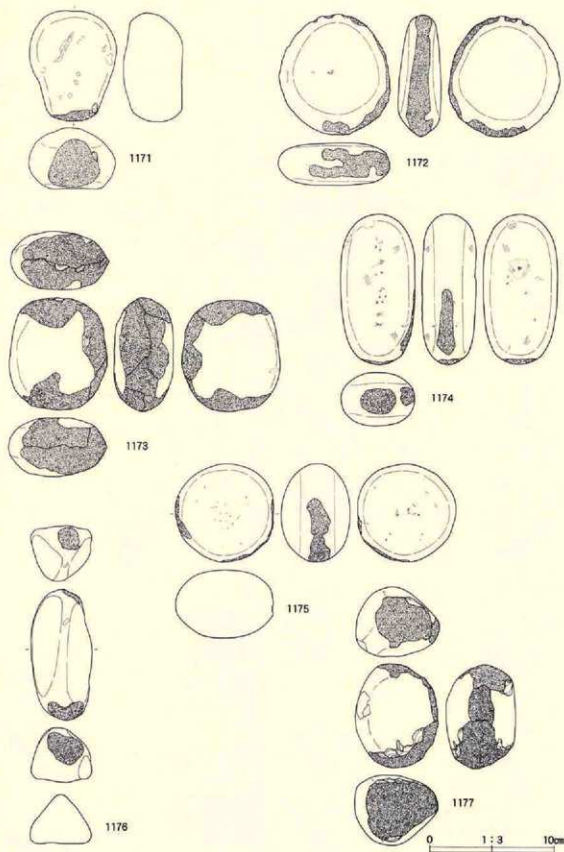
第152圖 石器(13)



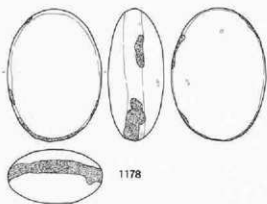
第153圖 石器(14)



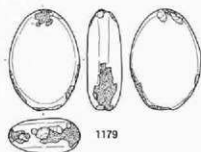
第154圖 石器(15)



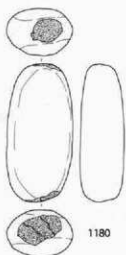
第155圖 石髓(16)



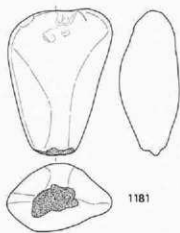
1178



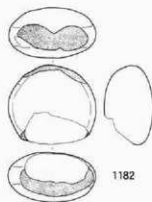
1179



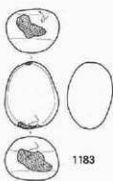
1180



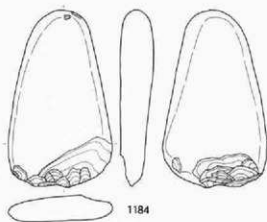
1181



1182



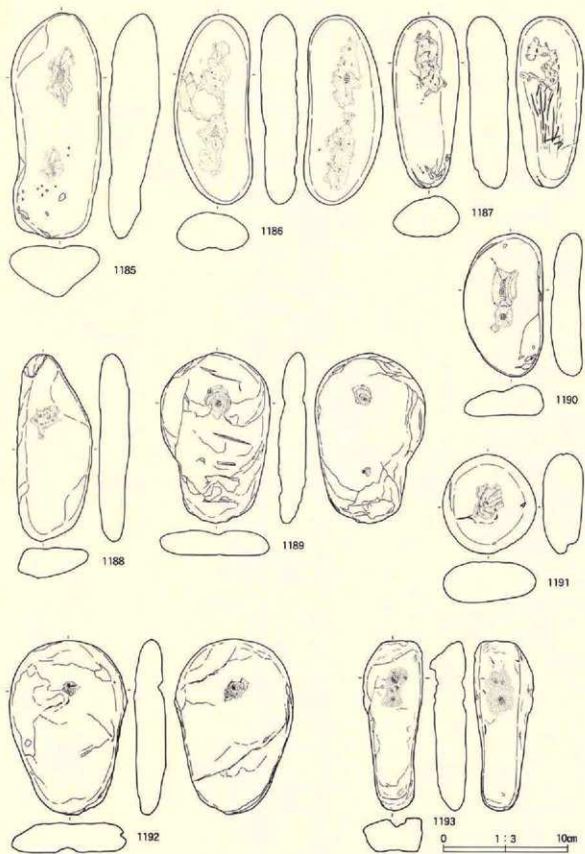
1183



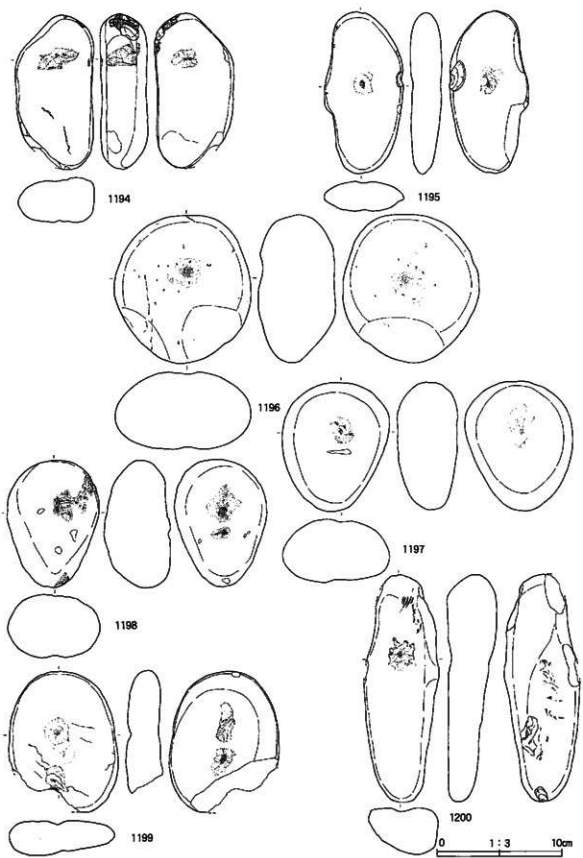
1184

0 1 : 3 10cm

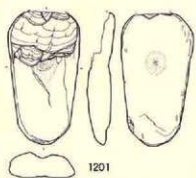
第156圖 石體(17)



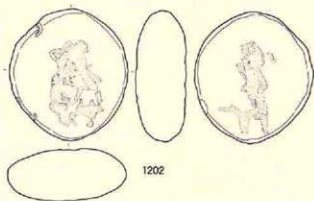
第157圖 石蠶(18)



第158圖 石髓(19)



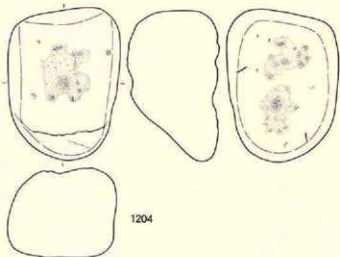
1201



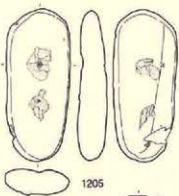
1202



1203



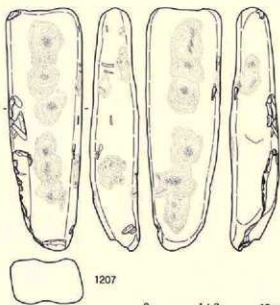
1204



1205

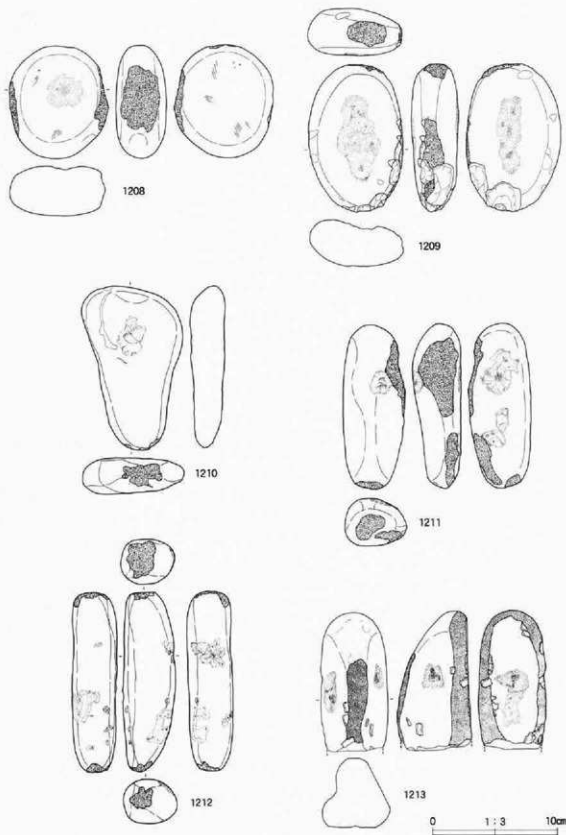


1206

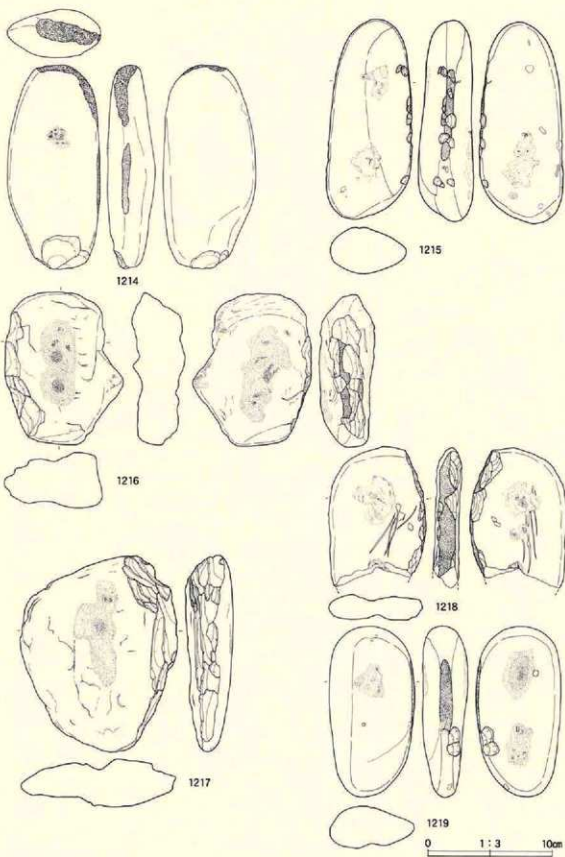


1207

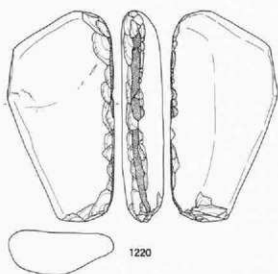
0 1:3 10cm



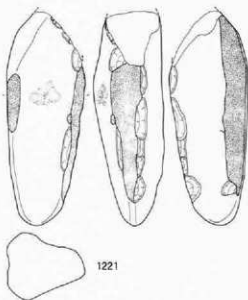
第160圖 石器(21)



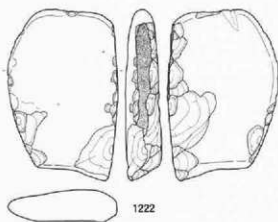
第161圖 石器(22)



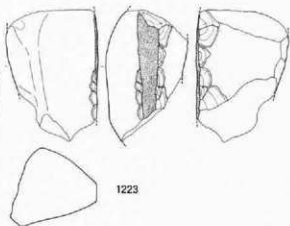
1220



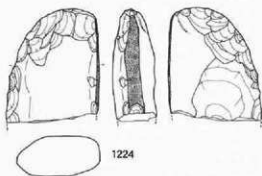
1221



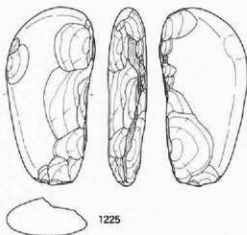
1222



1223



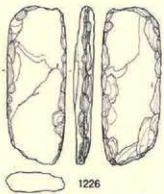
1224



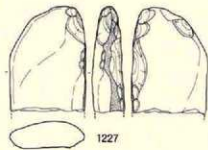
1225

0 1 : 3 10cm

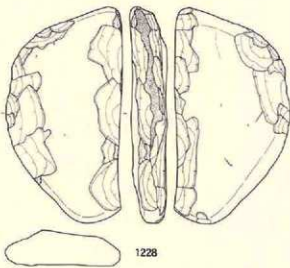
第162圖 石器(23)



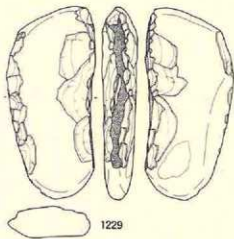
1226



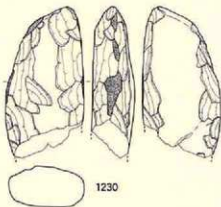
1227



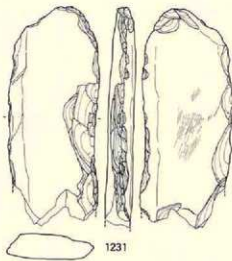
1228



1229



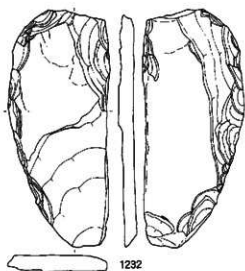
1230



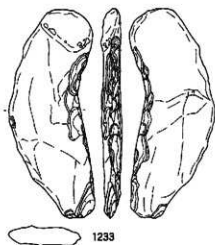
1231

0 1:3 10cm

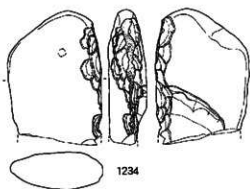
第163圖 石體(24)



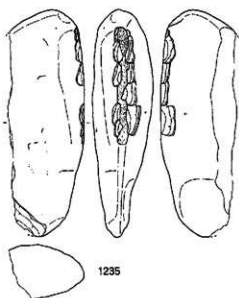
1232



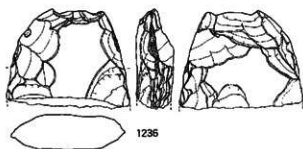
1233



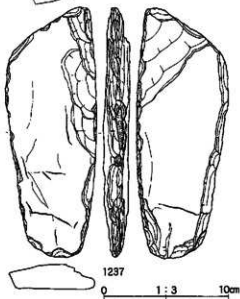
1234



1235



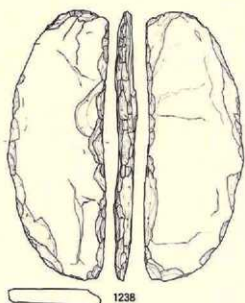
1236



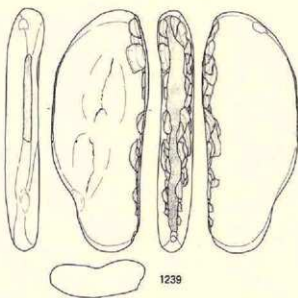
1237

0 1:3 10cm

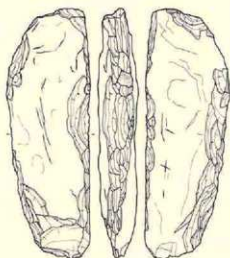
第164圖 石器(25)



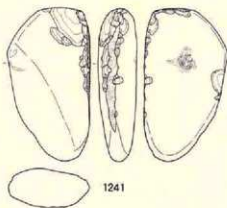
1238



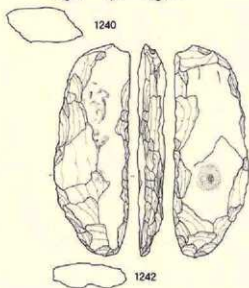
1239



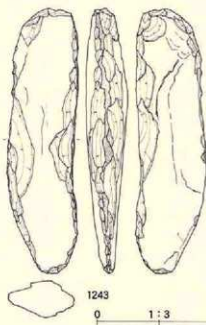
1240



1241



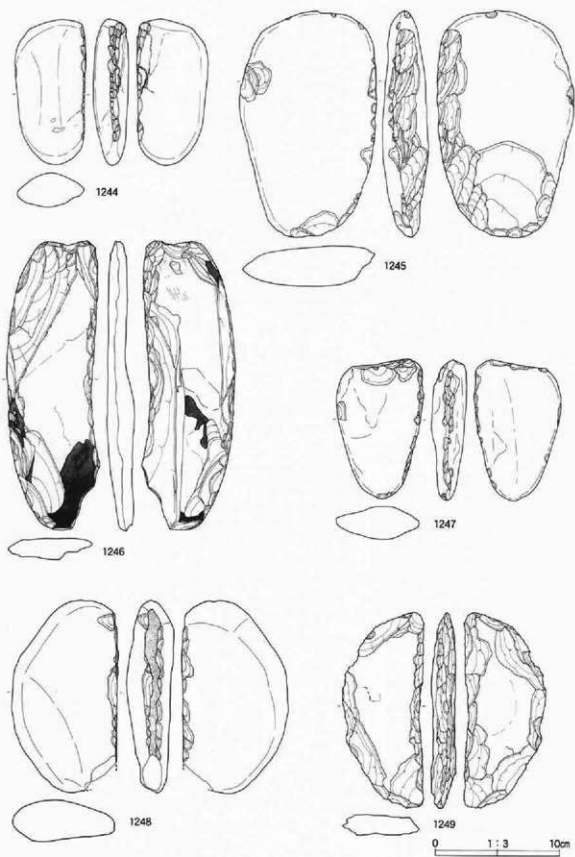
1242



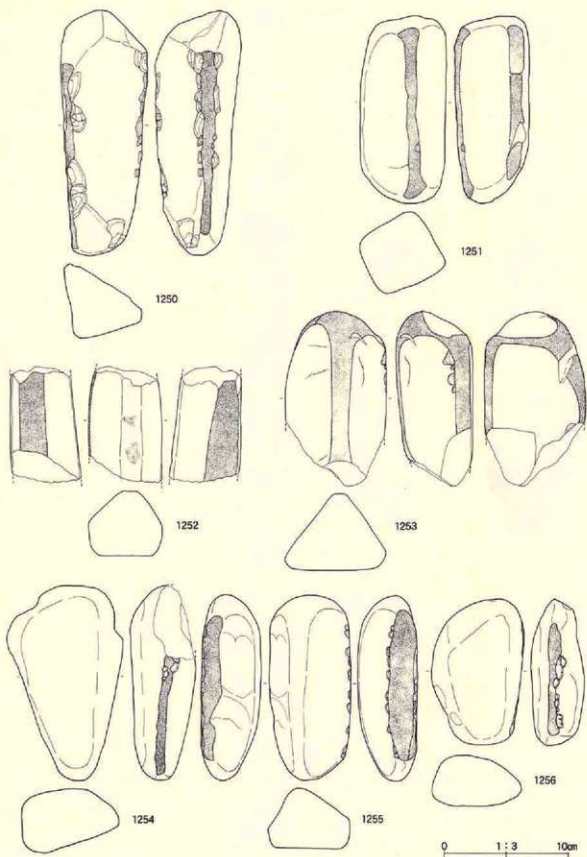
1243

0 1:3 10cm

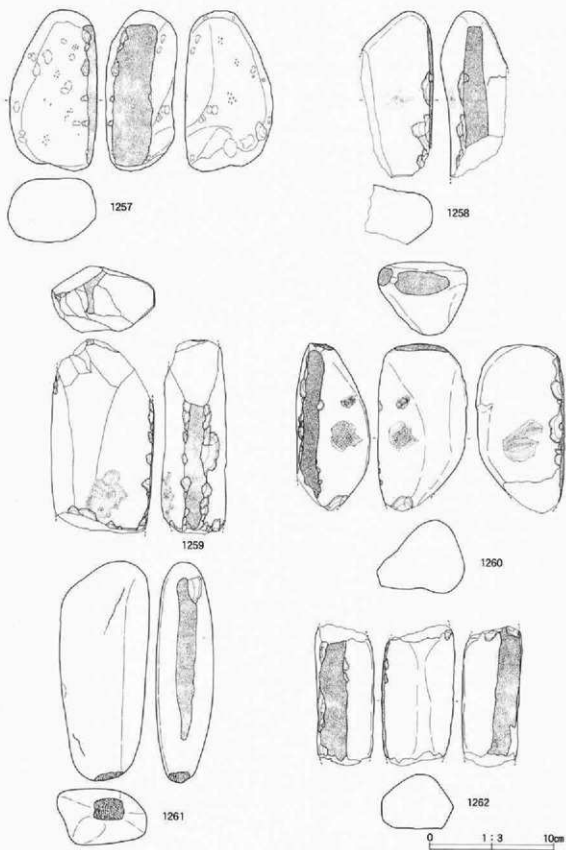
第165圖 石器(26)



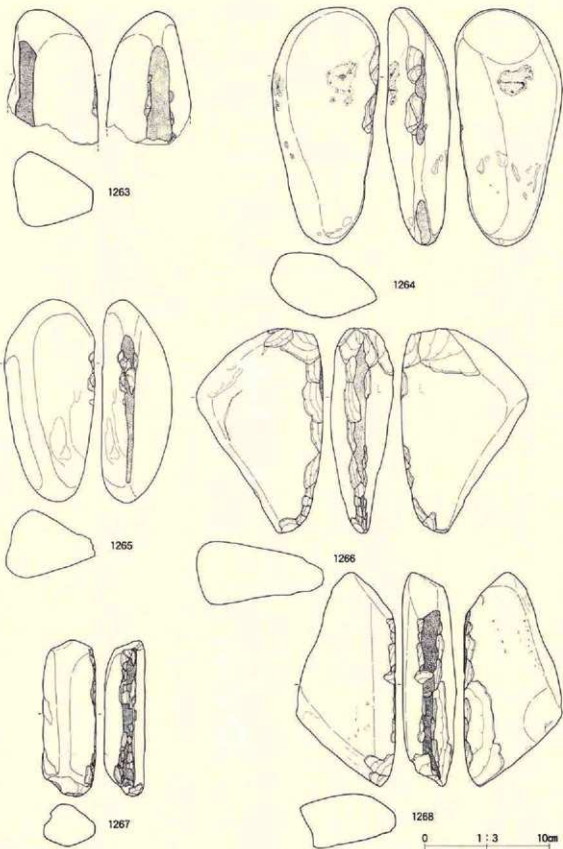
第166圖 石器(27)



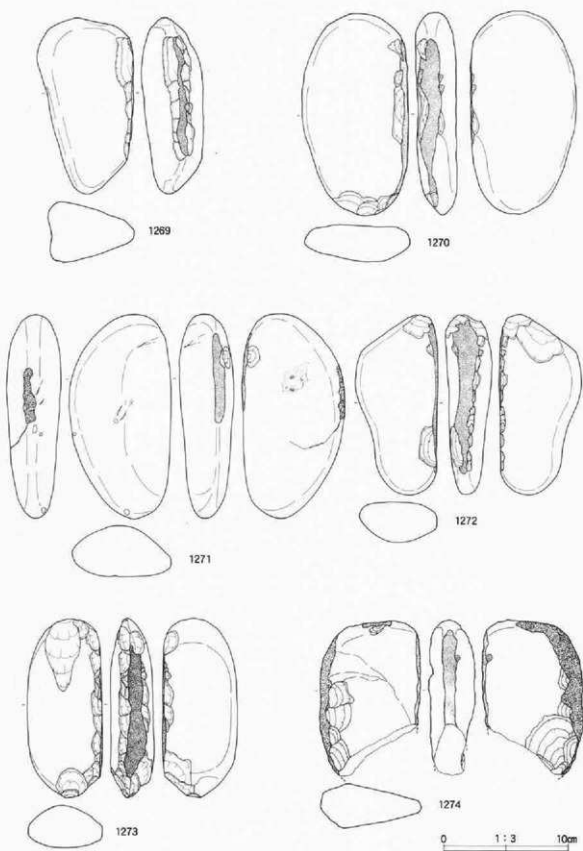
第167圖 石器(28)



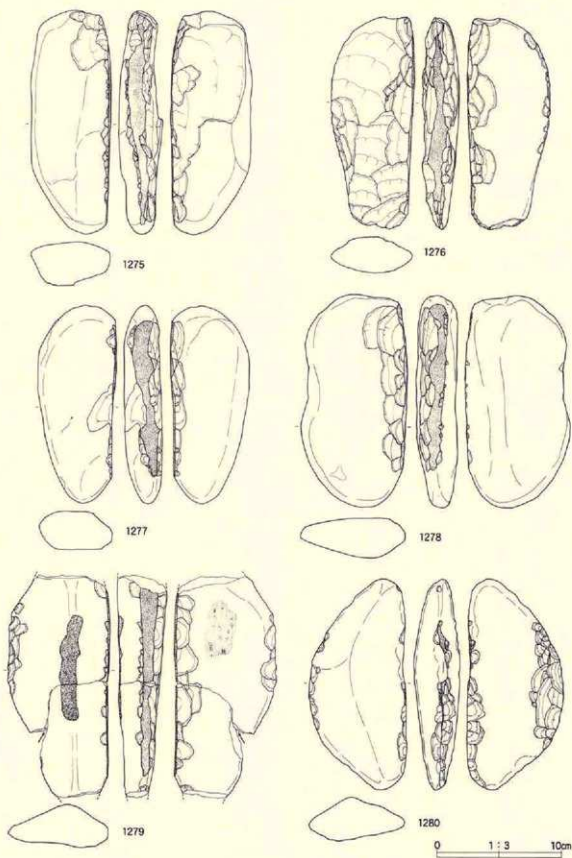
第168圖 石器(29)



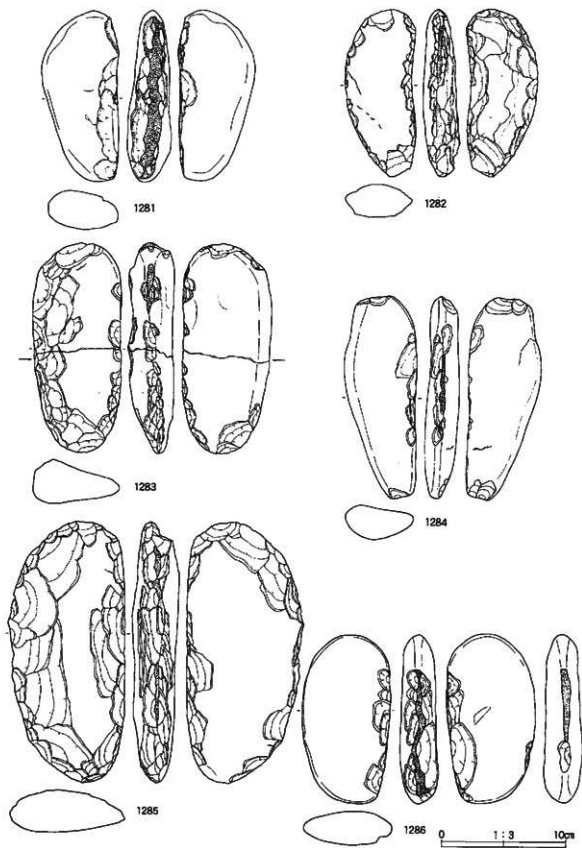
第169圖 石體(30)



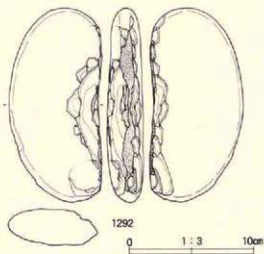
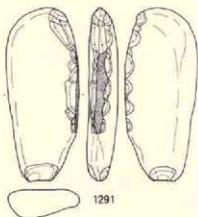
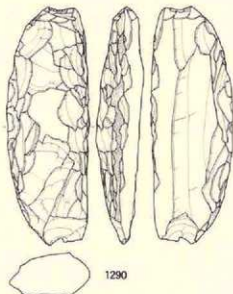
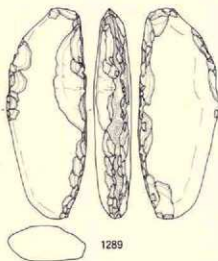
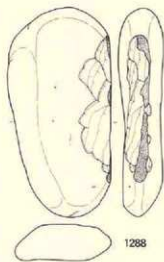
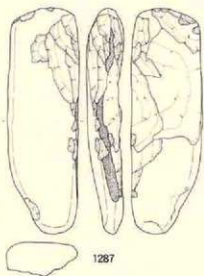
第170圖 石器(31)



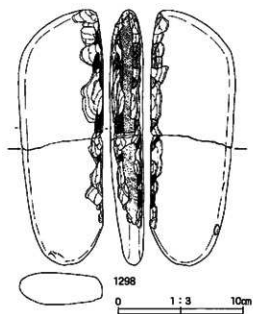
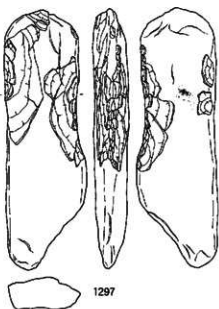
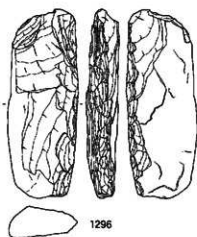
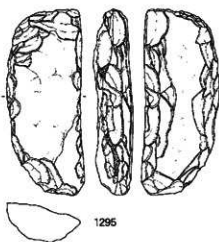
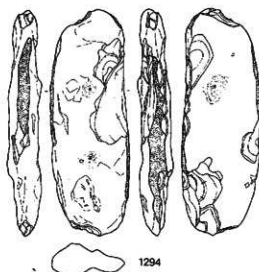
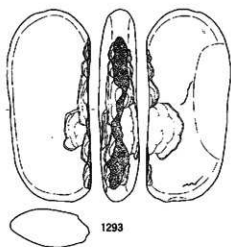
第171圖 石器(32)



第172圖 石鏢(33)

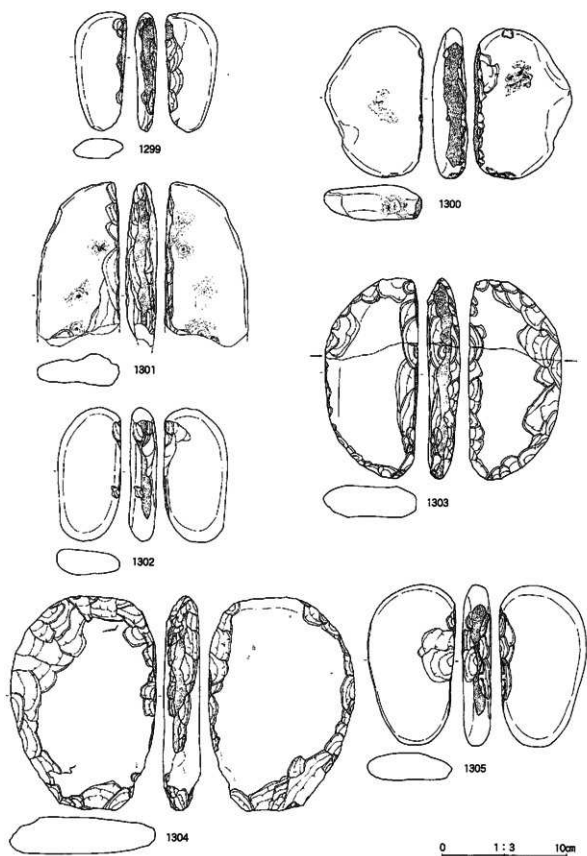


第173圖 石體(34)

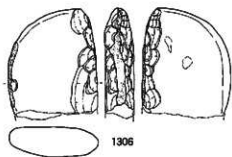


0 1 : 3 10cm

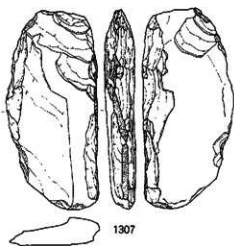
第174圖 石鼓(35)



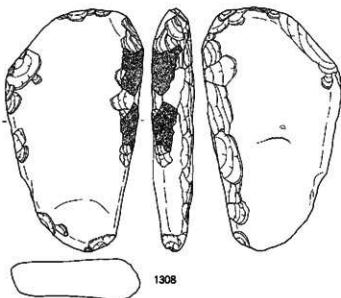
第175圖 石蠶(36)



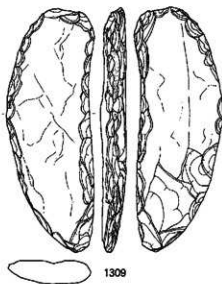
1306



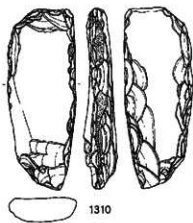
1307



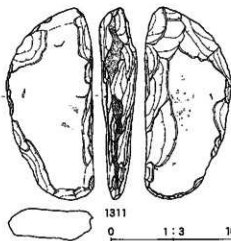
1308



1309

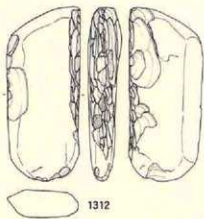


1310

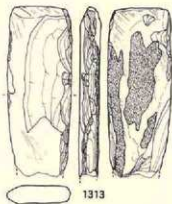


1311

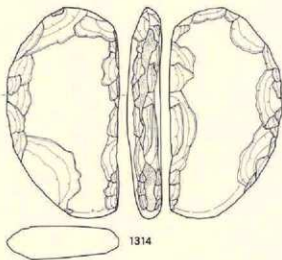
0 1:3 10cm



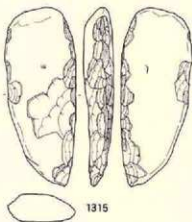
1312



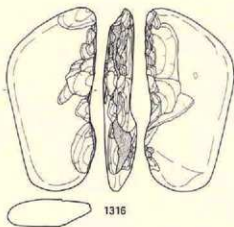
1313



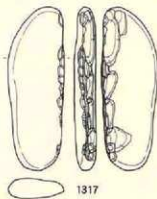
1314



1315

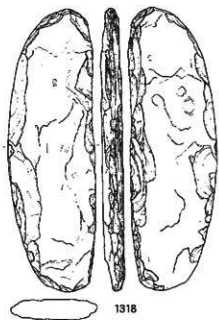


1316

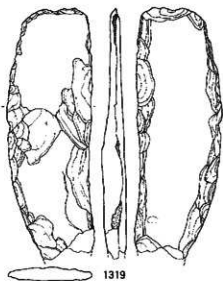


1317

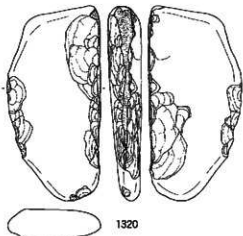
0 1:3 10cm



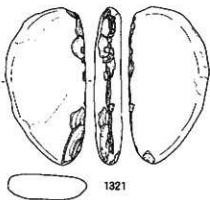
1318



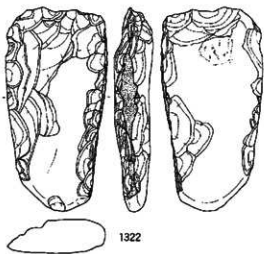
1319



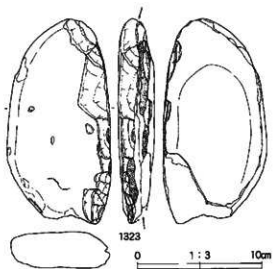
1320



1321



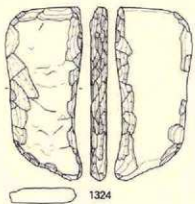
1322



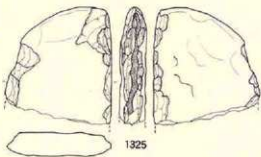
1323

0 1:3 10cm

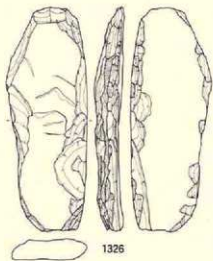
第178圖 石器(39)



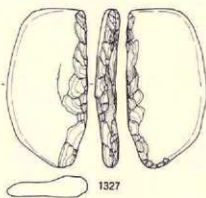
1324



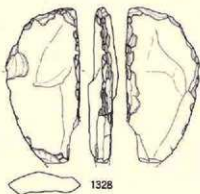
1325



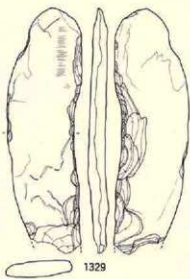
1326



1327



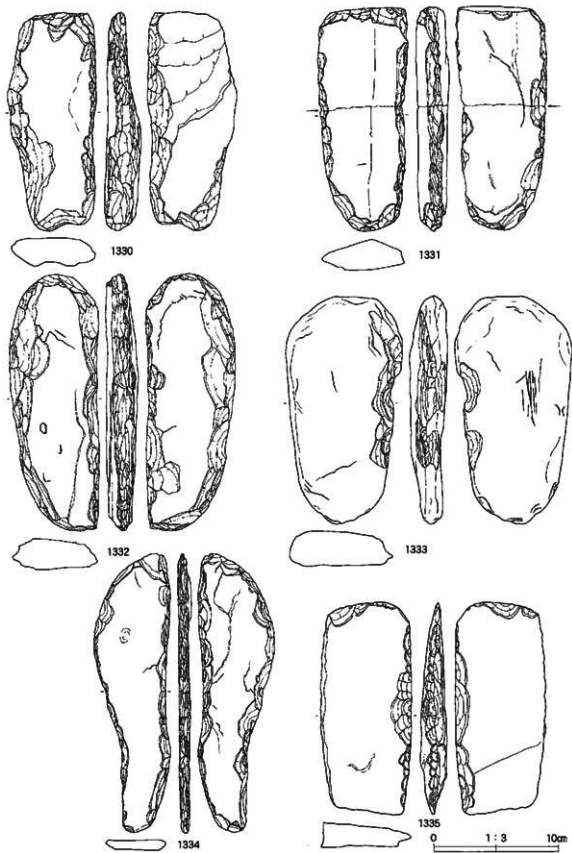
1328



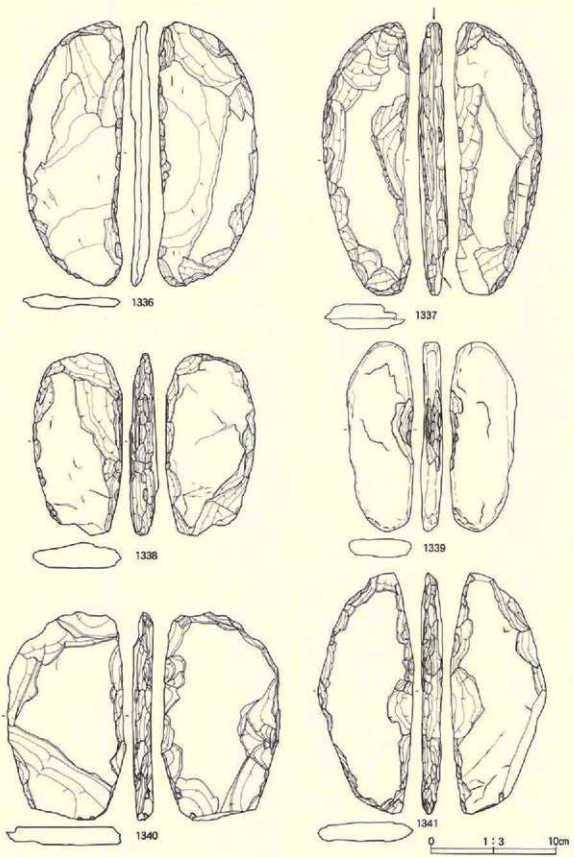
1329



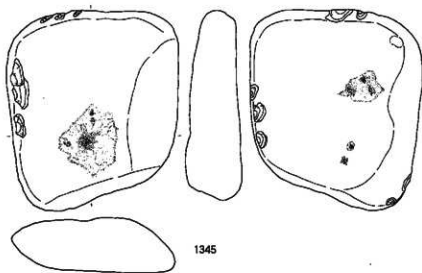
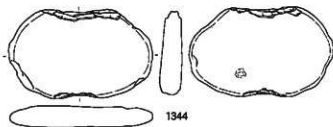
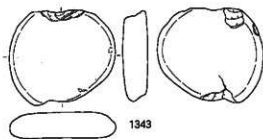
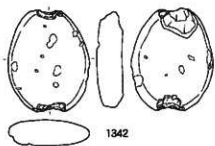
第179圖 石器(40)



第180圖 石器(41)

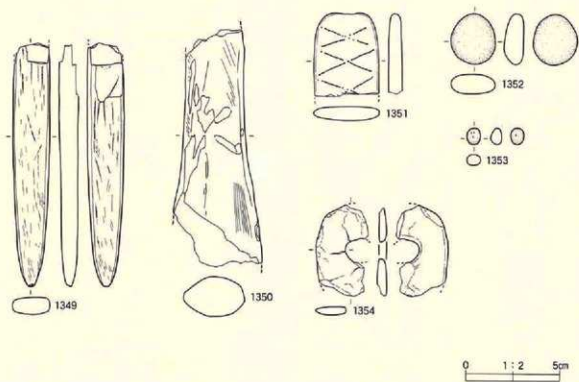
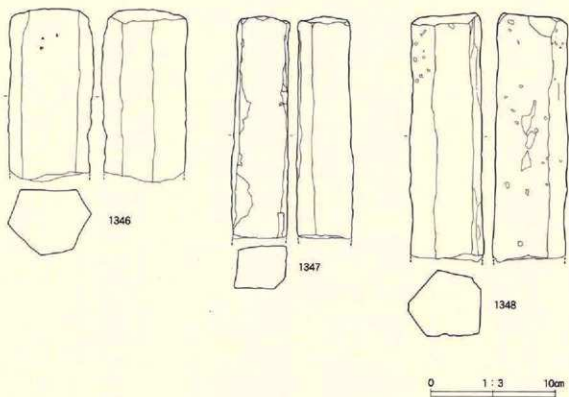


第181圖 石器(42)



0 1 : 3 10cm

第182圖 石器(43)



第183圖 石製品

6. 金属製品 (第184～190図、写真図版139～143：1401～1470)

鉄鍋 (第184・185図・写真図版139：1401)

鉄鍋は1点出土している。R D51墓墳からの出土である。3耳式の内耳鉄鍋で完形品である。大きさは、口径28.5cm、底径20.8cm、器高15.0cm、重量は3,900gである。器形は、底部は緩く湾曲し、胴部は直線的にやや開いて立ち上がる。外帯の幅は4cmあり、口縁部は、胴部と明瞭な段差をもって外傾する。口縁内面には、二等辺三角形の三つの頂点に位置するようにL字状に折れ曲がった形状の耳が縦位に取り付けられている。耳の断面形は円形である。底面外側の中央付近には、長さ6.6cm、幅1.2cmの一文字の湯口跡があり、0.8cmほど隆起している。鉄鍋の内面底部と耳部に繊維状の付着物がみられ、口唇部には木質状の付着物がみられる。成分分析は、白鉄であるとの鑑定結果を得ている。

鉄製鎌 (第185図・写真図版139：1402)

鎌は1本出土している。R D51墓墳からの出土である。地金部分は残存しているが、木製の柄は部分的にしか遺っていない。刃部は、長さ14.6cm、幅4.6cm、厚さ0.1cmである。刃と柄の部分は120度開いている。地金部分と木製柄の部分は、鉄輪状のもので抑えられていたようで、地金部分に目釘穴は確認されていない。

鉄釘 (第186図・写真図版140：1403～1419)

鉄釘は18本出土している。17本を掲載した。R B01掘立柱建物跡-PP2、R D21・R D25・R D46墓墳・R D40土坑からの出土である。墓墳と考えられる遺構から出土しており、木質部が付着していることから、棺桶に使用された部材片と考えられる。鉄釘の形状は、残存する状況での長さは1.5cm～4.6cmで、断面の形状は、径0.4～0.5cmの方形を呈する角釘で、折れ釘もある。

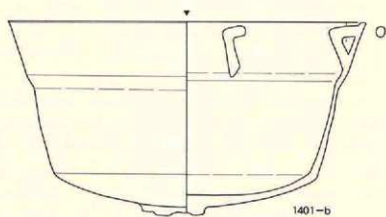
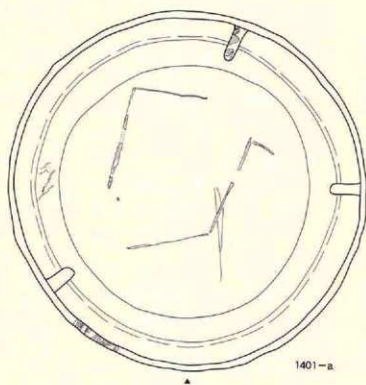
銭貨 (第187～190図・写真図版140～143：1420～1470)

銭貨は51点・114枚出土しており、全て掲載した。複数枚の貨幣が密着しているものもあり、正確な枚数は不明な部分もある。銭貨の種類は、元豊通寶(初鑄年1078年)1枚、洪武通寶(初鑄年1368年)3(6力)枚、無文銭90(87力)枚、寛永通寶(初鑄年1636年)19枚：古寛永(初鑄年1636年)2(7力)枚、新寛永(初鑄年1697年)5(10力)枚、文銭(初鑄年1668年)2枚、鉄銭1枚である。

銭貨が出土した遺構は、R B01掘立柱建物跡-PP13・R B02掘立柱建物跡-PP2、R D22・R D24・R D25・R D51墓墳がある。前者は柱穴埋土から出土した混入品で、後者は墓墳の副葬品と考えられる。

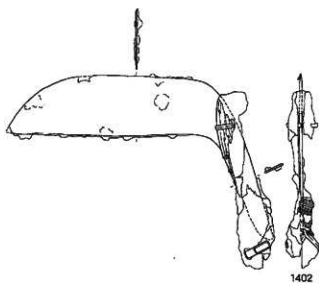
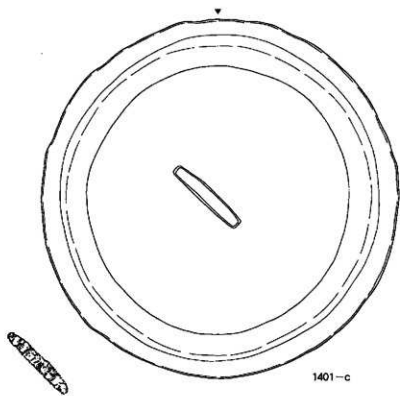
墓墳から出土した銭貨の内訳をみると、R D22墓墳から寛永通寶5枚(古寛永)、R D24墓墳から寛永通寶7枚(新寛永)、元豊通寶1枚、R D25墓墳から寛永通寶4枚(古寛永2枚・新寛永2枚(背文))である。

R D51墓墳からは、洪武通寶と無文銭からなる鋳銭(模鑄銭)が鋳銭の状態出土している。39点93枚であるが、密着した状態であり、全て切り放した状態ではないので、枚数は推定である。鋳銭の内訳は、洪武通寶と無文銭に大別され、無文銭は穿の形状から方形穿、隅丸圓型穿、円形穿などの種類がみられる。1435・1436・1438の3枚には、洪武通寶の銭銘がみえる。1435・1439は、鑄型の中に溶銅が行き渡らないもの。1467は、鑄型の中に溶銅を流し込んだとき、上下の鑄型から銅が外に流れ出して固まったバリを残している。枝銭として鑄造された貨幣の切り離しの際に本体の一部を切断した痕跡がみられるものが16枚と多い。1459は、ふたつの無文銭が連なった状態である。参考までに、本来の鋳銭の状態の長さ重量を推定すると、約7cm(分離した銭の厚さの集計値7.07cm)、46.7g(分離した銭の重量の集計値)である。



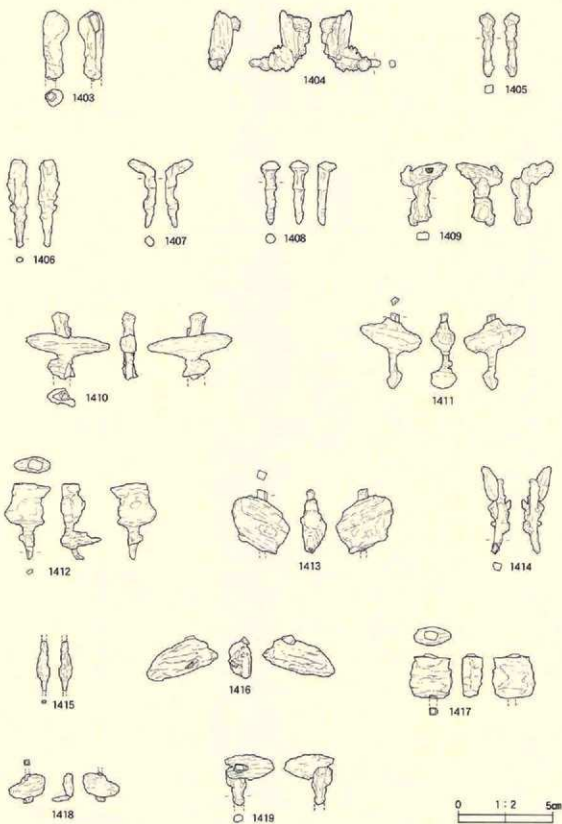
0 1 : 3 10cm

第184圖 金屬製品(1)



0 1:3 10cm

第185圖 金屬製品(2)



第186圖 金屬製品(3)



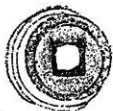
1420



1421



1422



1423



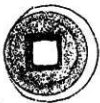
1424



1425



1426



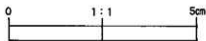
1427



1428



1429



第187圖 金屬製品(4)



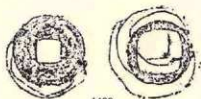
1430



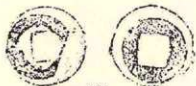
1431



1432



1433



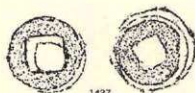
1434



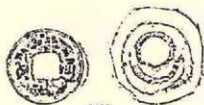
1435



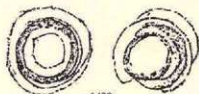
1436



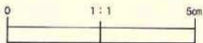
1437



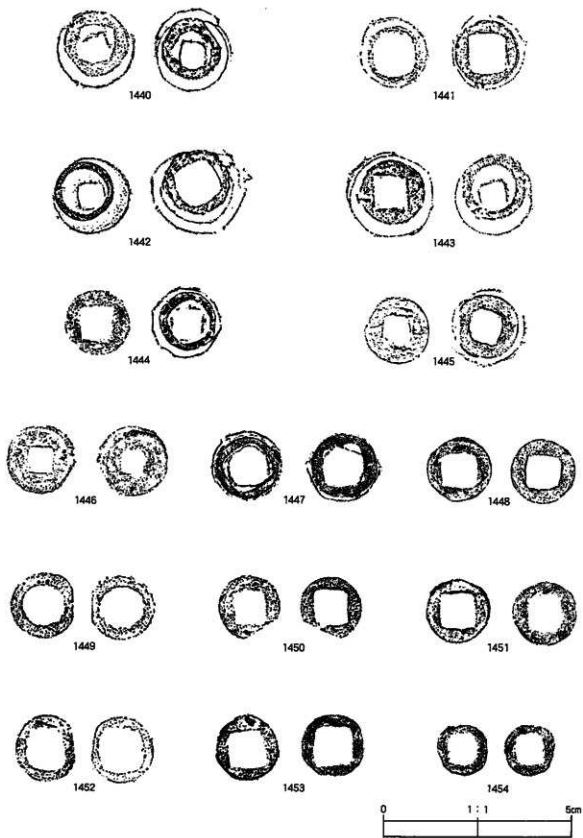
1438



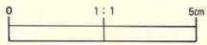
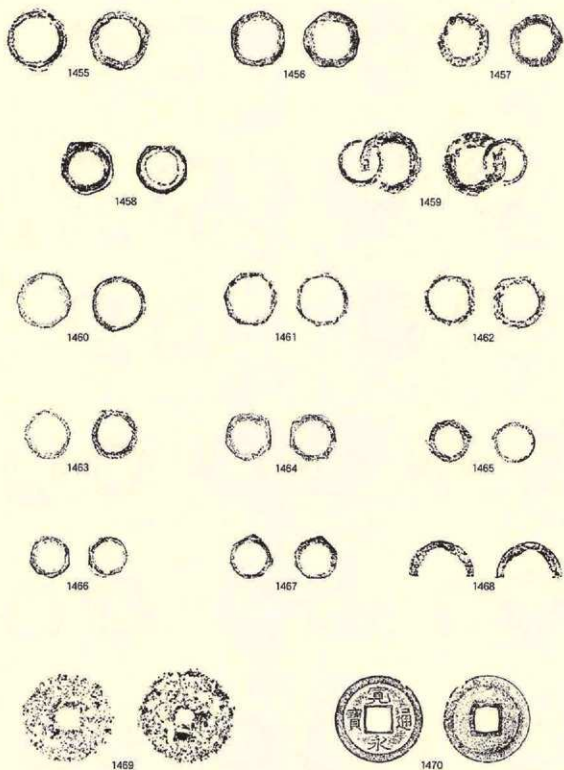
1439



第188圖 金屬製品(5)



第189圖 金屬製品(6)



第190圖 金屬製品(7)

表4 土器観察表(2) 縄文土器

図版 No.	Ks	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調査	胎土	分類
58	1	RD15	埴土	深鉢	胴:結末1RL・LRタテ。		Mb	2 II
58	2	RD19	Pos1	深鉢	胴:結末1RL・LRヨコ。		Mb	3 II
58	3	RD53	埴土下位	深鉢	口唇:原体側圧LR・LR。胴:原体側圧LR・RL。胴:結末1LR・RLヨコ。		Mb	4 II3a
58	4	RD53	埴土下位	深鉢	口:原体側圧LR・LR。胴:原体側圧LR。胴:結末1LR・RLヨコ。		Mb	4 II3a
58	5	RD53	埴土下位	深鉢	口:原体側圧LR。胴:結末1RL・LRヨコ。		Mb	4 II3a
58	6	RD53	埴土	深鉢	口唇:唇目、口~胴:結末1RL・LRヨコ。		-	4 II2a
59	7	RD53	埴土下位	深鉢	口唇:原体側圧LR。口~胴:結末1RL・LRヨコ。胴:原体側圧LR。		Mb	4 II2b
59	8	RD53	埴土下位	深鉢	口:結末1RL・LRヨコ。胴:原体側圧LR・LR。		Mb	4 II2b
59	9	RD53	埴土下位	深鉢	口:結末1LR・RLヨコ/原体側圧LR・RL。		Mb	4 II2b
59	10	RD63	埴土下位	深鉢	口唇:車輪結6。Rタテ。車輪結1。Rヨコ。		Nd	4 II
59	11	RD64	埴土6層	深鉢	胴:車輪結1。Rヨコ?		Nd	4 II
59	12	RD54	埴土下位	深鉢	口:原体側圧LR。胴:原体側圧LR。胴:結末1RL・LRヨコ。		Mb	4 II3a
60	13	RD54	埴土	深鉢	口:原体側圧LR。胴:唇目。胴:結末1LR・LRタテ。		Mb	4 II3b
60	14	RD54	埴土	深鉢	口唇:圧痕。口:車輪結3ヨコ。胴:隆帯+唇目。胴:車輪結3ヨコ~LRヨコ。		Nb	4 II1b
60	15	RD54	埴土	小型深鉢	口:結末ヨコ。胴:隆帯+原体側圧。胴:車輪結1。Rヨコ~LRヨコ。		Nb	4 II1b
60	16	RD54	埴土	小型深鉢	口:原体側圧LR。胴:LRヨコ?		Ma	4 II2b
60	17	RD64	埴土	小型深鉢	胴:結末1RL・LRタテ/結末ヨコ。		Nd	3 II
60	18	RD54	北平埴土層 ミニチュア	無文。			Nb	3 II
60	19	RD55	埴土	深鉢	口~胴:結末1LR・RLヨコ。胴:圧痕2列。		Nb	3 II2b
60	20	RD55	埴土	深鉢	口~胴:結末1LR・RLヨコ。胴:隆帯2+刺突。		Mb	4 II2b
61	21	RD56	北平埴土	深鉢	胴:RLヨコ。底:網代底?		Mb	4 II
61	22	RD60	埴土上位	深鉢	口唇:原体側圧LR。口~胴:結末1LR・RLヨコ。胴:隆帯+唇目。		Mb	3 II2b
61	23	RD60	埴土上位	深鉢	口:結末ヨコ。胴:隆帯+唇目。胴:LRヨコ/車輪結1。Rタテ。底:車輪結1。		Mb	3 II2b
62	24	RD60	埴土上位	深鉢	口~胴:結末1LR・RLヨコ。胴:隆帯2+唇目。		Mb	4 II2b
62	25	RD60	埴土上位	深鉢	口:結末1LR・RLヨコ。胴:隆帯2+唇目。胴:結末1RL・LRタテ。		Mb	4 II2b
62	26	RD60	埴土上位	深鉢	口:LRヨコ。胴:車輪結1。LRタテ。		Mb	4 II2a
62	27	RD60	埴土下位	深鉢	口:原体側圧LR。胴:隆帯+原体側圧LR。胴:RLヨコ。		Mb	3 II2b
62	28	RD60	埴土下位	深鉢	口:結末1LR・RLヨコ。胴:網代底(車輪結1)。胴:車輪結6。Rタテ。		-	4 II2b
63	29	RD60	埴土下位	深鉢	口:原体側圧LR。胴:隆帯+圧痕。胴:結末1LR・RLタテ/ヨコ。		Mb	3 II2b
63	30	RD60	埴土下位	深鉢	口~胴:車輪結1。Rタテ。胴:隆帯+原体側圧。		Nb	4 II2b
63	31	RD60	埴土下位	深鉢	口~胴:結末1LR・LRタテ。		Nb	4 II2a
63	32	RD60	前埴土7層	深鉢	口:結末1RL・LRヨコ。胴:隆帯+刺突。胴:車輪結1。Rタテ。		Nb	4 II2b
63	33	RD60	埴土下位	深鉢	口:結末1LR・RLヨコ。胴:結末1LR・LRタテ。		-	4 II2a
64	34	RD60	埴土下位	深鉢	口唇:結末ヨコ。胴:LRヨコ/結末ヨコ。		-	4 II1a
64	35	RD60	埴土下位	深鉢	胴:LRヨコ(0段多条)。		-	4 II
64	36	RD60	埴土下位	深鉢	胴:車輪結1。Rタテ。		-	4 II
64	37	RD60	埴土	深鉢	口~胴:LRヨコ。胴:隆帯+唇目。		Nb	4 II2b
64	38	RD60	埴土	深鉢	口~胴:LRヨコ。胴:刺突。		Nb	4 II2b
64	39	RD60	埴土	深鉢	口~胴:LRヨコ。胴:隆帯+原体側圧LR。底:網代底?		Nb	4 II2b
65	40	RD60	埴土	深鉢	口~胴:LRヨコ。		-	4 II2a
65	41	RD60	埴土下位	深鉢	胴:車輪結1。Rタテ/結末ヨコ。		Na	4 II
65	42	RD60	埴土	深鉢	胴:結末1LR・RLヨコ/結末ヨコ。		Ma	4 II
65	43	RD60	埴土	深鉢	胴:LRヨコ?		-	4 II
65	44	RD60	北平埴土	深鉢	胴:車輪結1。Rタテ。底:網代底?		-	4 II
65	45	RZ01	埴土土層	深鉢	胴:結末1RL・LRヨコ。		Nb	4 II
66	46	RG02	Pos44	深鉢	口:原体側圧LR。胴:結末1LR・RLヨコ/LRヨコ。		Mb	4 II3a
66	47	RG02	Pos45	深鉢	口:車輪結1。Rヨコ。胴:車輪結1。Rタテ。		-	4 II2a
66	48	RG02	Pos42	深鉢	口唇:口:原体側圧LR。胴:原体側圧LR。胴:結末1RL・LRヨコ。		Nb	4 II3a
66	49	RG02	Pos36	深鉢	口:原体側圧LR。胴:車輪結1。Rタテ/結末Rタテ。		Mb	4 II3a
66	50	RG02	Pos41	深鉢	口:原体側圧LR。胴:原体側圧LR・RL/刺突列。胴:結末1RL・LRヨコ。		Nb	4 II3b
66	51	RG02	Pos42	深鉢	口~胴:結末1RL・LRヨコ。胴:原体側圧LR。穿孔。		Nb	4 II2b
67	52	RG03	2層	深鉢	口~胴:多輪結(?), Rタテ。		-	4 II2a
67	53	RG03	31層	深鉢	口:原体側圧LR。胴:LRタテ/LRタテ。		Nb	4 II2a
67	54	RG03	4層	小型深鉢	口~胴:結末1LR・RLヨコ。		N	4 II2a
67	55	RG03	4層	深鉢	口:原体側圧LR。胴:隆帯+原体側圧LR。胴:結末1RL・LRタテ。		Nb	3 II3b

図版 No.	No.	出土地点	層位	部 種	文 様 (原 形) の 特 徴	内 部 装 飾		分類
						結 土		
67	56	RG03	4層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。頸: 隆帯+原形側E.L.R. 胴: 多輪結(?)。タテ。	Mb	3	②2b
67	57	RG03	4層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。頸: 隆帯+原形側E.L.R. 胴: 結束1RL・LRタテ。	Nb	4	②2b
68	58	RG03	4層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 胴: 単輪結5。タテ。	Mb	3	③3a
68	59	RG03	4層	深鉢	口: 原形側E.L.R.・RL。胴: LRタテ。	Mb	3	②2b
68	60	RG03	4層	深鉢	胴: LRヨコ+尻ヨコ。	—	3	■
68	61	RG03	4層	深鉢	頸: 隆帯+唇目/原形側E.L.R. 胴: 多輪結(?)。タテ。	Na	3	■
68	62	RG03	4層	深鉢	頸: 隆帯+刺突。胴: 結束1RL・LRタテ。	Ma	3	②2b
68	63	RG03	4層	深鉢	口~胴: RLRヨコ。胴: 原形側E.L.R.	—	4	②2b
69	64	RG03	4層	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯+圧痕。胴: LRヨコ。	Nb	3	①1b
69	65	RG03	4層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。胴: RLRヨコ。	Nb	3	②2a
69	66	RG03	4~7層	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯+原形側E.L.R. 胴: LRタテ/結節タテ。	Nb	4	①1b
69	67	RG03	4層	深鉢	口~胴: 結束1LR・LRタテ。	—	4	②2a
69	68	RG03	7層	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。胴: 結束1RL・LRタテ+単輪結1。タテ。	Nb	3	②2a
69	69	RG03	4層	深鉢	口: 単輪結1。Rヨコ。頸: 隆帯+唇目。胴: 単輪結1。タテ/ヨコ。	Mb	3	②2a
70	70	RG03	西平埋土4層	深鉢	口唇~口: 原形側E.L.R. 頸: 隆帯+原形側E.L.R. 胴: LRヨコ/結節Rヨコ。	Mb	4	②2b
70	71	RG03	4層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 頸: 隆帯+原形側E.L.R. 胴: 結束1RL・LRタテ。	Mb	3	②2b
70	72	RG03	7層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 頸: 刺突列。胴: 結束1RL・LRタテ/結節タテ。	Nb	3	③3a
71	73	RG03	7層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 頸: 隆帯+唇目。胴: LRヨコ/結節ヨコ。	Nc	3	③3a
71	74	RG03	7層	深鉢	口~胴: 結束1LR・RLヨコ+単輪結1。Rタテ。頸: 隆帯+原形側E.L.R.	Ma	3	②2b
71	75	RG03	12層	深鉢	胴: LRタテ。ヨコ+ナメ/単輪結1。Rタテ。底: 単輪結1。R。	—	3	■
71	76	RG03	14層	深鉢	口~胴: RLRヨコ。	Nb	4	②2a
71	77	RG03	23層	深鉢	口: LRヨコ。頸: 隆帯+唇目。胴: LRヨコ+単輪結1。Rタテ。	Nb	4	②2b
72	78	RG03	31層	深鉢	口: 原形側E.L.R./刺突列。胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	①4b
72	79	RG03	埋土	深鉢	口: 結束1LR・RLヨコ。頸: 隆帯+唇目。胴: 単輪結1。Rタテ。	Nb	3	②2b
72	80	RG03	埋土	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯2+刺突。胴: 単輪結1A。タテ。	Nb	3	①1b
72	81	RG03	12層	深鉢	口: 結節ヨコ。頸: 隆帯+刺突。胴: 多輪結タテ。	Mb	4	①1b
72	82	RG03	埋土	深鉢	口~胴: LRタテ。頸: 隆帯+原形側E.L.R.	Nb	3	②2b
72	83	RG03	埋土	深鉢	口: LRヨコ/結節ヨコ。頸: 隆帯。胴: RLRヨコ。	Mb	3	②2b
73	84	RG03	埋土	深鉢	口: 結節ヨコ。胴: 単輪結1A。タテ/結節ヨコ。	—	4	①1a
73	85	RG03	埋土	深鉢	口: 単輪結3。ヨコ。頸: 原形側E.L.R. 胴: 単輪結1。Rタテ。	—	4	①1b
73	86	RG03	23層	深鉢	胴: 結束1RL・LRヨコ。	—	4	■
73	87	RG03	西平埋土	深鉢	口: 単輪結3。ヨコ。	Nb	4	①1
73	88	RG03	東平埋土	深鉢	口: LRヨコ。頸: 隆帯+刺突。胴: 多輪結(?)。Lタテ。	Mb	4	②2b
73	89	RG03	埋土	深鉢	無文。	Ma	4	①5
73	90	RG03	東平埋土	深鉢	胴: 単輪結1。Rタテ。底: 上ヒ底。	Nb	4	①47
74	91	RG05	3層	深鉢	口: 隆帯+結節ヨコ。頸: 隆帯。胴: LRヨコ+単輪結3。ヨコ。	Nb	3	②2b
74	92	RG05	埋土	深鉢	口: 原形側E.L.R. 頸: 唇目。胴: 結束1RL・LRヨコ。	Ma	4	③3a
74	93	RG05	埋土	深鉢	口: 原形側E.L.R.・LR。頸: 隆帯+刺突+唇目。胴: 結束1RL・LRタテ。	Mb	4	③3a
75	94	RG05	東平埋土	深鉢	口唇: 刺突。口: 隆帯+結節ヨコ。頸: 隆帯+原形側E.L.R. 胴: 単輪結1。Rタテ/結節ヨコ。	Nb	4	①1b
75	95	RG05	2層	深鉢	頸: 隆帯+唇目。胴: 結束1RL・LRタテ。	Ma	4	■
75	96	RG05	埋土	深鉢	口: 単輪結5。Lタテ。頸: 隆帯+刺突。胴: RLRヨコ。	—	4	②2b
75	97	F7H04	B3層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 胴: 単輪結1A。Lタテ。	Mb	3	①4a
76	98	F7H05	B3層	深鉢	口唇~口: 原形側E.L.R.+r・LR+1。胴: 結束1RL+r・LR+1ヨコ。	Mb	4	①4a
76	99	F7H05	B3層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 胴: 結束1LR+LL・RL+LLヨコ。	Mb	3	①4a
76	100	F7H05	B3層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 胴: 結束1LR・RLヨコ。	Mb	3	③3a
76	101	F7H05	B3層	深鉢	口: 原形側E.L.R. 胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	③3a
76	102	F7H05	B3層	深鉢	無文。	Ny	4	②5
76	103	F7H05	B3層	深鉢	口: 結束1LR(単輪結5)。頸: 刺突列。胴: 単輪結1A。Rタテ。	Mb	3	①4b
76	104	F7H05	4層	深鉢	口唇~口: 原形側E.L.R. 頸: 原形側E.L.R. 胴: 結束1LR・RLヨコ。底: 結束1。	Mb	4	③3a
76	105	F7H05-105	4層	深鉢	口唇: LRヨコ。口: 原形側E.L.R. 胴: 結束1LR・RLヨコ。	Mb	3	①4a
76	106	F7H05-105	3層	深鉢	胴: 結束1LR・LRヨコ。	Md	3	①4a
77	107	F7H05-105	3層	深鉢	口: 原形側E.L./LR。胴: 結節ヨコ/結束1LR+LL・RL+RRヨコ。	Mc	3	②4a
77	108	F7H05-105	4層	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	②2a
77	109	F7I05	B3層	深鉢	口: 原形側E.L.R./刺突。胴: 結束1RL・LRヨコ/単輪結1。Lタテ。	Mb	3	①4a
77	110	F7I05	B3層	深鉢	胴: 多輪結(?)。Rタテ。唇: 原形側E.L.R.ヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	①4b
77	111	F7I05	B3層	深鉢	口: 結束1LR(単輪結1。L)。胴: 単輪結1。Lタテ。	Mb	4	②2a

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整		分類
						筋上	筋下	
77	112	F7106	Ⅱc層	深鉢	口:原体側圧R. 頸:結筋。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
77	113	F7H06	Ⅱd層	深鉢	II:原体側圧R./刺突列(縦列)。 胴:結束1RL・LR+r。	Mb	3	II4b
77	114	F7H06	Ⅱc層	深鉢	口:結束側圧(車輪結5、R)/刺突列。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Me	3	II4a
77	115	F7H06	Ⅱc層	深鉢	II:結束側圧(車輪結5、L)。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	116	F7H06	Ⅱc層	深鉢	口:結束側圧。 頸:刺突/結筋。 胴:結束1RL・LRヨコ/結束2RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	117	F7H06	Ⅱc層	深鉢	口唇→口:原体側圧L。 頸:刺突列/貫通孔。 胴:車輪結1A、L・Rタテ。	Mb	3	II4a
78	118	F7H06	Ⅱc層	深鉢	口:車輪結1RL・LRヨコ。 胴:結束1RL・LRヨコ/結束2RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	119	F7H06	Ⅱd層	深鉢	口唇:RLヨコ。 口:原体側圧L・R/刺突。 頸:刺突/貫通孔。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
78	120	F7H06	Ⅱd層	深鉢	胴:結束1RL・LRヨコ。	Md	3	II4a
79	121	F7H06	Ⅱd層	深鉢	口:原体側圧LR。 頸:原体側圧RLR。 胴:RLRヨコ。	Nb	4	II3a
79	122	F7H06	Ⅱd層	深鉢	口:LRヨコ。 頸:原体側圧LR。 胴:RLヨコ/結筋ヨコ。	Nb	3	II2b
79	123	F7H06	Ⅱd層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II2a
79	124	F7106	Ⅱa層	深鉢	口唇:LRヨコ。 原体側圧LR。 胴:車輪結1A、L・Rタテ。	Mb	3	II4a
79	125	F7106	Ⅱa層	深鉢	口唇→口:原体側圧LR。 胴:車輪結1A、L・Rタテ。	Mb	3	II4a
80	126	F7G07	Ⅱa層	深鉢	口:原体側圧LR。 頸:隆帯+原体側圧RL/結束側圧(車輪1)。 胴:LRヨコ。	Mb	4	II3b
80	127	F7G07	Ⅱc層	深鉢	II:結束側圧。 頸:隆帯+圧底。 胴:多輪結⑦、Rタテ。 底筋:圧底。	Mb	4	II3b
80	128	F7G07	Ⅱc層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ。 頸:原体側圧LR。 胴:多輪結⑦、Rタテ。	Mb	3	II2b
80	129	F7G07	Ⅱc層	深鉢	II:原体側圧LR。 胴:結束1RL・RRヨコ。	-	4	II2a
81	130	F7G07	Poz31	深鉢	口→胴:結束1RL・LRヨコ。	-	4	II2a
81	131	F7H07	Ⅱa層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2b
81	132	F7H07	10層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突列。 胴:結束1RL・LRタテ/結束2RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
81	133	F7H07	10層	深鉢	II:結束側圧(車輪結1、L)。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
81	134	F7H07	Ⅱb層	深鉢	口:結束側圧(車輪結1、R)。 胴:刺突列。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Me	3	II4a
82	135	F7H07	Ⅱc層	深鉢	口唇:原体側圧LR。 II→胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
82	136	F7H07	Ⅱd層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ。 頸:隆帯+原体側圧RL/LR。 胴:LRヨコ。	Nb	4	II2b
82	137	F7H07	Ⅱd層	深鉢	口唇:RLヨコ。 口:原体側圧R/結束側圧。 頸:隆帯+刺突。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II4b
82	138	F7H07	Ⅱd層	深鉢	胴:多輪結5、Rタテ。	Md	3	II
82	139	F7H07	Ⅱd層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:RL・LRタテ。	Nb	4	II2b
82	140	F7H07	9層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ。 頸:原体側圧。 胴:車輪結1、Rタテ。	Mb	3	II2b
83	141	F7107	Ⅱc層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:車輪結6、Rタテ。	Mb	4	II3a
83	142	F7107	Ⅱc層	深鉢	口:結筋ヨコ/原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRヨコ/結筋LRヨコ。	Mb	4	II2b
83	143	F7107	Ⅱc層	深鉢	口→胴:結束1RL・LRヨコ/車輪結1、Rタテ。 頸:隆帯+頸目/原体側圧LR・RL。	Mb	4	II2b
83	144	F7107	Ⅱc層	深鉢	口唇:RLヨコ。 口:結束側圧(車輪結5)。 頸:隆帯+刺突。 胴:多輪結⑦、Rタテ。	Mb	4	II4a
83	145	F7107	Ⅱc層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRヨコ/結束2RL・LRヨコ。	Mb	4	II4a
84	146	F7G08	Poz26	深鉢	口:原体側圧LR。 頸:底筋。 胴:結束1RL・LRヨコ。	-	4	II3a
84	147	F7H08	Ⅱc層	深鉢	II:原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRヨコ/結筋ヨコ。	Mb	4	II3a
84	148	F7H08	Ⅱb層	深鉢	口唇→口:原体側圧R。 頸:原体側圧LR・RL。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
84	149	F7H08	Ⅱc層	深鉢	口:原体側圧LR。 頸:隆帯+刺突。 胴:車輪結1、Rタテ。	Mb	4	II3b
84	150	F7H08	Ⅱd層	深鉢	胴:多輪結⑦、Rタテ。 底:底筋?	Nb	4	II
84	151	F7108	Ⅱc層	深鉢	口:原体側圧LR・RL。 胴:結束1RL・LRヨコ/車輪結1、Rタテ。	Mb	4	II3a
85	152	F7108	Ⅱc層	深鉢	口:原体側圧LR。 頸:結筋LRヨコ。 胴:車輪結1A、LRタテ。	Mb	3	II4a
85	153	F7108	Ⅱc層	深鉢	胴:RLRヨコ。 底:RLR→2ガキ。	Nb	4	II
85	154	F7108	Ⅱc層	深鉢	口唇→胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
85	155	F7108	Ⅱd層	深鉢	口→胴:多輪結⑦、Rタテ?	Nb	4	II2a
85	156	F7108	Ⅱd層	深鉢	II:原体側圧LR。 胴:LRヨコ/結筋Rヨコ。	Nb	4	II3a
85	157	F7108	Ⅱd層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
85	158	F7108	Ⅱd層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
86	159	F7108	Ⅱc層	深鉢	口:原体側圧LR。 胴:LRヨコ。	Mb	4	II3a
86	160	F7108	Ⅱc層	深鉢	口唇:頸目。 口:原体側圧LR。 胴:LRヨコ。	Mb	4	II3a
86	161	F7108	Ⅱc層	深鉢	口→胴:LRヨコ。	-	4	II2a
86	162	F7108	Ⅱc層	深鉢	II唇:刺突。 胴:結束1RL・LRヨコ/結筋Rヨコ。	Mb	4	II2a
86	163	F7108	Ⅱc層	深鉢	胴:多輪結⑦、Rタテ/RLRヨコ。 底:RLR。	Nb	4	II
86	164	F7108	Ⅱa層	深鉢	口:原体側圧。 胴:結筋ヨコ。	Mb	4	II4a
86	165	F7108	Ⅱb層	深鉢	胴:車輪結1、Rヨコ。 底:車輪結1、R。	-	3	II
87	166	F7F09	Ⅱb層	深鉢	口:結束側圧。 胴:多輪結、Rタテ?	Mb	3	II3b
87	167	F7F09	Poz49	深鉢	口唇:頸目。 口:原体側圧LR。 頸:隆帯+頸目/原体側圧LR。 胴:結束1RL・LRタテ。 底筋:頸目。	-	4	II3b

図版 No	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
87	198	F7P09	IIb層	深鉢	口:原体側圧L/縁飾孔1列、眉:菊目、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II2a
87	199	F7P09	IIb層	深鉢	口:原体側圧L。眉:隆帯+菊目、胴:結束1RL・LRタテ。	Mb	4	II2b
87	170	F7P09	Pa53	深鉢	口~胴:単軸絡1、Rタテ、眉:隆帯+圧直。	Nb	3	II2b
87	171	F7P09	IIb層	深鉢	口:単軸絡3、ヨコ、胴:単軸絡1、Rタテ+単軸絡3、ヨコ。	-	4	II1a
87	172	F7P09	IIb層	深鉢	口:原体側圧、胴:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II2a
88	173	F7G09	IIc層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ、眉:隆帯+菊突、胴:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II2b
88	174	F7G09	IIc層	深鉢	胴:単軸絡1A、L・Rタテ/ヨコ、底:単軸絡1A→ミガキ。	-	4	II
88	175	F7G09	IIa~b層	深鉢	口~胴:結束1L・Rヨコ。	-	4	II
88	176	F7G09	2層	深鉢	胴:多軸絡7L、Lタテ/結束1RL・LRヨコ、底:結束1RL・LR。	Nb	4	II
88	177	F7G09	IIb層	台付深鉢	口:原体側圧/結節ヨコ、胴:結束1RL・LRヨコ/結節ヨコ。	Mb	3	II4b
89	178	F7G09	IIb層	深鉢	口:結節R、胴:単軸絡1、Rタテ/結節タテ。	N?	4	II1a
89	179	F7G09	IIb層	深鉢	口~胴:多軸絡タテ。	Nb	3	II2a
89	180	F7G09	IIb層	深鉢	口:結節ヨコ、胴:LRヨコ。	Nb	4	II1a
89	181	F7G09	IIb層	深鉢	口:原側圧L、口:原側圧L/底Rヨコ、眉:隆帯+菊突、胴:LR・結節ヨコ/単軸絡、タテ。	Mb	4	II3b
89	182	F7G09	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR、眉:隆帯+原体側圧LR、胴:R、Lタテ。	Mb	4	II3b
90	183	F7G09	Pa24	深鉢	口~胴:単軸絡1A、タテ/単軸絡1A、ヨコ。	Mb	3	II2a
90	184	F7G09	Pa24	深鉢	口~胴:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II2a
90	185	F7G09	Pa14b	深鉢	口~胴:原体側圧LR・LR、胴:結束1RL・LRタテ/ヨコ。	-	4	II3a
90	186	F7G09	Pa46	深鉢	口~胴:LRヨコ。	-	4	II2a
90	187	F7G09	Pa50	深鉢	口:単軸絡4、ヨコ、眉:隆帯+原体側圧、胴:RLRヨコ/単軸絡4、ヨコ/結節。	Mb	3	II2b
90	188	F7G09	Pa65	深鉢	口:原体側圧LR、眉:隆帯+菊突、胴:結束1RL・LRタテ。	Ne	3	II3b
91	189	F7H09	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR、眉:隆帯2+菊突、胴:単軸絡1A、R・Lタテ。	Mb	4	II3b
91	190	F7Kベ5ト2	3層	深鉢	口~胴:単軸絡1、Rタテ。	M?	3	II2a
91	191	F7I09	IIc層	深鉢	口:原体側圧L、眉:隆帯+圧直、胴:単軸絡1、Rタテ。	Nb	4	II3b
91	192	F7Kベ5ト2	8層	深鉢	口:原体側圧LR・RL、眉:隆帯+原体側圧LR・RL、胴:単軸絡1、Rタテ。	Mb	4	II3b
91	193	F7I09	IIc層	小型深鉢	底:産痕?	-	3	II
91	194	F7H09	Pa29	小型深鉢	無文。	Nb	4	II5
91	195	F7I09	IIc層	深鉢	口~胴:RLRヨコ、眉:隆帯+原体側圧LR。	Mb	4	II2b
92	196	F7I09	8層	深鉢	口:隆帯き縁ヨコ、眉:隆帯+菊突/沈痕、胴:単軸絡1A、RLタテ。	Ne	4	II1b
92	197	F7Kベ5ト2	8層	深鉢	口:結節ヨコ、胴:単軸絡1、Rタテ/結節タテ。	Nb	4	II1a
92	198	F7Kベ5ト2	8層	深鉢	口:隆帯き縁ヨコ、胴:単軸絡1、Rタテ/結節Rヨコ。	N?	4	II1a
92	199	F7J09	IIa層	深鉢	底:圧痕?→粘土貼付、内面に陥り痕。	-	4	II
92	200	F7J09	IId層	深鉢	口唇:原体側圧LR、口~胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
92	201	F7J09	IId層	深鉢	胴:LRタテ、底:胴代直?→ミガキ。	Nb	4	II
92	202	F7J09	IIc層	深鉢	口:結節ヨコ、眉:隆帯+菊突、胴:単軸絡4、タテ。	Nb	3	II1b
93	203	F7F10ベ5ト	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR、眉:隆帯+原体側圧LR、胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3b
93	204	F7F10	IIa層	深鉢	口:結節ヨコ、眉:隆帯+菊突、胴:LRヨコ。	Nb	4	II1b
93	205	F7F10ベ5ト	IIa層	深鉢	口:単軸絡4、Lヨコ、眉:圧痕、胴:RLRヨコ/単軸絡4、タテ。	-	4	II1b
93	206	F7F10	IIb層	深鉢	胴:単軸絡1A、タテ/LRヨコ、底縁:菊目。	-	4	II
93	207	F7F10	IIb層	深鉢	口~胴:RLRタテ/結束1RL・LRヨコ。	-	4	II2a
93	208	F7F10	IIb層	深鉢	口唇:原体側圧LR、口:結束1ヨコ、眉:隆帯+菊突+原体側圧LR、胴:結束1タテ。	Nb	4	II2b
93	209	F7F10	IIa層	ミニチュア	無文。	-	4	II5
93	210	F7F10	IIa層	ミニチュア	無文。	Nb	4	II5
93	211	F7F10	IIc層	ミニチュア	胴:RLタテ。	Nb	4	II5
94	212	F7F10	IIc層	深鉢	口~胴:単軸絡1、Rタテ。	-	4	II2a
94	213	F7G10	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR、胴:LRヨコ、底:圧痕?→ミガキ。	Mb	4	II3a
94	214	F7G10	IIb層	深鉢	口~胴:LRヨコ、眉:隆帯+原体側圧。	Ne	4	II2b
94	215	F7G10	IIb層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ、眉:隆帯+菊突、胴:RLRヨコ。	Nb	4	II2b
94	218	F7G10	IIb層	深鉢	口~胴:LRヨコ、眉:原体側圧LR。	-	4	II2b
95	217	F7G10	IIb層	深鉢	胴:RLRヨコ/結節ヨコ、底:産痕。	Nb	4	II
95	218	F7G10	IIb層	深鉢	口:結節ヨコ、眉:隆帯、胴:RLRヨコ。	Mb	4	II1b
95	219	F7G10	IIb層	浅鉢	口:単軸絡4、Rタテ。	Nb	4	II5
95	220	F7G10	IIb層	浅鉢	口:結節ヨコ、眉:隆帯+菊目、胴:LRヨコ。	Mb	4	II1b
95	221	F7G10	IIc層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ、眉:隆帯2+原体側圧LR、胴:RLRヨコ/結節ヨコ。	Nb	4	II2b
96	222	F7G10-F10	IIc層	深鉢	口~胴:LRヨコ、底:菊突。	-	4	II2b
96	223	F7G10	IIc層	深鉢	口~胴:LRタテ/ヨコ/単軸絡1、Rタテ。	-	4	II2a

図版 No.	No.	出土地点	層位	群 種	文様 (器体) の特徴	内面 調査	助土	分類
96	224	F7G10	7層	洗鉢	口～胴:LRヨコ。胴:原形側圧LR。	Nb	4	II2b
96	225	F7G10	7層	深鉢	口:結末LR・RLヨコ。胴:隆帯?+原形側圧。胴:多輪縁(9)/タテ/車輪縁3ヨコ。	Mb	3	II2b
96	226	F7G10	7層	深鉢	口～胴:多輪縁(9)。R・Rタテ。胴:隆帯+刻目。	Nb	4	II2b
96	227	F7G10	7層	深鉢	口:結節ヨコ。胴:隆帯。胴:RLRヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	II1a
97	228	F7C10	Pc456	深鉢	口:筋条体圧(車輪縁1R)。胴:隆帯+筋条体圧。胴:RLRヨコ。	Nb	4	II3b
97	229	F7G10	IIa層	深鉢	口唇～口:縄巻き縄ヨコ。胴:隆帯+圧痕。胴:多輪縁(9)/タテ?	Nb	4	II1b
97	230	F7G10	Pc458	深鉢	口:縄巻き縄ヨコ。胴:隆帯+筋条体圧。胴:車輪縁1Rタテ/LRヨコ。	Nb	3	II1b
97	231	F7G10	II層	深鉢	口唇:原形側圧R。口:原形側圧LR。胴:車輪縁1Rタテ/ナナメ。	Nb	4	II3a
97	232	F7H10	IIb層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+刺突。胴:LRヨコ。	Mb	4	II3b
98	233	F7F11	4層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+刻目。胴:LRヨコ。	Nb	4	II3a
98	234	F7G11	3層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+刺突。胴:結末1RL・LRヨコ。	-	4	II3a
98	235	F7G11	IIa層	小型深鉢	胴:縄巻き縄ヨコ?。底:縄巻き縄。	-	4	II
98	236	F7G11	IIc層	小型深鉢	胴:LRタテ。底:LR?	-	4	II
98	237	F7G11	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:原形側圧/刺突。胴:車輪縁1Rタテ。	Mb	4	II3a
98	238	F7G11	IIa層	洗鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+原形側圧LR。胴:車輪縁1A。Lタテ。	Mb	4	II3b
98	239	F7G11	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+原形側圧。胴:結末1RL・LRタテ。底:圧痕。	-	4	II3b
99	240	F7G11	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+圧痕。胴:車輪縁1A。L・Rタテ。	Nb	4	II3b
99	241	F7G11	6層	深鉢	胴:LRヨコ+沈線。	-Na	4	II
99	242	F7G11	6層	深鉢	口:原形側圧LRヨコ。胴:LRタテ。	-	4	II2b
99	243	F7G11	6層	深鉢	口:結末1RL・RLヨコ。胴:隆帯+原形側圧LR・RL。胴:結末1RL・LRタテ。	Nb	3	II2b
99	244	F7G11	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+原形側圧LR。胴:車輪縁1A。L・Rタテ。	Mb	4	II3b
100	245	F7G11	II層	深鉢	口:沈線。胴:隆帯。胴:車輪縁1Rタテ。	Ma	4	II5
100	246	F7G11	Pc456	深鉢	胴:LRヨコ。	-	4	II
100	247	F7C11	IIc層	深鉢	口～胴:LRヨコ。胴:刺突/原形側圧LR。	-	4	II2b
100	248	F7H10-11	3層	深鉢	口:原形側圧LR/刺突。胴:多輪縁(9)。R・Rタテ。	Mb	3	II4a
101	249	F7H10-11	II層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯?+刺突。胴:車輪縁1Rタテ。底:R/R。	Mb	4	II3b
101	250	F7H10-11	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+刻目。胴:RLヨコ。	Mb	4	II3b
101	251	F7H10-11	IIc層	深鉢	口～胴:LRヨコ/結節乳1筋。	Mb	4	II2a
101	252	F7H11	IIa層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:車輪縁1A。L・RRタテ。	Mb	4	II3a
101	253	F7H11	IIa層	深鉢	口～胴:結末1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2a
102	254	F7H11/Pc46	IIa層	深鉢	胴:結末1RL・LRヨコ。底:LR。	N	4	II
102	255	F7H11	IIc層	深鉢	胴:LRヨコ。	Ma	4	II
102	256	F7H11	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+刻目。胴:結末1RL・LRタテ。	Mb	4	II3b
102	257	F7H11	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:筋条体圧(車輪縁1R)。胴:結末1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
102	258	F7H11	IIc層	深鉢	胴:結末1RL・LRヨコ。	Ma	4	II
102	259	F7H11	7層	深鉢	底:縄巻き縄ヨコ?	-	3	II
102	260	F7H11	IIc層	ミニナフ	無文。	N	2	II5
102	261	F7111	IIa層	深鉢	口～胴:結末1RL・LRヨコ。	-	4	II
103	262	F7J11	IIa層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+原形側圧LR。胴:車輪縁1Rタテ。	Mb	4	II3b
103	263	F7J11	IIa層	深鉢	口:結末1RL・LRヨコ。胴:結末1RL・LRタテ。	-	4	II2a
103	264	F7C12-112	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+圧痕。胴:LRヨコ/タテ。結節Rタテ。底:LR。	Mb	4	II3b
103	265	F7C12	IIa層	深鉢	胴:RLRタテ。底:RLR。	-	4	II
103	266	F7C12	IIb層	深鉢	底:隆帯?	N?	4	II
103	267	F7C12-112	IIb層	深鉢	口～胴:結末1RL・RL+LLヨコ。胴:隆帯。	Mb	4	II2a
103	268	F7C12-112	IIc層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+圧痕。胴:結節ヨコ/車輪縁1Rタテ。	Nb	4	II3b
104	269	F7C12-112	IIc層	深鉢	口:結末1R・Lヨコ。胴:隆帯。胴:結末1R・Lヨコ/多輪縁(9)。Rタテ。	Mb	4	II2b
104	270	F7112	Pc467	深鉢	口:RL・LR 結末1RL・RLヨコ/原形側圧LR。底:圧痕。胴:LRヨコ・ナナメ。	Nb	4	II2b
104	271	F7L13	不明	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+原形側圧LR。胴:車輪縁1A。Rタテ。	Nb	4	II3b
104	272	F8L24	I層	深鉢	口:原形側圧R。胴:RLRナナメ。	Mb	3	II4a
105	273	F711-東割	I層	深鉢	口:原形側圧LR。胴:車輪縁1Lタテ。	Mb	4	II4b
105	274	F7E	表土	深鉢	胴:LRタテ。底:LR。	Nb	4	II
105	275	不明	不明	深鉢	口:結末1RL・LRヨコ。胴:原形側圧LR。胴:車輪縁1A。Rタテ。	Mb	4	II2b
105	276	F8E	トレンチ	深鉢	口:原形側圧LR。胴:隆帯+刺突。胴:車輪縁1Lタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II3b

図数 No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
106 277	KA01	埋土	深鉢	口唇・口:原体側E.L.R.	Nb	2	E3y
106 278	RA02付近	瓦屑	深鉢	胴:単軸結1A, Rタテ。	Na	4	E
106 279	RA02	埋土	深鉢	胴:結東1RL・LRヨコ。	Mc	4	E
106 280	KD09	埋土	深鉢	胴:沈線。	Ma	1	IV
106 281	KD09	埋土	深鉢	口:LRタテ/ヨコ。	Nb	1	IV
106 282	RD14	埋土	深鉢	胴:RLRヨコ。	Na	1	IV
106 283	RD15	南半埋土	深鉢	胴:RLRヨコ。	Na	4	E
106 284	RD15	南半埋土	深鉢	胴:RLヨコ。	Na	4	E
106 285	RD15	南半埋土	深鉢	胴:LRヨコ。	Na	4	E
106 286	RD22	埋土	深鉢	胴:LRタテ。	Ma	1	IV
106 287	KD30	埋土1層	深鉢	胴:沈線。	Ma	1	IV
106 288	KD49	1層	深鉢	胴:LRヨコ。	Ma	1	IV
106 289	RD52	埋土	深鉢	口:LRヨコ。	Mb	4	E
106 290	KD52	埋土	深鉢	口:RLタテ/結節Lヨコ。	Mb	4	E
106 291	RD53	埋土下位	深鉢	口唇~口:原体側E.L.R. 胴:隆帯2+原体側E.L.R. 胴:多軸結?1 Rタテ。	Mb	4	E2b
106 292	RD53	埋土下位	深鉢	口唇~口:原体側E.L.R. 胴:原体側E.L.R. 胴:多軸結, タテ?	Mb	4	E3a
106 293	RD53	埋土	深鉢	口唇~口:原体側E.L.R. 胴:隆帯+剣突。胴:単軸結, タテ?	Nb	4	E2b
107 294	RD53	埋土下位	深鉢	口唇:原体側E.L.R. 胴:口:原体側E.L.R./剣目。胴:結東1RL・LRヨコ。	Nb	4	E3a
107 295	RD53	埋土下位	深鉢	口:単軸結1A, RLヨコ。胴:隆帯+剣突。胴:単軸結1A, R-Lタテ。	Mb	3	E4a
107 296	RD53	埋土	深鉢	口:単軸結1, Rヨコ。胴:単軸結1, Rタテ/結節ヨコ。	Nb	3	E4a
107 297	RD53	東半埋土	深鉢	口唇~口:結節Rヨコ。胴:LRヨコ。	Nb	4	E1a
107 298	RD53	東半埋土	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ。胴:原体側E.L.R.	Mb	4	E2b
107 299	RD53	埋土	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ。	Nb	4	E2b
107 300	RD53	埋土	深鉢	口:結節Rヨコ。胴:LRタテ。	Nb	4	E1a
107 301	RD54	南半埋土	深鉢	口:原体側E.L.R. 胴:隆帯2+剣突。胴:多軸結?1, タテ。	Mb	4	E2b
107 302	RD54	北半埋土2層	深鉢	口:原体側E.L.R. 胴:RLヨコ。	Mb	4	E3a
107 303	RD54	埋土2層	深鉢	口:原体側E.L.R. 胴:隆帯+剣目。胴:単軸結1, Rタテ。	Mb	4	E2b
107 304	RD54	北半埋土3層	深鉢	口:LRヨコ~原体側E.L.R.	-	4	E2b
107 305	RD54	北半埋土3層	深鉢	口唇~口:結節Rヨコ。胴:単軸結1A, Rタテ。	-	4	E1a
108 306	RD54	北半埋土5層	深鉢	口:結節Rヨコ。胴:LRタテ。	Mb	4	E1a
108 307	KD54	埋土7層	深鉢	口:結節Rヨコ。胴:LRヨコ。	Nb	4	E1a
108 308	KD54	南半埋土	深鉢	口:原体側E.L.R. 胴:LRヨコ。	Mb	4	E2b
108 309	KD54	南半埋土	深鉢	口唇~口:結節Rヨコ。胴:隆帯+任庇。胴:結節Rヨコ, 単軸結1, タテ?	Nb	4	E1b
108 310	RD54	埋土	深鉢	口:単軸結1, ヨコ。胴:LRヨコ。	Nb	4	E1a
108 311	KD54	埋土	深鉢	口:結節Rヨコ。胴:LRヨコ。	Nb	4	E1a
108 312	RD54	北半埋土	深鉢	口唇:E.L.R. 口:RLヨコ~沈線。	Nb	2	I
108 313	KD55	北半埋土1層	深鉢	口:隆帯巻縄ヨコ。	Nb	4	E1
108 314	KD55	北半埋土1層	深鉢	口:原体側E.L.R.	Mb	4	E3
108 315	RD55	埋土	深鉢	口:原体側E.L.R. 胴:LRヨコ。	-	4	E2b
108 316	RD55	埋土	深鉢	口:RLRヨコ。	-	4	E2
108 317	RD55	南半埋土	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ。	Mb	4	E2
108 318	RD55	埋土1層	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ/タテ。	-	4	E2
108 319	KD55	埋土下位	深鉢	胴:LRタテ/ヨコ(表), LRヨコ(裏)。	-	4	I
108 320	KD55	南半埋土	深鉢	胴:結東1RL・LRヨコ(裏), 原体側E.L.R.(裏)。	Ma	3	E
108 321	RD55	だめ押し	深鉢	口唇~口:LRヨコ。	Mb	4	E2
109 322	RD56	北半埋土	深鉢	口:単軸結1?	Mb	4	E2
109 323	RD56	埋土	深鉢	口:LRヨコ。胴:原体側E.L.R.	-	4	E2b
109 324	RD56	埋土	深鉢	口:結節ヨコ。	Mb	4	E1
109 325	RD56	埋土	深鉢	口:RLヨコ(裏), RLヨコ(裏)。	N	2	I
109 326	RD57	埋土	深鉢	胴:RLタテ/ヨコ。	Ma	4	E

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調査	胎土	分類
109	327	RD67	層上	深鉢	胴: 車輪結5, Rタテ。		Ma	4 II
109	328	RD68	埋土	深鉢	胴: 車輪結1A, R・Lタテ。		Ma	4 II
109	329	RD68	埋土	深鉢	胴: 結糸体正, 胴: 多輪結(?) タテ。		Mc	3 II 4
109	330	RD60	南半埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯+原体側圧, 胴: LRヨコ。		-	4 II 3b
109	331	RD60	南半埋土下位	深鉢	口: 結束1RL・LR, 胴: 隆帯+圧痕, 胴: 車輪結1, Rタテ。		Nb	4 II 2b
109	332	RD60	南半埋土上位	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ。		Ma	4 II 2b
109	333	RD60	南半埋土上位	深鉢	口縁~口: 結部ヨコ?		Nb	4 II 1a
109	334	RD60	北半埋土	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯+原体側圧LR, 胴: LRヨコ。		Nb	4 II 3b
110	335	RD60	北半埋土	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ, 胴: 隆帯+原体側圧LR, 胴: 結束1RL・LRタテ。		Mb	4 II 2b
110	336	RD60	北半埋土	深鉢	口: 車輪結1A, Rタテ, 胴: 隆帯+結糸体正(車輪結1A), 胴: 車輪結1, タテ。		Mb	4 II 2b
110	337	RD60	北半埋土	深鉢	口: 車輪結1, Rヨコ/タテ, 胴: 隆帯+原体側圧LR, 胴: 車輪結1, Rタテ。		Mb	4 II 2b
110	338	RD60	北半埋土	深鉢	口: RLRヨコ, 胴: 結部ヨコ。		-	4 II 2a
110	339	RD60	北半埋土I層	深鉢	口: LRYヨコ?		-	4 II
110	340	RD60	北半埋土	深鉢	口: 結部R, ヨコ, 胴: 隆帯+原体側圧, 胴: 車輪結1, Rタテ。		Nb	4 II 1b
110	341	RD60	北半埋土I層	深鉢	口: 隅帯を隔(LR)ヨコ, 胴: 車輪結1, Rタテ。		Nb	4 II 1a
110	342	RD60	北半埋土	深鉢	口: 結部ヨコ, 胴: LRタテ/ヨコ, 胴: 車輪結1, R・Lタテ。		-	4 II 2a
110	343	RG02	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 原体側圧+刻目, 胴: 結束1LR・LRヨコ。		Mb	4 II 3a
111	344	RG02	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯, 胴: 結束1RL・LRヨコ。		Nb	4 II 3b
111	345	RG02	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: LRヨコ。		Mb	4 II 3a
111	346	RG02	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯+圧痕, 胴: 結束1RL・LRヨコ。		Mb	4 II 3b
111	347	RG02	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 結束1RL・LRヨコ。		Mb	4 II 3a
111	348	RG02	埋土下位	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: LRヨコ/Rタテ。		Mb	4 II 2b
111	349	RG02	埋土下位	深鉢	口: 沈帯ヨコ/タテ, 胴: 沈帯タテ。		Mb	4 II 5
111	350	RG02	埋土下位	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ, 胴: 原体側圧結束1RL・LR。		Mb	4 II 2b
111	351	RG02	埋土下位	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ。		Mb	4 II 2
111	352	RG02	埋土下位	深鉢	口: 結糸体正(車輪結1, R)/輪修孔1列。		-	4 II 3
111	353	RG03	西半埋土4層	深鉢	口: 原体側圧RL, 胴: 隆帯+刻目。		Mb	4 II 3b
111	354	RG03	4層	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯2+原体側圧LR, 胴: RLRヨコ。		Mb	4 II 3b
111	355	RG03	東半埋土	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯, 胴: LRタテ。		-	4 II 3b
111	356	RG03	東半埋土	深鉢	口: 原体側圧LR/側突。		Nb	4 II 3
111	357	RG03	東半埋土	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯+圧痕。		Na	4 II 3b
112	358	RG03	西半埋土7層	深鉢	口: 原体側圧LR, 胴: 隆帯+刻目, 胴: 車輪結1, Rタテ。		Mb	4 II 3b
112	359	RG03	東半埋土	深鉢	口~胴: LRヨコ, 胴: 隆帯+圧痕。		Mb	4 II 2b
112	360	RG03	西半埋土4層	深鉢	口縁: 車輪結1, RLヨコ, 口~胴: 車輪結1, RLタテ, 胴: 隆帯+圧痕。		Nb	4 II 2b
112	361	RG03	東半埋土	深鉢	口縁: 側突, 口~胴: LRヨコ, 胴: 隆帯+側突。		Mb	4 II 2b
112	362	RG03	東半埋土	深鉢	口: LRヨコ, 胴: 隆帯+側突。		-	4 II 2b
112	363	RG03	西半埋土	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ, 胴: 隆帯+刻目, 胴: 結束1RL・LRヨコ。		Mb	4 II 2b
112	364	RG03	東半埋土	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ~原体側圧LR/RL。		-	4 II 2b
112	365	RG03	東半埋土	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ。		-	4 II 2a
112	366	RG03	東半埋土4層	深鉢	口縁: 結束1RL・LRヨコ, 輪修孔。		Nb	4 II 2a
112	367	RG03	東半埋土	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ, 胴: 隆帯。		Mb	4 II 2b
112	368	RG03	4層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ。		Mb	4 II 2a
112	369	RG03	東半埋土	深鉢	口縁: 圧痕, 口: 結部L?ヨコ, 胴: 隆帯+圧痕, 胴: 車輪結1, Rタテ。		Nb	4 II 1b
112	370	RG03	東半埋土	深鉢	口: 結部?ヨコ, 胴: 隆帯+圧痕, 胴: 車輪結1, Rタテ。		Nb	4 II 1b
113	371	RG03	東半埋土	深鉢	口: 結部Rヨコ。		-	4 II 1
113	372	RG03	東半埋土	深鉢	口縁: LR? 口: 結部LRヨコ, 胴: LRヨコ。		Mb	4 II 1
113	373	RG03	東半埋土	深鉢	口: 隅帯を隔(LR)ヨコ。		-	4 II 1
113	374	RG03	東半埋土	深鉢	口: 隅帯を隔(LR)ヨコ。		Nb	4 II 1
113	375	RG03	東半埋土	深鉢	口縁: 刻目, 口: RLヨコ/タテ(表), RLタテ(裏)。		-	2 I
113	376	RG03	東半埋土	深鉢	口~胴: LRヨコ(表), LRヨコ(裏)。		-	2 I
113	377	RG03	東半埋土	深鉢	口縁: 刻目, 口: LRヨコ。		Nb	2 I

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	出土	分類
113	378	RG03	東半埋土	深鉢	口:RLヨコ/ナナム(表),RLタテ(裏)。	-	2	I
113	379	RG03	東半埋土	深鉢	胴:RLヨコ(表),RLヨコ(裏)。	-	2	I
113	380	RG03	東半埋土	深鉢	胴:RLヨコ/ナナム(表),RLタテ(裏)。	-	2	I
114	381	RG03	東半埋土	深鉢	底(尖底):RLナナム。	-	2	I
114	382	RG03	東半埋土	深鉢	底(尖底):LRナナム。	N	2	I
114	383	RG03	北半埋土	深鉢	口:LRヨコ。	-	4	IIa
114	384	RG03	西半埋土	深鉢	口唇:短目,胴:結束1RL・LRタテ。	Nb	4	IIa
114	385	RG05	東半埋土4層	深鉢	口:縄巻き筒LRヨコ?胴:縄帯+刺突。	Nb	4	IIb
114	386	RG05	東半埋土	深鉢	口:単軸結2,RLヨコ,胴:縄帯+結束体圧,胴:単軸結2,RLタテ?。	-	4	IIb
114	387	RG05	東半埋土	深鉢	口:結節ヨコ,胴:縄帯+刺突,胴:RLRヨコ。	Nb	4	IIb
114	388	RG05	西半埋土	深鉢	口:単軸結1,RLタテ。	Nb	4	IIa
114	389	RG05	東半埋土7層	深鉢	無文。	-	4	II
114	390	RG05	東半埋土	深鉢	底(尖底):RLタテ。	N	2	I
114	391	RG05	東半埋土	深鉢	底:圧痕?	N	4	II
115	392	F7H04	IIb層	深鉢	口:単軸結GA,ヨコ,胴:原体側圧,胴:単軸結1,RLタテ。	Mb	3	IIa
115	393	F7H05	I層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:単軸結1A,タテ。	Mb	3	IIa
115	394	F7H05	I層	深鉢	底(尖底):RLヨコ。	-	4	I
115	395	F7H05	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:単軸結1,RLタテ。	Mb	3	IIa
115	396	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:原体側圧,口:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II
115	397	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:短目,胴:刺突,胴:多軸結(?)タテ。	Mb	4	II
115	398	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:刺突,口:RLヨコ(表),RLナナム(裏)。	-	2	I
115	399	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:LRヨコ,口:結束体圧(単軸結5),胴:結束1LR・LRヨコ。	Mb	3	IIa
115	400	F7H05	I層	深鉢	口唇:突起,口:縄帯/原体側圧。	Nb	4	II
115	401	F7H05	I層	深鉢	口:縄帯+原体側圧LR,胴:刺突,胴:単軸結1A,タテ/結節タテ。	Mb	4	IIb
115	402	F7H05	I層	深鉢	口唇:口:縄帯/原体側圧LR,胴:縄帯+刺突。	Nb	4	IIb
115	403	F7H05	3層	深鉢	口唇:口:原体側圧RL/刺突,胴:多軸結(?)タテ。	Mb	3	IIa
115	404	F7H05	4層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突,胴:単軸結1A,RLタテ。	Mb	3	IIa
115	405	F7H05	4層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突,胴:単軸結1A,RLタテ。	Mb	3	IIa
115	406	F7H05	4層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突,胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	IIa
116	407	F7H05	4層	深鉢	口唇:原体側圧,口:結束1RL・LRヨコ,胴:原体側圧LR/LR。	Mb	4	IIb
116	408	F7H05	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	IIb
116	409	F7H05	IIc層	深鉢	口:縄巻き筒?ヨコ,胴:縄帯+原体側圧,胴:RLヨコ。	Nb	4	IIb
116	410	F7H05	IIc層	深鉢	口唇:LR? 口:縄巻き筒?ヨコ,胴:LRヨコ。	Nb	4	IIa
116	411	F7G06	IIa層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ/原体側圧,胴:RLナナム。	Mb	3	IIa
116	412	F7G06	IIa層	深鉢	口:原体側圧,胴:縄帯+刺突,胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	IIa
116	413	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR。	Mb	2	III
116	414	F7H06	IIc層	深鉢	口:単軸結1A,ヨコ,胴:縄帯+刺突,胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	IIa
116	415	F7H06	II層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:縄帯+刺突,胴:単軸結1A,タテ。	-	3	IIa
116	416	F7H06	IIa層	深鉢	口:結束体圧/多軸結/刺突,胴:RLヨコ/多軸結(?)タテ。	Mb	3	IIa
116	417	F7H06	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:多軸結タテ?	Nb	4	IIa
117	418	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:刺突,胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	IIa
117	419	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR・RL,胴:結節1LR・RLヨコ。	Mb	3	IIa
117	420	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/刺突,胴:結束1LR・LRヨコ。	Ma	3	IIb
117	421	F7H06	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:縄帯+刺突,胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	IIa
117	422	F7H06	IIc層	深鉢	口唇:口:原体側圧LR/刺突,胴:単軸結1A,RLタテ。	Mb	3	IIa
117	423	F7H06	IIc層	深鉢	口:単軸結1A,ヨコ,胴:結束1RL・LRタテ。	-	3	IIa
117	424	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/結束体圧(単軸結5),胴:縄帯+刺突,胴:単軸結1A,タテ。	Mb	3	IIa
117	425	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:結節1LR・RLヨコ。	Mb	3	IIa
117	426	F7H06	IIc層	深鉢	口唇:口:原体側圧LR,胴:RLヨコ/結節ヨコ。	Mb	3	IIa
117	427	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/RL,胴:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	IIb
117	428	F7H06	IIc層	深鉢	口:結束1LR・RLヨコ。	Mb	4	IIa

図例 No	No	出土地点	層位	層種	文様(原体)の特徴	内面 調査	粘土	分類
117	429	F7H06	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 頸:造帯2+刺突. 胴:LRヨコ.		Mb	4 II 3b
118	430	F7I06	IIa層	深鉢	口:原体制圧LR? 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	4 II 4a
118	431	F7I06	IIa層	深鉢	口唇:口:貝殻線文.		Nb	3 II
118	432	F7I06	IIb層	深鉢	口:車輪跡6A. ヨコ. 胴:車輪跡4. タテ.		Mb	3 II 4a
118	433	F7I06	IIb層	深鉢	口唇~口:原体制圧LR・L/輪跡ヨコ. 頸:刺突. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	3 II 4a
118	434	F7I06	IIc層	深鉢	II:原体制圧LR. 頸:造帯+刺突. 胴:車輪跡1A. タテ.		Me	3 II 4a
118	435	F7I06	IIc層	深鉢	底(尖底):RLナナメ.		-	2 I
118	436	F7I06	Pot38	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:多輪跡(?) タテ/輪跡.		Mb	3 II 4a
118	437	F7I06	IIc層	深鉢	II:原体制圧LR. 頸:造帯+刺突. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	3 II 3b
118	438	F7F07ベクト1	10層	深鉢	口唇:RL. 口:原体制圧RL. 頸:造帯+刺突. 胴:車輪跡1A. タテ.		Mb	3 II 4a
118	439	F7F07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 頸:造帯2-原体制圧LR. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	4 II 3b
118	440	F7G07	IIb層	深鉢	口唇:車輪跡6A. ヨコ. 頸:原体制圧LR. 胴:車輪跡1A. タテ.		Nb	4 II 4?
118	441	F7G07	IIc層	深鉢	口唇:則目. 口:原体制圧LR. 胴:車輪跡1. LRタテ?		Mb	4 II 3a
118	442	F7G07	IIc層	深鉢	II:原体制圧LR. 頸:造帯+原体制圧LR. 胴:LRヨコ.		Mb	4 II 3a
118	443	F7G07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 頸:造帯2+原体制圧LR. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	4 II 3b
119	444	F7G07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Nb	4 II 3a
119	445	F7G07	IIa層	深鉢	口:原体制圧LR. 頸:造帯2+刺突. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Nb	4 II 3b
119	446	F7G07ベクト1	4層	深鉢	II:原体制圧LR. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	4 II 4a
119	447	F7G07	IIc層	深鉢	口唇:結束1RL・LRヨコ. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Nb	4 II 3a
119	448	F7G07	4層	深鉢	口唇:原体制圧LR. 頸:造帯2+原体制圧LR/刺突. 胴:結束1RL・LR/RLヨコ.		Mb	4 II 3b
119	449	F7G07ベクト1	4層	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:RLヨコ.		Nb	4 II 3a
119	450	F7E	4層	深鉢	口唇:結束1RL・LRヨコ. 胴:原体制圧LR.		Mb	4 II 2b
119	451	F7G07ベクト1	4層	深鉢	口:原体制圧LR・RL/RLヨコ.		Mb	4 II 2b
119	452	F7G07	Pot39	深鉢	口~胴:結束1RL・LRヨコ.		Nb	4 II 2
119	453	F7G07	Pot31	深鉢	口唇:原体制圧LR. 口:LRヨコ. 頸:原体制圧LR.		Nb	4 II 2b
120	454	F7H07	1層	深鉢	胴:沈堀/LRタテ.		M	1 III
120	455	F7Eベクト1	1層	深鉢	胴:沈堀/LRタテ.		Ne	1 III
120	456	F7H07	IIa層	深鉢	底(尖底):LR.		-	4 I
120	457	F7H07	10層	深鉢	口唇~口:結束1RL(車輪跡5)/刺突. 胴:車輪跡1A. タテ/輪跡タテ.		Me	4 II 4a
120	458	F7H07	10層	深鉢	口唇~口:原体制圧LR. 頸:造帯+刺突. 胴:結束1RL・LRヨコ/輪跡.		Mb	4 II 4a
120	459	F7H07	3層	深鉢	口唇:RLヨコ. 口:原体制圧LR/刺突. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	4 II 4a
120	460	F7H07	10層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ.		Nb	4 II 2a
120	461	F7Eベクト1	12層	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	3 II 4a
120	462	F7H07	IIb層	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	4 II 3a
120	463	F7H07	IIb層	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	4 II 3a
120	464	F7H07	IIb層	深鉢	口:造帯(逆U字状)/RLタテ.		Nb	4 II 2b
120	465	F7H07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 頸:刺突. 胴:RLヨコ/輪跡ヨコ.		Mb	4 II 4b
120	466	F7H07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR/輪跡.		-	3 III
120	467	F7H07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR/LR.		Mb	4 II 3a
121	468	F7H07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 頸:刺突. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	4 II 3a
121	469	F7H07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR/刺突. 頸:原体制圧LR. 胴:LRヨコ/多輪跡(?) タテ.		Nb	4 II 3b
121	470	F7H07ベクト1	21層	深鉢	II:原体制圧LR/輪跡ヨコ/刺突. 胴:車輪跡1A. タテ.		Mb	4 II 4a
121	471	F7I07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	4 II 4a
121	472	F7I07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR・L/輪跡ヨコ. 胴:車輪跡1A. タテ.		Mb	4 II 4a
121	473	F7I07	IIc層	深鉢	口唇:車輪跡6A. ヨコ. 頸:原体制圧LR/刺突. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	4 II 4a
121	474	F7I07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR. 胴:多輪跡(?) タテ.		Nb	4 II 3a
121	475	F7I07	IIc層	深鉢	口:原体制圧LR/刺突. 胴:結束1RL・LRタテ.		Mb	4 II 4a
121	476	F7I07	IIc層	深鉢	口唇:RLヨコ. 口:原体制圧LR. 頸:造帯+刺突. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	4 II 4a
121	477	F7I07	IIc層	深鉢	口唇:LRヨコ. 口唇:結束1RL・LRヨコ.		Mb	4 II 4a
121	478	F7I07	IIc層	深鉢	口唇:LR? 口:原体制圧LR. 胴:結束1RL・LRヨコ.		Mb	4 II 4a
122	479	F7I07	IIc層	深鉢	口唇:底底. 口:車輪跡1. RLヨコ. 胴:多輪跡(?) タテ.		Mb	4 II 4a

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原形)の特徴	内面 調整	粘土	分類
122	480	F7107	IIc層	深鉢	口:原形側E.L.R. 頸:隆帯+刺突, 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II4a
122	481	F7107	IIc層	深鉢	口:原形側E.L.R./刺突, 胴:多輪筋(?), タテ。	Mb	4	II4a
122	482	F7107	IIc層	深鉢	口:結束体圧(単輪筋1)/刺突, 胴:結束1RL・LRヨコ/単輪筋1, Rタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II4a
122	483	F7107	IIb~c層	深鉢	口唇:LRヨコ, 口:結束体圧(単輪筋1)/刺突, 胴:結束2RL・RLヨコ。	Mb	4	II4a
122	484	F7107	IIc層	深鉢	口:結束1RL・RLヨコ, 原形側E.L.R./RL。	Mb	4	II4a
122	485	F7107	IIc層	深鉢	口:結節ヨコ。	Nb	4	IIa
122	486	F7G08	IIb層	深鉢	口:原形側E.L.R. 頸:隆帯+原形側E.L.R./刺突, 胴:単輪筋5, Rタテ。	Nb	4	II3b
122	487	F7G08	IIb層	深鉢	口~胴:単輪筋1A, LRタテ。	-	4	II2a
122	488	F7G08	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRヨコ。	-	4	II3a
122	489	F7G08	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 頸:隆帯+刺突, 胴:LRヨコ/結節ヨコ。	Ma	4	II3b
122	490	F7G08	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 頸:隆帯+圧痕。	Mb	4	II3b
122	491	F7G08	Pos11	深鉢	口~胴:LRヨコ, 頸:原形側E.L.R.	-	4	II2b
123	492	F7G08	IId層	深鉢	口:結節ヨコ/タテ, 頸:隆帯+圧痕, 胴:単輪筋1, Rタテ。	Nb	4	II1b
123	493	F7G08	Pos45	深鉢	胴:LRヨコ(表), LRヨコ(裏)。	N	3	I
123	494	F7G08	IId層	深鉢	胴:RLヨコ(表), RLタテ(裏)。	N	3	I
123	495	F7G08	トレンチ	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRヨコ。	Na	4	II2a
123	496	F7H08	I層	深鉢	口唇~口:縄巻き罫ヨコ, 頸:隆帯2+刺突, 胴:RLRヨコ。	Nb	4	II1b
123	497	F7H08	IId層	深鉢	胴:LRヨコ(表), LRヨコ(裏)。	N	3	I
123	498	F7H08	IIb層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRヨコ。	Nb	4	II3a
123	499	F7H08	IIb層	深鉢	口:縄巻き罫ヨコ, 胴:LRヨコ。	-	4	II1a
123	500	F7H08	IIc層	深鉢	口:原形側E.L.R. 頸:隆帯2+原形側E.L.R. 胴:LRヨコ/結節ヨコ。	Mb	4	II3a
123	501	F7H08	IId層	深鉢	口唇:LRヨコ, 口:結節LRヨコ, 胴:LRヨコ。	Nb	4	II1a
123	502	F7H08	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRタテ/ヨコ。	Mb	4	II3a
123	503	F7H08	IIe層	深鉢	口:原形側E.L.R.・L, 頸:隆帯2+刺突。	Mb	4	II3a
124	504	F7108	IIa層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ, 頸:原形側E.L.R. 胴:結束1RL・LRタテ。	Nb	4	II2b
124	505	F7108	IIa層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II3a
124	506	F7108	IIa層	深鉢	口:結束1RL・LRヨコ, 頸:隆帯+原形側E.L.R. 胴:非結束RL・LRタテ。	Mb	4	II2a
124	507	F7108	IIc層	深鉢	口唇~口:原形側E.L.R./隆帯? 胴:LRヨコ。	Mb	2	II4b
124	508	F7108	IIc層	深鉢	口唇:RLヨコ, 口:原形側E.L.R. 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II4a
124	509	F7108	IIc層	深鉢	口唇:RLヨコ, 口:原形側E.L.R./刺突, 胴:単輪筋1A, タテ。	Mb	3	II4a
124	510	F7108	IIc層	深鉢	口:単輪筋6A, ヨコ, 頸:原形側E.L.R. 胴:多輪筋(?), タテ。	Mb	3	II4a
124	511	F7108	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 頸:隆帯+刺突, 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	3	II4a
124	512	F7108	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRヨコ。	Mb	4	II3a
124	513	F7108	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II3b
124	514	F7108	IId層	深鉢	口:原形側E.L.R. 頸:隆帯2+原形側E.L.R. 胴:単輪筋5, Rタテ。	N	4	II3b
124	515	F7108	IId層	深鉢	胴:LRタテ, 結節点。	M	3	I?
125	516	F7108	IIe層	深鉢	口唇~口:原形側E.L.R. 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II3a
125	517	F7108	IIe層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRヨコ。	Mb	4	II3a
125	518	F7108	IIe層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:LRヨコ。	Mb	4	II2b
125	519	F7108	IIe層	深鉢	口:原形側E.L.R./LRヨコ, 頸:隆帯+原形側E.L.R. 胴:単輪筋1, Lタテ/結節ヨコ。	Mb	4	II3b
125	520	F7108	IIe層	深鉢	口唇~口:原形側E.L.R. 頸:隆帯+刺突, 胴:多輪筋(?), タテ。	Mb	4	II2b
125	521	F7108	IIe層	深鉢	口~胴:単輪筋1, Rタテ? 頸:原形側E.L.R.	Nb	4	II2b
125	522	F7108	IIe層	深鉢	口~胴:LRヨコ, 頸:隆帯+原形側E.L.R.	Nb	4	II3a
125	523	F7108	IIe層	深鉢	口唇~口:原形側E.L.R. 胴:単輪筋1, Lタテ/結束1RL・LRヨコ。	Nb	4	II2b
125	524	F7108	IIe層	深鉢	口:原形側E.L.R.・RL, 胴:結束1RL・LRヨコ。	Mb	4	II2b
125	525	F7108	IIe層	深鉢	口~胴:結束1RL・LRヨコ, 頸:結束体圧(単輪筋1)。	Mb	4	II2b
126	526	F7108	IIe層	深鉢	口:原形側E.L.R. 胴:RLタテ/ヨコ。	Nb	4	II2b
126	527	F7108	IIe層	深鉢	口唇:原形側E.L.R. 口:結束1RL・LRヨコ, 頸:原形側E.L.R.	Mb	4	II
126	528	F7108	IIe層	深鉢	無文・仕切り?	Mb	4	II
126	529	F7108	IIe層	深鉢	底(完成):RLナメ。	-	4	I
126	530	F7108	IIe層	深鉢	口唇:刺突, 口~胴:隆帯+刺突, 胴:多輪筋(?), Rタテ。	Mb	4	II

取組 №	№	出土地点	層位	層種	文様(原体)の特徴	内河 調整	積土	分層
126	531	F7108	砂層	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ。		Mb	4 II2a
126	532	F7108	IIa層	深鉢	口唇:RLヨコ,口:絡糸体圧(準軸筋)S,唇:隆帯+筋糸体圧,胴:準軸筋1A,タテ。		Mb	4 II4b
126	533	F7108	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR/割突,胴:隆帯2+割突,胴:多軸筋(?)、タテ。		Mb	4 II3b
126	534	F7108	IIa層	深鉢	口唇+口:原体側圧LR,胴:準軸筋1, Lタテ。		Nb	4 II3b
126	535	F7108	IIa層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:隆帯+割突,胴:LRヨコ。		Nb	4 II3b
126	536	F7108	IIa層	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ,胴:隆帯+割突,胴:結東1RL・LRタテ。		Nb	4 II2b
126	537	F7108	IIb層	深鉢	口:RLヨコ(表),RLタテ/ナメ(裏)。		N	3 I
126	538	F7108	IIb層	深鉢	口~胴:結東1RL・LRヨコ,胴:原体側圧LR/割目。		-	4 II2b
126	539	F7108	IIb層	深鉢	口:RLヨコ(表),RLヨコ(裏)。		N	2 I
126	540	F7108	IIb層	深鉢	口唇:割目,口:隆帯+割目/貝殻埋線文。		Nb	2 I
126	541	F7108	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:隆帯2+割目,胴:結節ヨコ?		Nb	4 II3b
127	542	F7109	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:原体側圧/割突,胴:RLRヨコ。		Nb	4 II3a
127	543	F7109	IIb層	深鉢	口:LRヨコ~沈線。		Nb	4 II
127	544	F7109	IIc層	深鉢	口:準軸筋6A,ヨコ,胴:結節ヨコ,胴:準軸筋1A, Rタテ。		Mb	3 II4a
127	545	F7109	IIc層	深鉢	口唇:LR,口:準体側圧LR/割突,唇:隆帯+割突,胴:準軸筋1A, Rタテ。		Mb	3 II4a
127	546	F7109	IIa~IIb層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:結東1RL・LRヨコ。		Mb	3 II4a
127	547	F7109	IIb層	深鉢	口唇+口:原体側圧LR,胴:原体側圧LR・LR,胴:結東1RL・LRヨコ。		Mb	4 II3a
127	548	F7109	IIb層	深鉢	口:LRヨコ,胴:圧痕,胴:準軸筋1, Rタテ。		Nb	4 II2b
127	549	F7109	IIc層	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ,胴:原体側圧LR/割突,胴:結東1RL・LRタテ。		-	4 II2b
127	550	F7109	IIc層	深鉢	口:結東1RL・LRヨコ,胴:隆帯+原体側圧LR・LR,胴:準軸筋1, Rタテ。		Nb	4 II2b
127	551	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/割突,胴:多軸筋(?)、タテ。		Mb	3 II4a
127	552	F7109	PuE53	深鉢	口:LRタテ/ナメ/筋糸体圧?。		-	3 II2a
127	553	F7109	1層	深鉢	口唇:LR,口:原体側圧LR,胴:多軸筋(?)、タテ?		Mb	3 II4a
127	554	F7109	IIa層	深鉢	口:LRタテ。		-	3 II2a
127	555	F7109	3層	深鉢	口:原体側圧LR/割突/補修孔,胴:RLRヨコ/結節ヨコ。		Nb	3 II4a
127	556	F7109	IIa層	深鉢	口:隆帯き調?ヨコ,胴:隆帯+割突,胴:LRヨコ。		Nb	4 II1b
127	557	F7109	IIb層	深鉢	口:原体側圧LR/LR,胴:RLヨコ。		Mb	4 II3a
128	558	F7109	IIc層	深鉢	口:結節ヨコ,胴:隆帯+圧痕,胴:RLRヨコ。		Nb	4 II1b
128	559	F7109	IIb層	深鉢	口唇+口~胴:準軸筋1A, Rタテ(表),準軸筋1A, Rヨコ(裏)/補修孔。		Mb	4 II2a
128	560	F7109	IIc層	深鉢	口唇:圧痕?口:LRヨコ(表),LRヨコ(裏)。		-	4 I
128	561	F7109	IIc層	深鉢	口~胴:準軸筋1, Rタテ。		-	4 II2a
128	562	F7109	IIc層	深鉢	口唇~口:原体側圧LR,胴:割突+原体側圧LR,胴:LRヨコ。		Mb	4 II3a
128	563	F7109	IIb層	深鉢	口:調帯き調ヨコ,胴:隆帯,胴:準軸筋1A, R・Lタテ。		Mb	4 II1b
128	564	F7109	IIb層	深鉢	口:調帯き調(結節)ヨコ,胴:隆帯,胴:RLRヨコ。		Mb	4 II1b
128	565	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:隆帯+割突,胴:結東2RL・LRヨコ。		Mb	4 II4a
128	566	F7109	IIc層	深鉢	口:絡糸体圧(準軸筋)S/原体側圧LR,胴:割突,胴:結東1RL・LRヨコ。		Mb	4 II4b
128	567	F7109	IIc層	深鉢	口唇~口:原体側圧LR/筋糸体圧,胴:割突,胴:結東1RL・LRヨコ/結節タテ。		Mb	4 II4a
128	568	F7109	IIc層	深鉢	口唇:RLRヨコ,口:原体側圧LR,胴:結東1RL・LRヨコ。		Mb	4 II4a
128	569	F7109	IIc層	深鉢	口唇:RLRヨコ,口:原体側圧LR,胴:隆帯+割突,胴:結東1RL・LRヨコ。		Mb	4 II4a
128	570	F7109	IIc層	深鉢	底(尖底):RL。		-	3 I
129	571	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:隆帯+原体側圧LR,胴:準軸筋1A, R・Lタテ。		Mb	4 II4a
129	572	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:隆帯+原体側圧LR,胴:多軸筋(?)、タテ。		Mb	4 II3b
129	573	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/割突,胴:隆帯2+割突,胴:準軸筋1A, L・Rタテ。		Mb	4 II3b
129	574	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/割突,胴:隆帯2+割突,胴:結東1RL・LRヨコ。		Mb	4 II3b
129	575	F7109	IIc層	深鉢	口唇~口:原体側圧LR,胴:隆帯+割突,胴:結東1RL・LRヨコ。		Nb	4 II3b
129	576	F7109	IIc層	深鉢	口:結節1RL・LRヨコ,胴:隆帯+原体側圧LR,胴:準軸筋1, Rタテ。		Mb	4 II2b
129	577	F7109	IIc層	深鉢	口:結節ヨコ,胴:隆帯+割目,胴:RLRヨコ。		Nb	4 II1b
129	578	F7109	I層	深鉢	口~胴:LRヨコ,胴:原体側圧LR。		-	4 II2a
129	579	F7109	IIa層	深鉢	口~胴:LRヨコ,胴:原体側圧LR。		Nb	4 II2b
129	580	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR,胴:割り戻し?ヨコ。		Nb	4 II3b
129	581	F7109	IIc層	深鉢	口:原体側圧LR/割突,胴:隆帯+圧痕,胴:RLタテ/結節タテ。		Nb	4 II3b

図庫 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	内面 調整	胎土	分類
129	582	F7J09	Ⅱd層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺突, 胴: 単軸結1, LRタテ.	Mb	4	Ⅱ3b
130	583	F7J09	Ⅱd層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+原形側圧LR, 胴: 結節1RL・LRタテ.	Mb	4	Ⅱ3b
130	584	F7J09	Ⅱd層	深鉢	口唇・胴: 原形側圧LR, 口~胴: 単軸結1A, R・Lタテ.	-	4	Ⅱ2b
130	585	F7J09	11層	深鉢	口: 結節ヨコ, 面: 隆帯2+刺目, 胴: 結節/単軸結1A, R・Lタテ.	Mb	4	Ⅱ1b
130	586	F7J09	Ⅱd層	深鉢	口~胴: 結節ヨコ, 単軸結1, Rタテ, 面: 隆帯+原形側圧.	Mb	4	Ⅱ2b
130	587	F7Kベ&ト2	11層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ, 面: 結節ヨコ.	-	4	Ⅱ2a
130	588	F7J09	Ⅱd層	深鉢	口~胴: LRヨコ+隆: 原形側圧LR.	-	4	Ⅱ2b
130	589	F7J09	Ⅱd層	深鉢	口~胴: RLヨコ+隆: 原形側圧LR.	Nb	4	Ⅱ2b
130	590	F7J09	Ⅱd層	深鉢	胴: LRタテ/ヨコ, 輪積痕.	M	4	I
130	591	F7J09	Ⅱd層	深鉢	底: 刺代痕?	M	4	II
130	592	F7J09	Ⅱd層	深鉢	底: RL.R.	N	4	II
131	593	F7J09	Ⅱc層	深鉢	口唇: 刺目, 口: 原形側圧LR, 面: 原形側圧LR/刺突, 胴: 結束1RL・LRヨコ.	Mb	4	Ⅱ3a
131	594	F7J09	Ⅱc層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯2+刺突, 胴: 多軸結(?)タテ.	Mb	4	Ⅱ3b
131	595	F7J09	Ⅱc層	深鉢	口唇~口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺突, 胴: 多軸結(?)タテ.	Mb	4	Ⅱ3b
131	596	F7J09	Ⅱc層	深鉢	口: 原形側圧LR, 胴: 多軸結(?)タテ.	Mb	4	Ⅱ3a
131	597	F7J09	Ⅱc層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 原形側圧LR, 胴: RL.Rヨコ.	Mb	4	Ⅱ3a
131	598	F7J09	Ⅱc層	深鉢	口: LRヨコ, 面: 原形側圧LR, 胴: RL.Rヨコ?	-	4	Ⅱ2b
131	599	F7J09	Ⅱc層	深鉢	口~胴: 単軸結6, Rタテ, 面: 原形側圧LR.	Nb	4	Ⅱ2b
132	600	F7F10	Ⅱb層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+原形側圧LR, 胴: KLヨコ/単軸結4, Rタテ.	Mb	4	Ⅱ3b
132	601	F7F10	Ⅱb層	深鉢	口~胴: 底: 結束RL・LRヨコ.	Nd	4	II
132	602	F7F10	Ⅱd層	深鉢	口: 結節ヨコ, 面: 隆帯+原形側圧LR, 胴: LRタテ/ヨコ.	-	4	Ⅱ1b
132	603	F7F10	Ⅱd~c層	深鉢	口: 結節ヨコ, 胴: LRヨコ.	-	4	Ⅱ1a
132	604	F7F10	Ⅱc層	深鉢	口: LRヨコ, 面: 隆帯+丘痕, 胴: LRヨコ.	-	4	Ⅱ2b
132	605	F7F10	Ⅱa層	深鉢	口: 縄巻き縄(結節)ヨコ, 面: 隆帯+丘痕, 胴: 単軸結1, Rタテ.	-	4	Ⅱ1b
132	606	F7F10	Ⅱa52	深鉢	口: 縄巻き縄(結節)ヨコ, 面: 隆帯+丘痕, 胴: RL.Rタテ.	Nb	4	Ⅱ1b
132	607	F7F10	Ⅱc層	深鉢	口: 原形側圧LR, 胴: LRヨコ.	Mb	4	Ⅱ2b
133	608	F7G10	Ⅱb層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯, 胴: 結束1RL・LRヨコ.	Mb	4	Ⅱ3b
133	609	F7G10	Ⅱd層	深鉢	口~胴: 結束1RL・LRヨコ/結節タテ/ヨコ, 面: 隆帯+刺突.	Nb	4	Ⅱ2b
133	610	F7G10	Ⅱc層	深鉢	胴: 只型縦線文.	Nb	2	I
133	611	F7G10	Ⅱ層	深鉢	口唇: 刺目, 口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺目, 胴: 多軸結(?)タテ.	Nb	4	Ⅱ2b
133	612	F7G10	Ⅱa56	深鉢	口~胴: 単軸結1, Rタテ/束補修孔1.	-	4	Ⅱ1a
133	613	F7J10	Ⅱa層	深鉢	口唇: LRヨコ, 口: 結節ヨコ, 胴: LRヨコ.	Nb	4	Ⅱ2b
133	614	F7J10	Ⅱb層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ, 面: 隆帯2+刺突, 胴: LRヨコ?	Mb	4	Ⅱ2b
133	615	F7J10	9層	深鉢	口: 只型縦線文/刺目.	Na	4	I
133	616	F7J10	1層	深鉢	口: 結節ヨコ, 胴: 単軸結1, Rタテ.	Na	4	Ⅱ1a
133	617	F7J10	1層	深鉢	口唇: 原形側圧?口: LRヨコ(表), LRタテ(裏)/補修孔1.	N	4	I
134	618	F7G11	1層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 原形側圧LR/刺突, 胴: 結節/LRヨコ?	Nb	4	Ⅱ3a
134	619	F7G11	1層	深鉢	口唇~口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺突, 胴: LRヨコ.	Mb	4	Ⅱ3b
134	620	F7G11	Ⅱa層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 結条体圧(単軸結1), 胴: 単軸結1, Rタテ.	Mb	4	Ⅱ3a
134	621	F7G11	Ⅱa層	深鉢	口唇~口: 原形側圧LR, 面: 刺突, 胴: LRヨコ?	Mb	4	Ⅱ3a
134	622	F7G11	Ⅱa層	深鉢	口~胴: LRヨコ, 面: 隆帯+原形側圧LR.	Mb	4	Ⅱ2b
134	623	F7Kベ&ト3	Ⅱa層	深鉢	底: 内面に貼り纏?	N	4	II
134	624	F7G11	Ⅱb層	深鉢	口: 原形側圧LR.	Mb	4	II
134	625	F7G11	Ⅱb層	深鉢	口: 縄巻き縄(結節)?ヨコ, 胴: LRタテ/ヨコ.	Nb	4	Ⅱ1a
134	626	F7G11ベ&ト3	3層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺突, 胴: 単軸結1, LRタテ.	Mb	4	Ⅱ3b
134	627	F7G11	Ⅱd層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺突, 胴: LRヨコ.	Ma	4	Ⅱ3b
134	628	F7G11	Ⅱd層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺目, 胴: 単軸結1, Rタテ/結節ヨコ.	Nb	4	Ⅱ3b
134	629	F7G11ベ&ト3	6層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺目, 胴: 単軸結1, Rタテ.	Nb	4	Ⅱ3b
134	630	F7Kベ&ト3	11層	深鉢	口: 原形側圧LR, 面: 隆帯+刺目, 胴: LRヨコ?	Mb	4	Ⅱ3b
134	631	F7G11	Ⅱd層	深鉢	口: 沈線/ボタテ貼り付/LRヨコ.	Me	4	Ⅱ5
135	632	F7G11	Ⅱd層	深鉢	口: 結束1RL・LRヨコ, 面: 原形側圧LR/刺突.	Nb	4	Ⅱ2b

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原形)の特徴	内面 調査	胎土	分類
135	633	F7G11	6層	深鉢	口一筋: 単軸筋1A, L・Rタテ。	-	4	Ⅱ2a
135	634	F7G11	Ⅱa層	深鉢	口: 結実1RL・LRヨコ。筋: 隆帯2+刺突。胴: 結実1RL・LRタテ。	Mb	4	Ⅱ2b
135	635	F7H11	Ⅱb層	深鉢	口: 原形側圧R・R。筋: 刺突/原形側圧R。胴: 多軸筋(?)。タテ。	Mb	4	Ⅱ4a
135	636	F7H11	Ⅱb層	深鉢	口唇~口: 筋条体圧(単軸筋1)。筋: 隆帯+刺突。	Nb	4	Ⅱ3b
135	637	F7H11	Ⅱb層	深鉢	口: LRヨコ/タテ。原形側圧LR。	-	4	Ⅱ2b
135	638	F7H11	7層	深鉢	口: 原形側圧LR。胴: 単軸筋1A・R・Lタテ。	Nb	4	Ⅱ3a
135	639	F7H11	Ⅱ層	深鉢	口: 原形側圧LR。筋: 隆帯+原形側圧LR。胴: 単軸筋1A・R・Lタテ。	Mb	4	Ⅱ3b
135	640	F7H11	Ⅱ層	深鉢	口唇: 原形側圧LR。口: 筋条体圧(単軸筋1)。	Mb	4	Ⅱ3
135	641	F7H11	8層	深鉢	口: 単軸筋1, Rタテ。	-	4	Ⅱ2a
135	642	F7J11	Ⅱa層	深鉢	口: LRヨコ(表)。LRナナメ(裏)。	N	2	1
135	643	F7F12	Ⅱb層	深鉢	口: 原形側圧LR。筋: 隆帯2+刺突。胴: 結筋1RL・LRタテ。	Mb	4	Ⅱ3b
135	644	F7G12	Ⅱa層	深鉢	口: 原形側圧LR。筋: 隆帯2+原形側圧LR・RL。胴: 多軸筋(?)。タテ。	Mb	4	Ⅱ3b
135	645	F7G12	Ⅱa層	深鉢	口唇: 刺突。口: 隆帯+刺突(裏)ヨコ。	Mb	4	Ⅱ1?
136	646	F7H12	Ⅱa層	深鉢	口: 原形側圧LR。筋: 隆帯2+刺突。胴: 単軸筋1, Rタテ。	Mb	4	Ⅱ3b
136	647	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: 原形側圧LR/刺突/結筋ヨコ。胴: 単軸筋1A, RLタテ。	Mb	4-3	Ⅱ4a
136	648	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: 原形側圧LR。筋: 隆帯+原形側圧LR。胴: 単軸筋1, Rタテ。	Mb	4	Ⅱ3b
136	649	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: LRヨコ。表: 原形側圧LR。	-	4	Ⅱ2b
136	650	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口一筋: 結実1RL・LRヨコ。筋: 隆帯+刺突。	Nb	4	Ⅱ2b
136	651	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: 結筋1原形側圧LR。筋: 隆帯+刺突。胴: 単軸筋1, Rタテ/ナナメ。	-	4	Ⅱ1b
136	652	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: 刺突+刺突(結筋)?ヨコ。表: 隆帯+刺突。胴: 多軸筋(?)。タテ。	Mb	4	Ⅱ1b
136	653	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: 刺突+刺突(結筋)?ヨコ。筋: 隆帯+原形側圧LR。胴: LRタテ/ヨコ。	Nb	4	Ⅱ1b
136	654	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口唇: LR。口: 結筋?ヨコ。胴: LRヨコ。	Mb	4	Ⅱ1a
136	655	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: 結筋ヨコ/RLRヨコ?	Nb	4	Ⅱ1a
136	656	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口: LRヨコ(表)。LRタテ(裏)。	-	2	1
136	657	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口唇: LR。口: LRヨコ(表)。LRヨコ(裏)。	-	2	1
136	658	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口唇: LR。口: LRヨコ(表)。LRヨコ(裏)。	-	2	1
136	659	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口唇: RL。口: RLヨコ(表)。RLヨコ(裏)。	-	2	1
137	660	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口唇: 刺突。口: RLヨコ+沈線(表)。糸痕(裏)。	N	2	1
137	661	F7G12	Ⅱd層	深鉢	口唇: 刺突。口: RLヨコ+沈線(表)。糸痕(裏)。	N	2	1
137	662	F7G12	Ⅱd層	深鉢	胴: LRヨコ(表)。LRヨコ(裏)。	-	2	1
137	663	F7G12	Ⅱd層	深鉢	胴: RLヨコ(表)。RLタテ(裏)。	-	2	1
137	664	F7G12	Ⅱd層	深鉢	底(尖底): RLヨコ。	-	2	1
137	665	F7G12	Ⅱd層	深鉢	底(尖底): RL。	-	2	1
137	666	F7G12	Ⅱd層	深鉢	底(尖底): 無文。	N	1	1
137	667	F7L13	Ⅱd層	深鉢	胴: LRヨコ(表)。LRナナメ(裏)。	N	1	1
137	668	F5K	Ⅱc層	深鉢	口: 原形側圧LR。筋: 原形側圧LR。胴: 結筋1RL・LRタテ。	-	4	Ⅱ3a
137	669	F5K	Ⅱb層	深鉢	口: 原形側圧LR。胴: 多軸筋(?)。タテ。	-	4	Ⅱ3a
137	670	F5K	Ⅱb層	深鉢	口: 原形側圧LR。胴: 結筋ヨコ。	Mb	4	Ⅱ3b
137	671	F5K	跡土	深鉢	口唇~口: 原形側圧LR。筋: 隆帯2+刺突/沈線。胴: LRヨコ。	Mb	4	Ⅱ3b
137	672	F5K	トレンチ4	深鉢	口一筋: 結実1RL・LRヨコ。筋: 筋条体圧(単軸筋1)。RLヨコ。	Mb	4	Ⅱ2b
137	673	F5K	Ⅱ層	深鉢	口唇: 沈線?ヨコ: 結筋ヨコ。胴: LRヨコ。	Mb	4	Ⅱ1a
137	674	F7K	1層	深鉢	口唇: 刺突。口: RLタテ(表)。RLタテ(裏)。	N	2	1
137	675	F7K	1層	深鉢	底: 沈線。	Me	2	Ⅲ
137	676	F7K	1層	深鉢	底: 沈線。	Mb	2	Ⅲ
137	677	F8K	トレンチ4	深鉢	口唇: 刺突。口: 刺突/貝殻埋線文。	Nb	2	1

部位の名称。口唇: 口唇筋。口: 口縁筋。筋: 隆帯。胴: 胴筋。底: 底筋。内面調査。M: ミガキ

文様。原形側圧: 原形側面圧筋。筋条体圧: 筋条体圧筋。N: ナデ

単軸筋: 単軸筋条体。多軸筋: 多軸筋条体。-: ナデ

結実1: 結実第1層。結実2: 結実第2層。結筋: 結筋筋文。調査方向。n~e

胎土。1: 織出である。

2: 織練は含まず。砂粒を含む。

3: 織練をわずかに含む。

4: 織練を多量に含む。

表5 石器・石製品観察表

調査No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	発掘時代
					長さ	幅	厚さ				
140	1001	RD15	1~2層	石鏃	4.1	1.5	0.7	3.2	凸基有蓋鏃	C	KC
140	1002	RD39	埋上・下位	石鏃	2.9	1.1	0.7	1.9	尖基鏃	C	KC
140	1003	RD55	北平埋土1層	石鏃	2.7	1.2	0.4	1.1	尖基鏃	B	KC
140	1004	RG02	埋上・下位	石鏃	3.6	1.8	0.7	4.4	平基無蓋鏃	A	KC
140	1005	RG03	西平埋土2層	石鏃	3.2	2.6	0.8	5.7	尖頭状石鏃?	B	KC
140	1006	RD09 P99	中埋上面	石鏃	3.6	1.3	0.4	1.7	凸基有蓋鏃	I	KC
140	1007	F7K05	1層	石鏃	2.8	1.4	0.4	1.3	凹基無蓋鏃	B	KC
140	1008	F7L08	Bc層	石鏃	2.8	1.8	0.4	1.4	凹基無蓋鏃	B	KC
140	1009	F7G09	Bb層	石鏃	3.0	1.5	0.4	1.1	凹基無蓋鏃	B	KC
140	1010	F7J09	3層	石鏃	2.2	1.6	0.4	1.3	平基無蓋鏃	C	KC
140	1011	F7P10	Bb層	石鏃	3.5	1.7	0.6	2.7	凹基無蓋鏃	A	KC
140	1012	F7G10	Bb層	石鏃	2.8	1.8	0.5	2.0	凹基無蓋鏃	B	KC
140	1013	F7H~112	4層	石鏃	2.7	1.5	0.4	1.4	凹基無蓋鏃	A	KC
140	1014	F7K	不明	石鏃	(3.6)	1.9	0.6	3.8	凹基無蓋鏃 尖頭部欠損	B	KC
140	1015	F7K	不明	石鏃	1.8	1.2	0.4	0.6	平基無蓋鏃	I	KC
140	1016	F7K	不明	石鏃	6.3	1.7	0.4	3.8	凹基無蓋鏃	A	KC
140	1017	F7H09	Bb層	石鏃	(3.1)	1.6	0.4	2.3	平基無蓋鏃 尖頭部欠損	I	KC
140	1018	F7I09	Bd層	石鏃	3.1	1.4	0.5	2.2	平基無蓋鏃	B	KC
140	1019	F7J09	3層	石鏃	2.4	1.4	0.3	1.1	平基無蓋鏃	I	KC
140	1020	F7P10	Bd層	石鏃	(2.9)	1.9	0.6	2.9	平基無蓋鏃 尖頭部欠損	A	KC
140	1021	F7G10	Bb層	石鏃	(1.9)	1.6	0.4	0.8	平基無蓋鏃 尖頭部欠損	B	KC
141	1022	F7G11	Ba層	石鏃	3.6	1.8	0.5	2.3	平基無蓋鏃	C	KC
141	1023	F7F10	4層	石鏃	2.6	1.4	0.4	1.3	平基無蓋鏃	C	KC
141	1024	F7H07	Bb層	石鏃	3.1	1.6	0.5	2.0	平基無蓋鏃	A	KC
141	1025	F7I09	8層	石鏃	3.1	1.7	0.3	1.5	平基無蓋鏃	I	KC
141	1026	F7G08	Bb層	石鏃	3.9	1.9	0.3	1.1	尖基鏃	B	KC
141	1027	F7P09	Bb層	石鏃	3.3	1.9	0.3	1.0	尖基鏃	C	KC
141	1028	F7I09	Bd層	石鏃	(2.5)	1.5	0.4	1.3	尖基鏃 尖頭部欠損	B	KC
141	1029	F7G11	7層	石鏃	4.1	1.6	0.5	2.8	尖基鏃	B	KC
141	1030	F7H13	1層	石鏃	4.4	1.4	0.5	2.5	尖基鏃	B	KC
141	1031	F7K	1層	石鏃	3.7	1.5	0.4	1.8	尖基鏃	C	KC
141	1032	F7K	不明	石鏃	4.0	1.7	0.5	2.6	凸基有蓋鏃	I	KC
141	1033	F7K	-20cm 黒色	石鏃	(2.2)	1.6	0.7	1.8	基部欠損	C	KC
141	1034	不明	-80cm 暗褐色	石鏃	(3.1)	1.6	0.4	1.7	基部欠損	B	KC
141	1035	F7G12	Bc層	石鏃	(4.0)	1.4	0.5	1.8	基部欠損	B	KC
141	1036	F7I09	Bc層	尖頭部	(4.9)	3.2	1.0	16.1	尖頭部・基部欠損	C	KC
141	1037	F7F10<5>1	4層	尖頭部	9.5	2.5	1.0	23.6	尖頭部を軸に転用?	B	KC
142	1038	F7G~1105	Bc層	石鏃	4.5	2.3	0.5	3.4	両面加工	N	KC
142	1039	F7I08	3層	石鏃	(3.0)	1.3	0.4	1.6	両面加工	B	KC
142	1040	F7G11	7層	石鏃	2.9	1.8	0.4	1.6	両面加工	B	KC
142	1041	F7K<6>1-3	4層	石鏃	6.9	1.7	0.9	9.5	両面加工	C	KC
142	1042	F7K	1層	石鏃	4.0	1.9	0.8	4.9	両側縁加工	N	KC
142	1043	RD53	埋土	石鏃	4.1	5.8	0.6	11.1	楔型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
143	1044	RD55	埋土	石鏃	6.0	2.0	0.5	4.2	楔型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
142	1045	RD60	北平埋土	石鏃	(3.8)	2.1	0.8	7.2	楔型 刃部：両面加工	B	KC
142	1046	RG02	埋上・下位	石鏃	(4.9)	2.9	0.5	4.8	楔型 刃部：片面の両縁加工	C	KC
142	1047	RG03	東平埋土	石鏃	3.2	5.3	0.7	11.7	楔型 刃部：片面の両縁加工	C	KC
142	1048	RC03	東平埋土	石鏃	(3.6)	2.2	0.8	6.0	楔型 刃部：片面の片縁加工	B	KC
142	1049	RC03	西平埋土4層	石鏃	4.1	6.3	0.8	13.2	楔型 刃部：片面の両縁加工	C	KC
142	1050	RC03	東平埋土	石鏃	4.4	(3.0)	0.4	6.7	楔型 刃部：片面の両縁加工	C	KC
142	1051	RG03	西平埋土2層	石鏃	(3.0)	(5.7)	0.7	6.4	両面調整 鏃として転用?	B	KC

図版 No.	No.	出土地点	層位	群 種	計測値(cm)		高さ (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代	
					長さ	幅					
142	1052	F7H06	Ⅱc層	石匙	(2.7)	(2.2)	0.9	4.4	跡み?	N	KC
142	1053	F7H06	Ⅱd層	石匙	5.2	2.9	0.7	6.6	縦型 刃部：片面の肉縁加工	C	KC
143	1064	F7I08	3層	石匙	5.9	2.3	1.0	16.1	縦型 刃部：両面の肉縁加工	B	KC
143	1065	F7I08	3層	石匙	6.3	2.9	0.9	14.8	縦型 刃部：片面加工	C	KC
143	1066	F7H09	Ⅱb層	石匙	6.8	4.1	0.8	18.2	縦型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
143	1067	F7I09	Ⅱc層	石匙	5.6	2.5	1.0	10.7	縦型 刃部：両面の肉縁加工	C	KC
143	1068	F7J09	1層	石匙	7.0	3.3	1.3	18.8	縦型 刃部：片面加工	B	KC
143	1069	F7J09	Ⅱc層	石匙	2.6	2.0	0.5	2.3	縦型 刃部：両面の肉縁加工	B	KC
143	1060	F7H10	Ⅱa層	石匙	8.7	3.7	1.4	26.3	縦型 刃部：片面の片縁加工	A	KC
143	1061	F7F10	Ⅱb層	石匙	6.0	2.0	1.0	5.8	縦型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
143	1062	F7F10	Ⅱb層	石匙	6.9	3.8	1.3	24.8	縦型 刃部：片面加工	C	KC
143	1063	F7G10	Ⅱb層	石匙	7.1	2.2	1.2	12.1	縦型 刃部：片面加工	B	KC
143	1064	F7J10	1層	石匙	6.5	3.4	1.1	18.7	縦型 刃部：片面の肉縁加工	B	KC
143	1065	F7H11	—	石匙	8.1	2.5	0.9	15.0	縦型 刃部：片面加工	I	KC
144	1066	F7H11	Ⅱe層	石匙	7.3	2.4	1.4	15.2	縦型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
144	1067	F7I11	Ⅱd層	石匙	6.7	4.1	0.8	20.7	縦型 刃部：片面加工	A	KC
144	1068	F7G12	3層	石匙	3.4	(4.1)	1.0	8.4	縦型 刃部：両面の片縁加工	I	KC
144	1069	F7H13	1層	石匙	(4.8)	2.7	0.9	11.6	縦型 刃部：片面の片縁加工	B	KC
144	1070	不明	80ca時期	石匙	6.5	3.1	1.0	15.4	縦型 刃部：片面の肉縁加工	C	KC
144	1071	F7K	不明	石匙	6.9	2.8	1.2	21.6	縦型 刃部：片面の肉縁加工	C	KC
144	1072	F7K	不明	石匙	4.5	2.1	0.9	5.1	縦型 刃部：片面加工	A	KC
144	1073	F7G07	Ⅱb層	石匙	(2.9)	(3.2)	0.7	5.8	横型 刃部：片面加工	B	KC
144	1074	F7G07	Ⅱb層	石匙	3.1	5.2	0.9	9.5	横型 刃部：両面の片縁加工	C	KC
144	1075	F7H07	Ⅱb層	石匙	3.8	2.6	0.5	5.2	横型 刃部：片面の片縁加工	A	KC
144	1076	F7I08	Ⅱd層	石匙	3.5	(4.0)	0.6	8.3	横型 刃部：片面の肉縁加工	B	KC
144	1077	F7I08	Ⅱd層	石匙	3.3	4.4	0.7	8.4	横型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
145	1078	F7H10<5>	4層	石匙	3.7	6.2	1.0	19.2	横型 刃部：片面加工	C	KC
145	1079	F7H10	Ⅱa層	石匙	5.0	6.5	2.0	39.6	横型 刃部：片面の片縁加工	C	KC
145	1080	F7H10<3>	Ⅱa層	石匙	3.8	4.5	0.6	10.4	横型 刃部：片面の肉縁加工	C	KC
145	1081	F7H11	Ⅱd層	石匙	2.0	4.5	0.8	5.4	横型 刃部：片面の片縁加工	A	KC
145	1082	F7G12~112	4層	石匙	2.9	5.1	0.8	9.4	横型 刃部：片面の肉縁加工	A	KC
145	1083	F7H12	Ⅱa層	石匙	4.0	4.8	0.7	9.4	横型 刃部：片面の肉縁加工	N	KC
145	1084	F7G12	Ⅱa層	石匙	4.0	6.5	1.1	20.3	横型 刃部：片面の肉縁加工	C	KC
145	1085	F7G~112	4層	石匙	3.0	3.1	0.5	3.3	横型 刃部：片面の肉縁加工	A	KC
145	1086	F7K	黄土	石匙	5.1	5.5	1.1	20.6	横型 刃部：片面の肉縁加工	H	KC
145	1087	F7K	1層	石匙	3.1	5.4	0.7	9.5	横型 刃部：片面の肉縁加工	C	KC
146	1088	RG03	黄平埴土	両極石匙	2.4	2.9	1.1	8.2	2個1対の剥離	M	KC
146	1089	F7H~105	3層	両極石匙	3.0	2.9	1.3	10.9	2個1対の剥離	A	KC
146	1090	F7H07	Ⅱc層	両極石匙	3.4	3.5	1.1	14.2	2個1対の剥離	C	KC
146	1091	F7I08	Ⅱb層	両極石匙	2.8	2.3	0.8	4.8	2個1対の剥離	C	KC
146	1092	F7H08	Ⅱb層	両極石匙	3.5	2.9	0.8	9.7	2個1対の剥離	B	KC
146	1093	F7G09	Ⅱb層	両極石匙	3.2	4.0	1.0	9.3	4個2対の剥離	B	KC
146	1094	F7F10	Ⅱa層	両極石匙	3.4	2.3	0.9	6.8	2個1対の剥離	C	KC
146	1095	F7I10<5>	9層	両極石匙	2.9	2.5	0.6	4.7	2個1対の剥離	B	KC
146	1096	F7H10~11	不明	両極石匙	2.9	1.9	0.9	6.1	2個1対の剥離	A	KC
146	1097	F7H11	Ⅱe層	両極石匙	2.8	2.1	0.4	3.0	2個1対の剥離	C	KC
146	1098	F7H11	Ⅱa層	両極石匙	3.2	2.2	1.1	7.1	2個1対の剥離	A	KC
146	1099	F7G~112	4層	両極石匙	3.8	2.8	0.7	7.5	2個1対の剥離	B	KC
147	1100	RD63	埴土	不定形石匙	2.9	5.8	0.6	8.7	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1101	RD53	埴土	不定形石匙	3.0	(2.5)	1.0	5.9	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1102	RD63	埴土	不定形石匙	6.9	2.1	0.9	12.6	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1103	RD64	埴土	不定形石匙	(3.2)	2.3	0.6	4.5	刃部：片面の肉縁加工 直刃	B	KC

調査 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
147	1104	RD55	埋土	不定形石器	4.5	3.8	0.7	9.1	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1105	RG02	埋土下位	不定形石器	3.6	3.2	0.7	5.6	刃部：両面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1106	RG03	赤平埋土4層	不定形石器	5.8	2.1	0.7	16.0	刃部：片直加工 直刃	A	KC
147	1107	RG05	赤平埋土	不定形石器	2.7	4.4	0.9	8.1	刃部：片面の片縁加工 直刃	A	KC
147	1108	F7G05	Ⅱb層	不定形石器	4.4	3.8	1.2	21.7	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1109	F7H05	Ⅱb層	不定形石器	5.1	3.5	1.0	17.0	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1110	F7I06	Ⅱc層	不定形石器	3.4	3.2	0.7	7.7	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
147	1111	F7I08	Ⅱc層	不定形石器 (4.7)	3.2	0.9	14.3	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC	
147	1112	F7I08	3層	不定形石器	2.6	(3.3)	1.1	8.5	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
147	1113	F7G09	Ⅱb層	不定形石器 (3.3)	2.2	0.6	5.6	刃部：両面の両縁加工 直刃	C	KC	
147	1114	F7G10<5>1	1層黒縄	不定形石器	3.4	5.7	0.7	7.8	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
148	1115	F7G10	Ⅱb層	不定形石器	2.0	4.7	0.8	7.6	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
148	1116	F7K	1層	不定形石器	6.3	3.3	0.7	11.9	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
148	1117	F7H11	Ⅱd層	不定形石器	4.7	4.1	0.7	12.8	刃部：片面の片縁加工 直刃	B	KC
148	1118	F7G11, T12	4層	不定形石器	4.5	3.0	1.2	12.2	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
148	1119	F7H12	Ⅱc層	不定形石器	3.1	7.5	1.5	30.5	刃部：片面の片縁加工 直刃	C	KC
148	1120	F7H07	Ⅱc層	不定形石器	4.8	2.8	0.9	10.4	刃部：両面の両縁加工 凸刃	B	KC
148	1121	F7K<5>1-3	3層	不定形石器 (3.8)	4.7	0.4	7.8	刃部：両面の片縁加工 直刃	B	KC	
148	1122	F7K	表土	不定形石器 (3.8)	2.4	0.7	6.0	刃部：両面の片縁加工 凸刃	C	KC	
148	1123	F7H08	Ⅱa層	不定形石器 (4.8)	3.0	1.0	12.1	刃部：片面の片縁加工 凹刃	A	KC	
148	1124	F7H08	Ⅱc層	不定形石器	3.2	4.2	0.8	6.5	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
148	1125	F7G09	Ⅱb層	不定形石器	6.3	3.3	0.7	12.2	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
148	1126	F7G09	Ⅱa層	不定形石器	5.1	2.8	0.6	6.5	刃部：片直加工 凹刃	C	KC
148	1127	F7G11	Ⅱa層	不定形石器	3.8	3.0	0.5	5.4	刃部：片面の片縁加工 凹刃	B	KC
149	1128	F7K<5>1-2	3層	不定形石器	3.7	2.0	0.76	5.4	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
149	1129	F7K<5>1-3	1層	不定形石器	5.2	3.5	1.1	13.7	刃部：両面の両縁加工 凹刃	C	KC
149	1130	F7G11	Ⅱb層	不定形石器	4.3	3.2	0.7	6.6	刃部：片面の片縁加工 凹刃	C	KC
149	1131	F7H08	Ⅱa層	不定形石器 (3.8)	2.7	0.9	10.8	刃部：片面加工 急斜面 凸刃	A	KC	
149	1132	F7I08	3層	不定形石器	4.6	3.7	0.9	15.4	刃部：両面の両縁加工 急斜面 凸刃	A	KC
149	1133	F7F09	Ⅱb層	不定形石器	5.5	1.8	1.1	8.9	刃部：片面加工 急斜面 凸刃	N	KC
149	1134	F7I09	Ⅱc層	不定形石器	5.3	2.7	1.0	12.4	刃部：両面の両縁加工 急斜面 凸刃	C	KC
149	1135	F7F10	灰白色土	不定形石器	3.5	1.7	0.7	3.5	刃部：片直加工 急斜面 凸刃	A	KC
149	1136	F7H11	Ⅱa層	不定形石器	3.4	2.6	0.8	5.9	刃部：片面加工 急斜面 凸刃	C	KC
149	1137	F7F10	Ⅱb層	不定形石器	8.3	5.0	2.1	78.4	刃部：片面加工 急斜面 凸刃	C	KC
149	1138	F7G11<5>1	不明	不定形石器	4.9	3.0	1.5	15.3	刃部：両面の両縁加工 急斜面 凸刃	C	KC
150	1139	RD15	埋土	石鏡	4.4	2.6	1.4	11.9	刃部：両面加工	L	KC
150	1140	C8K5PP	埋土	石鏡	4.6	3.2	1.1	12.3	刃部：両面の両縁加工	C	KC
150	1141	F7F10	Ⅱb層	石鏡	8.2	3.6	1.7	47.7	刃部：両面加工	B	KC
150	1142	F7F10	Ⅱb層	石鏡	8.1	3.2	1.5	40.9	刃部：両面加工	C	KC
150	1143	F7G09	Ⅱb層	石鏡	5.9	3.6	1.4	29.0	刃部：両面加工	P	KC
150	1144	F7K	不明	石鏡 (5.4)	2.9	1.2	16.2	刃部：両面加工	N	KC	
151	1145	F7I05	Ⅱc層	打製石斧	16.6	6.8	2.4	235.6	片面の両縁加工	B	KC
151	1146	F7I06	Ⅱd層	打製石斧	23.6	9.3	3.4	822.4	両面の両縁加工	B	KC
151	1147	F7F09	Ⅱb層	打製石斧	25.0	9.9	2.6	869.3	両面の片縁加工	B	KC
151	1148	F6K25	1層	打製石斧	16.6	8.1	3.3	523.7	両面の片縁加工	D	KC
152	1149	C8P11	IV層	打製石斧	21.1	8.2	3.2	649.9	片面加工 1150と複合	G	KC
152	1150	C8P11	IV層	打製石斧	18.8	7.4	2.2	380.9	片面加工 1149と複合	B	KC
153	1151	RG02	埋土下位	磨製石斧 (9.3)	4.1	3.3	188.3	未製品	L	KC	
153	1152	RG02	埋土	磨製石斧 (9.7)	5.3	3.3	266.6	刃部のみ	P	KC	
153	1153	RG03	8層	磨製石斧 (8.2)	3.8	2.1	120.1	基部のみ	L	KC	
153	1154	F7K<5>1-1	12層	磨製石斧	20.5	5.4	3.9	731.8		U	KC
153	1155	F7H07	21層	磨製石斧 (8.7)	4.5	3.8	224.4	穂切磨製石斧	L	KC	

図版 No.	No.	出土地点	形位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
153	1166	F7109	Ⅱc型	磨製石斧	(6.1)	2.8	1.5	44.7	基部欠損	L	KC
153	1157	F7108	Ⅱc型	磨製石斧	(5.9)	4.8	2.8	102.2	両端のみ	J	KC
153	1158	F7G08	不明	磨製石斧	10.1	5.0	2.8	248.7		L	KC
153	1169	F7108	Ⅱa型	磨製石斧	(12.1)	5.0	3.7	340.8		B	KC
153	1160	F7F10	Ⅱb型	磨製石斧	(8.9)	8.1	4.0	421.1	刃部のみ	U	KC
153	1161	F7H11	Ⅱc型	磨製石斧	(6.7)	5.1	3.0	175.3	刃部のみ	J	KC
153	1162	F7H13	Ⅰ型	磨製石斧	(9.6)	5.0	2.6	186.7	柄部欠損	L	KC
153	1163	F7E	Ⅰ型	磨製石斧	(9.7)	6.5	3.3	311.2	基部のみ	R	KC
154	1164	RD30	Ⅰ型	磨製石斧	10.2	8.3	4.3	547.8	両端に磨打痕	P	KC
154	1165	RG02	埋土下位	磨製石斧	7.8	6.7	4.3	323.0	両端に磨打痕	B	KC
154	1166	F7H05	3型	磨製石斧	7.7	5.6	4.1	297.4	両面に凹み 両端に磨打痕	V	KC
154	1167	F7H~105	3型	磨製石斧	10.8	9.6	4.8	710.1	片面に凹み 1側面に磨打痕	P	KC
154	1168	F7H06	2型	磨製石斧	9.0	8.1	4.6	455.1	両端に磨打痕	A	KC
154	1169	F7H06	Ⅰ型	磨製石斧	8.2	7.6	3.9	369.6	片面に凹み 両端に磨打痕	R	KC
154	1170	F7106	Ⅱc型	磨製石斧	8.8	7.0	4.7	437.4	両端に磨打痕	V	KC
155	1171	F7G07	Ⅱc型	磨製石斧	8.8	6.9	4.9	418.3	1面に磨打痕	V	KC
155	1172	F7E~ベルト	Ⅰ型	磨製石斧	9.7	8.9	3.0	438.3	側面に磨打痕	U	KC
155	1173	F7107	Ⅱc型	磨製石斧	8.9	7.8	4.7	496.4	両端・1側面に磨打痕	S	KC
155	1174	F7G08	Ⅱd型	磨製石斧	12.0	5.9	4.3	520.9	両面に凹み 1面・1側面に磨打痕	R	KC
155	1175	F7108	Ⅱd型	磨製石斧	7.9	7.9	5.5	476.4	両端に磨打痕	R	KC
155	1176	F7108	Ⅱd型	磨製石斧	10.5	4.9	4.0	288.0	両端に磨打痕	P	KC
155	1177	F7108	Ⅱd型	磨製石斧	8.3	6.6	5.6	428.3	両端・1側面に磨打痕	B	KC
156	1178	F7108	Ⅱd型	磨製石斧	10.7	7.5	4.4	506.5	1側面に磨打痕	P	KC
156	1179	F7108	Ⅱd型	磨製石斧	8.1	5.6	2.8	192.6	両端に磨打痕	A	KC
156	1180	F7108	Ⅱb型	磨製石斧	11.1	5.3	3.8	329.8	両端に磨打痕	P	KC
156	1181	F7G09	2型	磨製石斧	11.7	8.3	5.5	608.3	1面に磨打痕	D	KC
156	1182	F7G10	Ⅱb型	磨製石斧	(7.4)	7.0	3.9	238.7	両端に磨打痕	A	KC
156	1183	F7H11	Ⅱa型	磨製石斧	5.4	4.3	3.6	116.3	両端に磨打痕	A	KC
156	1184	F7G09	Ⅱc型	磨製石斧	14.2	8.4	2.3	421.5	1面に刃部加工	P	KC
157	1185	RD53	東半埋土	磨製石斧	18.0	7.3	4.0	740.6	片面に凹み	P	KC
157	1186	RD60	東半埋土下位	磨製石斧	15.2	5.9	2.9	403.5	両面に凹み	T	NS
157	1187	RG03	東半埋土	磨製石斧	13.7	5.3	3.3	345.0	両面に凹み	Q	KC
157	1188	RG02~G5+3	8型	磨製石斧	15.0	5.0	2.5	311.9	片面に凹み	P	KC
157	1189	F7J02	Ⅰ型	磨製石斧	13.6	8.8	2.2	542.0	両面に凹み	P	KC
157	1190	F7H06	Ⅱd型	磨製石斧	11.5	6.4	2.5	273.3	片面に凹み	P	KC
157	1191	F7107	Ⅱc型	磨製石斧	8.0	7.5	3.2	255.6	片面に凹み	P	KC
157	1192	F7H07	Ⅱd型	磨製石斧	14.1	9.5	2.6	461.3	両面に凹み	B	KC
157	1193	F7H07	3型	磨製石斧	13.6	4.8	2.9	252.1	両面に凹み	B	KC
158	1194	F7108	Ⅱc型	磨製石斧	12.4	6.3	3.8	475.8	両面・1側面に凹み	P	KC
158	1195	F7108	Ⅱd型	磨製石斧	12.9	6.3	2.5	279.1	両面に凹み	P	KC
158	1196	F7108	Ⅱd型	磨製石斧	11.9	10.9	6.2	1085.4	両面に凹み	P	KC
158	1197	F7108	Ⅱc型	磨製石斧	10.3	8.6	5.1	586.9	両面に凹み	P	KC
158	1198	F7J09	3型	磨製石斧	10.2	7.4	5.3	491.9	両面・1面に凹み	P	KC
158	1199	F7J09	不明	磨製石斧	(11.3)	8.8	2.9	376.6	両面に凹み	P	KC
158	1200	F7J09	Ⅰ型	磨製石斧	18.2	(6.0)	4.0	539.5	両面に凹み	P	KC
159	1201	F7P09	Ⅱb型	磨製石斧	(10.6)	5.8	2.1	170.0	両面に凹み	M	KC
159	1202	F7H11	Ⅱc型	磨製石斧	10.6	9.5	4.3	586.3	両面に凹み	P	KC
159	1203	F7P10~G6+4	4型	磨製石斧	14.1	(5.3)	3.8	279.4	両面に凹み	M	KC
159	1204	F7G~112	4型	磨製石斧	12.3	9.0	7.4	1121.0	両面に凹み	M	KC
159	1205	F7G10	6型	磨製石斧	12.2	(5.1)	2.2	226.0	両面に凹み	P	KC
159	1206	F7L13	不明	磨製石斧	12.5	5.9	2.0	244.3	片面に凹み	D	KC
159	1207	F7E	表様	磨製石斧	19.4	6.1	3.9	697.6	4面に凹み	G	KC

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分期・備考	石材	発掘 時代
					長さ	幅	厚さ				
160	1208	F7J02	I層	磁器器Ac	9.0	8.0	4.0	433.1	2面に擦痕 片面に凹み 2側縁に敲打痕	F	KC
160	1209	F7J09	不明	磁器器Ac	11.8	7.5	3.7	498.6	両面に凹み 両縁・1側縁に敲打痕	P	KC
160	1210	RD49	I層	磁器器Ac	13.1	8.1	2.8	402.9	片面に凹み 1端に敲打痕	P	KC
160	1211	F7J08	IIb層	磁器器Ac	13.2	5.0	3.8	236.2	両面に凹み 1端・1側縁に敲打痕	P	KC
160	1212	RA02	埴土	磁器器Ac	13.4	4.2	3.6	307.8	3面に凹み 両縁に敲打痕	O	KC
160	1213	RD60	南平埴土	磁器器Ac (11.1)	5.4	5.7	461.4	1a031 欠損状況D	P	KC	
161	1214	F7G06	IIb層	磁器器Ac	16.3	7.4	3.8	602.0	片面に凹み 両端に敲打痕	P	KC
161	1215	F7H06	IIb層	磁器器Ac	16.2	6.8	3.9	605.6	両面に凹み 1側縁に擦痕	P	KC
161	1216	F7I06	IIb~c層	磁器器Ac	12.2	9.5	4.4	626.2	1b(1)1 両面に凹み	B	KC
161	1217	F7I06	IIc層	磁器器Ac	15.7	12.6	3.9	886.4	IIc(1)1 片面に凹み	B	KC
161	1218	F7I07	IIc層	磁器器Ac (11.2)	7.8	2.1	247.3	IIa(1)1 欠損状況d 両面に凹み	P	KC	
161	1219	F7P08	IIb層	磁器器Ac	13.7	6.8	3.6	433.6	IIa(1)1 両面に凹み 1側縁に擦痕	P	KC
162	1220	RA01	埴土	磁器器B	16.9	8.6	3.4	767.9	IIb(1)2	P	KC
162	1221	RD06	埴土	磁器器B (17.1)	6.3	5.2	720.4	1a031 欠損状況b 1面に凹み	P	KC	
162	1222	RD15	南平埴土	磁器器B	13.7	8.8	3.1	563.9	IIb(1)2	P	KC
162	1223	RD15	埴土	磁器器B (16.5)	7.4	6.3	558.4	1a(2)1 欠損状況C	P	KC	
162	1224	RD80	埴土上位	磁器器B (9.1)	7.5	3.3	309.6	IIa(1)8 欠損状況d	P	KC	
162	1225	RD30	埴土上位	磁器器B	13.3	7.0	3.1	402.8	IIb(1)1	P	KC
163	1226	RD53	埴土	磁器器B	12.6	4.8	1.7	127.0	IIb(1)3	G	KC
163	1227	RD53	埴土	磁器器B (8.6)	6.1	2.7	187.1	IIb(1)1 欠損状況d	P	KC	
163	1228	RD53	西平埴土下位	磁器器B	17.2	9.3	3.0	623.6	IIb(1)2	P	KC
163	1229	RD53	埴土下位	磁器器B	15.5	7.1	2.8	497.4	IIb(1)2	O	KC
163	1230	RD53	西平埴土下位	磁器器B (12.1)	6.3	3.5	323.6	IIb(1)2 欠損状況d	P	KC	
163	1231	RD53	埴土下位	磁器器B (17.7)	7.3	2.3	403.0	IIc(1)2 欠損状況b 片面に擦痕	B	KC	
164	1232	RD54	南平埴土	磁器器B	19.0	8.2	1.4	299.8	IIc(1)3	D	KC
164	1233	RD54	南平埴土	磁器器B	16.6	6.9	1.6	226.2	IIb(1)1	D	KC
164	1234	RD54	南平埴土	磁器器B (10.8)	7.5	3.1	338.8	IIb(1)1 欠損状況d	P	KC	
164	1235	RD55	北平埴土上層	磁器器B	18.1	(6.1)	(4.9)	696.1	1b(1)1? 欠損状況f	P	KC
164	1236	RD55	西平埴土下位	磁器器B (8.0)	9.9	3.3	297.3	IIb(1)3 欠損状況c	P	KC	
164	1237	RD60	北平埴土	磁器器B	19.9	7.3	2.0	360.1	IIb(1)3	B	KC
165	1238	RD60	北平埴土	磁器器B	21.6	7.9	1.8	340.6	IIc(1)3	B	KC
165	1239	RD60	南平埴土下位	磁器器B	19.4	7.8	3.0	645.7	IIa(2)1	P	KC
165	1240	RG02	埴土4層	磁器器B	19.9	6.7	3.2	543.0	IIb(1)3	B	KC
166	1241	RG02<5>3	4層	磁器器B	12.3	6.2	3.1	328.1	IIb(1)1 片面に凹み	P	KC
166	1242	RG02	南平埴土5層	磁器器B	16.9	6.1	2.3	289.1	IIc(1)3 両面に凹み	E	KC
166	1243	RG02<5>3	4層	磁器器B	21.2	5.7	3.4	465.1	IIb(1)3	J	KC
166	1244	RG03	東平埴土	磁器器B	11.7	5.7	2.8	259.6	IIb(1)1	B	KC
166	1245	RG03	西平埴土上層	磁器器B	18.1	11.0	3.7	933.6	IIb(1)2	P	KC
166	1246	RG05	18層	磁器器B	23.2	7.6	2.2	391.4	IIc(1)3 両面に擦痕	B	KC
166	1247	RG05	18層	磁器器B	11.2	7.0	2.6	231.0	IIc(1)2	D	KC
166	1248	RG05	東平埴土	磁器器B (15.6)	8.6	3.8	591.3	IIa(1)2 欠損状況b	P	KC	
166	1249	RG05	既面直上	磁器器B	15.6	6.5	2.0	239.8	IIc(1)3	G	KC
167	1250	F7H05	2層	磁器器B	19.6	6.9	6.9	1055.6	1a(1)1	P	KC
167	1251	F7H05	IIc層	磁器器B	13.1	6.8	6.5	924.5	1a(2)1	R	KC
167	1252	F7I0<6>1	20層	磁器器B (9.3)	5.9	5.2	419.1	1a(2)1 欠損状況c 1側縁に凹み	T	NS	
167	1253	F7I08	IIc層	磁器器B (13.9)	8.1	6.2	838.8	1a(3)1 欠損状況d	P	KC	
167	1254	F7I08	IIc層	磁器器B	15.7	9.2	5.2	780.5	1a(1)1	P	KC
167	1255	F7I08	IIc層	磁器器B	14.9	6.5	4.8	691.8	1a(2)1	P	KC
167	1256	F7I08	IIc層	磁器器B	11.7	7.4	4.3	543.5	1a(1)1	U	KC
168	1257	F7G10	IIb層	磁器器B	13.0	7.1	5.7	788.0	1a(1)1	V	KC
168	1258	F7G11	IIc層	磁器器B (13.2)	(5.8)	(5.3)	431.0	1a(1)7 欠損状況c 片面に凹み	D	KC	
168	1259	F7G11	7層	磁器器B (15.6)	8.2	5.2	881.7	IIa(1)1 欠損状況c 片面に凹み	P	KC	

図版 No.	No.	出土地点	層位	層種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代	
					長さ	幅	厚さ					
168	1260	F7G12	4層	凝灰岩B	(13.4)	7.1	5.8	687.4	Ia(1)	欠損状況b 2面に凹み	P	KC
168	1261	F7C~112	4層	凝灰岩B	17.7	7.2	4.6	837.4	1階に散打痕		O	KC
168	1262	F7E	1層	凝灰岩B	(10.3)	5.9	4.7	470.0	Ia(2)	欠損状況c	P	KC
169	1263	F7E	1層	凝灰岩B	(10.7)	6.6	7.2	558.4	Ia(2)	欠損状況e	P	KC
169	1264	F7H~105	2層	凝灰岩B	19.0	8.5	5.0	1028.0	Ib(1)	3面に凹み	P	KC
169	1265	F7H05	2層	凝灰岩B	15.1	7.3	5.2	723.3	Ib(1)		P	KC
169	1266	F7108	IIc層	凝灰岩B	16.3	10.1	5.0	820.5	Ib(1)		P	KC
166	1267	F7108	IIc層	凝灰岩B	12.6	4.4	3.0	264.0	Ib(1)		B	KC
169	1268	F7F10<小>	1層	凝灰岩B	17.1	7.9	4.3	708.6	Ib(1)		P	KC
170	1269	F7G10	IIb層	凝灰岩B	14.1	7.7	4.9	612.6	Ib(1)		P	KC
170	1270	F7F10<小>	1層	凝灰岩B	16.1	8.5	3.2	643.1	IIa(1)		P	KC
170	1271	F7J10	I層	凝灰岩B	16.4	8.2	4.4	765.9	Ia(1)	片面に凹み	P	KC
170	1272	F7G11	IIa層	凝灰岩B	14.3	6.6	3.7	444.5	IIa(1)		P	KC
170	1273	F7H11	I層	凝灰岩B	14.4	6.0	3.5	455.3	IIa(1)		P	KC
170	1274	F7H12	IIb層	凝灰岩B	(12.5)	7.9	3.5	433.0	IIa(1)	欠損状況d 1側面に散打痕	P	KC
171	1275	F7H06	I層	凝灰岩B	17.9	6.4	3.5	542.9	Ia(1)		P	KC
171	1276	F7H06	IIb層	凝灰岩B	17.0	6.7	3.0	428.3	IIa(1)		P	KC
171	1277	F7H09	IIb層	凝灰岩B	15.8	6.3	3.1	456.3	IIa(1)		P	KC
171	1278	F7G09	IIb層	凝灰岩B	17.0	8.5	3.3	630.1	IIa(1)		D	KC
171	1279	F7G08	IIb層	凝灰岩B	(17.8)	8.2	4.0	650.2	IIa(1)	欠損状況c 接合 (F7G08内) 1面に凹み	P	KC
171	1280	F7G08	IIb層	凝灰岩B	16.9	7.7	3.7	476.4	IIa(1)		P	KC
172	1281	F7108	IIc層	凝灰岩B	13.8	6.2	3.5	368.1	IIa(1)		P	KC
172	1282	F7108	IIc層	凝灰岩B	13.3	5.6	2.9	262.4	IIb(1)		P	KC
172	1283	F7108	IIc層	凝灰岩B	16.8	7.1	3.7	563.8	IIb(1)	接合 (F7108内)	P	KC
172	1284	F7G09	IIb層	凝灰岩B	16.2	5.9	27.6	295.4	IIb(1)		P	KC
172	1285	F7H09	IIb層	凝灰岩B	20.9	9.3	3.7	963.1	IIb(1)		P	KC
172	1286	F7109	2層	凝灰岩B	13.5	7.1	3.1	407.1	IIb(2)		P	KC
173	1287	F7H~105	5層	凝灰岩B	18.0	5.7	3.0	428.5	IIb(1)		P	KC
173	1288	F7H06	I層	凝灰岩B	16.7	8.3	3.6	677.9	IIb(1)		P	KC
173	1289	F7H06	IIc層	凝灰岩B	16.8	6.4	3.0	418.0	IIb(1)		P	KC
173	1290	F7H06	IIb層	凝灰岩B	18.9	6.5	3.9	521.8	IIb(1)		G	KC
173	1291	F7E<小>1	20層	凝灰岩B	13.9	5.9	2.5	275.4	IIb(1)		P	KC
173	1292	F7H08	IIc層	凝灰岩B	15.6	7.5	29.5	494.8	IIb(1)		P	KC
174	1293	F7F10<小>	4層	凝灰岩B	15.4	6.8	3.2	508.5	IIb(1)		P	KC
174	1294	F7G10	IIb層	凝灰岩B	18.0	6.3	2.8	378.4	IIb(2)	両面に凹み	G	KC
174	1295	F7G11	7層	凝灰岩B	14.9	6.3	3.2	400.6	IIc(1)	片面に凹み	E	KC
174	1296	F7P09	IIb層	凝灰岩B	15.0	5.7	2.7	279.5	IIc(1)		B	KC
174	1297	F7E<小>	IIa層	凝灰岩B	20.8	6.6	2.8	532.2	IIb(1)	片面に凹み	B	KC
174	1298	F7C07	不明	凝灰岩B	20.5	6.8	2.8	602.0	IIa(1)	接合 (F7G09内)	P	KC
175	1299	F7H07	I層	凝灰岩B	9.5	4.2	1.8	86.0	IIb(1)		P	KC
175	1300	F7107	IIc層	凝灰岩B	12.0	7.7	2.8	368.1	IIa(1)	両面に凹み	P	KC
175	1301	F7G08	IIb層	凝灰岩B	(13.2)	6.7	2.7	281.3	IIb(1)	欠損状況d 両面に凹み	O	KC
175	1302	F7F10<小>	1層	凝灰岩B	10.7	5.1	2.2	169.6	IIb(1)		P	KC
175	1303	F71~東割	表土	凝灰岩B	16.0	7.5	2.7	438.1	IIb(1)	接合 (F7G08内)	P	KC
175	1304	F7G10	6層	凝灰岩B	17.1	11.6	3.0	898.7	IIb(1)		P	KC
175	1305	F7E	不明	凝灰岩B	12.8	7.0	2.3	366.9	IIb(1)		J	KC
175	1306	C8E	IV層	凝灰岩B	(8.9)	7.1	2.4	250.7	IIa(1)	欠損状況a	P	KC
176	1307	F7109	2層	凝灰岩B	15.9	7.3	2.4	342.8	IIb(1)		B	KC
176	1308	F7C07	不明	凝灰岩B	19.4	11.1	3.4	948.8	IIb(1)		P	KC
176	1309	F7G08	IIc層	凝灰岩B	19.5	7.0	2.1	313.7	IIb(1)		D	KC
176	1310	F7108	IIa層	凝灰岩B	14.5	5.5	2.7	265.2	IIb(1)		B	KC
176	1311	F7108	IIc層	凝灰岩B	15.4	6.9	3.0	358.6	IIb(1)		G	KC

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地 時代
					長さ	幅	厚さ				
177	1312	F7108	IIc層	磁器器B	13.9	5.9	2.7	209.9	黒b112	B	KC
177	1313	F7G09	IIb層	磁器器B	(13.6)	5.1	1.8	195.1	黒c11 欠損状況b 両面に磨痕あり	F	KC
177	1314	F7F10<6>	4層	磁器器B	16.8	9.0	2.0	609.1	黒b112	D	KC
177	1315	F7H11	IIc層	磁器器B	14.3	5.7	2.4	262.0	黒b112	G	KC
177	1316	F7H10	IIb層	磁器器B	14.7	7.1	2.8	354.4	黒b111	P	KC
177	1317	F7G10	IIb層	磁器器B	13.0	4.5	1.8	152.2	黒b111	P	KC
178	1318	F7H10~11	不明	磁器器B	22.7	6.9	1.7	416.7	黒b113 片面に磨痕あり	D	KC
178	1319	F7H10~11	不明	磁器器B	(20.5)	7.0	2.0	367.7	黒b113, 欠損状況b	J	KC
178	1320	F7H10~11	不明	磁器器B	15.6	7.5	2.7	430.2	黒b112	P	KC
178	1321	F7H10~11	不明	磁器器B	12.6	6.5	2.2	253.1	黒b111	B	KC
178	1322	F7G11	7層	磁器器B	16.3	8.1	3.1	474.4	黒b112 片面に凹み	G	KC
178	1323	F7G11	7層	磁器器B	(16.4)	8.3	2.9	581.7	黒b111 欠損状況b 接合 (F7G11P)	P	KC
179	1324	F7H11	IIc層	磁器器B	13.8	6.2	1.4	186.9	黒b113	D	KC
179	1325	F7H12	IIb層	磁器器B	(9.4)	(8.5)	(2.2)	252.3	黒b112 欠損状況d	U	KC
179	1326	F7H12	IIb層	磁器器B	17.8	6.5	2.3	321.8	黒b112	P	KC
179	1327	F7H12	IIb層	磁器器B	12.8	6.4	2.5	179.7	I b111	P	KC
179	1328	5区トレンチ	-	磁器器B	(11.4)	5.9	2.4	162.2	黒b112 欠損状況b	P	KC
179	1329	F7H03	IIb層	磁器器B	(19.6)	6.0	1.7	190.1	黒c11 欠損状況b 片面に磨痕あり	B	KC
180	1330	F7H05	IIb層	磁器器B	17.5	7.1	2.4	444.1	黒c113	P	KC
180	1331	F7H06	IIc層	磁器器B	17.8	7.2	2.6	440.4	黒c113 接合 (F7H07・F7H06)	W	KC
180	1332	F7H07	IIc層	磁器器B	20.6	7.2	2.6	567.6	黒c113	B	KC
180	1333	F7G08	IIb層	磁器器B	18.2	9.3	3.0	699.9	黒c111	B	KC
180	1334	F7108	IIa層	磁器器B	22.4	6.1	1.9	162.0	黒c113	D	KC
180	1335	F7F09	IIb層	磁器器B	17.1	5.2	2.2	360.4	黒c112	T	KC
181	1336	F7G09	IIb層	磁器器B	21.1	8.0	1.6	240.7	黒c113	G	KC
181	1337	F7G09	IIb層	磁器器B	21.9	7.0	2.3	366.8	黒c113, 接合 (F7G09P)	D	KC
181	1338	F7F10	不明	磁器器B	14.5	7.1	2.3	294.1	黒c113	B	KC
181	1339	F7G10	6層	磁器器B	15.1	5.4	1.7	183.5	黒c113	D	KC
181	1340	F7G10	IIb層	磁器器B	16.7	9.5	1.7	128.5	黒c113	B	KC
181	1341	F7H11	IIb層	磁器器B	19.4	7.6	1.7	324.9	黒c113	B	KC
182	1342	F7J02	1層	石種	8.2	6.6	2.1	164.8	縦型	P	KC
182	1343	F7108	IIc層	石種	7.5	8.5	2.0	210.9	縦型	P	KC
182	1344	F7H06	1層	石種	7.1	11.5	1.8	227.3	縦型	B	KC
182	1345	F7E<6>t1	12層	台石	16.1	13.8	4.4	1487.9	両面に浅い凹み	P	KC
183	1346	F7G08	IIc層	石種	(13.8)	6.8	5.2	729.3	角柱礎	D	KC
183	1347	F7G09	IIb層	石種	(17.8)	4.6	3.5	490.9	角柱礎	D	KC
183	1348	F7G12~12	4層	石種	(20.0)	4.8	5.2	992.2	角柱礎	D	KC
183	1349	F7J09	不明	石制	(12.9)	2.0	1.9	38.5		B	KC
183	1350	RG02	埋土	石制	(12.6)	4.6	2.1	154.2		J	KC
183	1351	RG05	兼平埋土	石製品	(4.4)	3.5	0.8	17.6	片面に磨痕	I	KC
183	1352	RD21	埋土	石製品	2.8	2.4	1.1	5.6	銅灰品?	A	KC
183	1353	RD21	埋土	石製品	9.5	0.8	0.6	6.5	銅灰品?	A	KC
183	1354	F7108	IIc層	石製品	(4.9)	(2.7)	0.5	8.2	穿孔?	I	KC

※磁器器類の分類 断面形・横断面(数)・馬蹄の加工状況 欠損状況

※石材略号 A:チャート B:粘板岩 C:チャート質粘板岩 D:凝灰質粘板岩 E:緑色凝灰質粘板岩
 F:赤褐色凝灰質粘板岩 G:砂質粘板岩 H:凝灰岩 I:チャート質凝灰岩 J:緑色凝灰岩
 K:層状凝灰岩 L:層状緑色凝灰岩 M:赤褐色凝灰岩 N:凝灰質粘岩 O:アルコース砂岩
 P:凝灰質硬砂岩 Q:緑色凝灰質硬砂岩 R:安山岩 S:安山質安山岩 T:輝石安山岩
 U:花崗閃緑岩 V:デイサイト W:白雲母片岩

※産地時代 K:北上山塊 N:二戸 C:中生界 S:新第三系中新統

表6 金属製品観察表

調査No	No	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	欠損状況	金属の種類	備考
					口径	高さ	底径				
184	1401	RD51	埋土	罎	28.5	15.5	20.8	3,900	完形 一部欠損	鉄	内耳鉄線・三耳式・…文字磨り

調査No	No	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	欠損状況	金属の種類	備考
					長さ	幅	厚さ				
185	1402	RD51	埋土	罎	(14.8)	4.8	0.1	110.0	完形 一部欠損	鉄	木製駒・目付穴施し?

調査No	No	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	欠損状況	金属の種類	備考
					長さ	径	厚さ				
186	1403	RB01-PP2	埋土	釘	(3.6)	0.4×0.4	4.6	4.6	○	鉄	
186	1404	RD21	埋土	釘	3.2	0.3×0.4	5.2	5.2	○	鉄	
186	1405	RD25	埋土	釘	3.8	0.4×0.4	1.5	1.5	○	鉄	
186	1406	RD40	1期前	釘	(4.7)	0.3×0.3	3.0	3.0	○	鉄	
186	1407	RD40	埋土	釘	3.6	0.5×0.4	1.9	1.9	○	鉄	
186	1408	RD40	埋土	釘	(3.3)	0.5×0.5	1.8	1.8	○	鉄	
186	1409	RD46	埋土	釘	3.4	0.7×0.4	4.7	4.7	○	鉄	
186	1410	RD46	埋土	釘	(3.6)	0.8×0.5	5.9	5.9	○	鉄	
186	1411	RD46	埋土	釘	4.0	0.5×0.3	3.1	3.1	○	鉄	
186	1412	RD46	埋土	釘	4.1	0.7×0.5	3.5	3.5	○	鉄	
186	1413	RD46	埋土	釘	(3.4)	0.4×0.4	5.7	5.7	○	鉄	
186	1414	RD46	埋土	釘	4.6	0.3×0.1	2.5	2.5	○	鉄	
186	1415	RD46	埋土	釘	(2.7)	0.7×0.4	0.5	0.5	○	鉄	
186	1416	RD46	埋土	釘	(1.8)	0.5×0.3	3.9	3.9	○	鉄	
186	1417	RD46	埋土	釘	(2.3)	0.4×0.4	3.6	3.6	○	鉄	
186	1418	RD46	埋土	釘	(1.5)	0.3×0.3	0.8	0.8	○	鉄	
186	1419	RD46	埋土	釘	(2.7)	0.5×0.4	3.1	3.1	○	鉄	

調査No	No	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	欠損状況	金属の種類	備考
					外径	内径	厚さ				
187	1420	RB01-PP13	掘り方	寛水湯管	2.30	0.60	0.30	1.84	○	銅	新寛水1
187	1421	RB02-PP2	埋土	寛水湯管	2.30	0.60	1.20	2.55	○	銅	新寛水1
187	1422	RD24	埋土	寛水湯管	2.30	0.60	0.60	15.80	○	銅	新寛水(8根)
187	1423	RD24	埋土	元身湯管	2.35	0.65	0.10	2.90	○	銅	元身湯管1
187	1424	RD24	埋土	寛水湯管	2.45	0.60	0.15	4.10	○	銅	新寛水(1根)
187	1425	RD24	埋土	寛水湯管	2.45	0.65	0.24	6.70	○	銅	新寛水(280)
187	1426	RD24	埋土	寛水湯管	2.50	0.60	0.42	10.60	○	銅	新寛水(440)
187	1427	RD25	埋土	寛水湯管	2.55	0.55	0.15	3.65	○	銅	新寛水・管文1
187	1428	RD25	埋土	寛水湯管	2.50	0.55	0.11	3.20	○	銅	新寛水1
187	1429	RD25	埋土	寛水湯管	2.55	0.55	0.12	2.40	○	銅	新寛水1
188	1430	RD25	埋土	元身湯管	2.60	0.60	0.13	3.90	○	銅	新寛水・管文1
188	1431	RD51	埋土	無文	1.97	0.70	0.15	1.88	○	銅	無文2
188	1432	RD51	埋土	無文	1.95	0.95	0.35	2.67	○	銅	無文5・切斷痕
188	1433	RD51	埋土	無文	1.95	0.60	0.10	4.83	○	銅	洪武湯管1?・無文2
188	1434	RD51	埋土	無文	2.10	0.80	0.20	1.79	○	銅	無文3?・切斷痕
188	1435	RD51	埋土	洪武・無文	2.00	0.60	0.15	1.61	○	銅	洪武湯管1・無文1・削りき壊らない
188	1436	RD51	埋土	洪武湯管	2.00	0.65	0.10	1.32	○	銅	洪武湯管1
188	1437	RD51	埋土	無文	1.90	0.95	0.25	3.01	○	銅	無文3?・切斷痕
188	1438	RD51	埋土	洪武・無文	2.00	0.60	0.05	3.10	○	銅	洪武湯管1・無文1?・半欠損
188	1439	RD51	埋土	無文	2.00	1.20	0.15	7.84	○	銅	無文13・洪武湯管1?・削りき壊らない
189	1440	RD51	埋土	無文	1.90	0.65	0.30	3.10	○	銅	無文4?・切斷痕
189	1441	RD51	埋土	無文	1.70	1.00	0.20	1.03	○	銅	無文3
189	1442	RD51	埋土	無文	2.00	0.70	0.50	3.56	○	銅	無文5
189	1443	RD51	埋土	無文	2.00	0.65	0.30	2.19	○	銅	無文4
189	1444	RD51	埋土	無文	1.50	0.70	0.10	0.93	○	銅	無文2
189	1445	RD51	埋土	無文	1.80	0.65	0.20	1.70	○	銅	無文3?・切斷痕
189	1446	RD51	埋土	洪武湯管	1.90	0.65	0.10	0.91	○	銅	洪武湯管1?・切斷痕
189	1447	RD51	埋土	無文	1.70	1.05	0.12	0.83	○	銅	無文2?・外バリ
189	1448	RD51	埋土	無文	1.70	0.95	0.07	0.56	○	銅	無文1・切斷痕
189	1449	RD51	埋土	無文	1.72	1.04	0.07	0.45	○	銅	無文1・切斷痕
189	1450	RD51	埋土	無文	1.65	0.85	0.06	0.45	○	銅	無文1・切斷痕
189	1451	RD51	埋土	無文	1.73	0.90	0.08	0.52	○	銅	無文1・切斷痕
189	1452	RD51	埋土	無文	1.74	1.14	0.08	0.43	○	銅	無文1・切斷痕
189	1453	RD51	埋土	無文	1.70	1.00	0.06	0.42	○	銅	無文1
189	1454	RD51	埋土	無文	1.35	0.75	0.04	0.18	○	銅	無文1
190	1455	RD51	埋土	無文	1.56	1.13	0.06	0.25	○	銅	無文1
190	1456	RD51	埋土	無文	1.50	0.85	0.08	0.29	○	銅	無文1?・切斷痕
190	1457	RD51	埋土	無文	1.47	0.85	0.06	0.19	○	銅	無文1・切斷痕
190	1458	RD51	埋土	無文	1.40	1.05	0.10	0.32	○	銅	無文2
190	1459	RD51	埋土	無文 a	1.65	1.10	0.05	0.50	○	銅	無文2?・ふたつの輪状
				無文 b	1.20	0.95	0.05				
190	1460	RD51	埋土	無文	1.50	1.10	0.07	0.26	○	銅	無文1・切斷痕
190	1461	RD51	埋土	無文	1.45	1.10	0.05	0.13	○	銅	無文1
190	1462	RD51	埋土	無文	1.40	0.95	0.09	0.19	○	銅	無文1・切斷痕
190	1463	RD51	埋土	無文	1.47	0.85	0.06	0.19	○	銅	無文1・切斷痕
190	1464	RD51	埋土	無文	1.25	0.89	0.04	0.12	○	銅	無文1
190	1465	RD51	埋土	無文	1.15	0.75	0.07	0.10	○	銅	無文1
190	1466	RD51	埋土	無文	1.12	0.76	0.06	0.09	○	銅	無文1
190	1467	RD51	埋土	無文	1.10	0.75	0.07	0.13	○	銅	無文1・切斷痕・外バリ
190	1468	RD51	埋土	無文	1.75		0.07	0.15	○	銅	無文1(半欠損)
190	1469	C7瓦葺	瓦	明鉢不能	2.40	0.40	1.40	3.19	○	鉄	鉄線1
190	1470	R24	瓦	寛水湯管	2.35	0.65	0.10	1.95	○	銅	新寛水1

VI. 考察とまとめ

はじめに、調査成果の概要を述べ、次にいくつかの事項について若干の考察を行い、総括したい。

1. 遺跡の性格—調査成果の概要— (第191図)

(1) 遺跡の立地

遺跡は、雪谷川左岸の河岸段丘上に立地する。標高109m～120mほどで、北流する雪谷川との比高は約10mである。遺跡の面積は、約90,000㎡である。遺跡の現況は、山林・畑地である。

(2) 検出された遺構

縄文時代の竪穴住居跡1棟・土坑類39基・陥し穴状遺構1基・遺物包含層1ヶ所・平安時代の竪穴住居跡1棟・土坑類1基・近世の独立柱建物跡3棟・墓塚9基・土坑7基、時期不明土坑3基である。

(3) 遺構の占地—縄文時代—

縄文時代前期の遺構は、土坑類がC区とA区の南端において段丘の縁に沿うかたちで分布し、遺跡の中央付近の段丘縁下位の東斜面に遺物包含層が形成されている。遺物の表面採取される範囲は、遺跡全体の中で、南北方向から雪谷川に向かって流れるふたつの沢に挟まれた平坦面にほぼ限定される。調査した範囲では、A区から出土した遺物総量は遺構内外併せて大コンテナ1箱で、総じて遺構・遺物の密度は希薄である。以上のことから、大鳥I遺跡の縄文時代前期の集落の範囲(中心)は、ふたつの沢に挟まれた遺跡中央付近の平坦面(面積約15,000㎡)にあると推定され、この平坦面の東斜面であるC区で検出された遺物包含層は、この集落の捨て場であると考えられる。

土坑は、前期と後期の2時期がある。後期の土坑は、前期の土坑に比べて、平面形は円形基調で、規模はやや小さく、埋土は黒褐色土が主体であるのが特徴で、段丘の縁より中に入った部分にまもって分布している。

(4) 出土遺物

出土した遺物は、縄文土器・土師器・須恵器・土製品・石器・石製品・金属製品・炭化材である。他に、人骨6体・漆の皮膜が出土している。

a. 土器：縄文土器は大コンテナ150箱が出土している。時期の内訳は、早期(寺の沢式・吹切沢式・赤御堂式)が少量、前期(円筒下層式)が大部分を占め、中期・後期が極少量ある。土師器・須恵器は中コンテナ1箱出土している。土製品は、円盤状土製品が出土している。

b. 石器：696点出土している。内訳は、石鎌40点・尖頭器2点・石錘5点・石匙45点・不定形石器73点・両極石器15点・石筥6点・打製石斧6点・磨製石斧24点・蔽磨器類452点・石錘6点・台石1点・石棒4点・石剣2点・石製品4点・石核11点である。石器組成では、石器全体の中で剥片石器では石匙、礮石器では蔽磨器B類の占める割合が高く、そのなかでもⅢc3類(いわゆる半円状偏平打製石器)の占める割合が高い。

石材は、いずれも北上山地産で、剥片はチャート、礮石器では凝灰質の粘板岩、礮砂岩が多く使用されている。いずれも北上山地産の礮であることから、遺跡周辺から採取される原石を使用していたようである。蔽磨器類(擦石・敲石・凹石・特殊磨石・半円状偏平打製石器)については、使用痕のない素材と考えられる礮が包含層中から出土しており、石核の出土などと併せ考えると、本遺跡でも石器が製作され、使用されていたものと考えられる。

c. 金属製品：鉄鑄1点・鉄製鎌1点・鉄釘18本・鉄貨51点(114枚)が出土している。いずれも墓塚に係わるものである。

d. 炭化材：炭化材が13点得られており、樹種はケヤキ(縄文)とナラ(近世)である。



第191回 大島 | 遺跡縄文時代前期の集落概念図

2. 縄文時代：円筒下層式土器について（第192～202図）

ここでは、大鳥1遺跡から出土した土器のうち、前期、円筒下層式土器（Ⅱ群）について、器形・文様などの特徴からいくつか分類し、従来の土器型式との関係を把らえてみたい。

分類の基準は、文様は、部位（口縁部・胴部）と文様の種類（原体と施文方向）の関係を主とし、器形・その他（胎土・調整）を参考とした。土器集成図中の掲載Noは、V、出土遺物の図版掲載Noと同一である。

Ⅱ群1類a（第192図：171～84）

口縁部：不整の燃糸文が横位に施文される。

頸部：区画を意識した文様はない。

胴部：斜縄文(横)・燃糸文・木目状燃糸文(縦)が施文され、底部付近は不整燃糸文が横位に施文される。

器形：ほぼ直立ぎみのものと口縁が直線的に外傾するタイプ（1・4）が多い。

その他：内面の調整は概して粗く、器壁に含有する礫が露出する無調整のものも多い。繊維の混入も多い。

Ⅱ群1類b（第192・193図：85～15）

口縁部：不整の燃糸文が横位に施文される。

頸部：隆帯貼付、沈線、刺突、刻目、隆帯貼付+原体圧痕・刺突などにより口縁部と胴部の文様帯を明確に区画する。隆帯は1本の場合と2本の場合がある。

胴部：斜縄文(横)・燃糸文・木目状燃糸文(縦)が施文され、底部付近は不整燃糸文が横位に施文される。

器形：胴部はほぼ直立ぎみで、口縁部のみ外反するタイプがあり（3・6）、器形は大型化する。

その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。繊維の混入は多い。

Ⅱ群2類a（第193・194図：53～139）

口縁部～胴部：器面全体に同一原体による文様が施文される。用いられる文様には、斜縄文・羽状縄文・燃糸文・多軸絡条体などがある。斜縄文・羽状縄文は横位に施文されるものが多く、燃糸文・多軸絡条体は、縦位に施文される。

器形：口縁部が直線的に外傾するタイプと、直立するもの、ほぼ直立で口縁部のみ外反するものが多い（1・4・6）。器高の大きいものはあまりない。

その他：内面の調整は概して粗く、器壁に含有する礫が露出する無調整のものもある。繊維の混入も多い。

Ⅱ群2類b（第194・195・196・197図：216～181）

口縁部～胴部：器面全体に同一原体による文様が施文される。用いられる文様には、斜縄文・羽状縄文・燃糸文・多軸絡条体などがある。斜縄文・羽状縄文は横位に施文されるものが多く、燃糸文・多軸絡条体は、縦位に施文される。

頸部：原体圧痕・刺突・刻目・隆帯貼付、隆帯貼付+原体圧痕・刺突により口縁部と胴部を区画する。

器形：口縁部が直線的に外反するものと、頸部で一度括れて、口縁部が外反するものがある（3・6・9）。口縁部の形状は平縁のものといくつかの波状口縁のものがある。

その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。繊維の混入は多い。

Ⅱ群3類a (第197・198・199図：213～92)

- 口縁部：原体側面圧痕による幾何学的な文様を施文する。文様帯の巾は、広いものと狭いものがある。
頸部：原体圧痕・沈線による区画を伴う。
胴部：縷糸文・木目状縷糸文など縦位に施文される。斜縄文・羽状縄文は、横位に施文される。
器形：口縁部が直線的に外反するものと、頸部で一度括れて外反するものがある(3・2・8)。口縁部の形状は平縁のものや緩い波状口縁があり、口唇部は反るものが多い。細長い器形が多くなる。
その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。

Ⅱ群3類b (第199・200・201図：70～127)

- 口縁部：原体側面圧痕による幾何学的な文様を施文する。文様帯の巾は広い。
頸部：隆帯貼付による区画を伴う。隆帯の上には刻目や圧痕や原体圧痕が加えられる。
胴部：縷糸文・木目状縷糸文・羽状縄文などが縦位に施文される。斜縄文は横位に施文される。
器形：口縁部が直線的に外反するものと、頸部で一度括れて、口縁部が外反するものがあり、細長い円筒状の器形が多くなる(3・5)。口縁部の先端が僅かに反るものが多くみられる。
その他：内面調整は丁寧に施されるようになる。

Ⅱ群4類a (第201・202図：272～144)

- 口縁部：原体側面圧痕・縄文による巾の狭い直線的な文様帯をもつ。
頸部：細く狭い微隆帯の貼付などによる区画を伴い、刺突・刻目が施される。
胴部：羽状縄文(横位)が多用される。木目状縷糸文・多軸絡条体も用いられる。
器形：口縁部が直線的に外傾する例が多く、底径より口径が広がるバケツ形の器形(1・7)が出現する。口縁部は平縁のものが多く、頸部に横位楕円形の貫通孔が数ヶ所に入るものもある。
その他：内面調整は横位にミガキがよく施され、繊維の混入は極めて少なくなる。

Ⅱ群4類b (第202図：137～78)

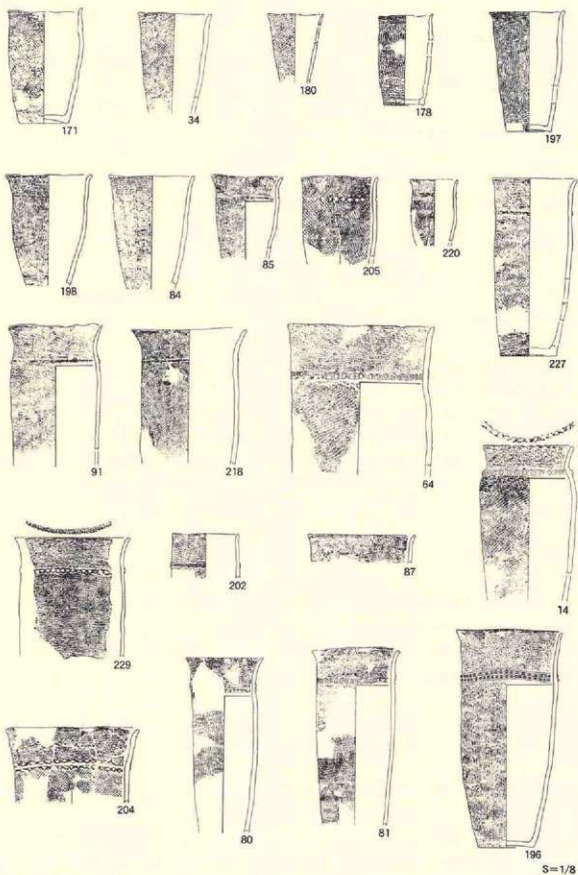
- 口縁部：原体側面圧痕・縄文による巾の狭い直線的な文様帯をもつ。
頸部：細く狭い微隆帯の貼付などによる区画を伴い、刺突・刻目が施される。
胴部：羽状縄文(横位)が多く施文される。
器形：頸部が屈曲するもの、4単位の波状口縁のものが多く、台付深鉢が出てくる。
その他：内面調整は横位にミガキがよく施される。

Ⅱ群5類 (第202図：231～260)

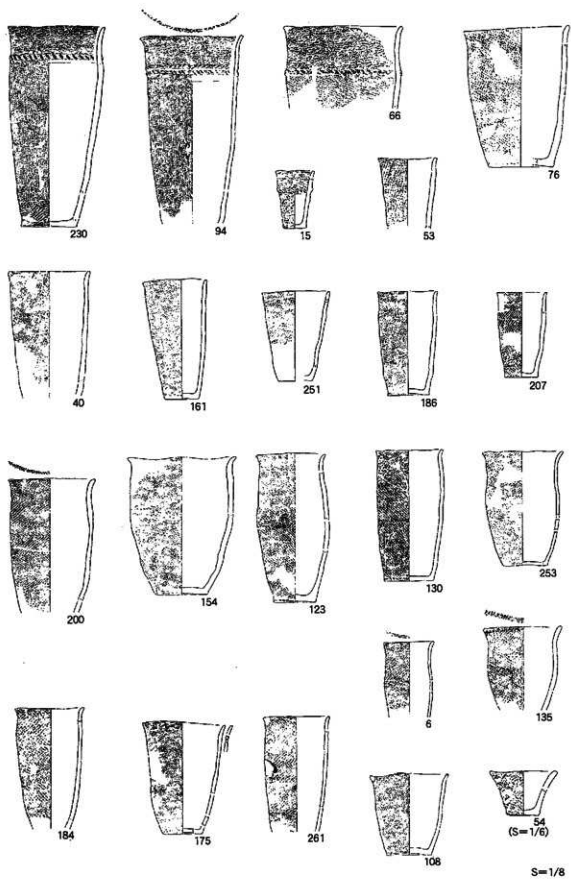
大木式系あるいは大木式と円筒式の折衷的な土器とミニチュア土器である。

以上に分類される、それぞれ特徴を有する大島Ⅰ遺跡の土器群は、従来、指摘されてきた円筒下層式の土器型式と以下のような対応関係にあると考えられる(註1)。

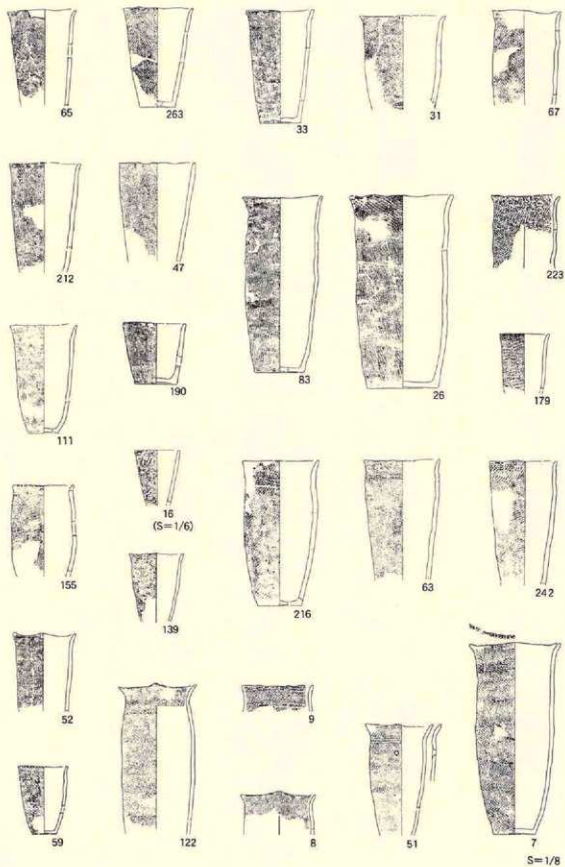
- Ⅱ群1類a・Ⅱ群2類a：円筒下層a式 Ⅱ群1類b・Ⅱ群2類b：円筒下層b式
Ⅱ群3類a・Ⅱ群3類b：円筒下層c式 Ⅱ群4類a・Ⅱ群4類b：円筒下層d式



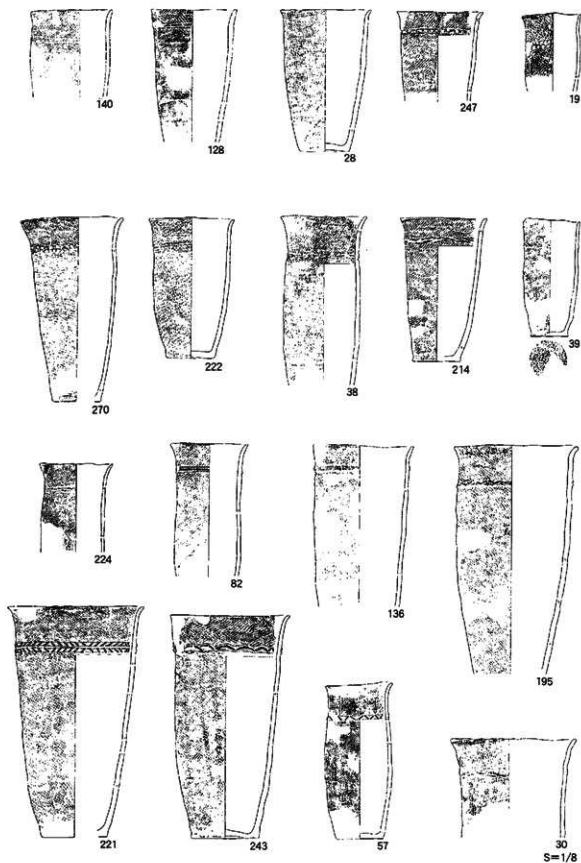
第192圖 土器集成圖(1)



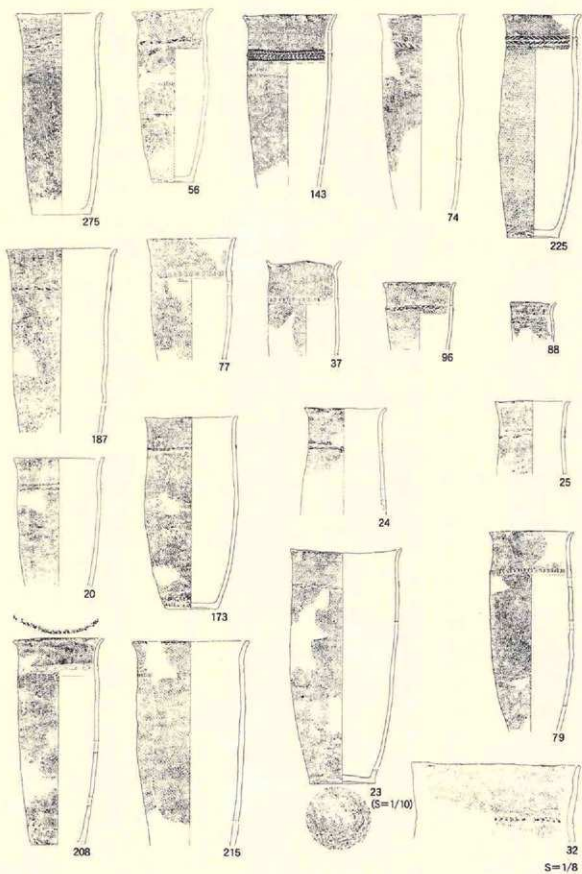
第193圖 土器集成圖(2)



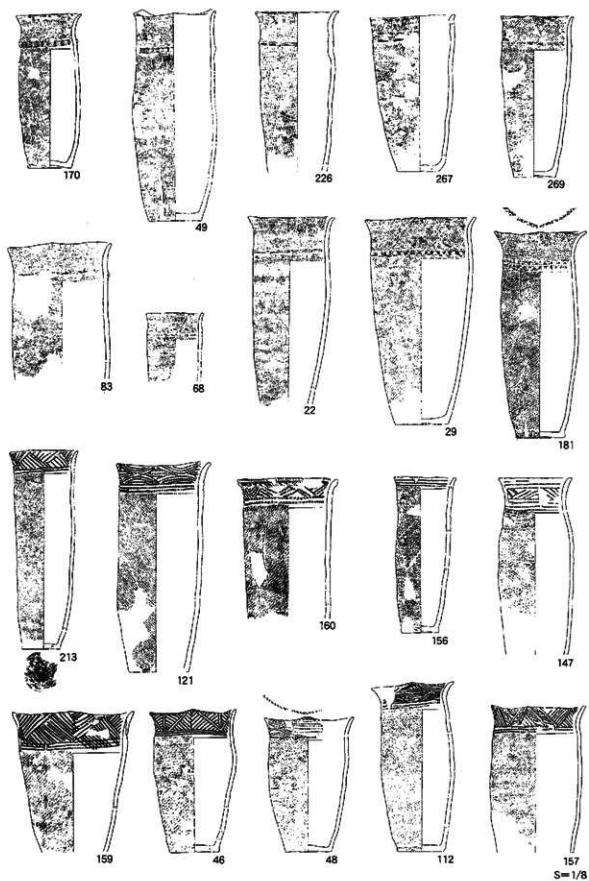
第194圖 土器集成圖(3)



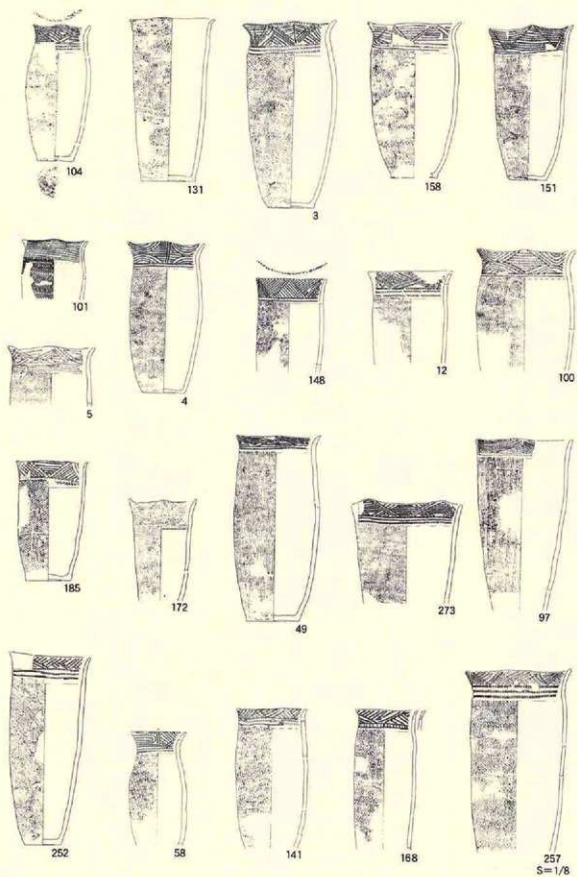
第195圖 土器集成圖(4)



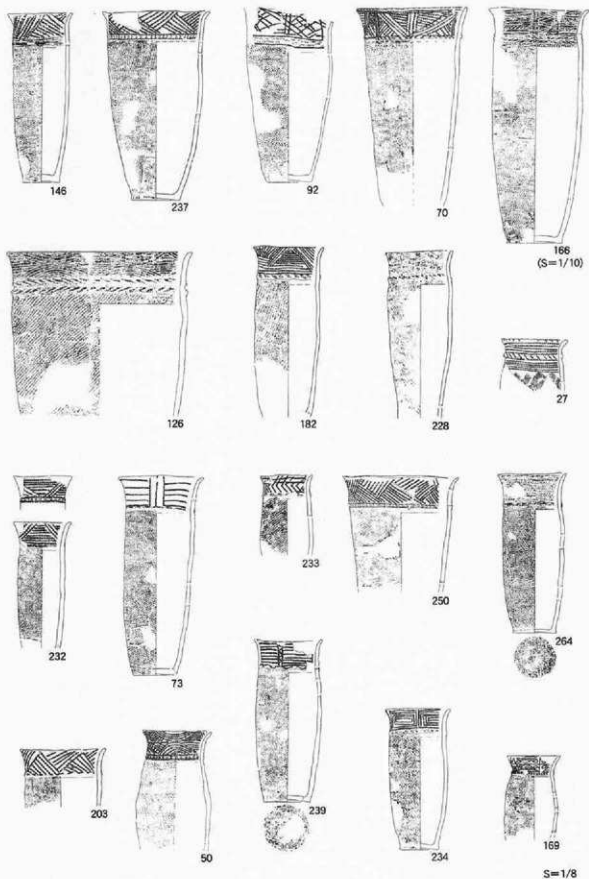
第196圖 土器集成圖(5)



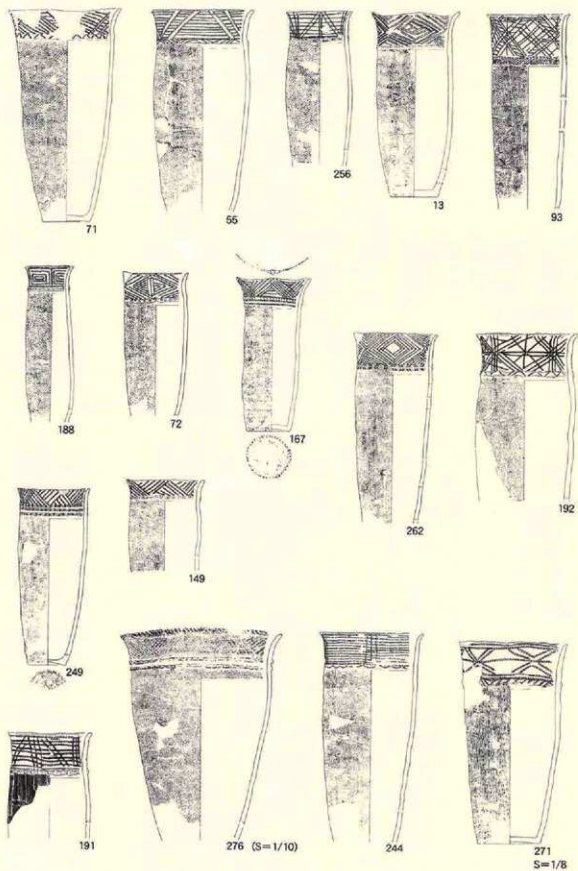
第197圖 土器集成圖(6)



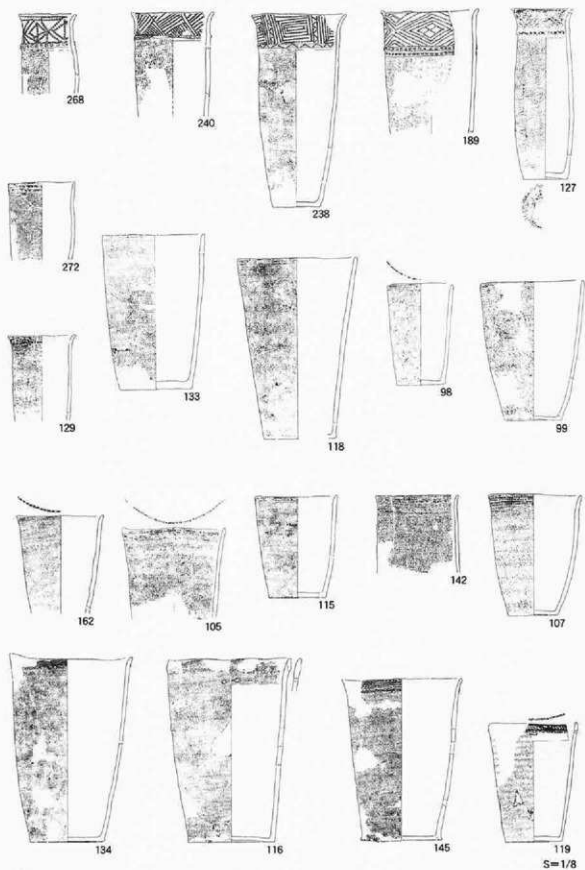
第198圖 土器集成圖(7)



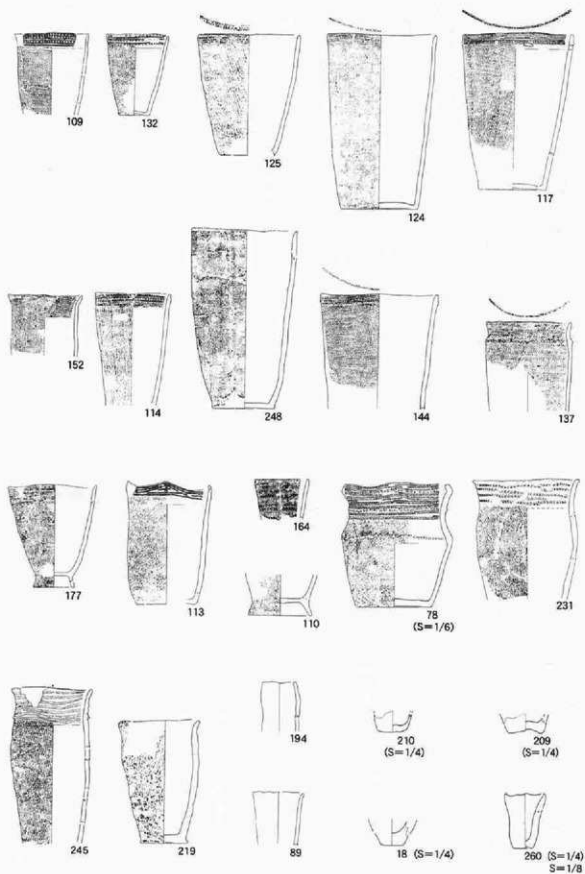
第199圖 土器集成圖(8)



第200圖 土器集成圖(9)



第201圖 土器集成圖(10)



第202図 土器集成図(11)

3. 中・近世：墓塚について

今回の調査で墓塚と考えられるものが9基検出された。うち人骨が出土した墓塚が6基、副葬品のみ出土した墓塚が1基ある。以下、検出された墓塚について、中世・近世に大別し、それぞれの位置・立地・規模・形態・埋葬形態、副葬品、時期などについて検討し、まとめてみたい。

(1) 中世の墓塚

RD51墓塚が該当する。

a. 位置・立地

F7区に位置し、雪谷川を望む段丘の縁に立地する。調査した範囲では、周辺に他に墓塚は検出されておらず、この墓塚は、場所的に孤立しているか、あるいは墓域の端に位置する可能性が高い。なお、C区南西側の約30m付近に旧大鳥集落の墓所があるが、RD51墓塚との関係については不明である。

b. 規模・形態

RD51墓塚の規模は、他の墓塚に比して、開口部が小さく、掘り込みが深い。形状は、小判型を呈する。

c. 埋土

埋土は、墓塚を掘った際の土を埋め戻したもので、VI層・VII層（ローム）を起源とする混土である。

d. 出土遺物

人骨と副葬品が出土している。副葬品として、鉄鍋1・鉄製鎌1・縹銭1・漆皮膜（柄?）1が埋土下位から底面付近にかけて出土している。人骨は頭骨を北側にしており、鉄鍋が伏せられて接した状態で出土している。他の副葬品は、墓塚の南側から出土している。

e. 時期

下限は銭貨に寛永通寶が含まれないこと、上限は洪武通寶を含む縹銭が出土していることから、1636年より旧く、16世紀代の可能性が高い。墓塚の時期は、16世紀（中世後半）～17世纪初頭（近世初頭）と考えられる。

(2) 近世の墓塚

a. 位置・立地

RD21・22・23・24・25・26・46・48墓塚の8基が該当する。

RD21～RD26墓塚の6基が、調査区（A区）の南端（D9区）に位置する。雪谷川左岸の台地の縁で、対岸を望める緩い南斜面に立地する。うちRD23～RD26墓塚の4基は、台地の縁に沿って直列に並んでおり、墓域として設定された可能性が高い。A区の北側で検出されたRD46・48墓塚は、調査区内において単独で検出されているが、本来は、群集する墓塚群のひとつである可能性がある。

b. 規模・形態

削平などにより、構築された段階の状況を留めている墓塚は少ない。検出された範囲での墓塚の規模は、開口部の規模は、最大は、RD22墓塚が径155cm、最小は、RD26墓塚の径88cmであり、開口部径96cm～120cmの範囲に6基がまとまりをみせている。深さは25～115cmとばらつきがあるが、著しく浅い墓塚は上部を削平されているものと考えられる。

墓塚の形状は、円形基調のものが7基、方形基調のものが1基である。

墓塚の上部構造を知りえたものにRD46墓塚がある。RD46墓塚の東側には、粘板岩の自然礫が検出さ

れている。封土後に墓壇のすぐ東側に、墓石として設置されたようである。

c. 埋土

墓壇の埋土は、基本的に墓壇を掘った土を埋め戻したものと考えられ、Ⅷ期（ローム）起源の土と、当時の表土（旧表土）と考えられる黒色土との混土である。他の遺構の埋土に比して、締まりが著しく弱い特徴がある。

d. 出土遺物

人骨は、5基から出土した。RD21・22・25墓壇の3基については、ほぼ完全な状態で遺存していた。いずれも頭位は北側で、膝を折り曲げた状態で出土している。RD46墓壇の頭位は不明、RD48墓壇の頭位は西側である。

副葬品が出土した墓壇は4基（RD21・22・24・25墓壇）である。副葬品の内訳は、六道銭と考えられる銭貨が出土した墓壇3基（RD22・24・25墓壇）、石製品が出土した墓壇1基（RD21墓壇）、衣類と推定される繊維質の遺物が出土した墓壇1基（RD22墓壇）である。いずれも墓壇の底部付近から出土している。また、木質部付着の鉄釘が3基（RD21・25・46墓壇）から出土している（註2）。

e. 時期

出土した銭貨がいずれも寛永通寶（初鑄年1636年）を含むことから、近世に属すると考えられる。

(3) まとめ

中世の墓壇は、埋葬形態は、土葬と考えられ、頭を北側にして、膝を折り曲げた状態で埋葬されたものと推定される。鉄鍋は、伏せられて頭骨に接した状態で出土しており、頭骨にすっぽりと被せられた状態ではない。その点、すでに報告されている類例と厳密には異なるが、ここでは、同様の意図をもって行われた埋葬の形態であったと考えたい。時期は、出土した銭貨から16世紀～17世紀初頭の可能性が高い。また小判形を呈する墓壇の規模・形態も、円形・方形を基調とする他の8基の近世の墓壇に比べて、より古い要素を示している（註3）。

近世の墓壇は、埋葬方法は、埋土の状態から土葬と考えられる。人骨は膝を折り曲げた状態で出土していることから、屈葬であり、木質付着の鉄釘が出土していることから、木製の棺の使用が考えられる。これらは、民家の近くに形成された家族墓の可能性が高い。

墓壇観察表

No.	遺構名	平面形	規模(cm)	深さ(cm)	埋土	副葬品	人骨	埋葬形態	時期	備考
1	RD21	円形	120	32	人為堆積	石製品?	○	土葬・屈葬	近世	鉄釘
2	RD22	楕円方形	155	75	人為堆積	寛永通寶5(古)・衣類?	○	土葬・屈葬	近世	
3	RD23	円形	104×102	100	人為堆積			土葬・屈葬	近世	
4	RD24	楕円形	110×96	84	人為堆積	元禄通寶1・寛永通寶7(新)		土葬・屈葬	近世	
5	RD25	円形	106×96	25	人為堆積	寛永通寶4(古・新)	○	土葬・屈葬	近世	鉄釘
6	RD26	円形	84×80	42	人為堆積			土葬・屈葬	近世	
7	RD46	円形	128	125	人為堆積		○	土葬・屈葬	近世	環石・鉄釘
8	RD48	円形	114	58	人為堆積		○	土葬・屈葬	近世	
9	RD51	小判形	120×80	115	人為堆積	内耳鉄鍋・鉄製籠・桶・鋸跡	○	土葬・屈葬	中世	縄紋?

4. 総括

ここでは、調査成果を総括し、今後の課題を提示しておわりとしたい。今回の大鳥Ⅰ遺跡の調査で検出された遺構・出土した遺物から、遺跡の様相を各時代毎に概観すると次のようになる。

時代	縄文	弥生	古代	中世	近世	近代	現代
	草 早 前 中 後 晩		10c		16c 17c		
遺構	○○○		○		○○	○	○
遺物	○●○○		○		○○	○	○
備考	包含層				墓塚・墓塚・建物		平成2年移転

大鳥Ⅰ遺跡の今回の調査で、当地の縄文時代～近世に至る人々の生活の痕跡が明らかになった。限られた範囲の調査なので、断絶（遺構・遺物の確認できなかった時代）もあったが、約8,000年に及ぶ大鳥の地の歴史の一端を明らかにすることが出来たものと思う。旧大鳥の集落は、すでに世増ダム建設にともない平成2年に移転しているが、遺跡の現況は、依然として人々の生活の痕跡と原風景を残している。世の中が急激に移り変わり、過去の人々の生活の痕跡が急速に失われつつある今日、この大鳥の地に生きた人々の歴史を後のために記しておくことも意味のあることと思われる。本報告書がその一助になればと思う。

今回の調査で、大鳥Ⅰ遺跡を特徴づけることになったのは、縄文時代前期の円筒下層式土器群と内耳鉄鍋が付けられた状態で出土した墓塚のふたつが挙げられる。

縄文時代前期の円筒下層式土器群については、出土状態は良好とはいえないが、量的にまとまっているという特徴があり、一地域における円筒下層式土器の様相を把握することができる資料である。出土資料の再検討と、周辺の他遺跡の出土資料との比較検討を行い、当該地域における円筒下層式土器の様相を明らかにすることが今後の課題である。

内耳鉄鍋が付けられた状態で出土した墓塚については、隣接する地域において同様の事例がいくつかみられるが、調査成果として報告されている事例は意外に少なく、依然として不明な部分も多い。

同様の埋葬形態の事例の集成と特徴を抽出することが第1の課題であるが、その後、考えなければならぬことは、当時（中世：大鳥Ⅰ遺跡出土事例の場合）の人々の感覚（鍋に対する意識あるいは鍋を被せる行為の意味するところ）であろう。今後の課題である（註4）。

本報告をまとめるにあたり、多くの諸先生、職場の先輩・同僚に沢山の貴重なご指導をいただいた。また整理を担当していただいた臨時職員の方々には、拙ない指示にもかかわらず、的確・迅速に作業を進めていただいた。厚くお礼を申し上げます。

また農林水産省八戸平原開拓建設事業所・軽米町教育委員会には、多くの便宜を図っていただいた。お礼を申し上げます次第である。

註

- (1) 円筒下層式土器の分類の基準、型式分類については、三宅1989を参考にした。
- (2) C7区付近で検出された土坑に、埋土の状況から近世以降としたものが6基(RD35~40土坑)ある。このうちRD40土坑から鉄釘が出土している。これらの土坑は、群集する状態や掘立柱建物跡(RB03)に近接することなどから、墓塚の可能性もある。ただしこの区域はV~VII層まで削平されており、遺構の遺存状態は極めて不良で、調査時には、墓塚と判断できなかった。
- (3) 石川1983では、土葬墓の形態の変化として、隅丸長方形(銅臥:中世)から方形・円形(座棺:近世)の推移が指摘されている。また墓塚から出土する貨幣は、渡来銭のみのもの:中世、寛永通寶を伴うもの:近世と、概ね時期の判断ができることが指摘されている。
- (4) 阿部1998。

参考文献

- 青森県教育委員会 1980『板垣(2)遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第59集。
- 青森県教育委員会 1991『鬼沢釜沢・尾上山(2X3)遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第135集。
- 青森県教育委員会 1994『畑内遺跡Ⅰ』青森県埋蔵文化財調査報告書第161集。
- 青森県教育委員会 1995『畑内遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第178集。
- 青森県教育委員会 1996『畑内遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第187集。
- 青森県教育委員会 1997『畑内遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第211集。
- 秋田県教育委員会 1990『はまり館遺跡発掘調査報告書(上巻)』秋田県文化財調査報告書第192集。
- 阿部勝剛 1997『軽米町大島Ⅰ遺跡墓塚出土の内耳鉄鍋』『紀要』XVII(附)岩埋文。
- 石川長喜 1983『発掘調査された墳墓について』『紀要』III(附)岩埋文。
- 岩手県立博物館 1982『岩手の土器一帯内出土資料の集成一』。
- 江坂輝弥 1970『石神遺跡』ニュー・サイエンス社(1976再版)。
- 草間俊一・森本岩太郎 1972『内耳鉄鍋と人骨』九戸村教育委員会。
- 久慈市教育委員会 1987『大沢遺跡発掘調査報告書』久慈市埋蔵文化財報告書第7集。
- 工藤竹久 1989『縄文尖底系土器様式』『縄文土器大観』I 小学館。
- (附)岩埋文 1995『水吉VI遺跡発掘調査報告書』岩埋文第219集。
- (附)岩埋文 1995『大日向II遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。
- (附)岩埋文 1995『上八木田遺跡発掘調査報告書』岩埋文第227集。
- (附)岩埋文 1996『長倉IV遺跡・長倉V遺跡発掘調査報告書』岩埋文第231集。
- (附)岩埋文 1996『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成7年度分)』岩埋文第246集。
- (附)岩埋文 1998『大島II遺跡発掘調査報告書』岩埋文第270集。
- 本沢慎輔 1998『東北地方に分布する鋳写シタタタについて』『紀要』XVII(附)岩埋文。
- 三宅敏也 1974『青森県における円筒下層式土器群の地域展開』『北奥古代文化』第6号。
- 三宅敏也 1982『円筒土器』『縄文文化の研究』第3巻 雄山閣。
- 三宅敏也 1989『円筒土器下層様式』『縄文土器大観』I 小学館。
- 村越 潔 1974『円筒土器文化』考古学選書10. 雄山閣。
- 村越 潔 1976『円筒土器に伴う特殊な石器』『東北考古学の諸問題』東北考古学会。
- 山内清男 1979『日本先史土器の概観』先史考古学会。

軽米・大鳥 I 遺跡出土 内耳鉄鍋の調査

平成8年11月20日

新日本製鐵㈱釜石製鐵所
釜石試験分析センター

1. 経緯

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが発掘調査を進めてきた軽米町軽米の大鳥 I 遺跡で、つるをひっかける「耳」が内側についた「内耳鉄鍋」が墓墳(ぼこう)から見つかった。

今回、その「内耳鉄鍋」を当所の文化財保存処理センターで保存処理作業を依頼された機会に(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの了解のもとに一部金属学的調査を行った。

2. 調査対象品

写真1に出土品・「内耳鉄鍋」の外観を示す。

- | | | |
|--------|--------------------|--------|
| ① 外観寸法 | 口縁部の直径 | 28.5cm |
| | 深さ | 15.0cm |
| ② 形態 | 内側3か所に内耳のある三耳式内耳鉄鍋 | |

3. 調査方法

鉄鍋の外側底部の凸部より試料を採取して下記2項目の調査を実施した。(写真1参照)

- (1) 科学分析による成分調査
- (2) 金属光学顕微鏡によるマイクロ組織の観察
(3%硝酸アルコールで腐食)

4. 調査項目と調査結果

(1) 科学分析による成分調査

調査結果を表1.に示す。Cu, Pが高く、かつNi, Coも無視出来ないレベルの特徴を有している成分系である。

(2) 金属光学顕微鏡によるマイクロ組織の観察

調査結果を写真2に示す。この組織は代表的な白鉄鉄の組織を示している。

白い部分はセメンタイト (Fe_3C)、黒い部分はパーライト (フェライト+ Fe_3C)、蜂の巣状の部分はセメンタイトとオーステナイトの共晶 (レデブライト) となっている。

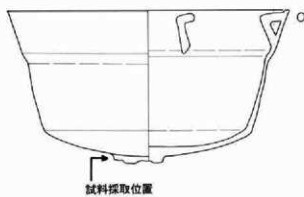
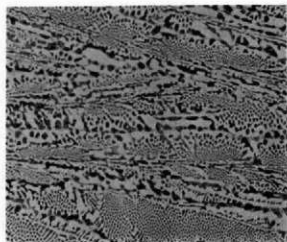


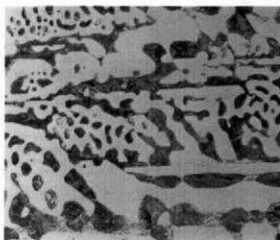
写真1 内耳鉄鋼の外観（含むサンプリング箇所）

表 1 化学分析による成分値

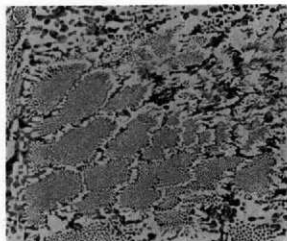
成分名	単位	分析値	分析方法
C	%	4.28	JIS G1211 赤外線吸収法
Si	%	0.04	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
P	%	0.320	JIS G1214 モリブドリン酸青吸光度法
S	%	0.032	JIS G1215 赤外線吸収法
Cu	%	0.121	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Ni	%	0.010	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Cr	%	0.007	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Co	%	0.024	JIS G1258 ICP 発光分光分析法
Ti	%	0.009	JIS G1258 ICP 発光分光分析法



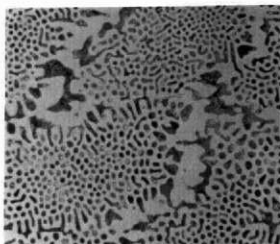
($\times 100$)



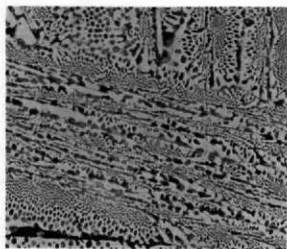
($\times 400$)



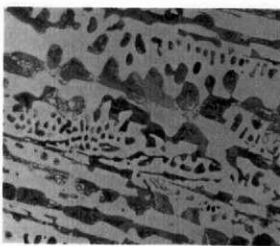
($\times 100$)



($\times 400$)



($\times 100$)



($\times 400$)

写真2 顕微鏡組織写真 ($\times 100$, $\times 400$)

写 真 图 版



遺跡遺景(東から)



遺跡全景(南から)

写真図版 1 遺跡全景(1)



旧大鳥集落(平成2年)



集落移転後遺跡現況

写真図版 2 遺跡全景(2)



D9区 基本土層



G3A16 基本土層

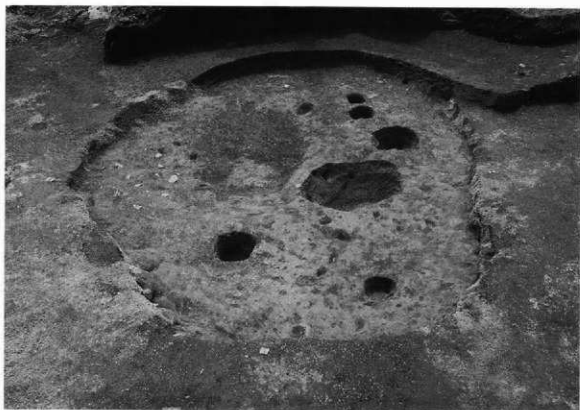


C6区 基本土層



F7区 基本土層

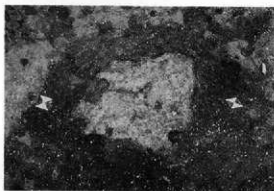
写真図版 3 基本土層



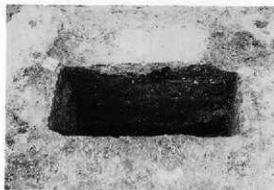
RA01住居跡 平面



RA01住居跡 断面



炉 平面

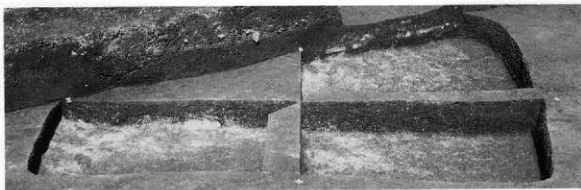


炉 断面

写真図版 4 RA01住居跡



RA02住居跡 平面



RA02住居跡 断面



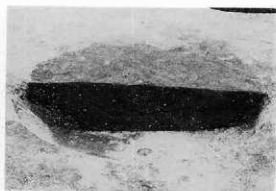
火山灰・遺物出土状況



柱穴 断面



RD01土坑 平面



RD01土坑 断面



RD02土坑 平面



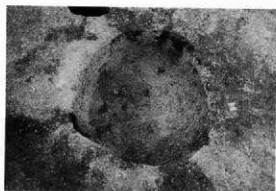
RD02土坑 断面



RD03土坑 平面



RD03土坑 断面

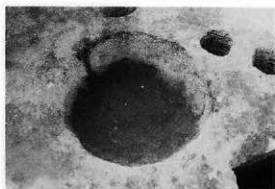


RD04土坑 平面

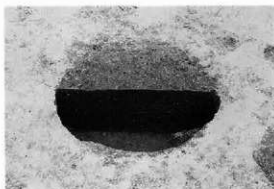


RD04土坑 断面

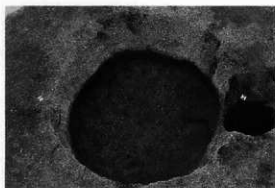
写真図版 6 RD01・02・03・04土坑



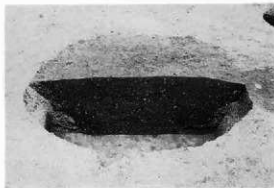
RD05土坑 平面



RD05土坑 断面



RD06土坑 平面



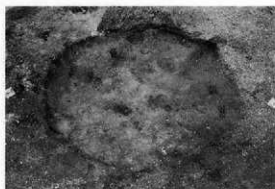
RD06土坑 断面



RD07陥し穴状遺構 平面



RD07陥し穴状遺構 断面



RD08土坑 平面

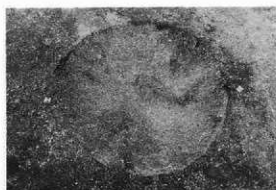


RD08土坑 断面

写真図版 7 RD05・06・08土坑、07陥し穴状遺構



RD09土坑 断面



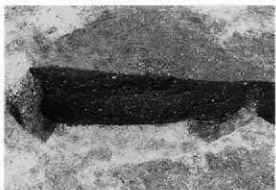
RD10土坑 平面



RD10土坑 断面



RD11土坑 断面



RD12土坑 断面



RD13土坑 断面



RD14·50土坑 平面



RD14土坑 断面

写真図版 8 RD09・10・11・12・13・14・50土坑



RD15土坑 平面



RD15土坑 断面



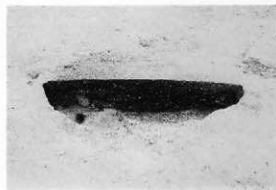
RD16土坑 平面



RD16土坑 断面



RD17土坑 平面



RD17土坑 断面



RD18土坑 平面



RD18土坑 断面



RD19土坑 平面



RD19土坑 断面



RD20土坑 平面



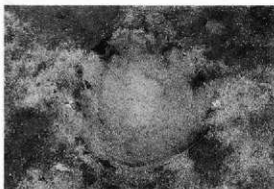
RD20土坑 断面



RD27土坑 平面



RD28土坑 平面



RD29土坑 平面



RD17・27土坑 検出状況

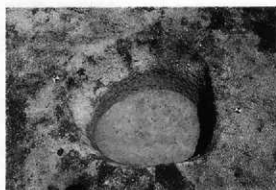
写真図版10 RD19・20・27・28・29土坑



RD30土坑 平面



RD30土坑 断面



RD31土坑 平面



RD31土坑 断面



RD32土坑 平面



RD32土坑 断面



RD33土坑 平面



RD33土坑 断面

写真図版11 RD30・31・32・33土坑



RD34土坑 平面



RD34土坑 断面



RD35·36·37土坑 平面



RD35·36·37土坑 断面



RD38土坑 平面



RD38土坑 断面



RD39土坑 平面



RD39土坑 断面

写真図版12 RD34·35·36·37·38·39土坑



RD40土坑 平面



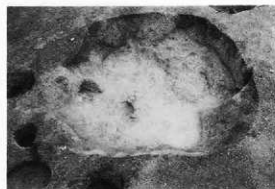
RD40土坑 断面



RD41土坑 平面



RD41土坑 断面



RD43土坑 平面



RD43土坑 断面



RD42土坑 平面



RD42土坑 断面



RD44土坑 平面



RD44土坑 断面



RD45土坑 平面



RD45土坑 断面



RD47土坑 平面



RD47土坑 断面



RD49土坑 平面



RD49土坑 断面

写真図版14 RD44・45・47・49土坑



RD52土坑 平面



RD52土坑 断面



RD53土坑 平面



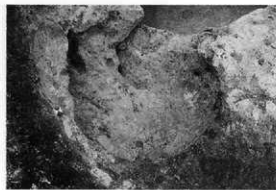
RD53土坑 断面



RD54土坑 平面



RD54土坑 断面



RD55土坑 平面



RD55土坑 断面



RD56土坑 平面



RD56土坑 断面



RD53土坑 遺物出土状況



RD57土坑 断面



RD58土坑 平面



RD58土坑 断面



RD59土坑 平面



RD59土坑 断面

写真図版16 RD53・56・57・58・59土坑



RD60土坑 平面



RD60土坑 断面



RD52~56土坑 平面



RD57~59土坑 平面



RF01焼土遺構 平面



RF01焼土遺構 断面



RF02焼土遺構 平面



RF02焼土遺構 断面

写真図版17 RD52~59・60土坑、RF01・02焼土遺構



RZ01土器埋設遺構 平面



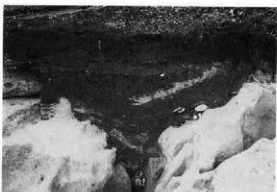
RZ01土器埋設遺構 断面



RG01溝状遺構 平面



RG02溝状遺構 平面



RG02溝状遺構 断面



RG02溝状遺構 断面

写真図版18 RZ01土器埋設遺構、RG01・02溝状遺構



RG03溝状遺構 平面



RG03溝状遺構 断面



RG04溝状遺構 平面



RG05溝状遺構 平面



RG04溝状遺構 断面



RG05溝状遺構 断面



C区 全景



F7区A-A' 断面



F7区ベルトC-C' 断面



F7区調査前全景



作業風景



Pot004・005



Pot014



Pot042



Pot050



Pot051~064



Pot067



Pot073



Pot075~078



RB01獨立柱建物跡 平面



PP 1 断面



PP 3 断面



PP 4 断面



PP 5 断面

写真図版22 RB01獨立柱建物跡



RB02獨立柱建物跡 平面



PP1 断面



PP2 断面



PP4 断面



PP5 断面

写真図版23 RB02獨立柱建物跡



R803掘立柱建物跡 平面



PP5 断面



PP6 断面



PP9 断面



PP10 断面

写真図版24 R803掘立柱建物跡



RD21墓墳 平面



RD21墓墳 断面



RD22墓墳 平面



RD22墓墳 断面



RD23墓墳 平面



RD23墓墳 断面



RD24墓墳 平面



RD24墓墳 断面

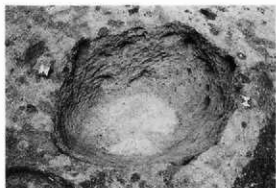
写真図版25 RD21・22・23・24墓墳



RD24墓墳 古銭出土状況



RD25墓墳 平面



RD26墓墳 平面



RD25墓墳 断面



RD26墓墳 断面



RD46墓墳 検出状況



RD46墓墳 平面



RD46墓墳 断面



RD48墓墳 平面



RD48墓墳 断面



RD48墓墳 検出状況



RD51墓墳 平面



RD51墓墳 断面



RD51墓墳 遺物出土状況



RD51墓墳 遺物出土状況



RD51墓墳 人骨取り上げ状況



1



2



3



4



5



S=1/2(1)
6 S=1/3(2-4-5-6)
S=1/4(3)

写真図版28 土器(1)



7



8



10



9



11



12

S=1/3(8~12)
S=1/4(7)

写真図版29 土器(2)



写真図版30 土器(3)



21



22



23



S=1/3(21)
S=1/5(22·23)

写真図版31 土器(4)



24



26



25



28



27

S= 1/3(24·25·27·28)
S= 1/5(26)

写真図版32 土器(5)



29



30



31



33



32

S=1/3(30·31·33)
S=1/4(32)
S=1/5(29)

写真図版33 土器(6)



34



36



35



37



38



39



S = 1/3(34~37-39)
S = 1/5(38)

写真図版34 土器(7)



40



41



42



43



44



45

S=1/3

写真図版35 土器(8)



S=1/3(46~48)
S=1/4(49)

写真図版36 土器(9)



50



51



52



53



54

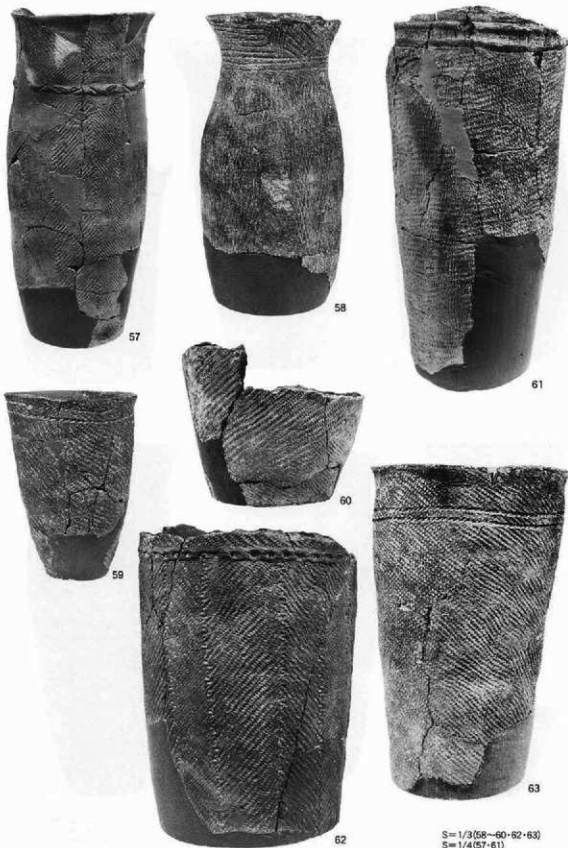


55



56

S=1/3(50~54)
S=1/4(53)
S=1/5(55)



写真図版38 土器(11)



64



65



66



69



67



68

S=1/3(65~68)
S=1/4(64~69)

写真図版39 土器(12)



S=1/3(70·72~74)
S=1/5(71)

写真図版40 土器(13)



75



76



78



77

S=1/3

写真図版41 土器(14)



写真图版42 土器(15)



S= 1/2(90)
S= 1/3(84~89)

写真図版43 土器(16)



91



92



93



94

S=1/3(91)
S=1/4(92~94)

写真図版44 土器(17)



95



96



97



98



99

S=1/3(95-98-99)
S=1/4(95-97)

写真图版45 土器(18)



100



101



102



103



106



104



S=1/2(102)
S=1/3(100-101-103-104-106)

写真図版46 土器(19)



105



107



108



110



112



109



111

S=1/3(105-107~111)
S=1/4(112)



113



114



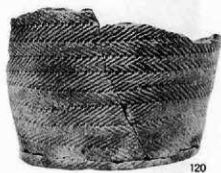
115



116

S=1/3(113~115)
S=1/4(116)

写真図版48 土器(21)



S=1/3(117-119-120)
S=1/4(118)



121



123



122



124

S = 1/3 (122-123)
S = 1/4 (121-124)



125



126



127



128



129

S=1/3(125-126-129)
S=1/4(127)
S=1/5(128)

写真図版51 土器(24)



130



131a



131b



133



132

S=1/3



134



135



137



136



138

S=1/3(135-138)
S=1/4(134)



139



140



141



143



142

S=1/3(139・140)
S=1/4(141~143)

写真図版54 土器(27)



144



145



146



147



148

S=1/3(148)
S=1/4(144~147)

写真図版55 土器(28)



149



150



151



152



153



S=1/3



154



155



156



157

S=1/3

写真図版57 土器(30)



158



159



160



161

S=1/3(158-160-161)
S=1/4(159)

写真図版58 土器(31)



162



163



164



165



166

S = 1/2(164)
S = 1/3(162-163-165)
S = 1/5(166)

写真図版59 土器(32)



167



168



170



169



171



172

S=1/3

写真図版60 土器(33)



173



174



175



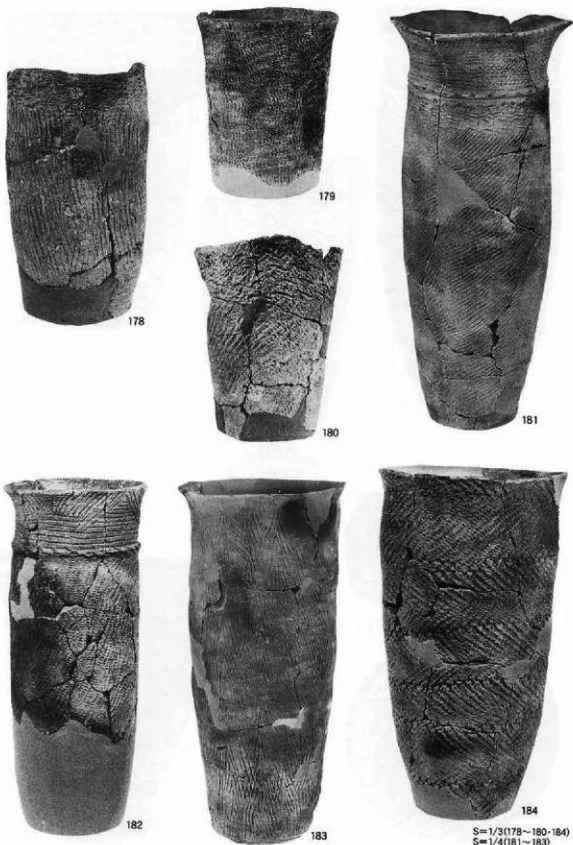
176



177

S=1/3(174~177)
S=1/5(173)

写真図版61 土器(34)



S=1/3(178~180-184)
S=1/4(181~183)

写真図版62 土器(35)



185



186



188



187



189

S=1/3(185-186-188-189)
S=1/4(187)



190



191



192



195



193



194



196

S=1/2(193)
S=1/3(190-191-194)
S=1/4(192)
S=1/5(195)

写真図版64 土器(37)



S=1/3(197~200)
S=1/5(196)



写真図版66 土器(39)



212



213



214



215

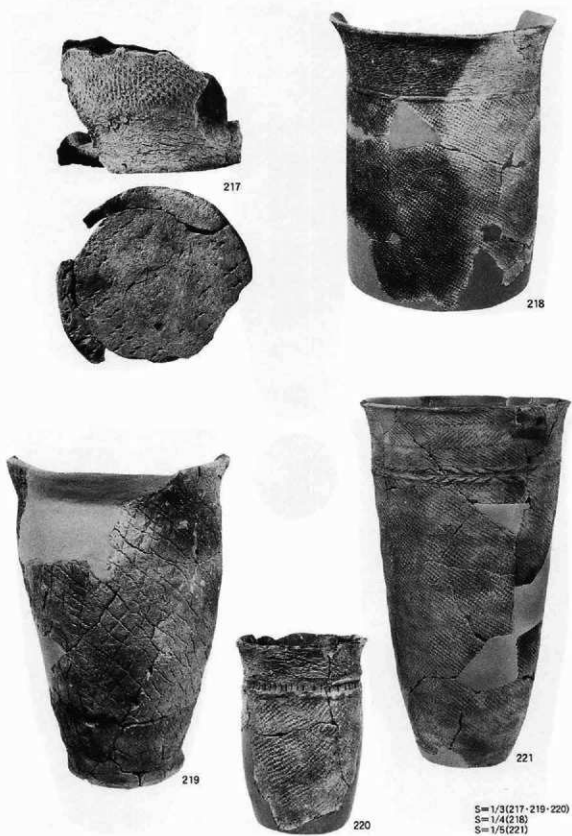


S=1/3(212-214-216)
S=1/4(213-215)



216

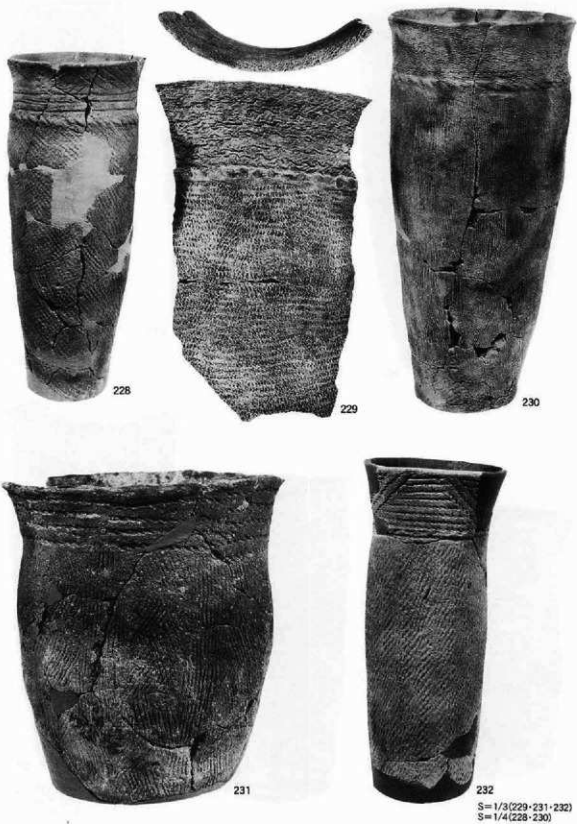
写真図版67 土器(40)



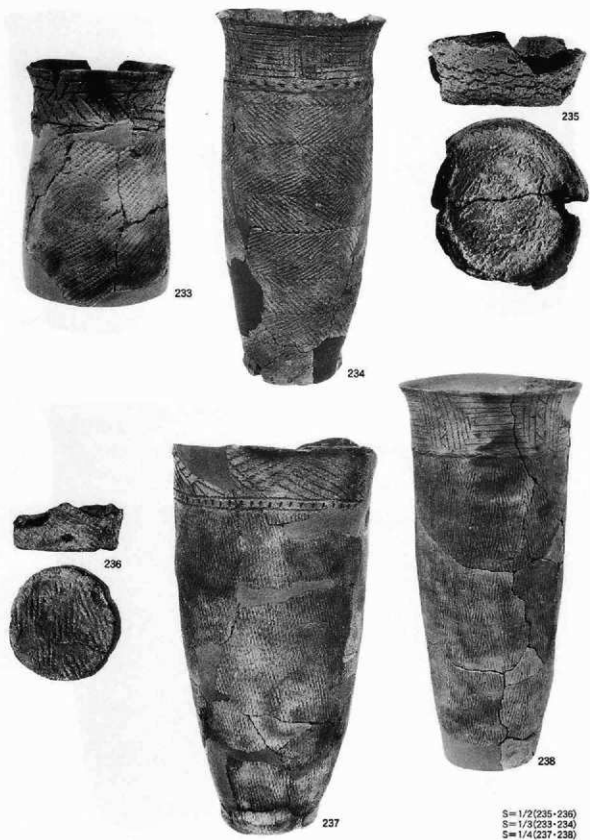
写真図版68 土器(41)



S=1/3(222~224)
S=1/4(226·227)
S=1/5(225)



写真図版70 土器(43)



写真图版71 土器(44)



240



241



242



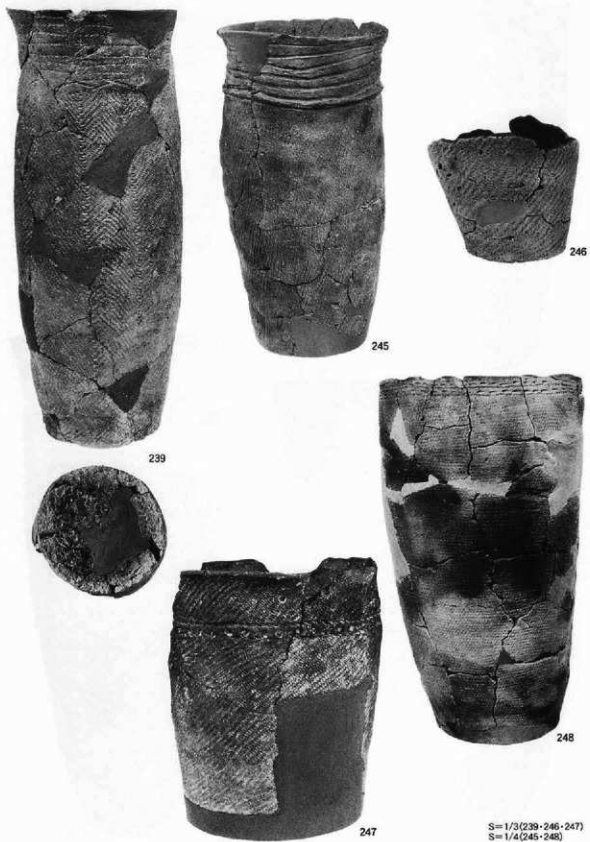
243



244

S=1/3(240~242)
S=1/4(244)
S=1/5(243)

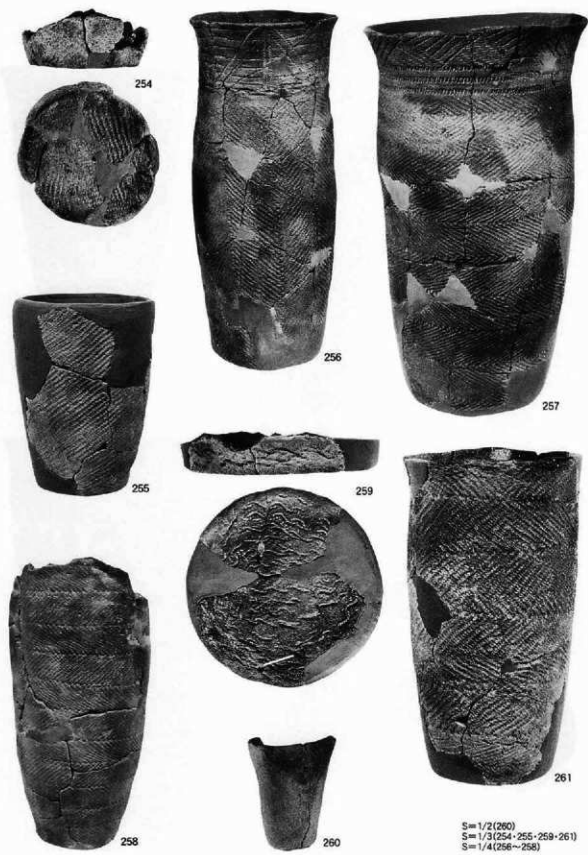
写真図版72 土器(45)



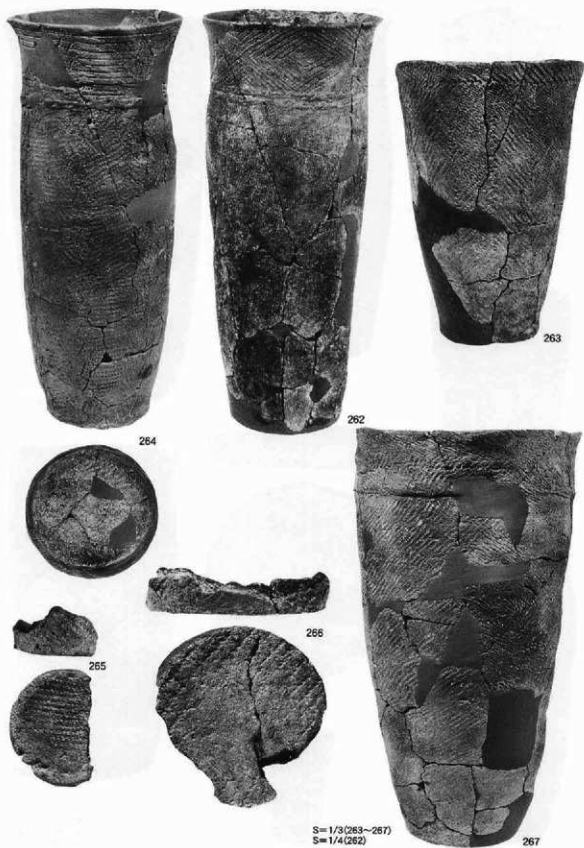
写真図版73 土器(46)



写真図版74 土器(47)



写真図版75 土器(48)



写真図版76 土器(49)



写真図版77 土器(50)



273



274



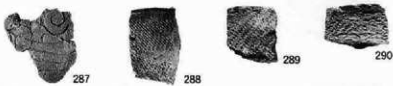
275



276

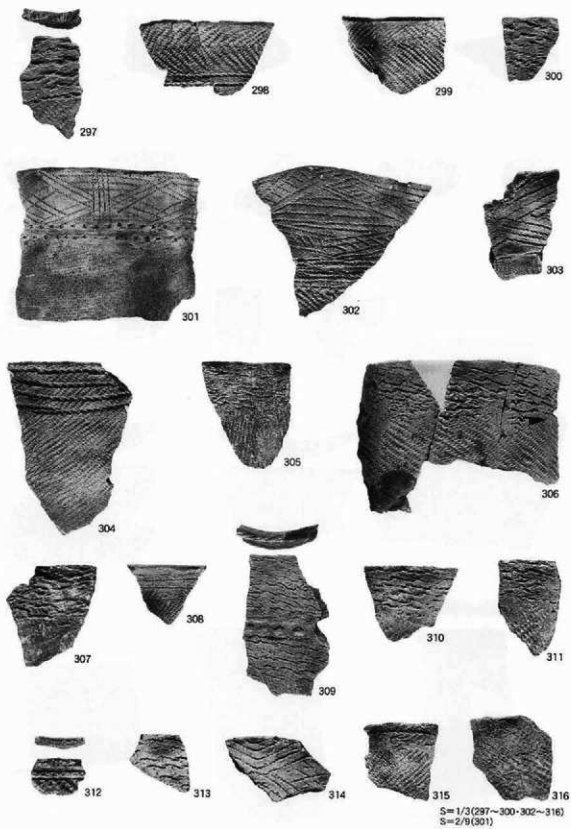
S=1/3(273-274)
S=1/4(275)
S=1/5(276)

写真図版78 土器(51)



S=1/3(277~290·292~296)
S=2/9(291)

写真図版79 土器(52)



写真図版80 土器(53)



317



318



319



320



321



322



323



324



325



326



327



328



329



330



333



331



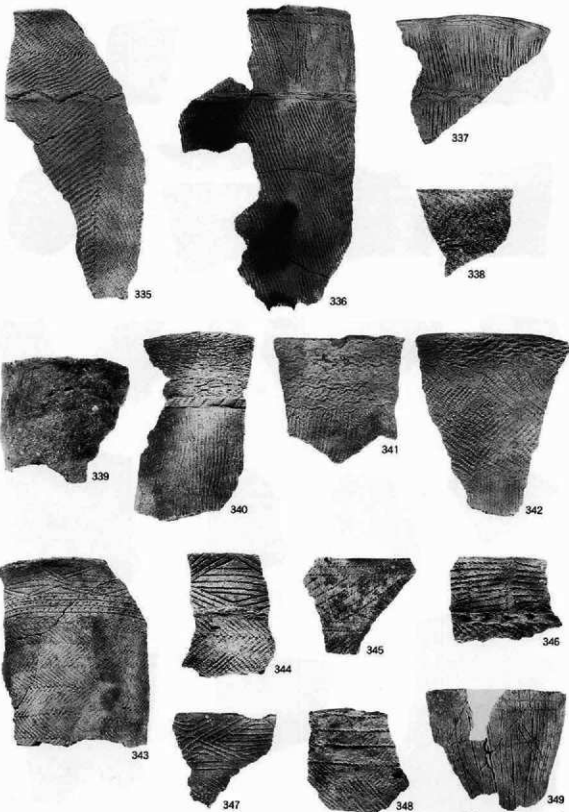
332



334

S=2/3

写真図版81 土器(54)

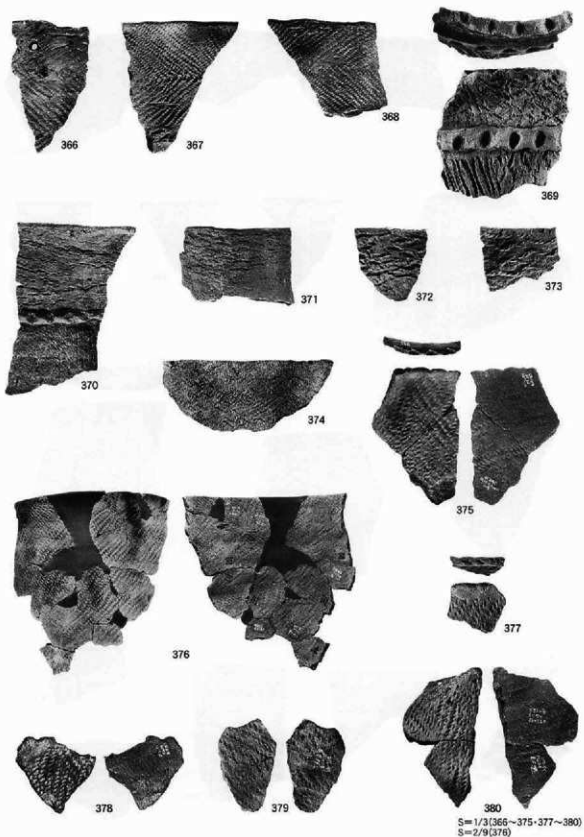


S=2/3 (335~342·344~349)
S=2/9 (343)

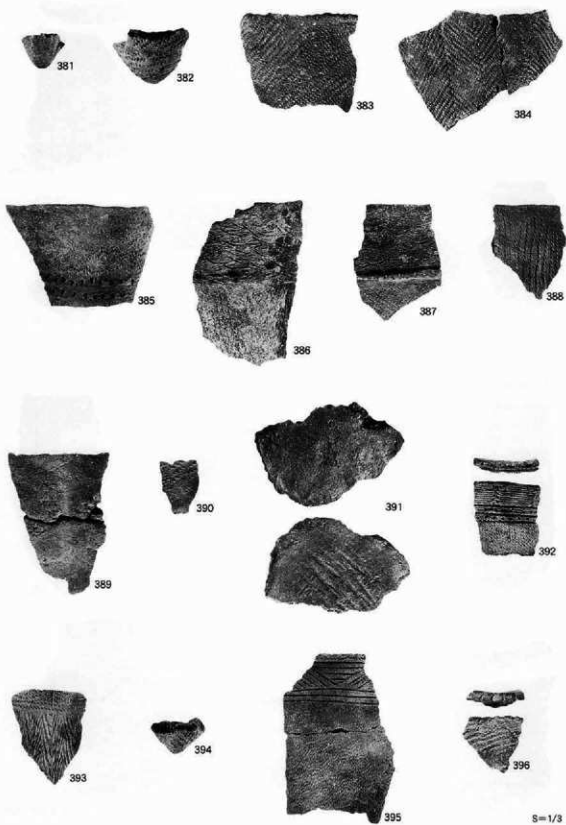
写真図版82 土器(55)



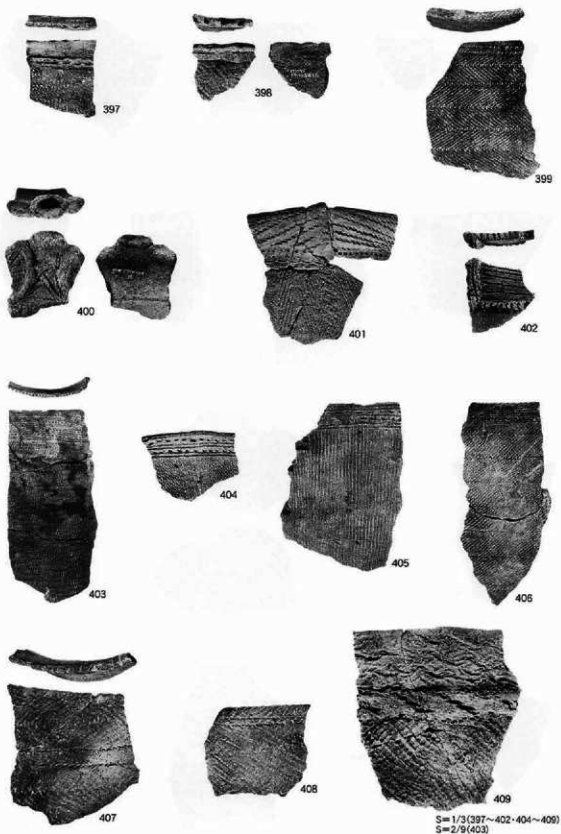
S=2/3



写真図版84 土器(57)



写真图版85 土器(58)



S= 1/3(397~402·404~409)
S= 2/9(403)

写真図版86 土器(59)



S=1/3

写真図版87 土器(60)



425



426



427



428



429



430



431



432



433



434



435



436



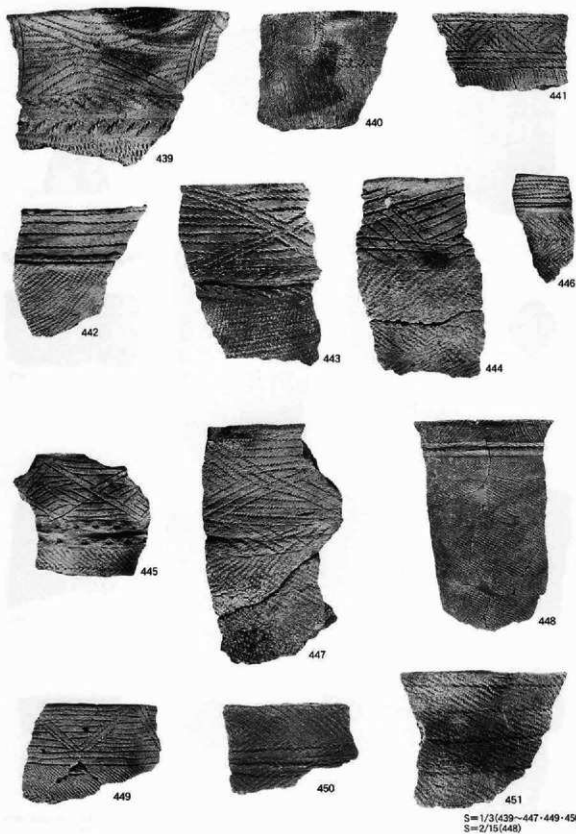
437



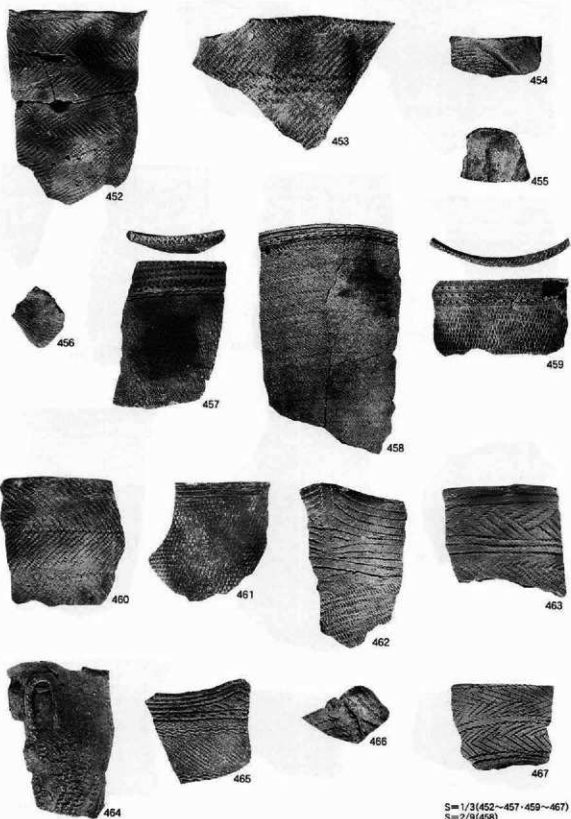
438

S=1/3(425~436·438)
S=2/9(437)

写真図版88 土器(61)



写真図版89 土器(62)



S=1/3(452~457・459~467)
S=2/9(458)

写真図版90 土器(63)



468



469



470



471



472



473



474



475



476



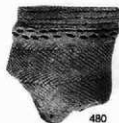
477



478

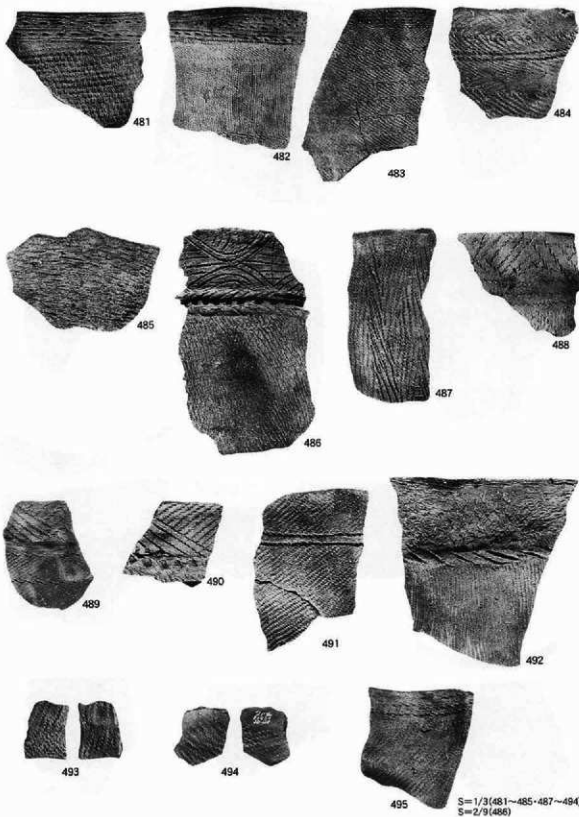


479

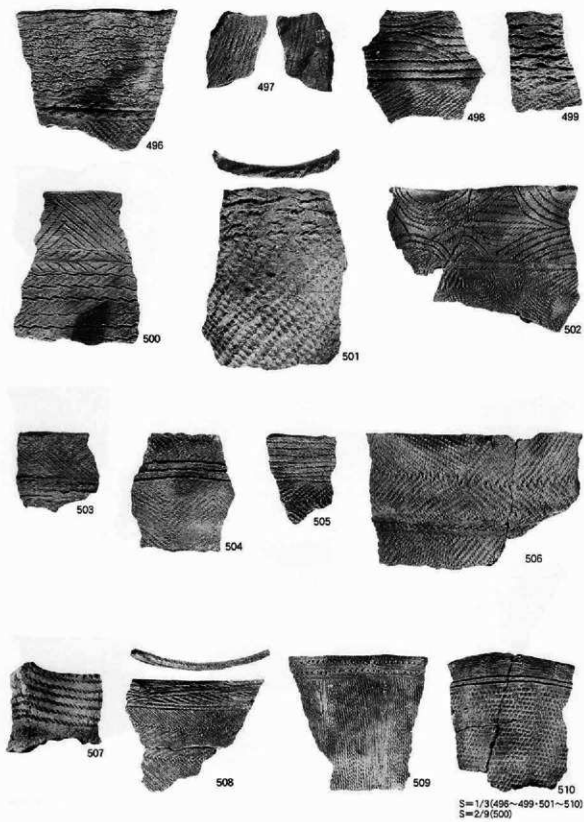


480

S=1/3



写真図版92 土器(65)



写真図版93 土器(66)



511



512



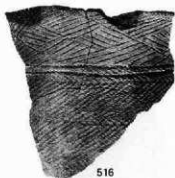
513



514



515



516



517



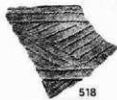
519



520



521



518



522



523



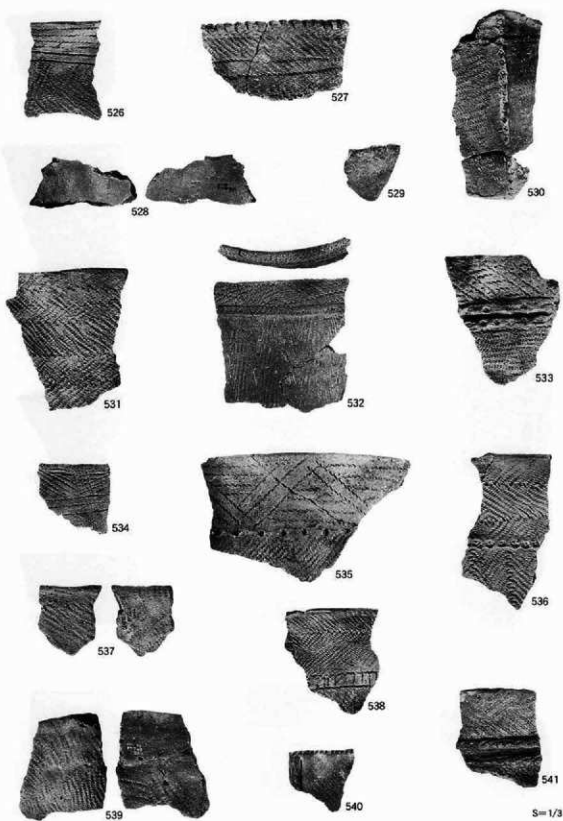
524



525

S=1/3(511~513-515~522-524-525)
S=2/9(514-523)

写真図版94 土器(67)



S= 1/3

写真図版95 土器(68)



542



543



544



545



546



547



548



549



550



551



552



553



554



555



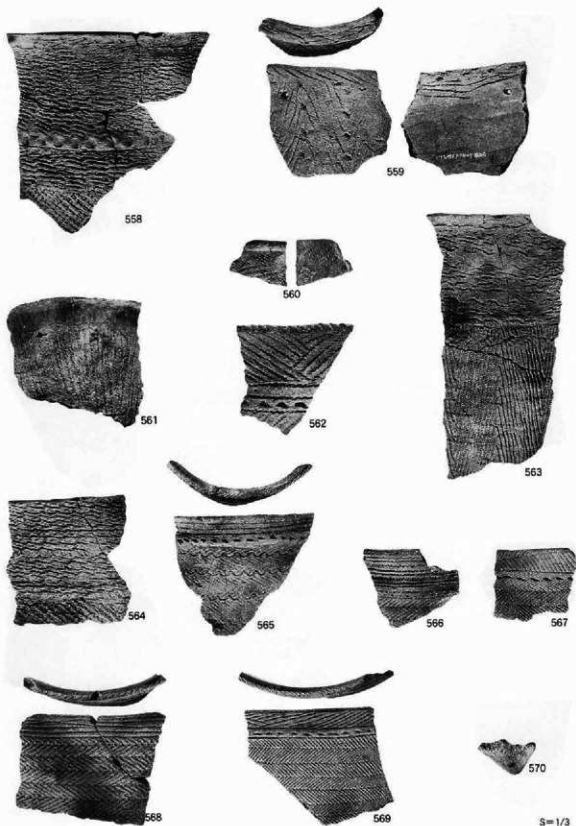
556



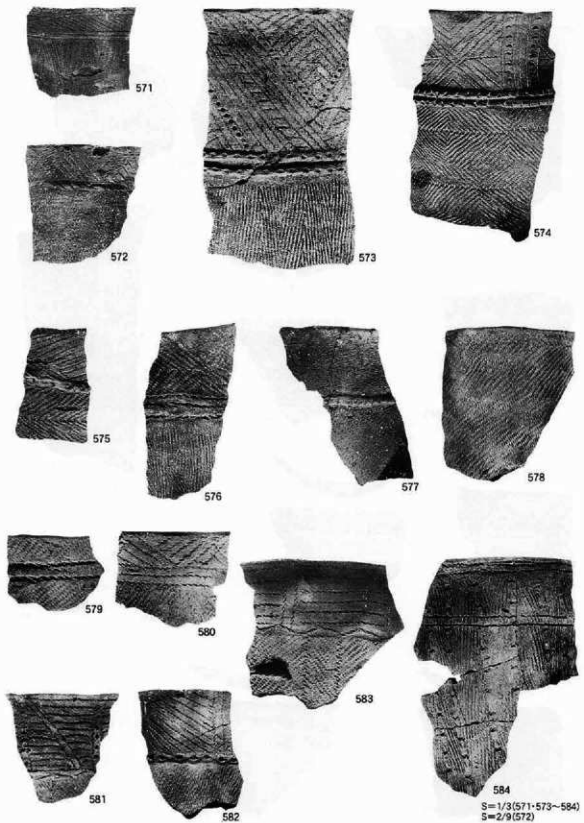
557

S=1/3

写真図版96 土器(69)

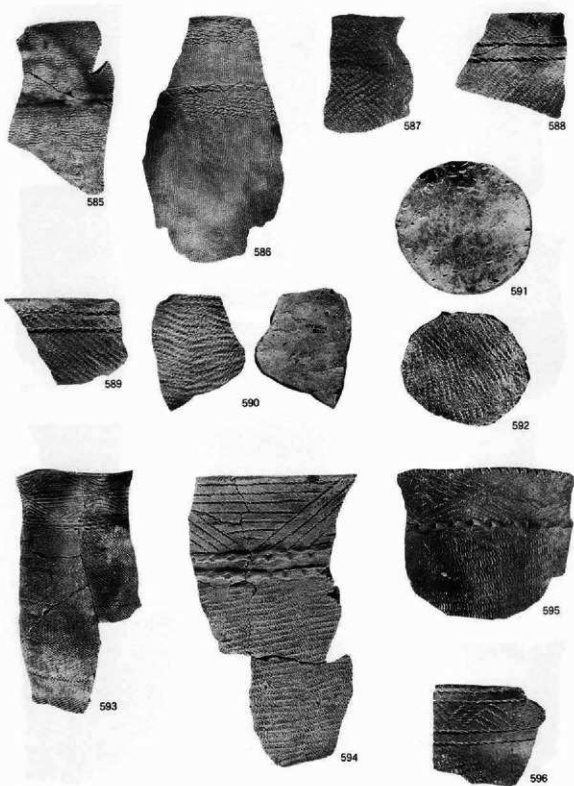


写真図版97 土器(70)

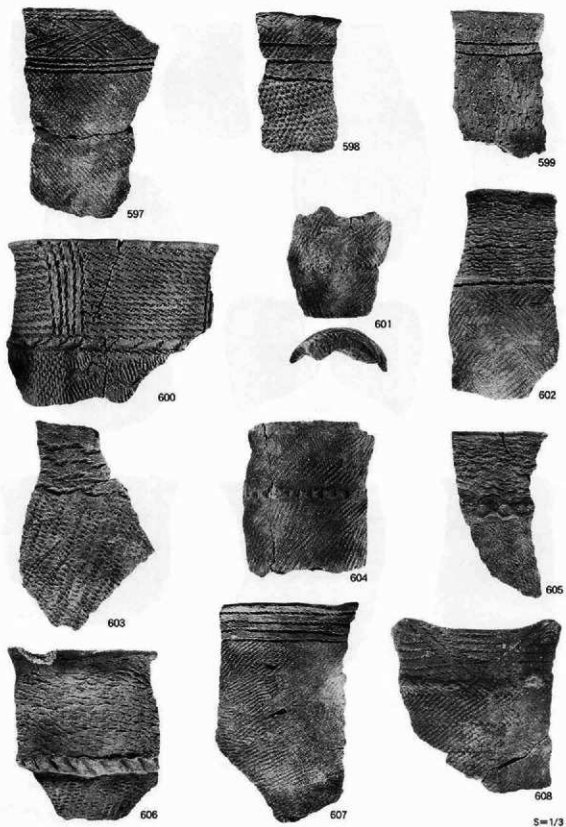


S=1/3(571-573~584)
 S=2/9(572)

写真図版98 土器(71)

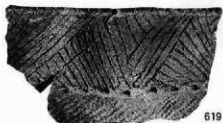


S=1/3(587~592·594~596)
 S=2/9(585·586·593)



5=1/3

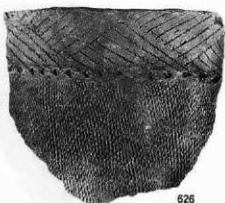
写真図版100 土器(73)



S=1/3(609-610-612~624)
S=2/15(611)



625



626



627



628



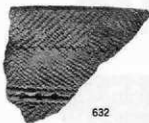
629



630



631



632



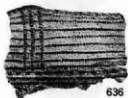
633



634



635



636



637

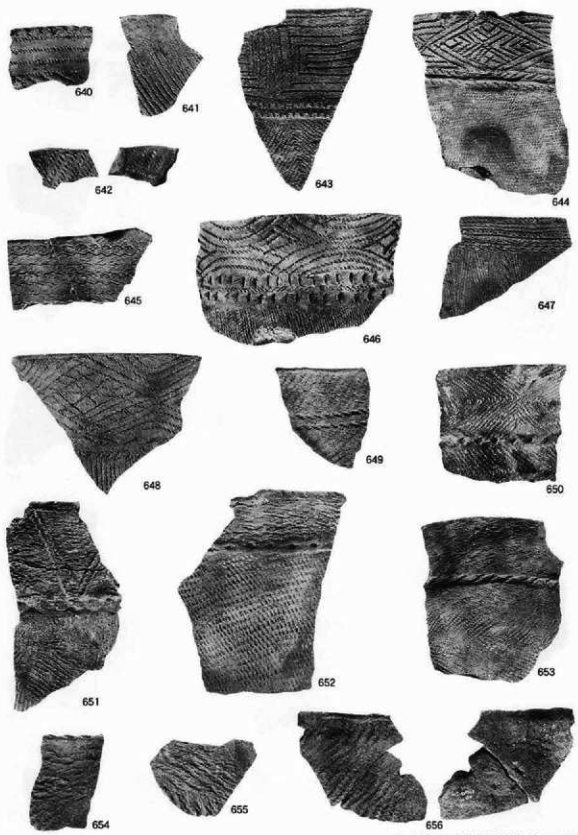


638



639

S=1/3



S=1/3(640~643·645~652·654~656)
 S=2/9(644-653)

写真図版103 土器(76)



657



658



659



660



661



662



663



664



665

666



667



668



669



670



671



672



673



674



675



676



677

S=1/3

写真図版104 土器(77)



701



702



703



704



705



706



707



708



801



802



803



804



805



806



807



808



809

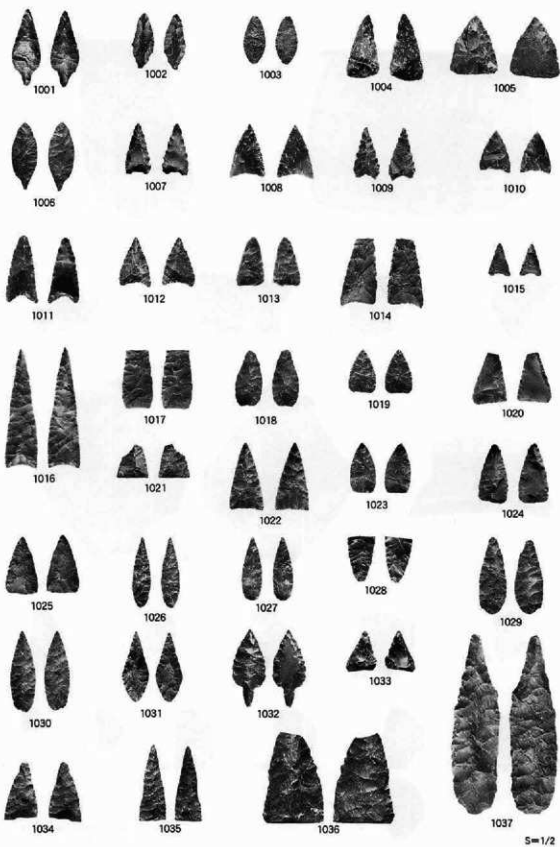


810

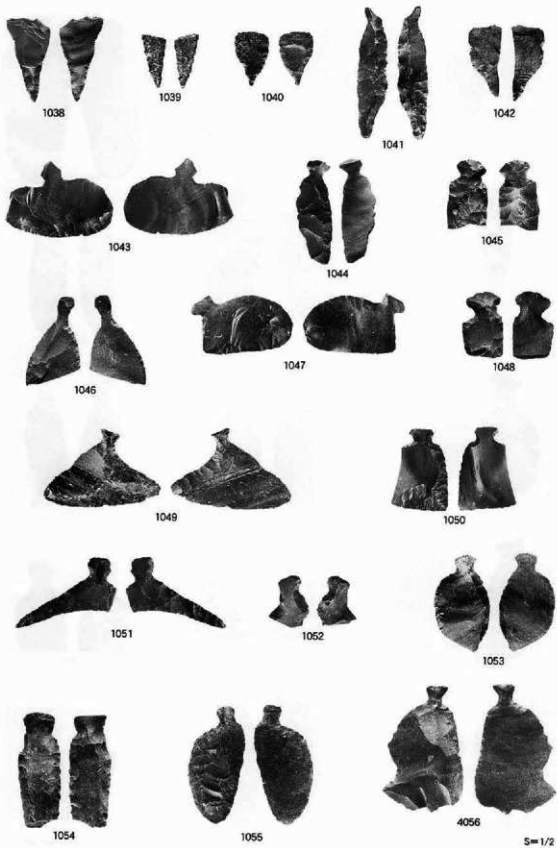


811

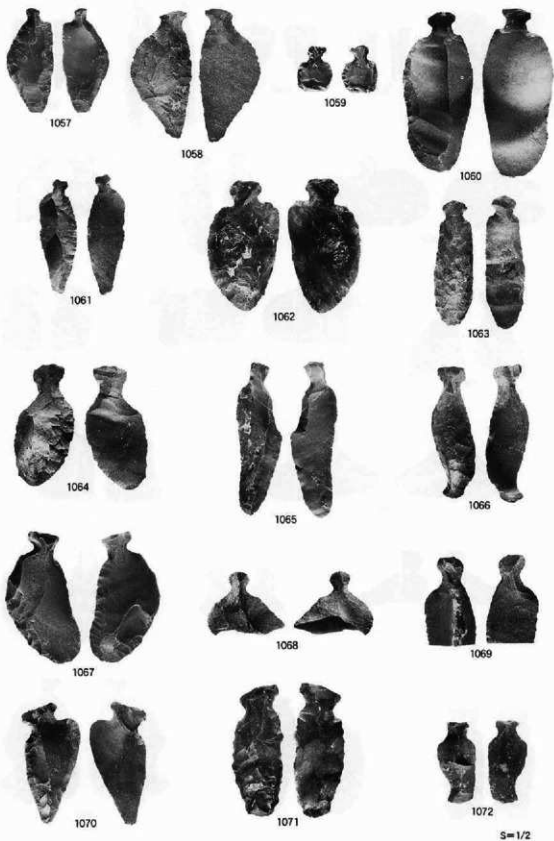
S=1/3(702~708・801~811)
S=2/9(701)



写真图版106 石器(1)



写真図版107 石器(2)



写真図版108 石器(3)



1073



1074



1075



1076



1077



1078



1079



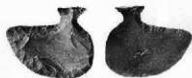
1080



1081



1082



1083



1084



1085

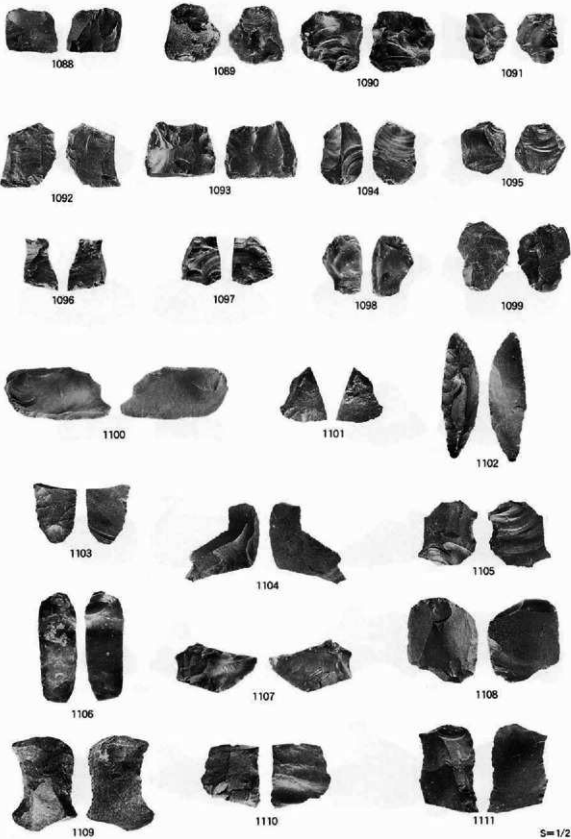


1086



1087

5=1/2



写真圖版110 石器(5)



1112



1113



1114



1115



1116



1117



1118



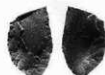
1119



1120



1121



1122



1123



1124



1125



1126



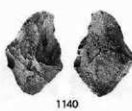
1127



1128

S=1/2

写真図版111 石器(6)



S=1/2

写真図版112 石器(7)



1145



1146

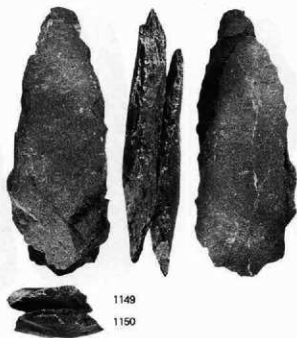


1147



1148

S=1/3



1149

1150



1149



1150

S=1/3

写真図版114 石器(9)



1151



1152



1153



1154



1155



1156



1157



1158



1159



1160



1161



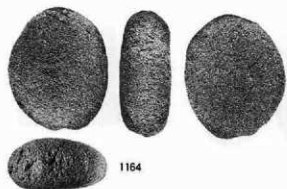
1162



1163

S=1/3

写真图版115 石器(10)



1164



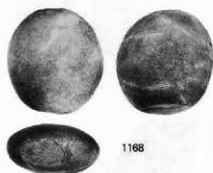
1165



1166



1167



1168



1169



1170

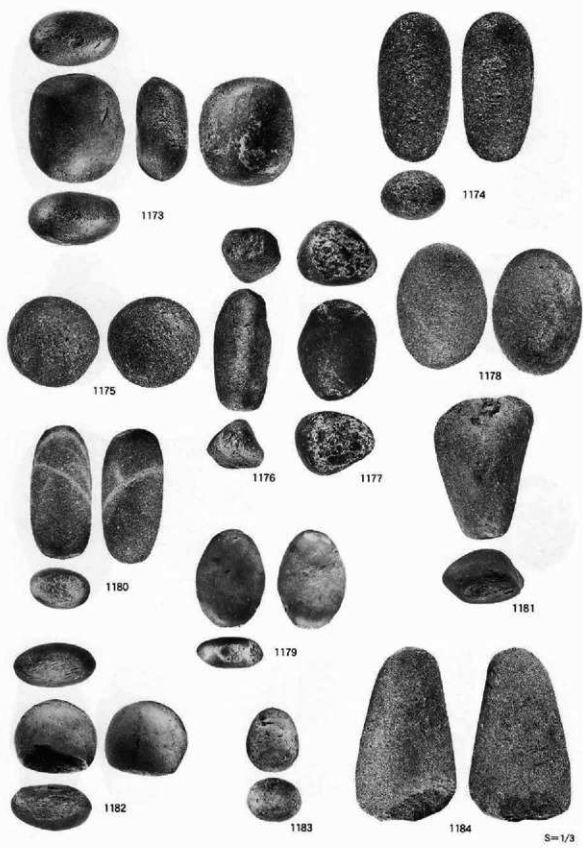


1171



1172

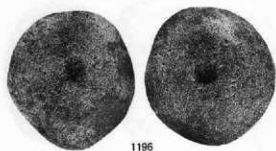
S=1/3



写真図版117 石器(12)



写真図版118 石器(13)



1196



1197



1198



1199



1200



1201



1202



1203



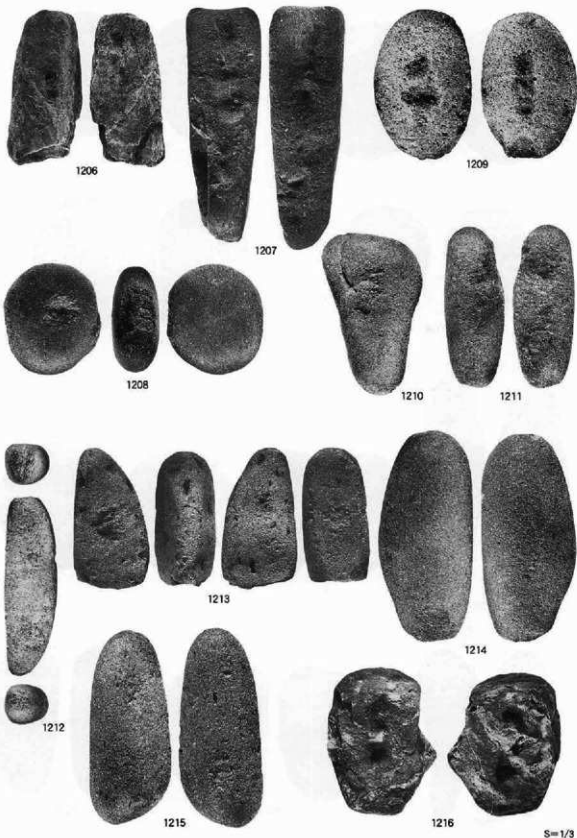
1204



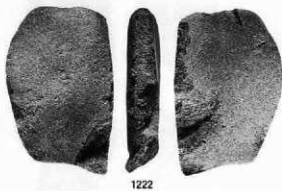
1205

S=1/3

写真図版119 石器(14)



写真図版120 石器(15)



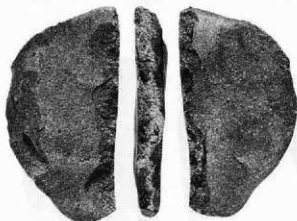
S=1/3



1226



1227



1228



1229



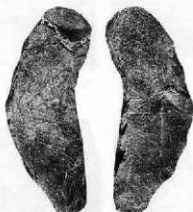
1230



1231

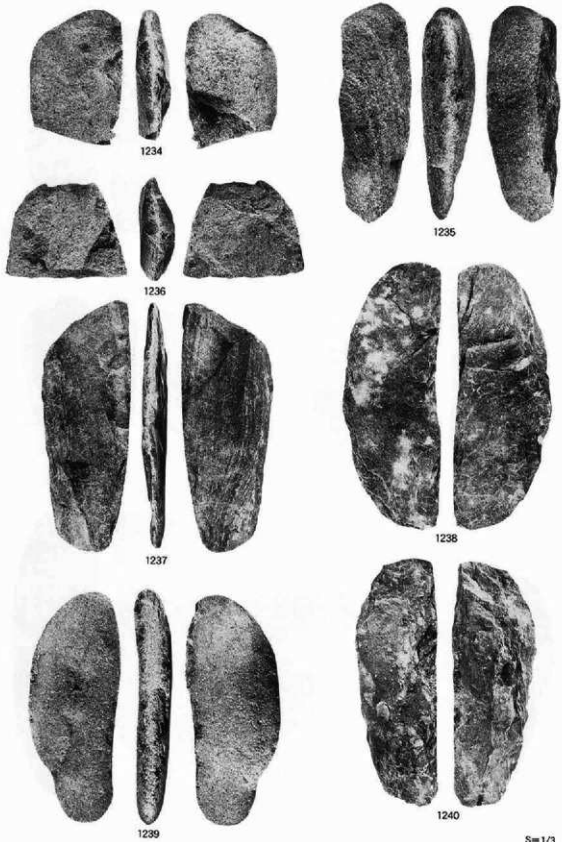


1232



1233

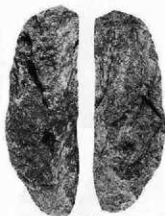
S=1/3



写真図版123 石器(18)



1241



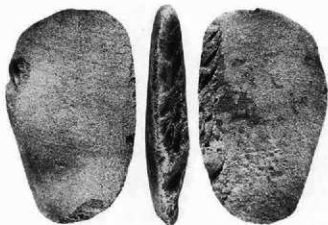
1242



1243



1244



1245

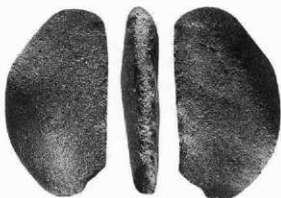


1246

S= 1/3



1247



1248



1249



1250



1251



1252



1253



1254

S=1/3



1255



1256



1257



1258



1259



1260

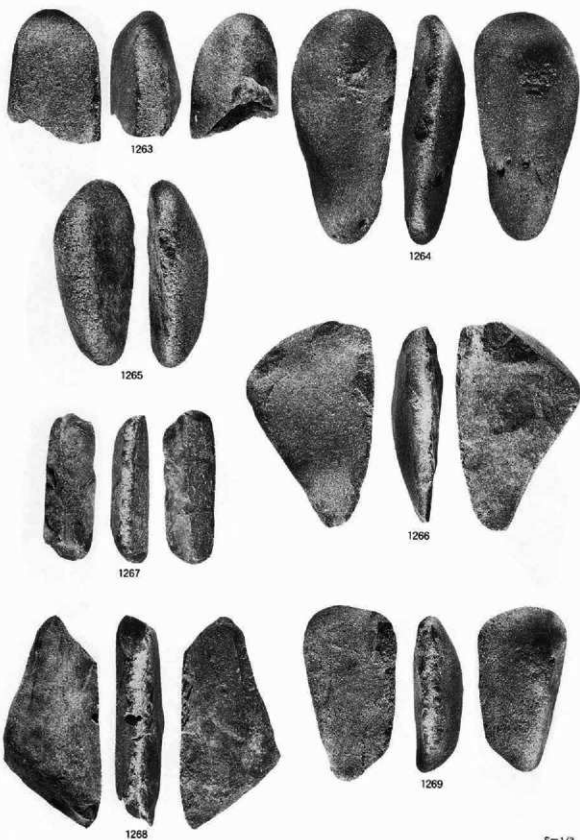


1261



1262

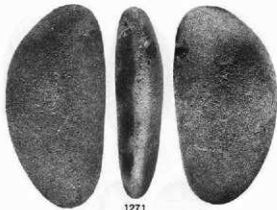
S=1/3



写真図版127 石器(22)



1270



1271



1272



1273



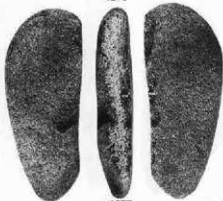
1274



1275

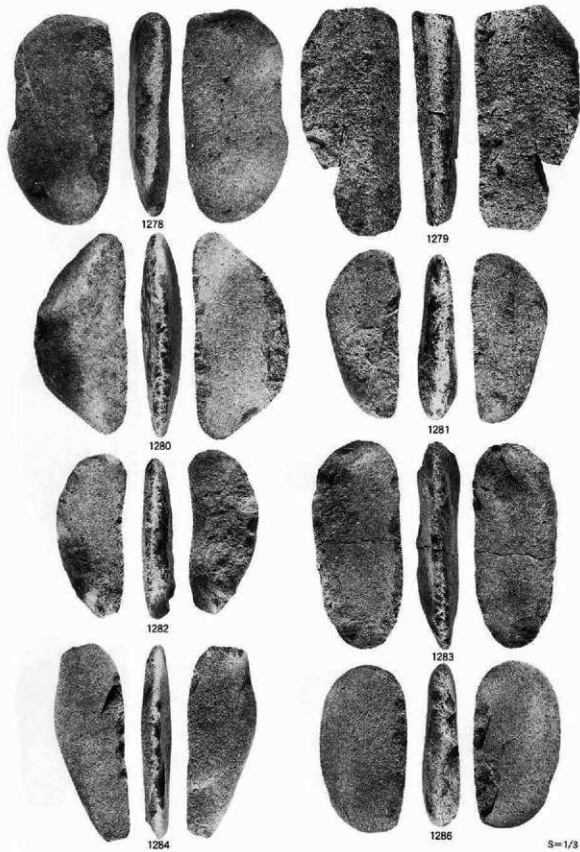


1276

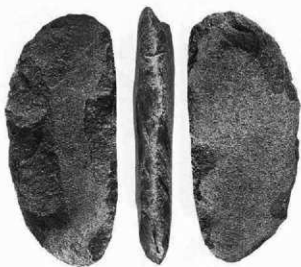


1277

S=1/3



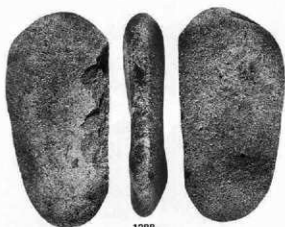
写真図版129 石器(24)



1285



1287



1288



1289

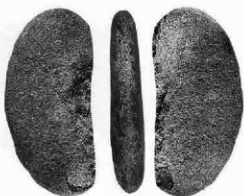


1290

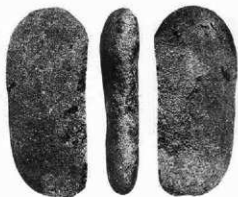


1291

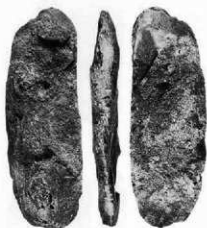
S=1/3



1292



1293



1294



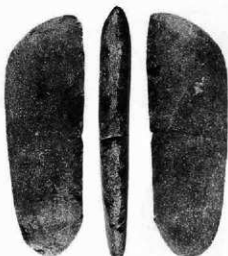
1295



1296

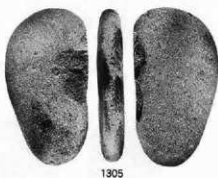
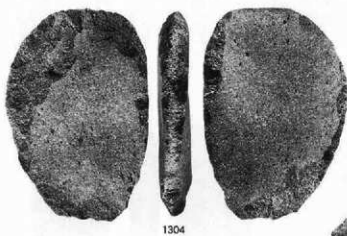
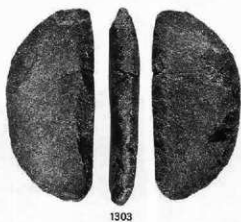
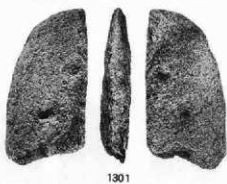
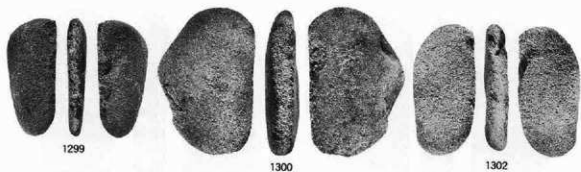


1297



1298

S=1/3



S=1/3



1308

1309



1310

1311

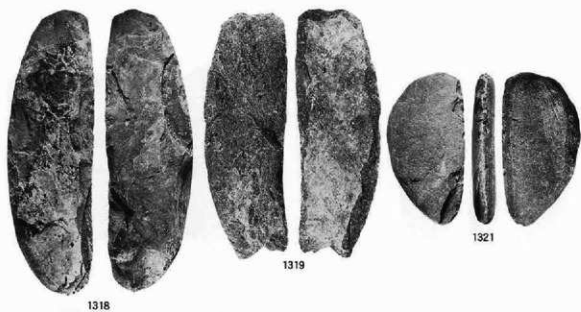
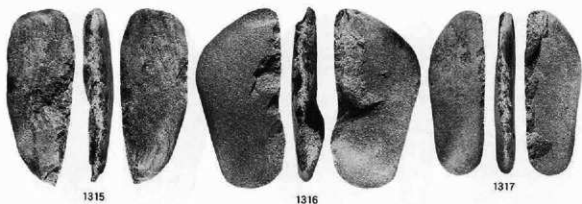
1313



1312

1314

5=1/3



写真図版134 石器(29)



1323



1325



1327



1329



1324



1326



1328



1330

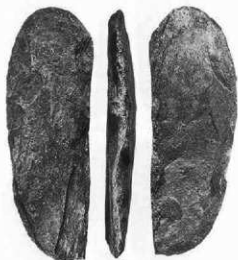
S=1/3



1331



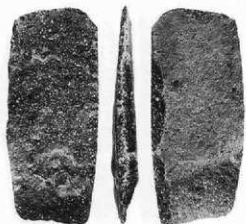
1333



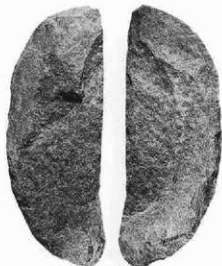
1332



1334



1335



1336

S=1/3



1337



1338



1339



1340



1341



1342



1343



1344

S=1/3



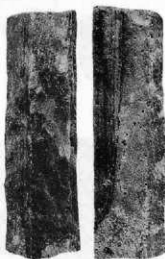
1345



1346



1347



1348



1349



1350



1351



1352



1353



1354

S=1/3(1345~1350)
S=1/2(1351~1354)

写真図版138 石製品



1401-a



1401-b



1401-c



1402

S=2/9



1403



1404



1405



1406



1407



1408



1409



1410



1411



1412



1413



1414



1415



1416



1417

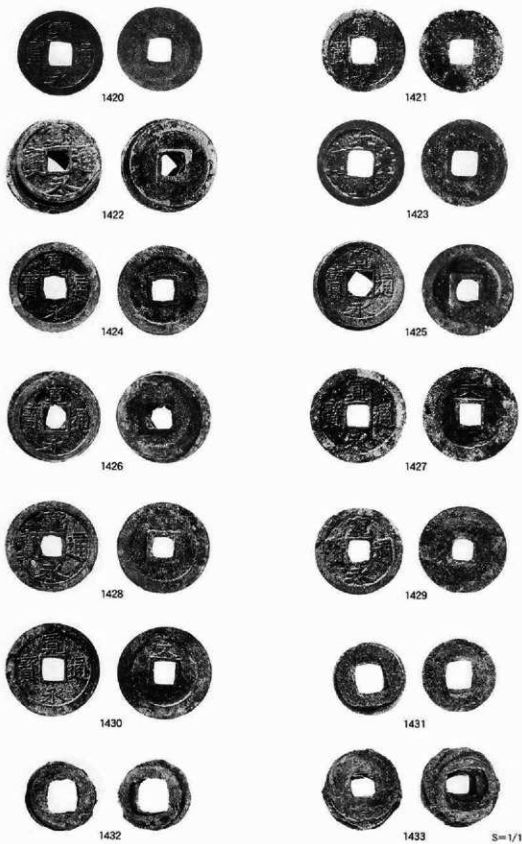


1418



1419

S=2/3



写真図版141 金属製品(3)



1434



1435



1436



1437



1438



1439



1440



1441



1442



1443



1444



1445



1446



1447

S=1/1



1448



1449



1450



1451



1452



1453



1454



1455



1456



1457



1458



1459



1460



1461



1462



1463



1464



1465



1466



1467



1468



1469



1470

S=1/1

報告書抄録

ふりがな	おとりいちいせきはくつちょうさほうこくしよ							
書名	大島I遺跡発掘調査報告書							
副書名	世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第290集							
編著者名	阿部勝則 高橋與右衛門							
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL019-638-9001							
発行年月日	西暦 1999年3月25日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号					
大島I遺跡	岩手県九戸郡 軽米町大字軽 米第17地割 字大島163- 1ほか	03501		40° 7' 17"	141° 2' 35"	19950616~ 19951116	5,812㎡	世増ダム建設事業に伴う事前調査
所収遺構名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大島I遺跡	集落跡	縄文 古代 中世 近世	竪穴住居跡 土坑 陥し穴状遺構 焼土遺構 土器埋設遺構 遺物包含層 器立住居物跡 墓壇	2棟 50基 1基 2基 1基 1箇所 3棟 9基	縄文土器 石器 金属製品 内耳鉄鍋 鉄製鎌 鉄釘 銭貨	150箱 696点 1点 1点 18点 51点	縄文時代前期 円筒下層式土器 中世 内耳鉄鍋を伏せて、埋葬した墓壇	

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長	佐 藤 基		
副 所 長	伊 藤 直 司		
〔管理課〕			
管理課長	澤 田 寛	嘱 託	藤 島 恵 子
主 任	立 花 多加志	"	新 田 トヨ
主 事	千 葉 勝 彦		
〔調査課〕			
調 査 課 長	小 田 野 哲 憲	文 化 財	星 雅 之
課 長 補 佐	高 橋 與 右 衛 門	專 門 調 査 員	"
"	中 川 重 紀	"	高 木 晃
主任文化財	佐々木 清 文	"	佐々木 琢
専門調査員	高 橋 義 介	"	半 澤 武 彦
"	酒 井 宗 孝	"	朝 倉 雄 大
文 化 財	古 部 貞 身	"	杉 沢 昭 太 郎
専門調査員	小 笠 原 健 一 郎	"	溜 浩 二 郎
"	中 村 比 呂 志	"	菊 池 貴 広
"	工 藤 徹	"	村 上 拓
"	小 山 内 透	期 限 付	中 村 直 美
"	金 子 佐 知 子	專 門 調 査 員	鈴 木 浩 二
"	岩 淵 計	"	鈴 木 聡
"	菊 地 榮 壽	"	平 澤 里 香
"	宮 本 節 子	"	山 口 俊 規
"	下 田 隆 衛	"	熊 谷 住 恵
"	早 坂 悟	"	佐 々 木 志 麻
"	鳥 居 達 人	"	佐 藤 綾 子
"	濱 田 宏	"	玉 山 健 一
"	金 子 昭 彦	"	中 野 敦 夫
"	晴 山 雅 光	"	布 谷 義 彦
"	木 戸 口 俊 子	"	松 川 由 次
"	相 津 吉 彦	"	七 田 芳 直
"	阿 部 勝 則	"	鈴 木 見 誌
"	羽 柴 直 人	"	平 め ぐ み
〔資料課〕			
資 料 課 長	佐 々 木 嘉 直	文 化 財	松 尾 芳 幸
		專 門 調 査 員	

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第290集

大鳥 I 遺跡発掘調査報告書

世増ダム建設事業関連遺跡発掘調査

印刷 平成11年3月18日

発行 平成11年3月25日

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 盛岡市下飯岡11-185

電話 (019)638-9001・9002

FAX (019)638-8563

印刷 株式会社 杜陵印刷

〒020-0122 盛岡市みたけ2-22-50

電話 (019)641-8000

FAX (019)641-8085